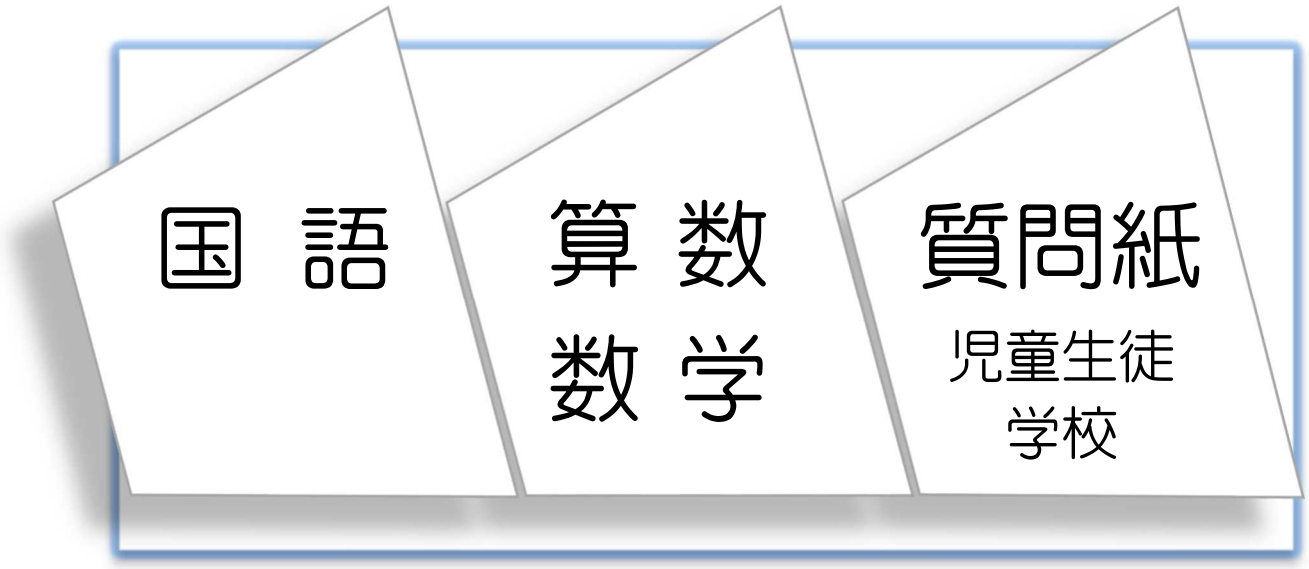
Ｆ０４－０２

研究報告　第４２９号

平成２９年度
全国学力・学習状況調査
分析結果報告書



平成２９年１２月

千葉県総合教育センター

序

今年度の全国学力・学習状況調査も、多くの関係者の御尽力により無事実施されました。そして、８月下旬に文部科学省から各学校に調査結果が返却されたところで、本県でも県全体の調査結果の概要として、「教科に関する結果は、これまで同様、概ね全国平均と同程度」と発表しました。

平均正答率や平均正答数は当然のことながら気になる点ではありますが、結果を細かく見ると、さらに気になる部分がありました。それは学校質問紙調査の「平成２８年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したか」という問いに対しての回答です。今年度も前年度に引き続き「よく行った」と回答した学校の割合が、全国と比べて、小学校は著しく低く、中学校は低いという状況だったからです。また、「活用している」と回答した学校も、どの程度活用しているのだろうか、有効に活用できているのだろうか、そんな疑問がふつふつと湧いてきました。

各学校では、これからの時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を、子供たちに身に付けさせようと毎日必死になって教育活動に取り組んでくださっています。中でも、「学力向上」に向けてはどの学校も、効果のある取組を工夫して行っていることと思いますが、取り組みやすく効果が期待できる「全国学力・学習状況調査の分析結果の活用」が十分に進んでいない実態に対し、口惜しく思います。

そこで、千葉県教育委員会では、各学校で全国学力・学習状況調査の結果をさらに活用できるよう、特に次のような点に力を入れて取り組んでいます。

１　「分析ツール」の開発と改良

全国学力・学習状況調査の結果を各学校で容易に分析できるよい方法はないかと考え、平成２６年度に本県独自に「分析ツール」を開発しました。その後毎年改良を重ね、今や文部科学省から届いた電子データを「分析ツール」に入れるだけで、「教科・質問紙分析シート」・「経年分析シート」・「誤答分析シート」・「クロス集計シート」が作成できるようになりました。学校現場からは「使いやすくなった」「ボタン１つクリックするだけで分析データができてしまうのは画期的である」という嬉しい声を聞いています。

２　「分析結果報告書」の改善

本県は、首都に間近な人口の密集する地域や、首都から離れた過疎化の進む地域など、地域により生活環境が異なっており、調査結果は地域ごとに特徴が見られます。従って、県下同一の指導ばかりでは効果は期待できません。地域の実態に合った最適な指導を行うことが望まれるため、今年度は新たに「地域別の傾向」のページを設けました。

また、各学校の課題を解決するためのヒントも毎年盛り込んできましたが、特に今年度は、出題された問題がどの学年で学習された内容なのか、全ての問題に付しました。これはとりもなおさず、調査対象学年担当の先生だけが教育活動の改善に取り組むのではなく、学校全体で取り組むべきであるということを、また、手軽に取り組むための「資料」となるよう示しました。

今後さらに各学校において、児童生徒の学力向上のために、全国学力・学習状況調査の結果が、学校全体で教育活動を改善するために活用されることを期待しています。

平成２９年１２月

千葉県総合教育センター所長　　安藤　久彦

目　　次

序

Ⅰ　結果の概要　1

1　本県の課題
2　教科区分別調査結果
3　平成１９年度からの本県の平均正答率（全国比）の推移
4　教科に関する調査
（1）国語
（2）算数・数学
5　質問紙調査に関する調査
（1）児童生徒質問紙調査
（2）学校質問紙調査

Ⅱ　結果の詳細

1　教科に関する調査 …… 9
（1）小学校国語
（2）中学校国語
（3）小学校算数
（4）中学校数学
2　質問紙調査 …… ４９
（1）児童生徒質問紙調査
（2）学校質問紙調査
家庭学習の充実に向けて
部活動（中学校）の状況について
放課後の過ごし方について
主体的・対話的で深い学びの充実に向けて
外国に関する興味・関心について
自己肯定感に関する状況について
指導改善サイクルの確立を目指して

Ⅲ　改善策　８３

1　分析ツール
2　みんなで，それぞれの立場で指導改善
3　指導改善サイクルの例
4　地域別の傾向

Ⅳ　資料　９９

1　調査実施状況
2　学力向上に役立つ情報

Ⅴ　回答結果集計データ　１０５

Ⅰ　結果の概要

1　本県の課題

各教科区分に共通する課題

記述式の正答率が低い　　**無解答率が高い**

	前回の課題	今年度の課題	詳細
小学校国語	◆記述式（文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く） ◆ローマ字を書く，読むこと	◆話すこと・聞くこと ◆記述式	P 10
小学校算数	◆数と計算（小数の減法，四則計算） ◆図形	◆数と計算 ◆数量関係	P 28
児童質問紙	◆算数への関心等 ◆学習習慣	◆算数への関心等 ◆言語活動・読解力 ◆学習習慣	P 52 P 57 P 60
小学校 学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組	P 62 P 66 P 68 P 70
中学校国語	◆漢字の書き	◆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ◆記述式	P 18
中学校数学	◆関数 ◆図形 ◆資料の活用 ◆記述式	◆関数 ◆数と式 ◆資料の活用 ◆記述式	P 38
生徒質問紙	◆国語への関心等 ◆総合的な学習への関心等 ◆学習習慣	◆総合的な学習への関心等 ◆自尊感情	P 54 P 56
中学校 学校質問紙	◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組	P 62 P 66 P 68 P 70

＊本冊子における千葉県・全国の平均正答率及び平均正答数は，公立学校に在籍する児童生徒のものである。

２　教科区分別調査結果

＊数値は，千葉県・全国ともに，公立学校の平均正答率（%）である。ただし，文部科学省の発表に基づき，全国平均正答率は小数第１位まで，県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示している。右の（　）の数値は平均正答数である。

小学校	千葉県	全国
国語Ａ（15 問）	７５（11.2）	74.8（11.2）
国語Ｂ（ 9 問）	５７（ 5.2）	57.5（ 5.2）
算数Ａ（15 問）	７７（11.6）	78.6（11.8）
算数Ｂ（11 問）	４６（ 5.1）	45.9（ 5.1）

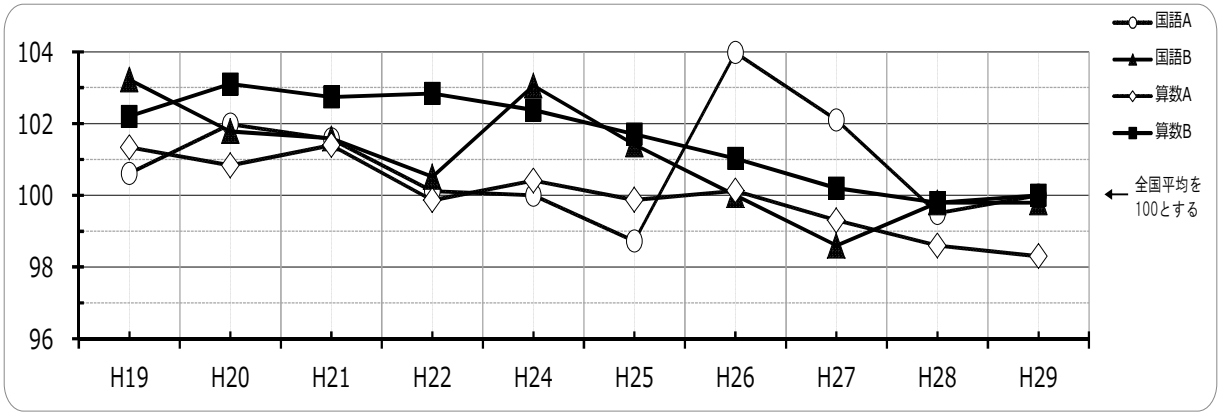
中学校	千葉県	全国
国語Ａ（32 問）	７６（24.4）	77.4（24.8）
国語Ｂ（ 9 問）	７２（ 6.5）	72.2（ 6.5）
数学Ａ（36 問）	６３（22.6）	64.6（23.3）
数学Ｂ（15 問）	４７（ 7.0）	48.1（ 7.2）

教科に関する調査結果について，本県の平均正答数は，全国平均と同程度である。

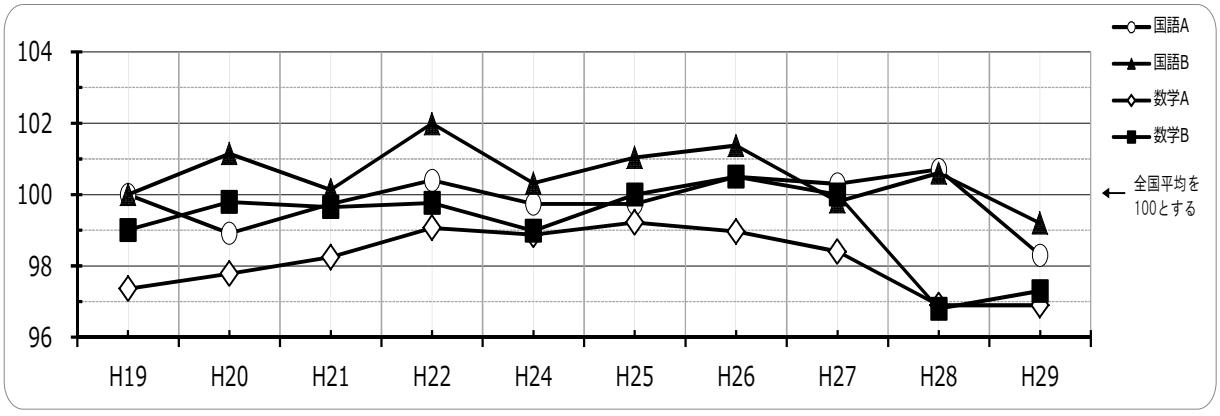
３　平成１９年度からの本県の平均正答率（全国比）の推移

＊全国（公立）を 100 として，千葉県（公立）の結果を相対的に表した数値をもとに記述した。

＜小学校＞



＜中学校＞



※平成 22・24 年度は抽出調査のため，平均正答率については 95%信頼区間の中央値を表している。
※指数は，小数第１位までの平均正答率をもとに算出しているため，教科区分別調査結果を用いた値と一致しない場合がある。
※平成 23 年度は，東日本大震災の影響を考慮し，実施が見送られた。

4　教科に関する調査

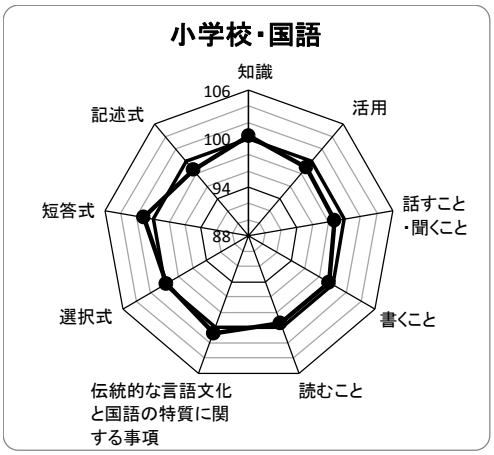
（１）国語

【小学校】

知識（国語Ａ），活用（国語Ｂ）ともに平均正答率は，全国と同程度であり，昨年度に引き続き上昇傾向にある。領域別では，「話すこと・聞くこと」が全国をやや下回り，問題形式別では，「記述式」が全国をやや下回った。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語Ａ	75	74.8
国語Ｂ	57	57.5



知識／活用	知識	100.3
	活用	99.1
領域等	話すこと・聞くこと	98.8
	書くこと	99.4
	読むこと	99.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	100.8
問題形式	選択式	99.7
	短答式	101.1
	記述式	98.6

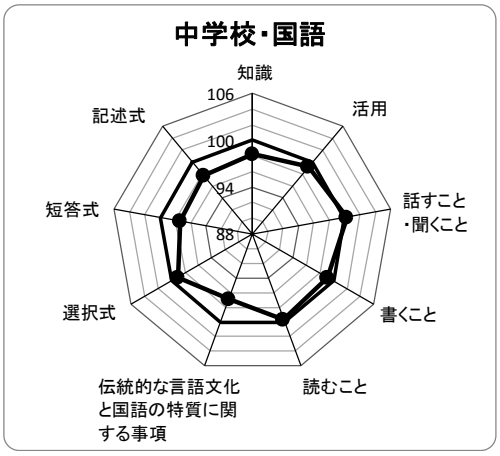
※全国平均を 100 としたときの指数で示している。

【中学校】

知識（国語Ａ），活用（国語Ｂ）ともに平均正答率は，全国と同程度である。領域別では，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が，全国を下回り，問題形式別では，「短答式」「記述式」が全国を下回った。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語Ａ	76	77.4
国語Ｂ	72	72.2



知識／活用	知識	98.2
	活用	99.7
領域等	話すこと・聞くこと	100.3
	書くこと	99.2
	読むこと	99.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	96.9
問題形式	選択式	99.1
	短答式	97.4
	記述式	97.7

※全国平均を 100 としたときの指数で示している。

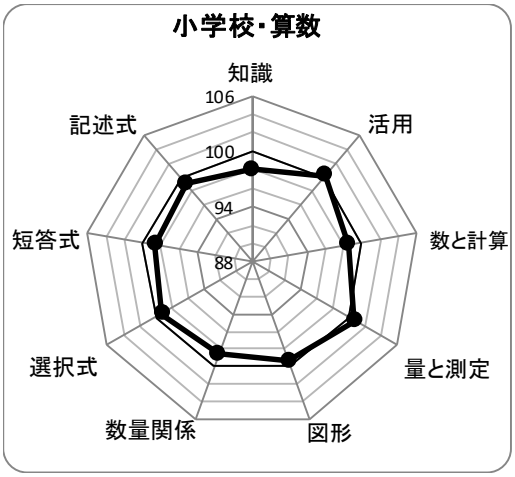
（２）算数・数学

【小学校】

知識（算数Ａ），活用（算数Ｂ）ともに平均正答率は，全国と同程度である。領域別では，「数と計算」「数量関係」が全国をやや下回り，「量と測定」「図形」は全国と同程度である。問題形式別では，「短答式」が全国をやや下回った。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
算数Ａ	77	78.6
算数Ｂ	46	45.9



知識／活用	知識	98.0
	活用	100.2
領域	数と計算	98.5
	量と測定	100.7
	図形	99.4
	数量関係	98.6
問題形式	選択式	99.2
	短答式	98.6
	記述式	99.1

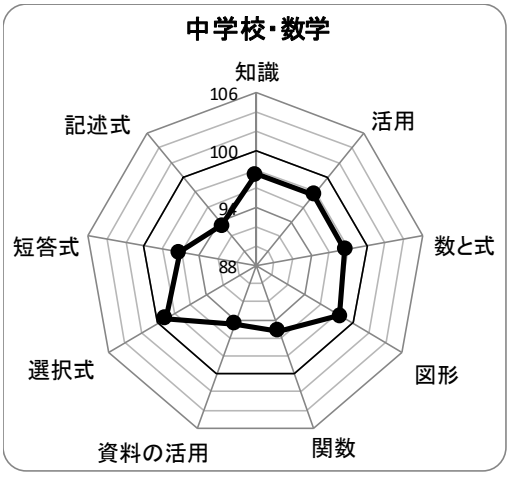
※全国平均を 100 としたときの指数で示している。

【中学校】

知識（数学Ａ），活用（数学Ｂ）ともに平均正答率は，全国を下回った。領域別では，「図形」が全国をやや下回り，「数と式」は下回り，「関数」「資料の活用」については大きく下回った。問題形式別では，「記述式」が全国を大きく下回った。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
数学Ａ	63	64.6
数学Ｂ	47	48.1



知識／活用	知識	97.5
	活用	97.7
領域	数と式	97.7
	図形	98.4
	関数	95.2
	資料の活用	94.4
問題形式	選択式	99.0
	短答式	96.2
	記述式	93.5

※全国平均を 100 としたときの指数で示している。

5　質問紙調査に関する調査

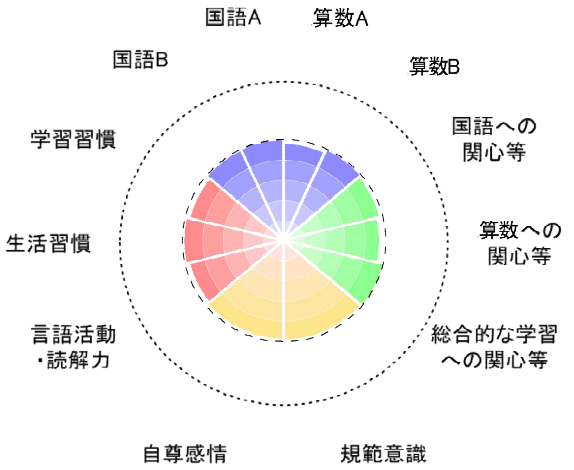
※チャート図は，千葉県の調査結果について，全国を母集団として標準化したものである。内側の点線が全国平均を表している。
※◇は成果を，◆は課題を示している。

（１）児童生徒質問紙調査

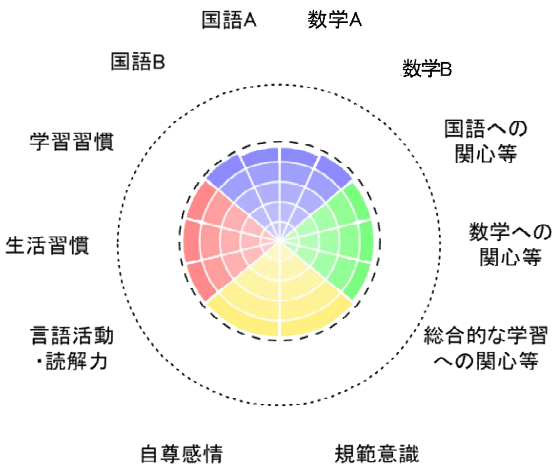
全体的に，児童生徒ともに全国と同様の状況である。
領域別に見ると，児童生徒ともに，「算数・数学への関心等」「自尊感情」「言語活動・読解力」「学習習慣」が全国を下回っており，継続した課題となっている。生徒は「総合的な学習への関心等」が全国を下回っている。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉

【児童】



【生徒】



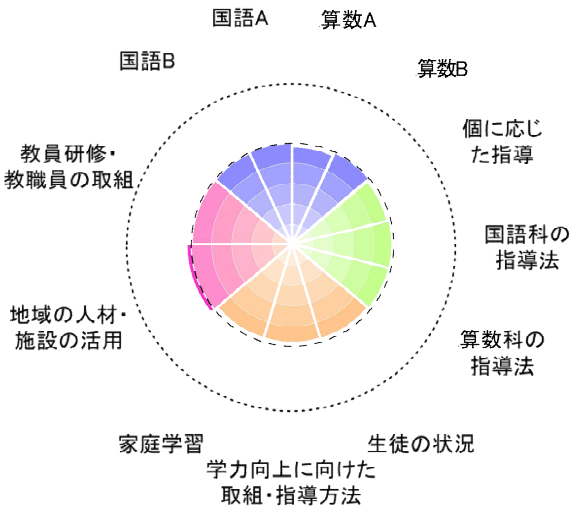
領域名		対応する質問番号	成果と課題
学習に対する関心・意欲・態度	国語への関心等	児 69～76 生 71～78	◇「国語の勉強が好き」な児童の割合は，全国を上回っている。 ◇「読書が好き」な生徒の割合は，全国を上回っている。 ◆「算数・数学への関心等」は，児童生徒ともにすべての項目で全国を下回っている。 ◆生徒の「総合的な学習への関心等」は，全国を下回っている。
	算数・数学への関心等	児 78～87 生 80～89	
	総合的な学習への関心等	児 54 生 56	
規範意識・自尊感情	規範意識	児 49～53 生 51～55	◇児童生徒ともに「規範意識」が，全国と同程度である。 ◆生徒の「自尊感情」が，全国をやや下回る。
	自尊感情	4～6, 10	
学習の基盤となる活動・習慣	言語活動・読解力	児 7～9，36，56～60, 64 66～68 生 7～9，38，58～62, 66 68～70	◆児童の「言語活動・読解力」は，全国を下回っている。 ◇児童生徒ともに「生活習慣」は，全国と同程度である。 ◆児童生徒ともに「学習習慣」は，全国を下回っている。 ◇「家で授業の予習をしている」生徒の割合は，全国を上回っている。
	生活習慣	1～3	
	学習習慣	児 29～32 生 31～34	

（２）学校質問紙調査

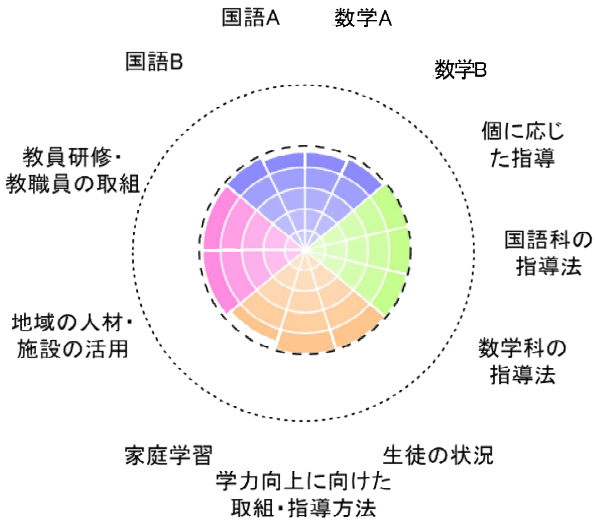
全体的に，小中学校ともに全国と同様の状況である。
領域別に見ると，小学校では，「地域の人材・施設の活用」が全国を上回り，「個に応じた指導」は，下回っている。中学校では，「家庭学習」のすべての項目で全国を下回っている。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉

【小学校】



【中学校】



領域名		対応する質問番号	成果と課題
教科指導	個に応じた指導法	60～62	◇中学校の「数学のティームティーチング」は，全国を大きく上回っている。 ◆小中学校ともに「算数・数学の習熟度別の少人数指導」は，全国を下回っている。 ◆小中学校ともに，「補充的・発展的な学習指導」は全国を下回っている。
	国語科の指導法	64～69	
	算数・数学科の指導法	70～73	
学力向上	児童・生徒の状況	12～19	◇中学校の「授業でノートに学習の目標とまとめを書く」は，全国を上回っている。 ◇「本やインターネットなどを使った調べ学習の指導」は，小中学校ともに全国を上回っている。 ◆小学校の「放課後，長期休業日の補充的学習サポート」は，全国を大きく下回っている。 ◆中学校の「資料を使い発表できる」は，全国を下回っている。 ◆中学校の「家庭学習」は，すべての項目で全国を下回っている。
	学力向上に向けた取組・指導方法	小 22～25 小 32～51 中 32～48 50～51	
	家庭学習	小 90～97 中 88～95	
学校経営	地域の人材・施設の活用	小 80～82，84 86～89 中 79～81 83～87	◇小学校の「職場見学・職場体験」は，全国を大きく上回っている。 ◆「自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている」は，小中学校ともに全国を下回っている。
	教職員研修・教職員の取組	小 26～31 98～111 中 26～31 96～109	

Ⅱ　結果の詳細

１　教科に関する調査

（１）小学校国語

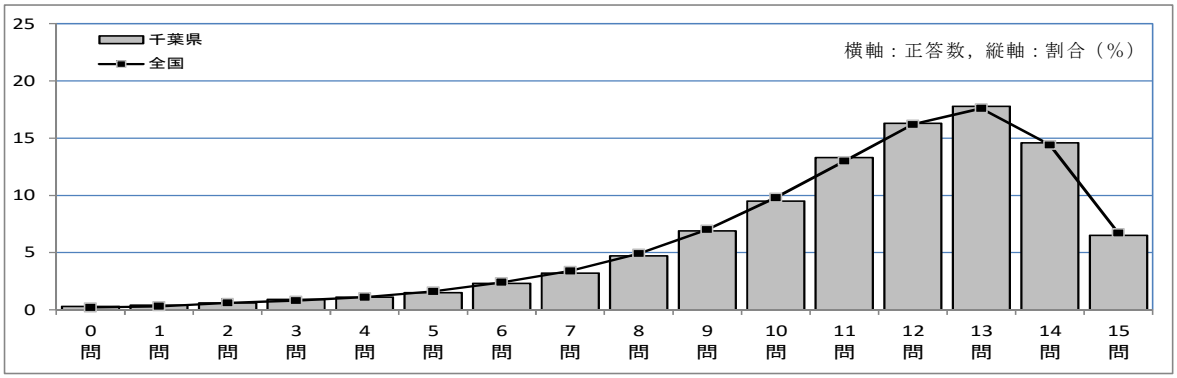
①　全体的な結果

ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の児童を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【国語Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。

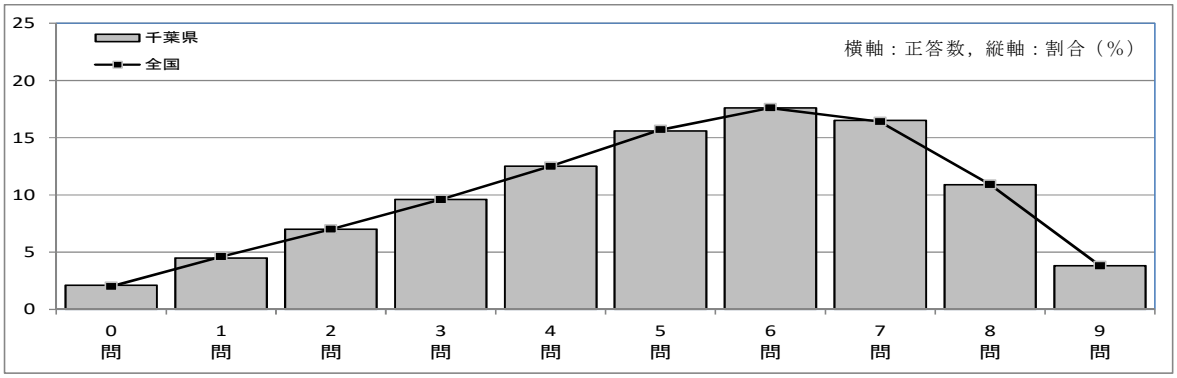


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	11.2問／15問	75 %	12.0	2.8
全 国(公立)	11.2問／15問	74.8 %	12.0	2.8

	＊Ｄ層	＊Ｃ層	＊Ｂ層	＊Ａ層
	0～9問	10～11問	12問	13～15問
千葉県(公立)	22.0 %	22.8 %	16.3 %	38.9 %
全 国(公立)	22.4 %	22.8 %	16.2 %	38.6 %

【国語Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	5.2問／9問	57 %	5.0	2.2
全 国(公立)	5.2問／9問	57.5 %	5.0	2.2

	*Ｄ層	*Ｃ層	*Ｂ層	*Ａ層
	0～3問	4問	5～6問	7～9問
千葉県(公立)	23.2 %	12.5 %	33.2 %	31.2 %
全 国(公立)	23.2 %	12.5 %	33.3 %	31.0 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」は，全国と同程度であるが，昨年度をやや上回っている。「活用」は，全国と同程度である。

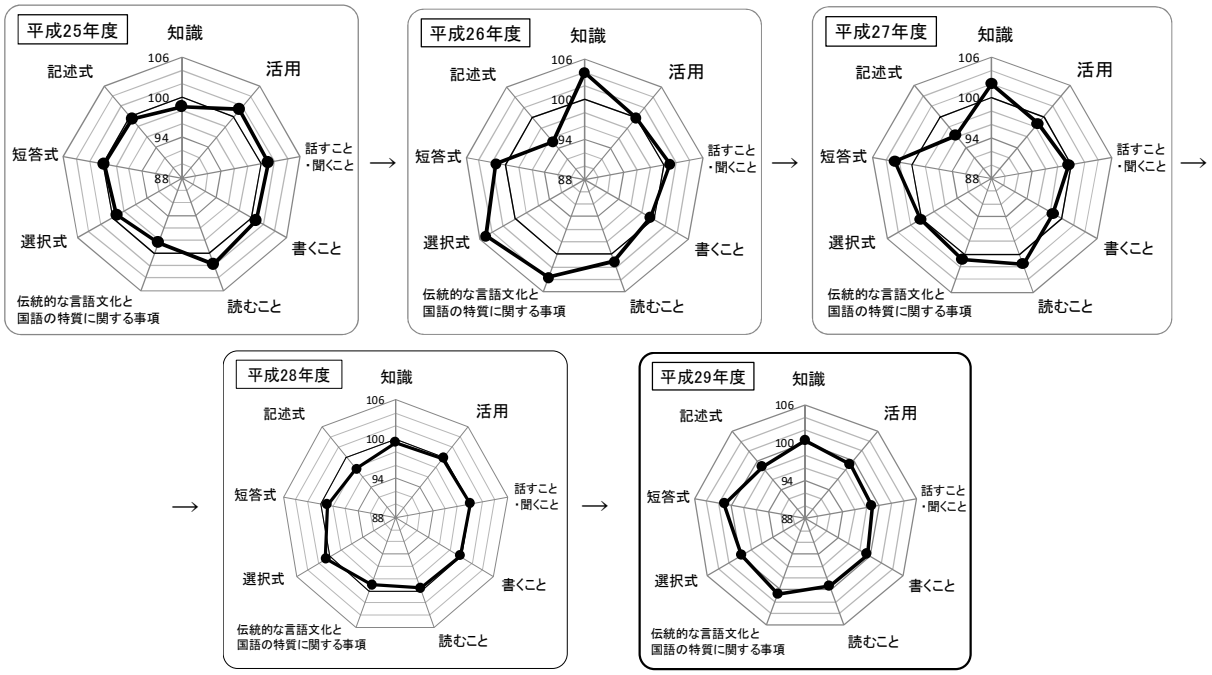
領　域　等

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は，昨年度と比較して上昇した。「話すこと・聞くこと」は全国をやや下回っている。

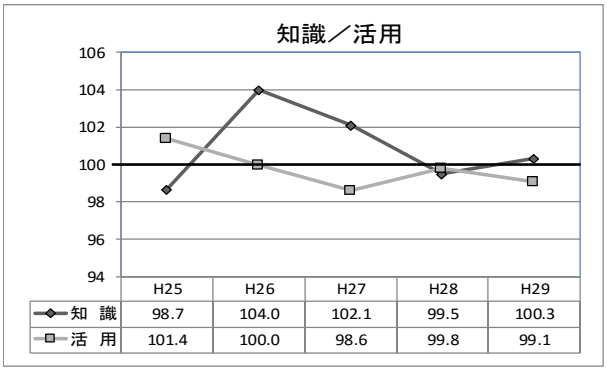
問 題 形 式

「短答式」は，全国をやや上回っている。「記述式」は，今年度も全国をやや下回ったが，昨年度に引き続き上昇傾向にある。

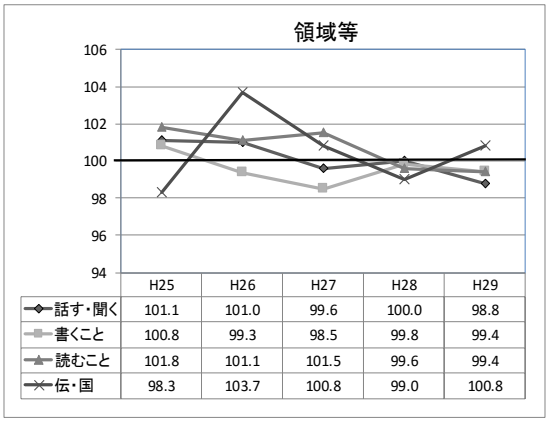
○チャートグラフ



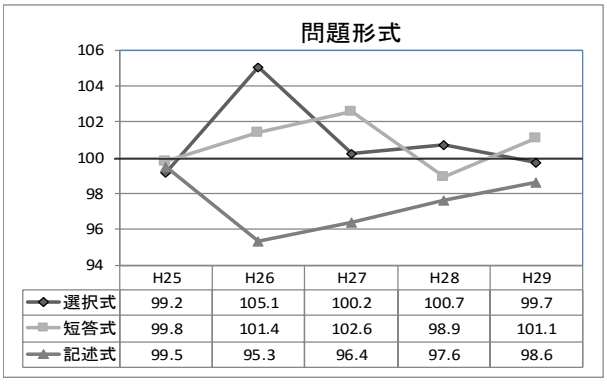
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知　識	98.7	104.0	102.1	99.5	100.3
活　用	101.4	100.0	98.6	99.8	99.1



	H25	H26	H27	H28	H29
話す・聞く	101.1	101.0	99.6	100.0	98.8
書くこと	100.8	99.3	98.5	99.8	99.4
読むこと	101.8	101.1	101.5	99.6	99.4
伝・国	98.3	103.7	100.8	99.0	100.8



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	99.2	105.1	100.2	100.7	99.7
短答式	99.8	101.4	102.6	98.9	101.1
記述式	99.5	95.3	96.4	97.6	98.6

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」　過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」　過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「話」　話すこと・聞くこと　「書」　書くこと　「読」　読むこと
「伝」　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
〔評価の観点〕
「関」　国語への関心・意欲・態度　「話」　話す・聞く能力
「書」　書く能力　「読」　読む能力
「言」　言語についての知識・理解・技能
〔問題形式〕
「選」　選択式　「短」　短答式　「記」　記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア　各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%) 千葉県（公立）	正答率(%) 全国との差		無解答率(%) 千葉県（公立）	無解答率(%) 全国との差	
A	1	学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き，考えの共通点や相違点を整理しながら，進行に沿って話し合う		話	3 4	話	選	65.5	-3.7	▼	0.2	0.1	
	2一	お礼の気持ちを伝えるために，どのような内容を書いているのか，書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ，内容の中心を明確にして，詳しく書く		書	5 6	書	選	80.4	0.7		0.3	0.2	
	2二	手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する	手紙の構成を理解し，後付けを書く	課題改善	書	5 6	書	選	39.4	-2.1		0.3	0.0	
				(H24)					24.6	1.1		1.9	-0.2	
	3	学校新聞を書くために，「時の記念日」についての【資料】から，小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて，文章の中から必要な情報を見付けて読む		読	3 4	読	選	74.2	-0.2		0.5	0.0	
	4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える		読・伝	56・34	読・言	選	76.2	-3.2	▼	0.5	0.0	
	4二	グループの話合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する			読・伝	56・34	読・言	選	58.7	1.7		0.8	0.1	
	5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	ことわざの意味を理解して，自分の表現に用いる		伝	3 4	言	選	90.6	0.6		0.9	0.1	
	5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（もちはもち屋）			伝	3 4	言	選	84.4	0.8		1.2	0.2	
	6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む		伝	5 6	言	選	73.0	1.9		1.8	0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	7(1)	漢字を書く （参加たいしょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く		伝	5 6	言	短	41.7	-0.3		11.4	0.8	
	7(2)	漢字を書く （４年生のきぼう者）			伝	5 6	言	短	79.2	-0.8		5.2	0.6	
	7(3)	漢字を読む （申しこみ期限）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む		伝	5 6	言	短	94.4	-0.1		3.5	0.5	
	7(4)	漢字を読む （事務室前）			伝	5 6	言	短	92.0	3.2	△	3.3	0.3	
	7(5)	漢字を書く （箱がおいてあります）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く		伝	5 6	言	短	79.7	2.9		11.6	-0.2	
	7(6)	漢字を読む （指示）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む		伝	5 6	言	短	94.5	0.0		3.4	0.5	
B	１一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として，適切なものを選択する	動画を見る目的を捉えることを通して，目的や意図に応じ，適切な言葉遣いで話す		話	5 6	話	選	77.4	0.2		0.7	0.2	
	１二	グループの話合いの中で，石田さんたちは，スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える		話	5 6	話	短	70.6	1.4		4.5	0.7	
	１三	折り紙のみりょくについて，スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く	目的や意図に応じて，話の構成や内容を工夫し，場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す		話・書	56・56	関・話・書	記	47.3	-1.1		2.8	0.2	
	２一	【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	目的や意図に応じて，文章全体の構成を考える		書	5 6	書	選	71.9	1.1		0.8	0.1	
	２二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を，【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	目的や意図に応じ，引用して書く	課題改善	書	5 6	書	選	70.9	0.0		3.2	0.0	
				(H25)					25.7	-0.5		13.3	0.0	
	２三	「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の[イ]に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ，必要な内容を整理して書く	課題改善	書	5 6	関・書	記	32.1	-0.9		3.1	0.3	
				(H27)					32.4	-2.3		4.6	0.6	
	３一	「きつねの写真」を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え，[Ａ]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉える		読	5 6	読	選	74.8	-1.1		3.1	0.5	
	３二	「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言の意図として，適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える		読	5 6	読	選	28.1	0.1		3.6	0.4	
	３三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に，松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる		書・読	56・56	関・書・読	記	43.9	0.2		21.8	2.4	

小学校・国語【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A１	考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合う	65.5	−3.7

※「差」は，全国平均との差を示している。

○正答は**3**であるが、**4**と解答している児童の割合は**十九．七%**である。対立する二つの意見について一方の理由だけに着目していた児童もいると考えられる。
○話合いの目的や到達点（一つのことにまとめる、合意を形成するなど）、進め方などを確認し、司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて話合いを進める必要がある。
○話合いの際には、互いの考えの共通点や相違点を整理することや、相違点がどのような考えに基づいているかに着目することができるよう指導することが大切である。

1 野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川　学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島　私（わたし）のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山　ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたたかくすることもできるからです。

野村　私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～（報告が続く）～

（問い）　野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　話し合って一つにまとまったことを報告している。
2　一番多く出されたことを報告している。
3　学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
4　同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A２二	手紙の後付けの日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する	39.4	−2.1

○正答は**4**であるが、**3**と解答している児童の割合は**二七．七%**である。自分の名前を最後に書くと考えた児童もいると考えられる。
○前文、本文、末文、後付けといった手紙の構成や位置など、形式の指導にとどまらず、手紙の形式が持つ意味について指導することが大切である。また、書写との関連を図り、丁寧に手紙を書くことができるよう指導することが大切である。

2 松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア　　イ　　ウ

二　松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さんへの手紙】の［ア］・［イ］・［ウ］の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

	ア	イ	ウ
1	自分の名前	日付	相手の名前
2	日付	相手の名前	自分の名前
3	相手の名前	日付	自分の名前
4	日付	自分の名前	相手の名前

A４一	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
	俳句の情景を捉える	76.2	−3.2

○正答は**3**であるが、**2**と解答している児童の割合は**十二．〇%**である。句中の「白しや」という語や、話合いの中の「白という月の色」という語に着目した児童もいると考えられる。
○児童が俳句を繰り返し音読しながら、言葉の美しい響きや俳句のリズムに着目して、情景や作者の思いなどについて交流することで、自分の想像を広げたり深めたりすることが大切である。

4 中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【**俳句カード**】と好きな俳句を紹介するための【**話し合いの様子**】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【**俳句カード**】

ア　雪とけてくりくりしたる月夜かな　小林一茶

〈調べた内容〉
季語…雪とけて　季節…春
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もされいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ　ひやひやと月も白しや秋の風　上島鬼貫

〈調べた内容〉
季語…秋の風　季節…秋
この俳句は、「秋のここちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【**話し合いの様子**】

北田　アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）
中西　リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の（　A　）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。
本間　イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。（音読）
「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。
青木　そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。
中西　作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このことをみんなに紹介しよう。

一　中西さんは、【**話し合いの様子**】の（　A　）でどのように発言したでしょうか。（　A　）に入る内容として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　かすんでいる様子
2　まっ白い様子
3　まんまるい様子
4　欠けていく様子

B３三	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
	物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる	43.9	0.2	21.8	+2.4

○叙述を基に根拠を述べることができなかった児童の割合は**十九．五%**である。また、叙述を基にせず想像したことだけを書いたり、物語を読んだ感想を書いたりするなどの解答をした児童の割合（類型9）は**八．一%**である。
○叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる際、その叙述を見付けるためには、場面の展開に沿って、登場人物の言動や心情の変化を捉えて読む必要がある。特に高学年では、象徴や暗示を含んだり、メッセージ等を強く意識させたりする表現や内容などに着目して読むことが大切である。また、一つの場面の叙述にとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことができるようにすることも大切である。

【**話し合いの様子の一部**】

横山　あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。
原　（③を示しながら）「あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました」というところで［A］感じがすると思ったんだけど。
大岩　そうだね。［A］ことといえば、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。
田中　二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きっときつねだよ。
原　どこからそう思うの。
田中　（④を示しながら）「山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました」とあるでしょ。
横山　そうだね。それに、（⑤を示しながら）「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。
原　二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。
大岩　きっときつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。
田中　（②を示しながら）ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけれど、どうかな。
原　私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことでいいのかな。
田中　そうそう。
横山　（①を示しながら）ここにもあるよ。「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。
田中　そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

［B］

～（話し合いが続く）～

三　【**話し合いの様子の一部**】の中の［B］のところで、田中さんは、【**物語の一部**】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。**あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。**次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○［　　］の横山さんのように、【**物語の一部**】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○　取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
○　六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題），活用（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 「国語の勉強が好き」な児童の割合が全国より高い状況が継続している。 ◇ 記述式の正答率は，全国を下回ったが，昨年度より改善され，上昇傾向にある。
	課題	◆ 手紙の後付けの正しい位置を問う出題は，全国を下回っている。今回と同様の趣旨で出題された平成２４年度調査より改善は見られたものの，引き続き課題が見られる。 ◆ 昨年度に引き続き，無解答率が全国より高い設問が多く，継続した課題に挙げられる。児童質問紙において「自分の考えを書くとき，理由が分かるように気を付けて書いている」という質問に対して，肯定的な回答の割合は，全国に比べてやや低い。

話すこと 聞くこと	◇ スピーチメモを活用することのよさを捉えることは，全国を上回っている【Ｂ１二】。 ◆ 互いの話を聞き，共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合うことは，全国を大きく下回っている【Ａ１】。
書くこと	◇ 目的や意図に応じて文章全体の構成を考えることは，全国を上回っている【Ｂ２一】。 ◆ 手紙の構成を理解し，後付けを書くことは，全国を下回っている【Ａ２二】。
読むこと	◇ 俳句の情景や表現を捉えて読むことは，全国を上回っている【Ａ４二】。 ◆ 俳句に用いられた語句が表現する様子を捉えることは，全国を大きく下回っている【Ａ４一】。 ◆ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉えることは，全国を下回っている【Ｂ３一】。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 漢字を読んだり書いたりすることが，昨年度に引き続き，全国を上回っている。 ・「事務室前」【Ａ７（４）】　・「おいてあります」【Ａ７（５）】 ◇ 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことが，全国を上回っている【Ａ６】。
その他	◇ 児童質問紙において，【７７】「文章で解答する問題にどのように解答したか」という質問に対して，「全ての問題で最後まで書こうとした」と回答した児童の割合が昨年度を上回っている(H29 74.9%，H28 73.5%)。また，【６９】「国語の勉強は好きか」（千葉 62.2%，全国 60.5%），【７２】「読書は好きか」（千葉 74.6%，全国 74.3%)の肯定的な回答の割合は，全国よりも高い状態が継続しており，児童の国語に対する意欲がうかがえる。 ◆ 児童質問紙において，【７４】「目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり書いたりしているか」（千葉 66.8%，全国 68.0%），【７６】「自分の考えを，理由が分かるように気を付けて書いているか」（千葉 72.8%，全国 74.8%)という質問に対して，肯定的な回答の割合が全国より低い。また，学校質問紙における，同趣旨の質問（【６６】「…話したり聞いたりする授業を行っていたか」（千葉 90.4%，全国 92.2%），【６７】「…書く習慣を付ける授業を行っていたか」（千葉 89.5%，全国 93.4%））に対しても，肯定的な回答の割合は，全国より低い。教科指導はもとより，日常の活動においても，話したり書いたりする場面を，意図的に設定し，指導することが必要である。

授業アイディア例

国語 TYPE I・II A2

「お礼の手紙を書こう」

～目的や意図に応じ，内容の中心を明確にして書く～

手紙の構成を理解することに課題が見られました。そこで，本アイディア例では，この課題を解決するために，本問を活用し，様々な活動の際にお世話になった方への礼状を書く指導事例を紹介します。なお，本アイディア例は，第５学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

A 2　お礼の手紙を書く

A 2 二　正答率 **41.6** %　手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する

学習指導要領における領域・内容

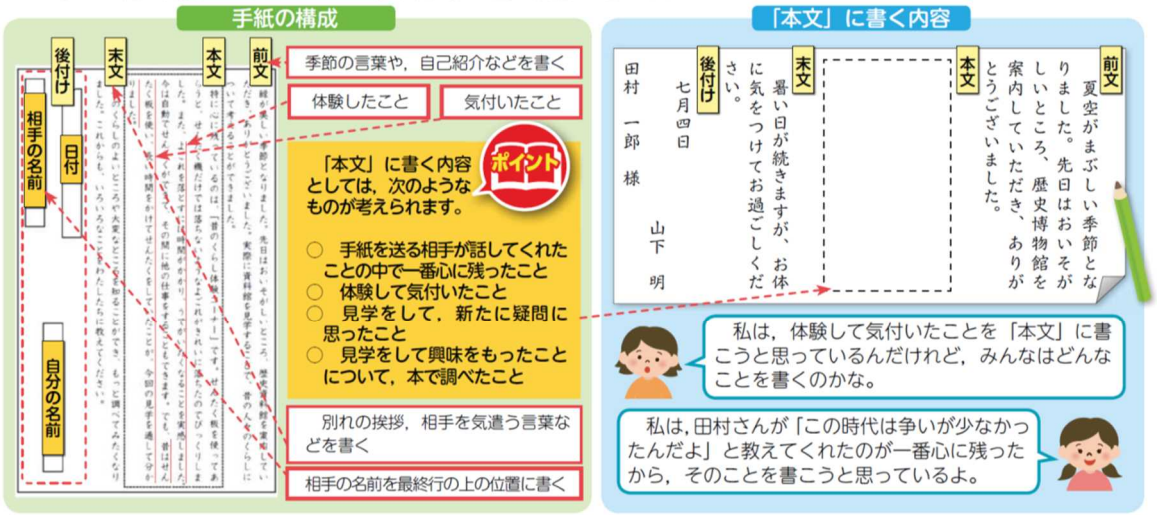
〔第５学年及び第６学年〕 B　イ

授業アイディア例　社会科見学でお世話になった田村さんへお礼の手紙を書こう（全２時間）

他教科等において，施設の見学や体験学習を行った際に本単元を設定します。見学や体験が児童の課題発見及び解決を促すような学習となるようにし，児童自ら「お礼の手紙を書きたい」と思うように，相手に対する感謝の気持ちを高めておくことが大切です。

第１時　手紙の構成を確認し，歴史博物館ガイドの田村さんに送る手紙の内容を考える

■　本問を活用し，手紙の構成と「本文」に書かれている内容を確認した上で，伝えたいことの中心を明確にし，相手にお礼の気持ちが伝わるように，「本文」に書く内容を考える。



第２時　感謝の気持ちが表れるようにお礼の手紙を書く

■　お礼の手紙を書き，友達と読み合って構成や内容について助言し合う。

手紙の構成や内容を吟味したり，形式を整えたりすることが，相手に対する感謝の思いや敬意を表すことにつながるということを指導することが大切です。　ポイント

本授業アイディア例　**活用のポイント！**

- 礼状を送った相手からの言葉を児童に伝えることで，相手を明確にして気持ちを伝えたり，返事をもらったりするという，書いた手紙で交流する楽しさを児童が実感できるようにすることが大切です。
- 手紙を書く学習活動を，国語科のみならず，国語科との関連を図りながら，各教科等に意図的，計画的に設定することが重要です。

参照▶「平成 29 年度　報告書　小学校　国語」P.26～P.29，「平成 29 年度　解説資料　小学校　国語」P. 18～P.21

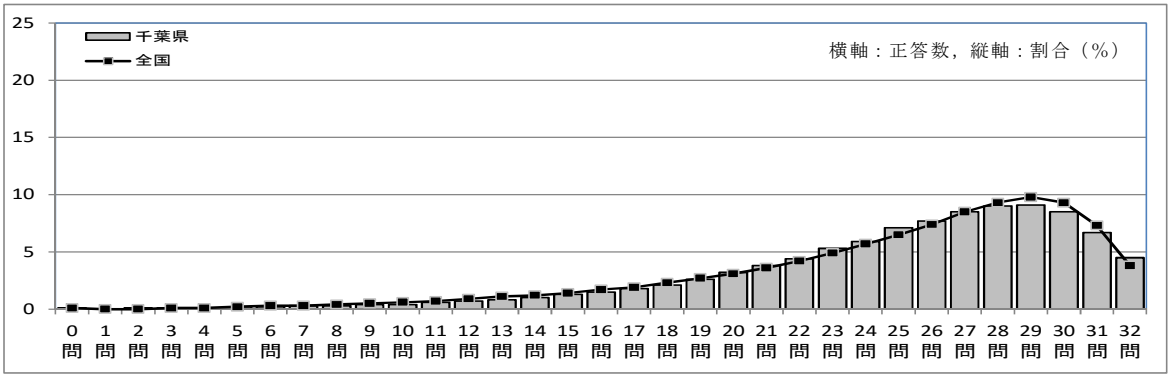
（国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成２９年度　全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より）

（２）中学校国語
①　全体的な結果
ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の生徒を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【国語Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。

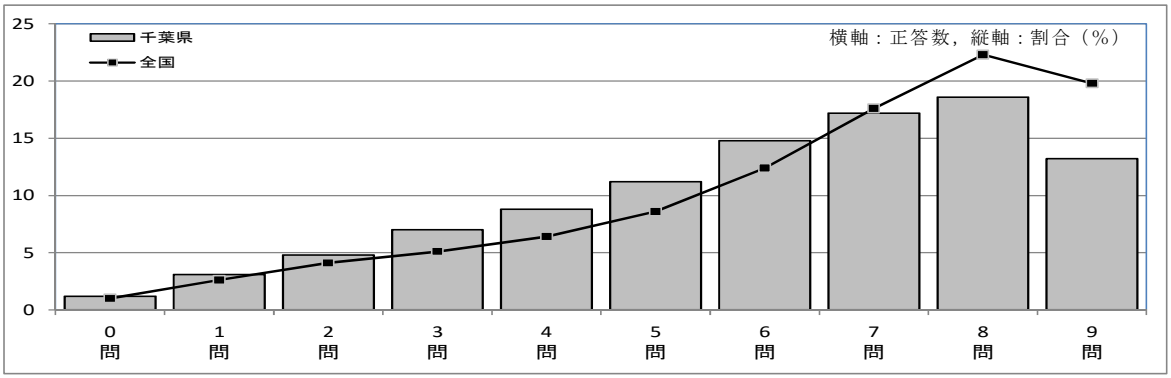


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	24.4問／32問	76 %	26.0	5.7
全 国(公立)	24.8問／32問	77.4 %	26.0	5.7

	＊Ｄ層 0～21問	＊Ｃ層 22～25問	＊Ｂ層 26～28問	＊Ａ層 29～32問
千葉県(公立)	21.5 %	22.7 %	25.2 %	28.8 %
全 国(公立)	23.4 %	21.2 %	25.2 %	30.2 %

【国語Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国と比べてＡ層の割合が低く，Ｃ層，Ｄ層が高くなっている。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	6.5問／9問	72 %	7.0	2.2
全 国(公立)	6.5問／9問	72.2 %	7.0	2.3

	＊Ｄ層 0～4問	＊Ｃ層 5～6問	＊Ｂ層 7問	＊Ａ層 8～9問
千葉県(公立)	24.9 %	26.1 %	17.2 %	31.8 %
全 国(公立)	19.2 %	21.1 %	17.6 %	42.2 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」は，全国をやや下回り，「活用」は，全国と同程度である。

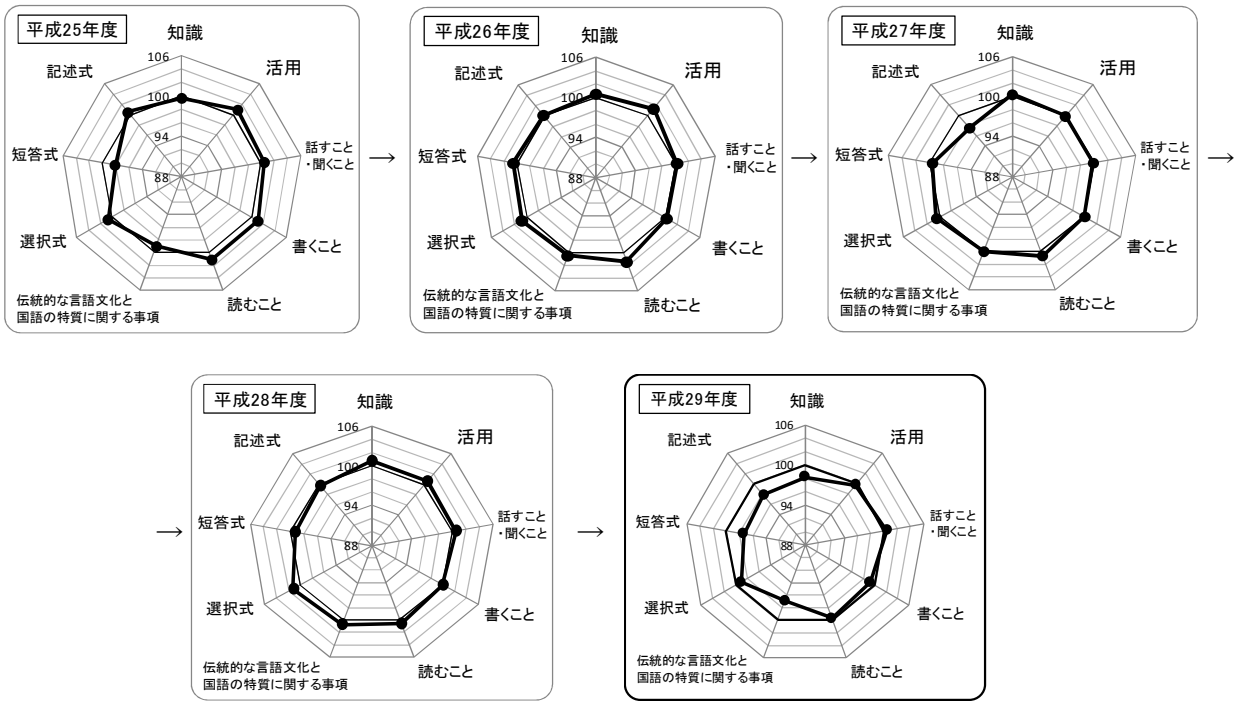
領　域　等

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を下回っている。

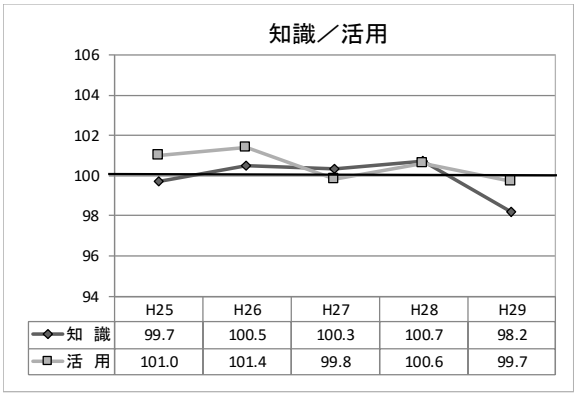
問 題 形 式

「短答式」「記述式」が全国を下回っている。

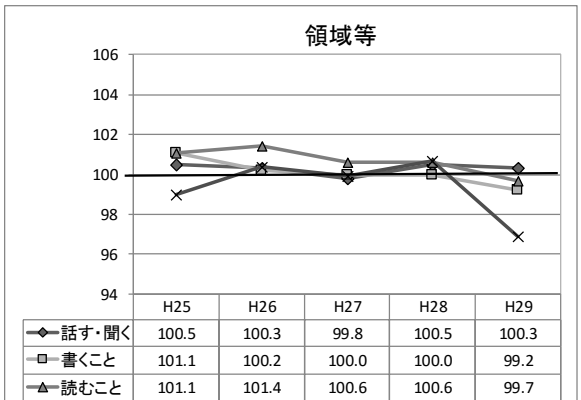
○チャートグラフ



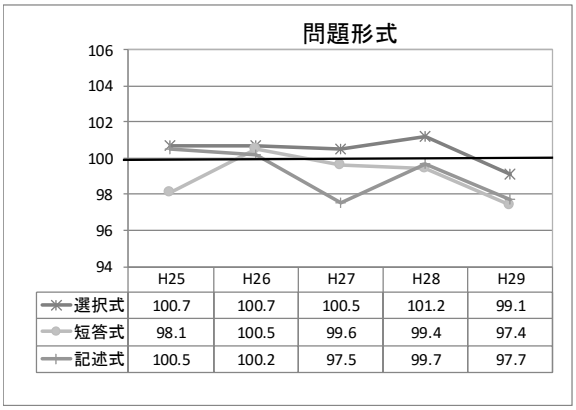
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知　識	99.7	100.5	100.3	100.7	98.2
活　用	101.0	101.4	99.8	100.6	99.7



	H25	H26	H27	H28	H29
話す・聞く	100.5	100.3	99.8	100.5	100.3
書くこと	101.1	100.2	100.0	100.0	99.2
読むこと	101.1	101.4	100.6	100.6	99.7
伝・国	99.0	100.4	99.9	100.7	96.9



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	100.7	100.7	100.5	101.2	99.1
短答式	98.1	100.5	99.6	99.4	97.4
記述式	100.5	100.2	97.5	99.7	97.7

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」　過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」　過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「話」　話すこと・聞くこと　「書」　書くこと　「読」　読むこと
「伝」　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
〔評価の観点〕
「関」　国語への関心・意欲・態度　「話」　話す・聞く能力
「書」　書く能力　「読」　読む能力
「言」　言語についての知識・理解・技能
〔問題形式〕
「選」　選択式　「短」　短答式　「記」　記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）

△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア　各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	１	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する		伝	２	言	選	80.7	-0.7		0.2	0.1	
	２一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す		話	２	話	選	87.3	-0.5		0.2	0.1	
	２二	スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する	事実と考えとの関係に注意し，構成を工夫して話す		話	１	話	選	79.9	0.3		0.3	0.0	
	３一	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書いた文章を読み返し，語句の使い方を工夫して書く		書	２	書	短	85.2	-0.8		4.2	0.9	
	３二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に，自分の表現を見直す	課題改善	書	２	書	選	83.6	-0.7		0.3	0.1	
				(H26小)					61.1	2.4		0.2	0.2	
	４一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	文章の要旨を捉える		読	１	読	選	82.1	1.1		0.2	0.0	
	４二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開，表現の特徴について自分の考えをもつ		読	１	読	選	72.3	-0.6		0.3	0.0	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	５一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く		書	2	書	選	81.3	1.5		0.2	0.0	
	５二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	目的や意図に応じて材料を集め，自分の考えをまとめる		書	1	書	選	92.6	-0.1		0.2	0.0	
	６一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，内容を理解する	課題改善	読	1	読	選	74.6	-0.2		0.5	0.0	
				(H26小)					66.3	1.0		0.5	0.5	
	６二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する			読	1	読	選	60.3	0.2		0.6	0.1	
	７一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	相手に分かりやすいように語句を選択して話す		話	1	話	短	55.2	1.2		6.1	1.0	
	７二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話すための材料を人との交流を通して集める		話	1	話	選	81.5	1.1		0.5	0.1	
	８一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ		読	2	読	選	81.6	-0.3		0.8	0.2	
	８二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方や考え方について，交流を通して自分の考えを広くする	課題改善	読	1	読	選	71.8	-0.5		1.0	0.2	
				(H26小)					47.7	-0.8		21.8	2.0	
	９一１	漢字を書く（組織のキボを大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く		伝	2	言	短	46.9	-15.9	▼	25.6	9.8	▼
	９一２	漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）			伝	2	言	短	62.8	0.5		15.2	1.7	
	９一３	漢字を書く(店をイトナむ)			伝	2	言	短	84.2	-1.2		9.9	1.6	
	９二１	漢字を読む(覚悟を決める)	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	2	言	短	98.5	-0.2		1.1	0.2	
	９二２	漢字を読む（鮮やかな色合い）			伝	2	言	短	93.7	-0.8		1.0	0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	９二３	漢字を読む(水が垂れる)	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	2	言	短	94.5	0.2		1.3	0.2	
	９三ア	適切な語句を選択する(えりを正して話を聞く)	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う		伝	1	言	選	68.9	-8.0	▼	1.0	0.3	
	９三イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは，急がば回れといわれるように，かえって慎重に議論を進めるべきだ）		同一	伝	1	言	選	58.6	-2.8		0.8	0.1	
				(H26)					61.2	2.0		1.0	1.0	
	９三ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよくご利用になるのですね）			伝	2	言	選	85.4	-0.3		0.8	0.1	
	９三エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。ただし，映画なら何でも見るわけではありません）			伝	1	言	選	95.1	-0.4		0.7	0.1	
	９三オ	適切な語句を選択する(チームの勝利を確信する)			伝	2	言	選	93.9	-0.3		0.8	0.2	
	９四	言い直した意図として適切なものを選択する	助詞の働きについて理解する		伝	2	言	選	91.3	-0.3		0.9	0.2	
	９五	話合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する		伝	1	言	短	32.7	-3.1	▼	15.4	2.3	
	９六１	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する		伝	1	言	選	41.4	-8.2	▼	1.3	0.3	
	９六２	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する		伝	1	言	選	60.9	-2.8		1.4	0.3	
	９七１	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える		伝	2	言	短	75.9	-1.3		5.1	1.2	
	９七２	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る		伝	1	言	選	81.0	2.5		1.6	0.3	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
B	１一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え，内容を理解する		読	2	読	選	84.5	0.4		0.2	0.1	
	１二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解する		読	1	読	短	83.1	-1.0		6.1	0.8	
	１三	比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え，自分の考えを書く		書・読・伝	1・1・1	関・書・読・言	記	39.9	-1.5		16.0	1.7	
	２一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す		話	2	話	選	85.5	0.1		0.2	0.0	
	２二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く		話	2	話	選	74.8	0.6		0.3	0.0	
	２三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら，事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す		話・書	1・2	関・話・書	記	56.2	-1.4		6.7	0.9	
	３一	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		書	1	書	選	74.8	-0.5		0.4	0.1	
	３二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		読	1	読	選	78.7	0.0		0.5	0.0	
	３三	アンケートをとる対象と質問内容，その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ		書	1	関・書	記	67.6	-1.2		8.5	1.1	

中学校・国語【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率（%）		
			県	差
Ａ９三 ア・イ	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	ア	68.9	−8.0
		イ	58.6	−2.8

※「差」は，全国平均との差を示している。

三　最も適切な言葉を、それぞれ次の（　）の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

ア　（**1**　そで　**2**　えり　**3**　むね　**4**　わき）を正して話を聞く。

イ　よい結果を早く出したいときは、（**1**　一事が万事　**2**　論より証拠　**3**　急がば回れ　**4**　光陰矢のごとし）といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

○**ア**の正答は**2**であるが、**3**と解答している生徒の割合は**十五．九％**である。「えりを正す」という慣用句になじみがなく、意味が理解できないものと考えられる。

○**イ**の正答は**3**であるが、**1**と解答している生徒の割合は**十五．六％**、**2**と解答している生徒の割合は**十八．四％**である。「急がば回れ」、「一事が万事」、「論より証拠」ということわざになじみがなく、意味が理解できないものと考えられる。

○ことわざや慣用句の指導については、具体的な使用例を考える学習活動が有効である。その際、語源などを確かめたり、似た意味や反対の意味の言葉を整理したりするよう指導することも効果的である。また、教師が意識的にことわざや慣用句などを用いて話したり、掲示物や配布物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも大切である。

○着目した言葉について複数の類義語で言い換えたり、ことわざや慣用句、故事成語などの表現に置き換えたりすることが大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率（%）	
		県	差
Ｂ２三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	56.2	−1.4

三　石井さんは、**【意見2】**を受けて、**【スピーチ】**の――線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　**【本の一部】**を参考にして、**【意見2】**にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かすとよいのか」が分かるように書くこと。

条件2　「玉を受け止めるときは、」に続けて、**四十字以上、八十字以内**で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持って行います。まずはどのような技なのか見てください。〈実演〉一回目

「大皿」のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持ってくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。〈実演〉二回目　少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。〈実演〉三回目　始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときのひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

〈実演〉

【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。

【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。

○「方法や理由を分かりやすく説明してほしい」という**【意見2】**を踏まえて書き直すことができなかった生徒の割合は**十三．九％**である。

○自分の伝えたいことが、聞き手に対して、分かりやすい内容や表現になっているかを考えるとともに、場の状況や聞き手の様子に応じて、話すよう指導する必要がある。その際、話し手と聞き手の両方の立場から検討するなどの学習活動が有効である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
Ａ９五	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	32.7	-3.1	15.4	+2.3

○字数は合っているが、あとでもう一度話し合うという意味ではない熟語を解答した生徒の割合は**四十九．八％**である。「再可決」「考案中」「否決」などと解答した生徒は、言葉としては知っていても、場面や状況に応じて適切に使い分けることができていないと考えられる。

○学校生活の中で具体的な場面を取り上げ、その場の状況に応じた適切な言葉を使うことができるようにすることが必要である。その際、多様な語句や表現の仕方について、辞書を使うなどして調べたり、考えたりする学習活動が有効である。

五　…「活動内容」の「2」については、今回は結論が出なかったので、あとでもう一回話し合うことになりました。［　　］に当てはまる言葉を**漢字三字以内**で書きなさい。

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを活発にするための取り組み

活動内容案	結果
1　標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決
2　登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	［　　］
3　下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
Ｂ１三	比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く	39.9	-1.5	16.0	+1.7

○感想欄に「誰（何）の／どのような様子か」を明確に書くことができなかった生徒の割合は**八．六％**、心に残った一文の欄に、比喩を含んだ部分を本文から抜き出すことができなかった生徒の割合は**九．二％**である。

○文学的な文章を読んで、印象的な場面や描写を取り上げて、どのような場面か、なぜ印象に残ったかなどを説明するなどして、感じたことや考えたことを交流することが重要である。

○新聞やインターネットの書評、本のポップなどを取り上げ、そこに書かれたものの見方や考え方と自分のものの見方や考え方と対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを再構築したりする学習活動も有効である。

1　青山さんは、学校図書館で図書委員の生徒が作った**【本の紹介カード】**を見て、実際にその本を読んでみました。次は、そのときに青山さんが見た**【本の紹介カード】**と、青山さんが読んだ**【本の一部】**です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の紹介カード】

三　青山さんは、**【本の紹介カード】**にある「比喩を用いた表現」に着目して**【本の一部】**を読み、感じたことや考えたことなどをあとの**【読書の記録】**に書いています。あなたなら**【読書の記録】**の〈心に残った一文〉と〈感想〉にどのようなことを書きますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　〈心に残った一文〉は、**【本の一部】**から、比喩を用いた表現が含まれる**一文を抜き出して**書くこと。

条件2　〈感想〉は、**条件1**で取り上げた表現について、「**誰（何）**」の、「**どのような**」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題），活用（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 「話すこと・聞くこと」の正答率は，昨年度に引き続き全国と同程度である。 ◇ 読書が好きな生徒の割合は，全国より高い状況が続いている。
	課題	◆ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を下回っており，特に「漢字を正しく書くこと」が改善されず，継続した課題である。 ◆ 無解答率が全国より高い設問が増加している。 ◆ 生徒質問紙において「国語が好き」，「授業内容がよく分かる」と回答した生徒は，昨年度と同程度であるが，全国より低い。

話すこと 聞くこと	◇ 相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと【Ａ７一】，話すための材料を，人との交流を通して集めること【Ａ７二】は，全国を上回っている。
書くこと	◇ 文章の構成を工夫して，分かりやすく書くことは，全国を上回っている【Ａ５一】。 ◆ 表現の仕方について捉え，自分の考えを書くこと【Ｂ１三】や，必要な情報を集めるための見通しを持つこと【Ｂ３三】は，全国を下回っている。
読むこと	◇ 文章の要旨を捉えることは，全国を上回っている【Ａ４一】。 ◆ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解することは，全国を下回っている【Ｂ１二】。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 古典（「徒然草」）のジャンルについて理解することは，全国を上回っている【Ａ９七２】。 ◆ 「組織のキボを大きくする」【Ａ９一１】が全国を大きく下回っているなど，漢字を正しく書くことに，継続して課題が見られる。今年度は３問中２問が全国を下回っている。教科指導はもとより，他教科等の学習の中でも同音の漢字や字形が似ている漢字などの間違えやすい漢字について意識させることが大切である。 ◆ 文脈に沿って適切な語を選択する問題「えりを正して話を聞く」【Ａ９三ア】は全国を大きく下回っており，語句の意味を理解し，正しく使うことに課題が見られる。 ◆ 結論が出なかった状況を「再検討（または保留など）」と表記する問題【Ａ９五】は，全国を下回っており，無解答率が全国を上回っている。事例や行為を表す多様な語句について理解することに課題が見られる。学校生活等でのさまざまな事象や行為を表す適切な言葉について，考えたり調べたりするなどの学習活動が有効である。
その他	◇ 学校質問紙における「前年度までの国語科の授業の状況」について，【６７】「書く習慣を付ける授業を行ったか」（千葉95.1%，全国95.7%），【６８】「様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか」（千葉90.9%，全国90.6%），【６９】「漢字・語句などを定着させる授業を行ったか」（千葉99.0%，全国98.4%）という質問に対しては，どれも９０%以上の学校が肯定的な回答をしており，全国と同程度である。 ◆ 生徒質問紙における「国語の授業」について，【７７】「発表するとき，意見がうまく伝わるように話の組み立てを工夫しているか」（千葉53.0%，全国55.6%），【７８】「考えを書くとき，その理由が分かるように気を付けているか」（千葉63.5%，全国65.9%）という質問に対しては，肯定的解答の割合は全国より低い。「書くこと」の指導については，根拠として取り上げる内容が適切かどうか吟味することや，書く目的を意識して，見通しをもって材料を集めるよう指導することが大切である。

授業アイディア例

国語

TYPE Ⅱ

A9五

「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」

～多様な語句の意味を理解し，場面に応じて適切に使う～

事象や行為などを表す多様な語句について，場面や状況に応じて適切に使うことに課題が見られました。そこで，本アイディア例では，日常生活や社会生活の中で出合った語句に関心をもち，その語句を他の人に紹介する学習を提案します。身の回りにある様々な語句に着目し，その語句の意味を調べたり，どのような場面でどのように使うのかをスピーチを通して紹介し合ったりすることで，多様な語句とその使い方について理解を深めることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

A 9　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

A 9五　正答率 **36.5** %　話合いの記録として適切な言葉を考える。

学習指導要領における領域・内容

〔第１学年〕伝国(1) イ (ウ)

授業アイディア例

第１時

（授業前の生徒の準備）学校生活の中やテレビの報道，新聞などから，「自分が使ってみたい語句」をノートに書き留めておく。

❶ ノートに書き留めてある「自分が使ってみたい語句」の中から，他の人に紹介する語句を決める。

教師

自分が使ってみたい語句を一つ取り上げ，スピーチをして紹介し合いましょう。取り上げる語句については，辞書などを使って意味を調べることができる語句かどうかを考えて選びましょう。また，実際に語句を使う場面や具体的な使い方も紹介できるようにしましょう。

書き留めてある語句の例

- （学校生活の中から）「承認」，「否認」
- （新聞の見出しから）「激闘」，「歓喜」
- （季節の言葉から）「花あかり」，「うららか」

など

❷ どのような意味をもつ語句なのかを調べ，どのような場面で使うのかについて考える。必要に応じて，似た意味をもつ語句などについても調べる。

「快挙」という語句を取り上げたいな。１組が合唱コンクールで優勝したことを表すのに使えそうだな。本当に使えるかどうか意味を調べて確かめてみよう。ほかにも，似たような意味の語句がありそうなので，調べてみる必要があるな。

〔国語辞典などで調べた語句の例〕

快挙：胸がすくようなすばらしい行為。
痛快：とても愉快なこと。
偉業：立派な仕事。
勝利：戦いに勝つこと。

❸ 語句と使う場面とが合っているかどうかをペアまたはグループで検討する。

似た意味を表す語句でも，場面や状況によってどの語句が適切であるかを検討することが大切です。

「偉業」は，「立派な仕事。」という意味だね。合唱コンクールでの優勝も立派だけど，「偉業」は少し言い過ぎではないかな。

「痛快」は，「とても愉快なこと。」を表すのだね。周りの予想に反しての優勝だから使えないことはないけど，勝って心が晴れやかになったことを考えると，「快挙」の方が適切だと思うな。

第２時

❹ 使う場面や具体的な使い方とともに語句を紹介する。

〔スピーチの例〕

私が紹介する語句は，新聞記事の中で見付けた「快挙」という語句です。「快挙」は「胸がすくようなすばらしい行為。」という意味です。

「あまり目立った活躍がなかった１組が，合唱コンクールで快挙を成し遂げました。」というように使います。「優勝しました」と表現するよりも，勝って心が晴れやかになったことが表現されていると思います。ちょうど今，特別活動で合唱コンクールについて振り返る文章を書いているので，実際に使ってみたいです。

本授業アイディア例　活用のポイント！

- 調べた語句の意味と使う場面とを記載した語彙集を作成する学習活動も考えられる。

参照▶「平成 29 年度　報告書　中学校　国語」 P.54 ～ P.66，「平成 29 年度　解説資料　中学校　国語」 P.44 ～ P.54

（国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成２９年度　全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より）

（３）小学校算数

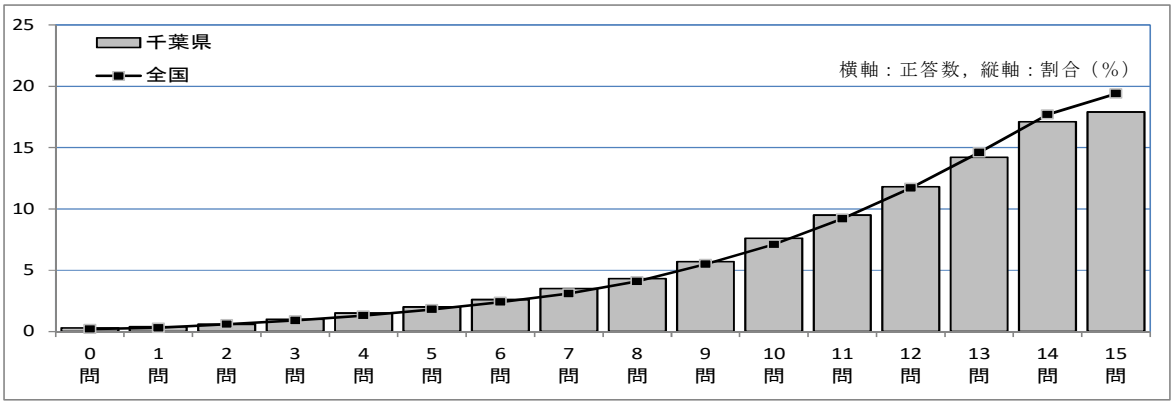
①　全体的な結果

ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の児童を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【算数Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国と比べＡ層の割合が低く，Ｄ層の割合が高くなっている。

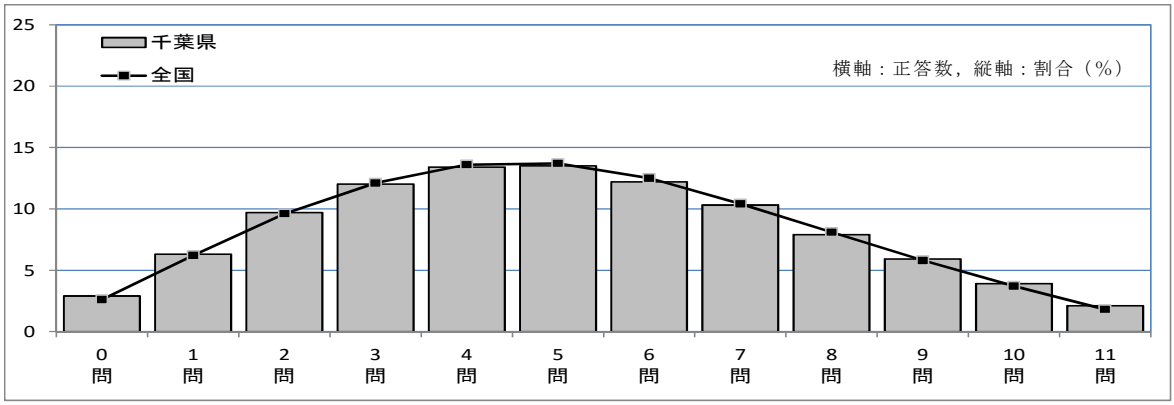


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	11.6問／15問	77 %	12.0	3.2
全 国(公立)	11.8問／15問	78.6 %	13.0	3.1

	＊ Ｄ層 0～9問	＊ Ｃ層 10～12問	＊ Ｂ層 13問	＊ Ａ層 14～15問
千葉県(公立)	21.9 %	28.9 %	14.2 %	35.0 %
全 国(公立)	20.3 %	28.0 %	14.6 %	37.1 %

【算数Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国とほぼ同じである。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	5.1問／11問	46 %	5.0	2.7
全 国(公立)	5.1問／11問	45.9 %	5.0	2.6

	＊ Ｄ層 0～2問	＊ Ｃ層 3～4問	＊ Ｂ層 5～6問	＊ Ａ層 7～11問
千葉県(公立)	18.9 %	25.4 %	25.7 %	30.0 %
全 国(公立)	18.4 %	25.7 %	26.1 %	29.8 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」「活用」ともに全国と同程度の状況が続いている。

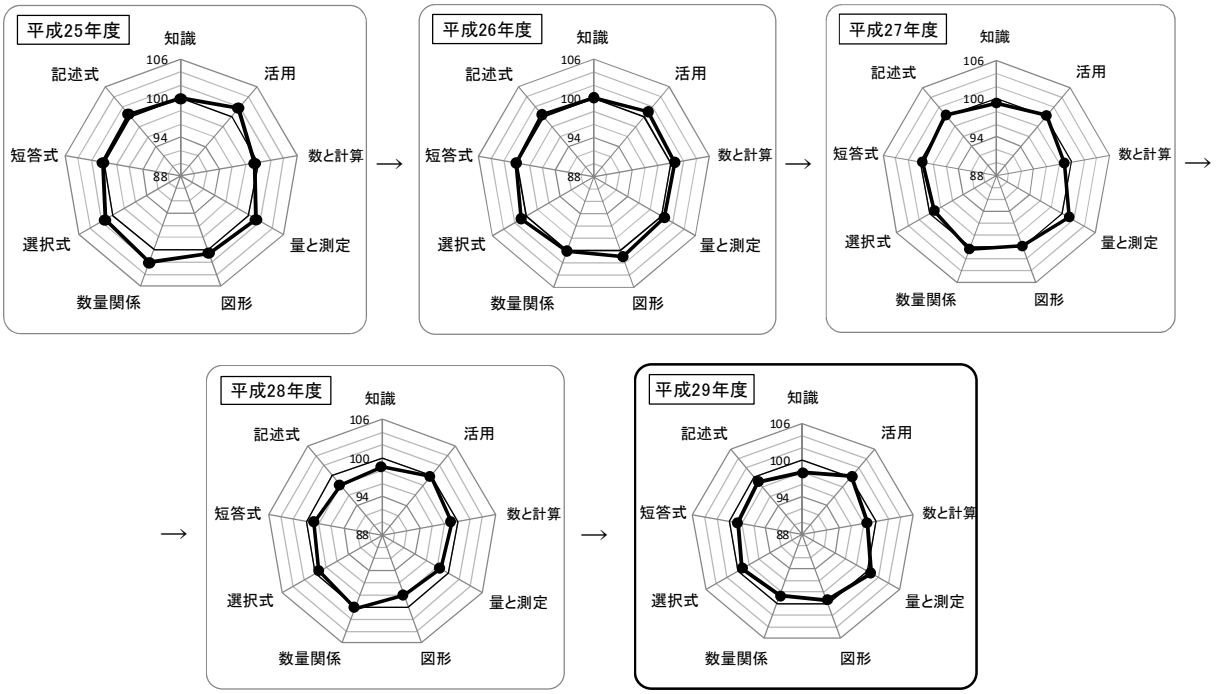
領　域　等

「量と測定」「図形」は，昨年度と比較して上昇した。「数と計算」については，昨年度と比較して低下した。

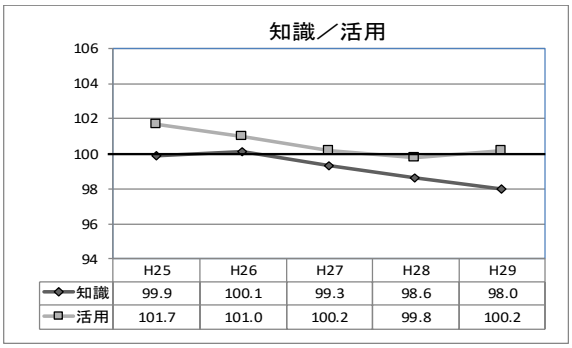
問 題 形 式

「短答式」は，全国をやや下回った。「記述式」は，昨年度と比較して上昇した。

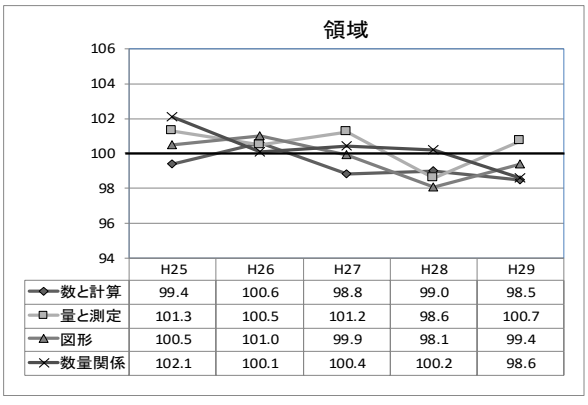
○チャートグラフ



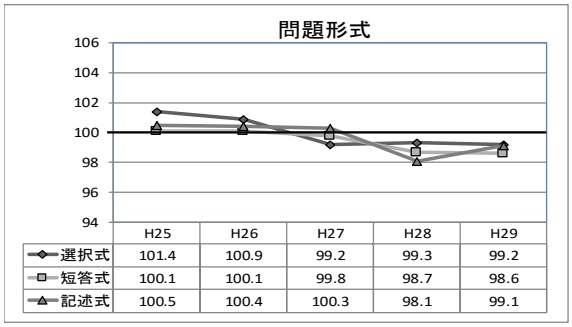
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知識	99.9	100.1	99.3	98.6	98.0
活用	101.7	101.0	100.2	99.8	100.2



	H25	H26	H27	H28	H29
数と計算	99.4	100.6	98.8	99.0	98.5
量と測定	101.3	100.5	101.2	98.6	100.7
図形	100.5	101.0	99.9	98.1	99.4
数量関係	102.1	100.1	100.4	100.2	98.6



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	101.4	100.9	99.2	99.3	99.2
短答式	100.1	100.1	99.8	98.7	98.6
記述式	100.5	100.4	100.3	98.1	99.1

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」　過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」　過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「数」　数と計算　「量」　量と測定　「図」　図形　「関」　数量関係
〔評価の観点〕
「考」　数学的な見方や考え方　「技」　数量や図形についての技能
「知」　数量や図形などについての知識・理解
〔問題形式〕
「選」　選択式　「短」　短答式　「記」　記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）
△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア 各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	1（1）	リボンを２ｍ買ったときの代金と３ｍ買ったときの代金を書く	具体的な問題場面において，乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している		数・関	3・5	知	短	96.7	-0.2		0.5	0.1	
	1（2）	買ったリボンの長さと，１ｍ当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	１より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し，数量の関係を数直線に表すことができる		数	5	知	選	66.1	-3.8	▼	2.3	0.5	
	1（3）	６０×０．４を，６０×４を基にして考えるときの，正しい積の求め方を選ぶ	小数の乗法の計算において，乗数を整数に置き換えて考えるときの，乗法の性質を理解している		数	5	知	選	92.1	1.1		0.9	0.2	
	2（1）	１２３×５２を計算する	整数の乗法の計算をすることができる		数	3	技	短	83.8	-1.4		0.6	0.1	
	2（2）	１０．３＋４を計算する	小数と整数の加法の計算をすることができる	課題改善	数	4	技	短	78.3	-1.4		0.6	0.2	
				（H28）					71.5	-5.6	▼	0.7	-0.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	2（3）	6＋0．5×2を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	同一	数・関	4・4	技	短	60.4	-6.2	▼	0.8	0.2	
				(H19)					69.2	-0.3		1.1	1.1	
	2（4）	5÷9の商を分数で表す	商を分数で表すことができる		数	5	技	短	70.1	0.9		4.2	0.3	
	3	8と12の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	同一	数	5	技	短	85.2	-1.0		1.4	0.2	
				(H24)					85.8	0.4		0.3	0.3	
	4	重さ，長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	任意単位による測定について理解している		量	1・3	知	選	71.2	0.5		0.8	0.2	
	5	示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ	高さが等しい平行四辺形と三角形について，底辺と面積の関係を理解している	課題改善	量	5	知	選	65.7	-1.3		1.6	0.3	
				(H28)					79.9	-2.1		1.3	0.2	
	6	円を使って正五角形をかくとき，円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	正五角形は，五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している		図	5	知	短	75.5	0.0		2.6	0.3	
	7	立方体の展開図から，示された面と平行な面を選ぶ	立方体の面と面の位置関係を理解している	課題改善	図	4	知	選	85.5	-1.2		1.2	0.2	
				(H28)					74.3	-3.7	▼	3.2	0.7	
	8	はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの，問題場面を表す式を選ぶ	未知の数量を表す□を用いて，問題場面を除法の式に表すことができる		関	3	技	選	83.6	0.0		1.5	0.1	
	9（1）	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	資料を二次元表に分類整理することができる	課題改善	関	4	技	選	86.9	-1.1		3.0	0.4	
				(H21)					71.0	4.1	△	7.2	-0.8	
	9（2）	二次元表の合計欄に入る数を書く	資料から，二次元表の合計欄に入る数を求めることができる		関	4	技	短	60.1	-2.7		5.8	0.7	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
B	1（1）	カードの差が４の場合の，２けたのひき算の式と答えを書く	示された条件を基に，適切な式を立てることができる		数	2	考	短	75.2	-0.8		2.2	0.2	
	1（2）	示された考えを基に，５４－４５の場合で残る部分を図に表す	示された考えを解釈し，数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを，図に表現することができる		数	2・5	考	短	81.3	-0.5		4.4	0.5	
	1（3）	２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え，そのきまりを記述できる		数・関	5・4・5	考	記	37.4	-1.2		17.6	2.7	
	2（1）	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の，料金の差の求め方と答えを書く	料金の差を求めるために，示された資料から必要な数値を選び，その求め方と答えを記述できる		数・関	2・3・3	考	記	39.4	-1.0		7.2	0.8	
	2（2）	１３本の直線を使う場合，手紙の用紙の長い辺を３等分するのは，何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して，示された方法を問題場面に適用することができる		数	3・5	考	短	29.3	1.9		6.5	0.5	
	3（1）	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる		量・関	5・4	知	選	69.2	1.3		1.1	0.0	
	3（2）	仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める	仮の平均を用いた考えを解釈し，示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる		量・関	5・4	考	記	27.2	1.1		12.7	0.0	
	4（1）	示された式の中の数が表す意味を書き，その数が表のどこに入るかを選ぶ	示された式の中の数の意味を，表と関連付けながら正しく解釈し，それを記述できる	課題改善	関	4	考	記	39.1	-0.7		4.7	-0.1	
				(H22)					63.5	2.1		3.5	-0.1	
	4（2）	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる	課題改善	関	3・5	知	選	28.5	-0.8		4.4	-0.2	
				(H26)					61.9	0.4		1.3	0.1	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
B	5（1）	「最小の満月の直径」の図に対して，「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	示された割合を解釈して，基準量と比較量の関係を表している図を判断できる		関	5	考	選	65.6	0.6		5.5	0.0	
	5（2）	与えられた情報から，基準量，比較量，割合の関係を捉え，「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び，選んだわけを書く	身近なものに置き換えた基準量と割合を基に，比較量を判断し，その判断の理由を記述できる		図・関	3・5	考	記	13.4	0.2		8.4	-0.3	

小学校・算数【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A２(2)	小数と整数の加法「(小数) ＋ (整数)」の計算をする	78.3	−1.4
A２(3)	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする	60.4	−6.2

※「差」は，全国平均との差を示している。

(2) 10.3＋４

(2)○第４学年の指導内容である。正答は「14.3」である。誤答については，「10.7」と解答している割合が，千葉県では16.4%である。位を正しくそろえずに，末尾をそろえて1/10の位の数３と一の位の数４を加えていると考えられる。

○学習に当たっては，乗法の性質と筆算を関連づけながら，末尾をそろえて計算する理由を説明する活動が考えられる。乗法の筆算と加法の筆算の仕方を比較する場を設け，誤りの箇所を指摘し，計算の仕方を振り返りながら修正する活動も考えられる。

乗法の筆算

$$\begin{array}{r} 10.3 \\ \times\quad 4 \\ \hline 41.2 \end{array}$$

加法の筆算× →正答

$$\begin{array}{r} 10.3 \\ +\quad 4 \\ \hline 10.7 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 10.3 \\ +\ 4 \\ \hline 14.3 \end{array}$$

(3) ６＋0.5×２

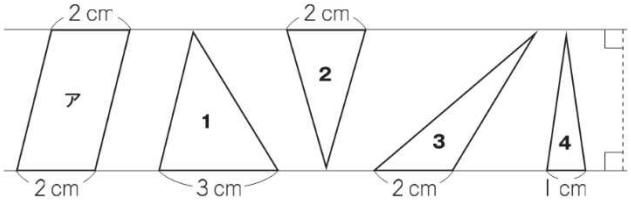
(3)○第４学年の指導内容である。正答は「７」である。誤答については，「13」と解答している割合が，千葉県では21.1%である。加法と乗法の混合した計算であるにもかかわらず，6+0.5から計算していると考えられる。

○学習指導に当たっては，計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにすることが大切である。

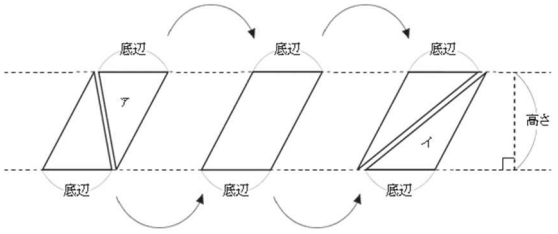
	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A５	示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ	65.7	−1.3

平行な２本の直線を使って，平行四辺形や三角形をかきました。

下の **1** から **4** までの三角形の中で，平行四辺形**ア**の面積の，半分の面積であるものはどれですか。**すべて**選んで，その番号を書きましょう。



(学習指導に当たって)



○第5学年の指導内容である。本設問の正答率は，千葉県で65.7%であり，高さが等しい平行四辺形と三角形について，底辺と面積の関係を理解することに課題がある。正答は「２と３」である。誤答については，「２」だけと解答している割合が，千葉県では10.1%である。この中には，高さは図形の内部にのみあるものと捉えていると考えられる。

○学習指導に当たっては，底辺の長さと高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形においては，図形の向きや形に依存せずに，三角形の面積は平行四辺形の面積の半分であることを理解できるようにすることが大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
		県	差
A 9(2)	資料から，二次元表の合計欄に入る数を求める	60.1	−2.7

飼っている動物調べ

出席番号	イヌ	ネコ
1	○	×
2	×	×
3	○	×
4	○	○
5	○	×
6	×	×
7	○	×
8	×	×
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	×	×
13	○	×

○…飼っている
×…飼っていない

飼っている動物調べ　(人)

		ネコ ○	ネコ ×	合計
イヌ	○	ア	イ	
イヌ	×	ウ	エ	
合計				オ

○…飼っている
×…飼っていない

⑵ 上の表の **オ** にあてはまる数を書きましょう。

○第４学年の指導内容である。正答は「13」である。誤答については，「26」と解答している割合が，千葉県では12.7%である。「家でイヌやネコを飼っているかどうか」を調査した人数の13を２回たしていると考えられる。

		ネコ		合計
イヌ	○	2	6	8
イヌ	×	1	4	5
合計		3	10	オ

13

13

○学習指導に当たっては，二次元表に示された数値が適切なものであるかどうか確かめる方法の一つが，「合計」の数値に着目することである。そのためにも，二次元表の合計欄の意味を理解することが大切である。

○B 4(1)の設問についても二次元表について扱う設問で，千葉県の正答率は 39.1%と低く，課題として挙げられる。分類した資料を目的に応じて二次元表に作り直す活動を通して，二次元表の理解を確かめるようにする学習指導が大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
B 1(3)	２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	37.4	−1.2	17.6	+2.7

カードの差が１の場合
21 − 12 = 9
32 − 23 = 9
43 − 34 = 9
54 − 45 = 9
65 − 56 = 9
76 − 67 = 9
87 − 78 = 9
98 − 89 = 9

カードの差が２の場合
31 − 13 = 18
42 − 24 = 18
53 − 35 = 18
64 − 46 = 18
75 − 57 = 18
86 − 68 = 18
97 − 79 = 18

カードの差が３の場合
41 − 14 = 27
52 − 25 = 27
63 − 36 = 27
74 − 47 = 27
85 − 58 = 27
96 − 69 = 27

⑶ そうたさんは，カードの差が１，２，３の場合の２けたのひき算の答えを下のようにまとめました。

そうた

カードの差が１の場合，２けたのひき算の答えは ９ です。
カードの差が２の場合，２けたのひき算の答えは 18 です。
カードの差が３の場合，２けたのひき算の答えは 27 です。
カードの差がわかれば，２けたのひき算の答えはかけ算で簡単(かんたん)に求めることができます。

そうたさんが言うように，カードの差を使って，２けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。
このきまりを，言葉と数を使って書きましょう。
そのとき，「カードの差」，「２けたのひき算の答え」の２つの言葉を使いましょう。

○第４学年，第５学年の指導内容である。本設問の正答率は，千葉県で 37.4%であり，問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え，そのきまりを言葉と数を用いて記述することに課題がある。無解答率は千葉県で17.6%と高くなっている。

○学習指導に当たっては，児童が設問から見いだした数量関係について，互いに自分の考えを表現し伝え合う活動が考えられる。その際，児童の発言内容をよく聞き取り，内在する数学的な価値について意識できるようにしながら授業を展開することが大切である。また，児童自らが見いだした決まりを言葉や式で一般化して表現しようとする態度を育てることも大切である。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題），理解（B問題）ともに全国と同程度である。 ◇ 領域別にみると「量と測定」「図形」の領域は，昨年度と比較して上昇した。 ◇ 問題形式別にみると「記述式」は，昨年度と比較して上昇した。
	課題	◆ 知識（A問題）は，継続して低下傾向にある。 ◆ 児童質問紙では，算数に関わる質問事項 10 項目(P52)で，すべて全国を下回る結果になった。

数と計算	◇ 具体的な問題場面において，乗法で表す設問【Ａ１(1)】，小数の乗法の計算において，乗数を整数に置き換えて考える設問【Ａ１(3)】，整数の乗法の計算【Ａ２(1)】，二つの数の最小公倍数を求める設問【Ａ３】，示された考えを解釈して図に表現する設問【Ｂ１(2)】については，相当数(正答率80%以上)の児童ができている。 ◆ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする設問の正答率は，全国を大きく下回った(千葉60.4%，全国66.6%)【Ａ２(3)】。昨年度は末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をする設問の正答率が全国を大きく下回っており，小数の計算や計算の順序についての決まりを確実に理解できるように指導することが大切である。
量と測定	◇ 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ設問の正答率は，全国を上回った(千葉69.2%，全国67.9%)【Ｂ３(1)】。 ◆ 仮の平均を用いた考えを解釈し，示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する設問では，全国を上回った(千葉 27.2%，全国 26.1%)が，全国的に正答率は低く，課題として挙げられる【Ｂ３(2)】。
図　形	◇ 昨年度は直方体における面と面との位置関係を問う設問の正答率が全国に比べて大きく下回っていた。今年度は立方体の展開図から，示された面と平行な面を選ぶ設問では，全国を下回った(千葉85.5%，全国86.7%)が，相当数の児童ができている【Ａ７】。ただし，指導に当たっては，具体物を用いた立体図形の構成活動を通して，立体図形の面と面の位置関係について理解できるように引き続き指導することが大切である。
数量関係	◇ 未知の数量を表す□を用いて，問題場面を除法の式に表す設問では，正答率は全国と同じ(千葉83.6%，全国83.6%)で，相当数の児童ができている【Ａ８】。 ◆ 資料の分類整理の設問【Ａ９(1)(2)】，目的に応じた資料の整理と表現の設問【Ｂ４(1)(2)】は，どの設問の正答率も全国を下回っている。資料を二つの観点に着目して，二次元表に分類整理することができるように指導することが大切である。
その他	◆ 児童質問紙では，【７７】「算数の勉強は好きですか」（千葉62.3%，全国65.9%），【８０】「算数の授業の内容はよく分かりますか」（千葉77.8%，全国80.6%）という質問事項で，肯定的回答の割合が全国を下回った。算数を学ぶ意義や必要性を理解させ，日々の授業を見直すような取組を行う必要がある。

算数

TYPE Ⅰ・Ⅲ

A[9](1)(2)
B[4](1)

「よりわかりやすい表に作りかえよう」

～目的をもって情報を収集・整理し的確に特徴を捉える～

A[9](1)(2)及びB[4](1)の結果を分析すると，二次元表の意味の理解とその活用に課題が見られました。日常生活の問題の解決のために，必要な情報を収集し，表やグラフに表現することで，事象の特徴を捉え，適切な判断をすることが大切です。本授業アイディア例では，目的をもって情報を収集・整理し，整理した表を二次元表に表現し直す活動の過程で，二次元表の理解を深めるとともに，二次元表のよさに気付くことができるようにすることをねらいとした授業を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

A[9] 資料の分類整理
B[4] 目的に応じた資料の整理と表現
（ハンカチ・ティッシュペーパー調べ）

A[9](1) 正答率 **88.2**％ 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ
A[9](2) 正答率 **63.1**％ 二次表の合計欄に入る数を書く
B[4](1) 正答率 **40.2**％ 示された式の中の数が表す意味を書き，その数が表のどこに入るかを選ぶ

学習指導要領における領域・内容

〔第４学年〕Ｄ 数量関係(4)ア

授業アイディア例

① 調べた結果を分類整理する。

目的 ひろしさんたちは，かぜの予防のために，手洗いとうがいを呼びかけることにしました。

学級25人全員が，休み時間の後に，手洗いとうがいをしたかどうかについて調べ，表にまとめました。

手洗い調べの結果と，うがい調べの結果から気付いたこと

手洗いをした人数が 20 人，うがいをした人数が 18 人います。だから，手洗いをして，うがいもした人数は，18 人なのですね。

本当にそうでしょうか。うがいをした 18 人の中には，手洗いをしていない人もいると思います。

教師：もう少し詳しく調べてみる必要がありそうですね。

アンケートをとって調べてみようと思います。

手洗い調べの結果

手洗い		
	○	20 人
	×	5 人

うがい調べの結果

うがい		
	○	18 人
	×	7 人

② 新たに情報を収集して調べ直し，観点を決めて分類整理する。

手洗い・うがい調べの結果（人）

手洗い	うがい	人数
○	○	15
×	○	3
○	×	5
×	×	2
合計		25

（手）（う）15人　（手）（×）5人　（×）（う）3人　（×）（×）2人

アンケートをとった結果は，４つにわけることができたのですね。

手洗いをして，うがいもした人数は，18人ではなく15人だったのですね。

うがいをした 18 人の中で，手洗いをしなかった人数は，3人でした。

18という数は，「手洗い・うがい調べの結果の表」には書いてありませんね。

18 という数は，「うがい調べの結果の表」に書いてあります。

「手洗い調べの結果の表とうがい調べの結果の表」と「手洗い・うがい調べの結果の表」を合わせると，よりわかりやすい表にまとめ直すことができます。

ポイント 児童自らが目的に応じて改めて情報を収集し，表に整理し直す活動を設定することが大切です。その上で，表からわかることを読み取る活動を設定することが大切です。

③ 二次元表に整理し直す。

手洗い・うがい調べの結果 （人）

手洗い＼うがい	○	×	合計
○	ア	イ	ウ
×	エ	オ	カ
合計	キ	ク	ケ

手洗いをして，うがいをした人数は，15人で，この表のアに当てはまります。それでは，うがいはしたけれど，手洗いをしなかった人数の３人は，この表のどこに当てはまりますか。

うがいはしたけれど，手洗いをしなかった人数の３人は，この表のエに当てはまります。

それでは，表のキに当てはまる数は，表のアとエに当てはまる数の合計の数となるのですね。

表のキに当てはまる数は，15 + 3 = 18 で，18 と求めることができます。

それでは，表のカに当てはまる数は，表のエとオに当てはまる数の合計の数となるので，3 + 2 = 5 で，5 と求めることができます。

表のイ，ウ，ク，ケに当てはまる数も求めてみましょう。

表のケに当てはまる数は，表のウ，カ，キ，クに当てはまる数をたして 50 と考えてもよいのでしょうか。

アンケートをとった人数は，25 人なので，表のケに当てはまる数は，50 ではなく，25 だと思います。

そうですね。25 は表のウとカに当てはまる数の合計の数であり，表のキとクに当てはまる数の合計の数でもあります。また，表のア，イ，エ，オに当てはまる数の合計の数でもあります。

④ 調べた結果について振り返り，活用する。

調べた結果の活用

手洗いはしたけれど，うがいをしていなかった人数が思っていたよりも多かったので，うがいを中心に呼びかけたいと思います。

算数で学習したことが役に立ちましたね。

呼びかけた後も同じように調べて表にまとめ，かぜの予防のために活用したいと思います。

ポイント 二次元表に分類整理することで，今まで見えていなかった情報が見えるようになり，情報をより分析的に考察することができることを実感的に理解できるようにすることが大切です。

本授業アイディア例 活用のポイント！

- 日常生活の事象を数理的に捉え，数学的に表現・処理し，問題を解決することができるよう単元を構成することが考えられます。（例）「ハンカチ・ティッシュペーパー調べ」，「けが調べ」など

参照▶「平成 29 年度　報告書　小学校　算数」P.55～P.59,P.84～P.90,「平成 29 年度　解説資料　小学校　算数」P.41～P.45,P.71～P.77

（４）中学校数学

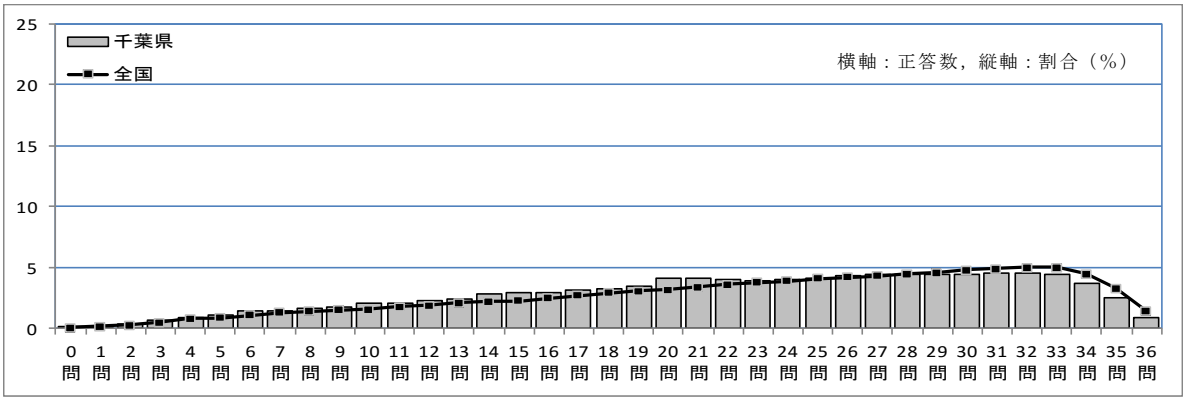
①　全体的な結果

ア　正答数の分布

＊「Ａ～Ｄ層」について
・各層は全国（公立）の生徒を正答数の大きい順に整列させ，人数比率により 25%刻みで４つの層分けを行っている。上位から１番目をＡ層，２番目をＢ層，３番目をＣ層，４番目をＤ層と呼称する。正答数が同じ場合は，上位の層に含むため，25%を大きく超える場合がある。
・千葉県の人数比率は，全国のＡ～Ｄ層を基準に示してある。

【数学Ａ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国と比べＡ層の割合が低く，Ｃ層，Ｄ層の割合が高くなっている。

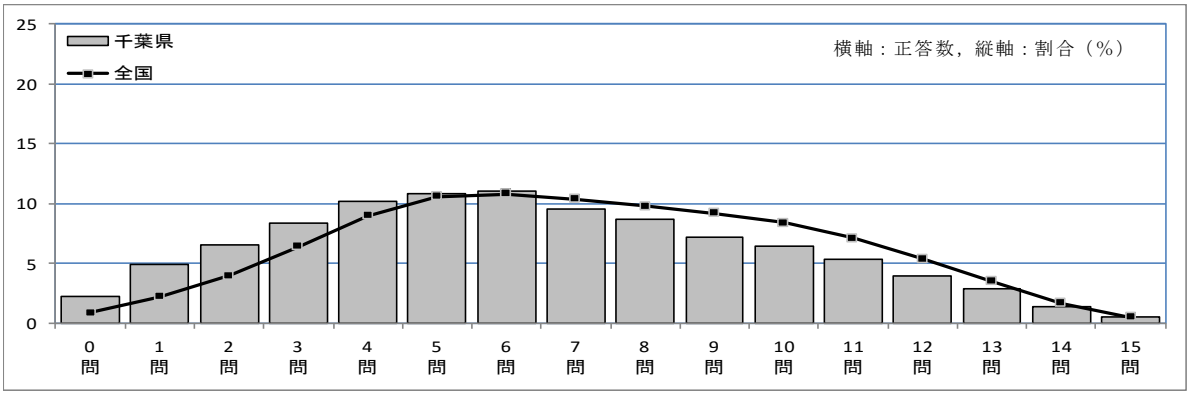


	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	22.6問／36問	63 %	24.0	8.4
全 国(公立)	23.3問／36問	64.6 %	25.0	8.5

	＊ Ｄ層	＊ Ｃ層	＊ Ｂ層	＊ Ａ層
	0～16問	17～24問	25～29問	30～36問
千葉県(公立)	27.5 %	30.4 %	20.8 %	21.3 %
全 国(公立)	22.6 %	26.7 %	21.8 %	28.9 %

【数学Ｂ】

平均正答率は，全国と同程度である。正答数の分布は，全国と比べＡ層，Ｂ層の割合が低く，Ｄ層の割合が高くなっている。



	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	7.0問／15問	47 %	7.0	3.2
全 国(公立)	7.2問／15問	48.1 %	7.0	3.3

	＊ Ｄ層	＊ Ｃ層	＊ Ｂ層	＊ Ａ層
	0～4問	5～6問	7～9問	10～15問
千葉県(公立)	32.2 %	21.9 %	25.4 %	20.5 %
全 国(公立)	22.5 %	21.4 %	29.4 %	26.6 %

イ　調査区分ごとに見た傾向（全国平均を 100 としたときの指数で示している）

知識／活用

「知識」「活用」ともに全国を下回った。「知識」は，全国に達していない状況が続いている。

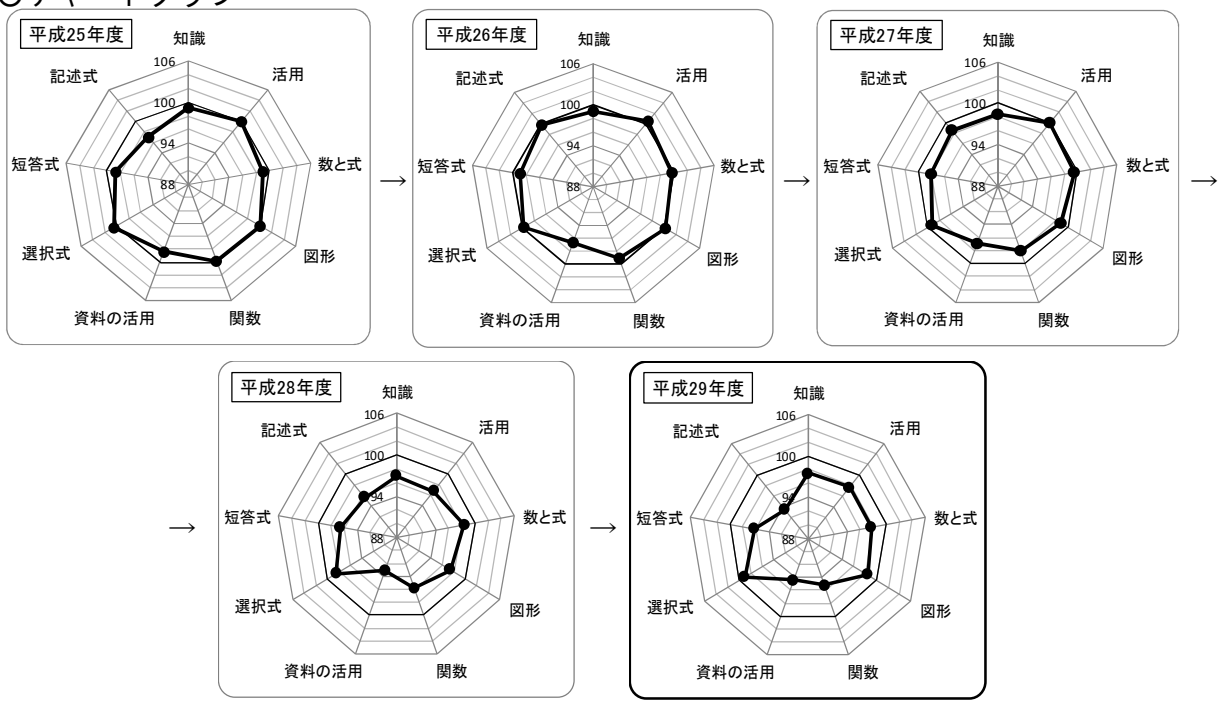
領　　域

「図形」「資料の活用」は，昨年度と比較して上昇した。「関数」「資料の活用」は，全国を大きく下回っており，特に「資料の活用」は継続した課題である。

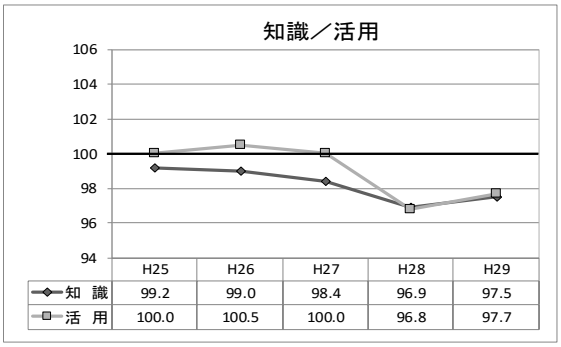
問 題 形 式

「短答式」「記述式」は，全国を大きく下回った。

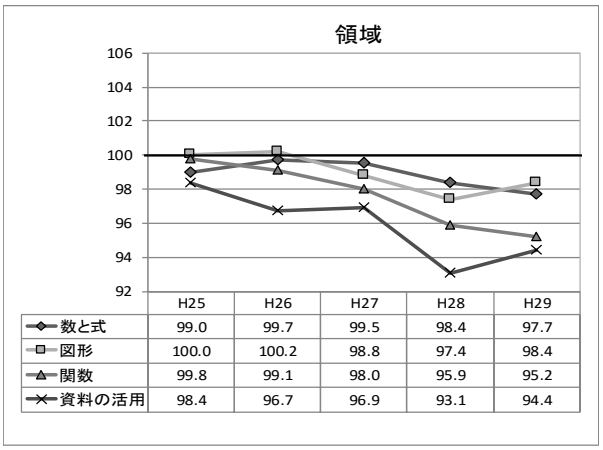
○チャートグラフ



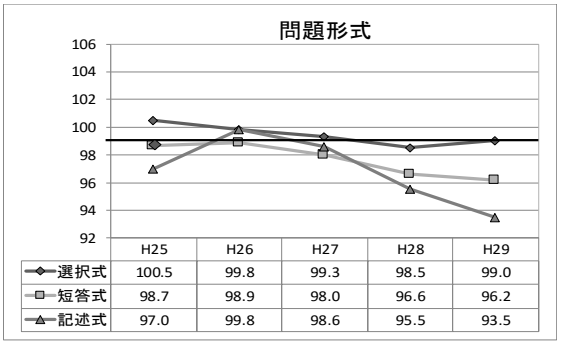
○経年変化グラフ



	H25	H26	H27	H28	H29
知　識	99.2	99.0	98.4	96.9	97.5
活　用	100.0	100.5	100.0	96.8	97.7



	H25	H26	H27	H28	H29
数と式	99.0	99.7	99.5	98.4	97.7
図形	100.0	100.2	98.8	97.4	98.4
関数	99.8	99.1	98.0	95.9	95.2
資料の活用	98.4	96.7	96.9	93.1	94.4



	H25	H26	H27	H28	H29
選択式	100.5	99.8	99.3	98.5	99.0
短答式	98.7	98.9	98.0	96.6	96.2
記述式	97.0	99.8	98.6	95.5	93.5

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

（凡例）

〔出題の趣旨〕
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査と同一の問題
〔領域等〕学習指導要領の領域等
「数」 数と式 「図」 図形 「関」 関数 「資」 資料の活用
〔評価の観点〕
「考」 数学的な見方や考え方 「技」 数学的な技能
「知」 数量や図形などについての知識・理解
〔問題形式〕
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式
〔肯定的回答〕
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
〔昨年との差〕
千葉県の今年度（平成29年度）と昨年度（平成28年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
▨ 全国を下回るもの（課題あり）
△：全国との差３．０ポイント以上
▼：全国との差３．０ポイント以下

ア 各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率 千葉県（公立）	正答率 全国との差		無解答率 千葉県（公立）	無解答率 全国との差	
A	1（1）	$\frac{5}{9}\times\frac{2}{3}$ を計算する	分数の乗法の計算ができる		数	小6	技	短	87.1	0.0		1.3	0.0	
	1（2）	a と b が負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	２つの負の数の和は負の数になることを理解している		数	1	知	選	69.3	0.0		0.2	0.0	
	1（3）	10－６÷(－２)を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において，計算のきまりにしたがって計算できる		数	1	技	短	73.2	-2.4		1.3	0.2	
	1（4）	３月25日を基準にして３月23日を負の数で表す	実生活の場面において，ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している		数	1	知	短	89.9	0.5		3.0	0.2	
	2（1）	５mの重さがaｇの針金の１mの重さを，aを用いた式で表す	数量の関係を文字式で表すことができる	課題改善	数	1	技	短	56.0	-0.3		9.6	1.5	
				(H25)					30.4	-1.9		20.2	1.8	
				(H27)					23.3	1.1		10.6	1.6	
				(H28)					30.4	-1.8		14.7	2.2	
	2（2）	100－20a＝b の式が表される場面を選ぶ	与えられた文字式の意味を，具体的な事象の中で読み取ることができる		数	1	技	選	74.6	-0.8		0.3	0.0	
	2（3）	(２x＋５y)－(６x－３y)を計算する	整式の加法と減法の計算ができる		数	2	技	短	75.6	-2.9		2.1	0.4	
	2（4）	等式 x＋４y＝１をyについて解く	等式を目的に応じて変形することができる		数	2	技	短	52.9	-3.2	▼	11.0	2.2	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	3（1）	一元一次方程式 $4x=7x+15$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる		数	1	技	短	79.7	-3.0	▼	8.3	1.9	
	3（2）	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で，一元一次方程式をつくることができる	課題改善	数	1	技	短	48.2	-4.6	▼	20.6	4.0	▼
				(H20)					57.1	-2.5		21.5	2.4	
	3（3）	$x+y=2$ の解の意味について選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	課題改善	数	2	知	選	59.3	-0.3		1.1	0.1	
				(H20)					58.1	0.1		1.6	-0.1	
	3（4）	連立二元一次方程式 $\begin{cases} x+y=5 \\ \frac{x}{6}+\frac{y}{3}=1 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる		数	2	技	短	59.7	-2.5		17.4	2.5	
	4（1）	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	課題改善	図	1	知	選	67.5	0.1		1.1	0.1	
				(H25)					71.1	1.0		0.4	0.4	
	4（2）	△ＡＢＣを，点Ａから点Ｐに移すように平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる	課題改善	図	1	技	短	89.3	-1.3		3.1	0.6	
				(H27)					53.4	-1.1		2.6	0.4	
	4（3）	半径が５cm，中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める	扇形の弧の長さを求めることができる		図	1	技	短	27.5	-3.2	▼	24.5	4.8	▼
	5（1）	直方体において，与えられた辺に平行な面を書く	空間における直線と平面の平行について理解している		図	1	知	短	63.9	-3.1	▼	3.6	0.7	
	5（2）	１回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している		図	1	知	選	89.4	-0.7		0.4	0.0	
	5（3）	立方体の見取図を読み取り，２つの線分の長さの関係について，正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる	課題改善	図	1	技	選	79.8	-0.4		0.6	0.0	
				(H22)					54.5	0.9		1.0	-0.1	
	5（4）	円柱の体積を求める	円柱の体積を求めることができる	課題改善	図	1	技	短	48.8	-3.0	▼	12.4	2.7	
				(H22)					41.0	1.1		18.7	1.0	
	6（1）	錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	錯角の意味を理解している		図	2	知	選	43.9	0.8		0.7	0.1	
	6（2）	n 角形の１つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を選ぶ	多角形の内角の和の求め方を理解している	課題改善	図	2	知	選	69.5	0.1		1.1	0.2	
				(H26)					47.8	0.0		1.0	0.0	
	7（1）	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している		図	2	知	短	77.7	-0.9		5.3	0.4	
	7（2）	与えられた方法で作図された四角形が，いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の手順を読み，根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	同一	図	2	知	選	49.7	0.6		1.0	0.1	
				(H25)					50.8	3.1	△	1.0	-0.1	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	8	事柄「∠ABD＝∠CBD，∠ADB＝∠CDBならば，AB＝CBである。」の仮定をすべて書く	命題の仮定と結論を区別し，与えられた命題の仮定を読み取ることができる		図	2	技	短	73.2	-1.1		11.4	1.3	
	9	長方形の縦の長さと面積の関係を，「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	課題改善	関	1	知	短	16.9	-3.7	▼	25.6	5.0	▼
				(H26)					34.7	-1.1		19.4	1.5	
	１０（１）	比例$y=4x$について，xの値が３のときのyの値を求める	与えられた比例の式について，xの値に対応するyの値を求めることができる		関	1	技	短	82.4	-2.2		8.7	1.4	
	１０（２）	比例のグラフから式を求める	与えられた比例のグラフから，xとyの関係を$y=ax$の式で表すことができる	課題改善	関	1	技	短	52.8	-4.3	▼	11.8	2.2	
				(H19)					61.9	-5.0	▼	11.7	1.8	
	１０（３）	反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において，比例定数の意味を理解している		関	1	知	短	29.9	-4.5	▼	25.4	4.6	▼
	１１（１）	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に，式で表すことができる	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に，xとyの関係を$y=ax+b$の式で表すことができる		関	2	技	短	73.3	-2.6		12.0	1.9	
	１１（２）	変化の割合が２である一次関数の関係を表した表を選ぶ	与えられた一次関数の表において，変化の割合の意味を理解している	課題改善	関	2	知	選	53.3	-2.7		2.1	0.4	
				(H26)					47.4	0.1		1.8	0.0	
	１２	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフを基に，２cm燃えるときの時間を選ぶ	具体的な事象における２つの数量の変化や対応を，グラフから読み取ることができる	同一	関	2	技	選	67.3	-0.3		1.3	0.2	
				(H20)					61.7	-1.5		1.8	-0.1	
	１３	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式を関数を表す式とみて，そのグラフの傾きと切片の意味を理解している	課題改善	関	2	知	選	60.3	-2.7		2.7	0.5	
				(H20)					56.3	-0.9		2.3	-0.1	
	１４（１）	反復横とびの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している		資	1	知	短	24.1	-4.5	▼	11.7	2.1	
	１４（２）	６月１日から30日までの記録を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める	与えられた度数分布表について，ある階級の相対度数を求めることができる	課題改善	資	1	技	短	36.1	-9.4	▼	19.8	4.8	▼
				(H25)					18.2	-4.6	▼	29.1	4.0	▼
	１５（１）	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味を理解している		資	2	知	選	76.2	-1.8		2.2	0.4	
	１５（２）	赤玉３個，白玉２個の中から玉を１個取り出すとき，その玉が赤玉である確率を求める	簡単な場合について，確率を求めることができる	同一	資	2	技	短	77.2	-1.1		9.3	1.4	
				(H20)					76.3	1.3		10.4	0.1	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	学習学年	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
									千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
B	1（1）	隣り合う４枚の正三角形の真ん中の１枚をある模様としたときに，残りの３枚にできる模様を選ぶ	事象を図形間の関係に着目して観察し，対称性を的確に捉えることができる		図	1	考	選	67.1	-0.4		0.2	0.0	
	1（2）	四角形ＡＢＣＤの模様が１回の回転移動によって四角形ＢＥＦＧの模様に重なるとき，どのような回転移動になるかを説明する	２つの図形の関係を回転移動に着目して捉え，数学的な表現を用いて説明することができる		図	1	考	記	12.0	-2.0		22.2	4.5	▼
	1（3）	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに，その基となる正三角形の模様を選ぶ	与えられた模様について，図形の移動に着目して観察し，対称性を的確に捉えることができる		図	1	考	選	52.5	-0.3		0.4	0.1	
	2（1）	六角形を５個つくるのに必要なストローの本数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる		数	1	技	短	80.2	-0.2		1.4	0.1	
	2（2）	六角形をn個並べて６本ずつ囲んだときに，２回数えているストローをnを用いた式で表す	与えられた説明の筋道を読み取り，事象を数学的に表現することができる		数	1	考	短	42.6	-1.5		9.9	1.6	
	2（3）	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を，$6+5(n-1)$という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え，事柄が成り立つ理由を説明することができる		数	1	考	記	12.9	-1.6		27.5	4.1	▼
	3（1）	与えられた表やグラフから，５月31日から４日経過したときに貯水量が2820万m^3であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから，必要な情報を適切に読み取ることができる		関	1	知	短	90.8	0.0		3.9	0.4	
	3（2）	与えられた表やグラフを用いて，貯水量が1500万m^3になるまでに５月31日から経過した日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することができる		関	2	考	記	16.3	-2.1		38.2	4.8	▼
	3（3）	与えられた式から，aの変域に対応するbの変域を求める	数学的な表現を事象に即して解釈し，的確に処理することができる		関	2	技	短	39.1	-4.1	▼	21.6	4.1	▼
	4（1）	２つの角の大きさが等しいことを，三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え，証明することができる		図	2	考	記	42.8	-1.3		24.0	3.7	▼
	4（2）	∠ＢＡＤと∠ＣＢＥが20°のとき，∠ＢＥＡの大きさを求める	付加された条件の下で，図形の性質を用いることができる		図	2	技	短	60.1	0.1		12.1	1.2	
	4（3）	点Ｄと点ＥをＢＤ＝ＣＥの関係を保ったまま動かしたとき，∠ＢＦＤの大きさについて，正しい記述を選ぶ	証明した事柄を用いて，新たな性質を見いだすことができる		図	2	考	選	43.0	-1.5		1.1	0.2	
	5（1）	1週間の総運動時間が420分のとき，含まれる階級の度数を求める	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる		資	1	知	短	75.8	-3.5	▼	7.2	1.3	
	5（2）	全校生徒の女子の中で，若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ	与えられた情報から必要な情報を選択し，事象に即して解釈することができる		資	1	考	選	49.8	-0.5		0.9	0.1	
	5（3）	「420分未満より420分以上の女子の方が，合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を，グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる		資	1	考	記	17.7	0.1		36.6	5.4	▼

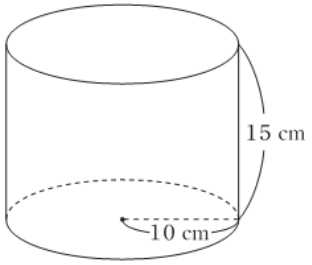
※評価の観点は，数量や図形に関する技能（小学校）に対応させている。

中学校・数学【課題の見られた設問の例】

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無答率(%)	
		県	差	県	差
A 5(4)	円柱の体積を求める	48.8	-3.0	12.4	+2.7

※「差」は，全国平均との差を示している。

(4) 底面の半径が 10cm，高さが 15cm の円柱の体積を求めなさい。ただし，円周率は π とします。

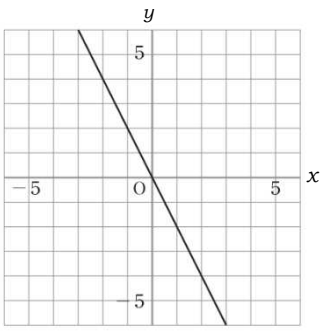


○第 1 学年の指導内容である。正答は「1500π」である。本設問の正答率は，千葉県では 48.8%であり，円柱の体積を求めることに課題がある。誤答には，解答類型 9（その他）の割合が 24.4%あり，その中には「1500」という解答がある。底面の円の面積を求め，高さをかけたときに，円周率の π をかけ忘れていると考えられる。

○学習指導に当たっては，柱状の体積を求める公式について，底面の図形が高さの分だけ平行に移動することによって構成される立体とみることと関連させて理解を深める場面を設定し，角柱や円柱の体積を求めることができるように指導することが大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無答率(%)	
		県	差	県	差
A10(2)	比例のグラフから式を求める	52.8	-4.3	11.8	+2.2
A10(3)	反比例の表から比例定数を求める	29.9	-4.5	25.4	+4.6

(2) 右の図は，比例のグラフを表しています。このグラフについて，y を x の式で表しなさい。



○第 1 学年の指導内容である。正答は「$y=-2x$」である。本設問の正答率は，千葉県では 52.8%であり，与えられた比例のグラフから，x と y の関係を $y=ax$ の式で表すことに課題がある。誤答については，「$y=2x$」と解答している割合が，千葉県では 8.5%である。

○学習指導に当たっては，比例のグラフから x と y の関係を式で表すことができるように指導することが大切である。その際，グラフの特徴と式を関連づけて考察する場面を設定することが考えられる。

(3) 下の表は，y が x に反比例する関係を表したものです。
この反比例の比例定数を求めなさい。

x	…	2	3	4	…
y	…	18	12	9	…

○第 1 学年の指導内容である。正答は「36」である。本設問の正答率は，千葉県では 29.9%であり，与えられた反比例の表において，比例定数の意味の理解に課題がある。誤答については，「6 または 3 のいずれかを解答にしているもの」の割合は，千葉県では 17.6%である。この中には，比例定数を表の隣り合う 2 つの y の値の差であると捉えた生徒がいると考えられる。

○学習指導に当たっては，比例，反比例の比例定数の意味を理解できるように指導することが大切である。その際，比例について，a を比例定数として，$y=ax$ または，$y/x=a$ という式で表される関係であることや，反比例について，a を比例定数として，$y=a/x$ または $xy=a$ という式で表される関係であることを確認する活動を取り入れることが考えられる。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無答率(%)	
		県	差	県	差
A14(2)	与えられた度数分布表から，ある階級の相対度数を求める	36.1	−9.4	19.8	+4.8

(2) ある市の平成28年6月1日から30日までについて，日ごとの最高気温の記録を調べました。下の度数分布表は，その結果をまとめたものです。

日ごとの最高気温

階級(℃)	度数(日)
以上　未満	
22 ～ 24	3
24 ～ 26	8
26 ～ 28	7
28 ～ 30	6
30 ～ 32	5
32 ～ 34	1
合計	30

22℃以上24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

○第1学年の指導内容である。正答は「0.1」である。本設問の正答率は，千葉県では36.1%であり，与えられた度数分布表について，ある階級の相対度数を求めることに課題がある。誤答については，「3」と解答している割合は，千葉県では19.0%である。この中には，この階級の相対度数と階級の度数を混同している生徒がいると考えられる。

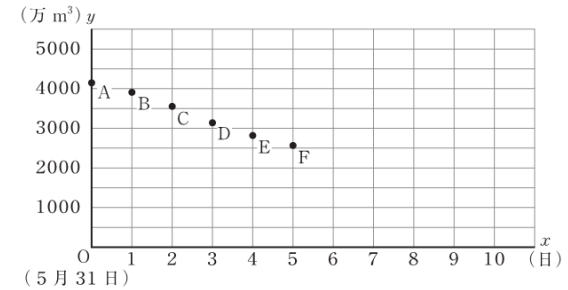
○学習指導に当たっては，ある階級の度数の総度数に占める割合を求めて，資料の傾向を読み取る活動を取り入れ，相対度数の必要性と意味について理解できるように指導することが大切である。

	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無答率(%)	
		県	差	県	差
B 3(2)	事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明する	16.3	−2.1	38.2	+4.8

調べた結果

5月31日から経過した日数と貯水量

経過した日数 x(日)	0	1	2	3	4	5
貯水量 y(万 m^3)	4140	3920	3540	3140	2820	2570



(2) 康平さんは，このダムの貯水量が1500万m^3より少なくなると水不足への対策がとられることを知り，それがいつになるのかを予測することにしました。

そこで，調べた結果のグラフにおいて，点Aから点Fまでの点が一直線上にあるとし，貯水量がこのまま一定の割合で減少すると仮定して考えることにしました。

このとき，貯水量が1500万m^3になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明しなさい。ただし，実際に日数を求める必要はありません。

○第2学年の指導内容である。正答は〈グラフ〉〈式〉〈表や数値〉を用いて説明する解答について，それぞれ正答条件を2つずつ定めてあり，その条件を満たすものを正答としている。千葉県の本設問の正答率は16.3%，無解答率は38.2%であり，課題として考えられる。誤答については，「グラフを用いて記述しているが，2つの正答条件を満たしていない説明不十分なもの」の割合が高く，千葉県では13.9%である。誤答の具体的な例として，「点Aと点Fを通る直線をひけばいい」がある。このように記述した生徒は，グラフの用い方として，y 座標が1500のときの x 座標を読み取ることができなかったと考えられる。

○学習に当たっては，日常的な事象を理想化・単純化して，その特徴を的確に捉えることができるようにすることが大切である。本設問を使って授業を行う際には，データにない貯水量になるまでにかかる日数を求める場面で，「点Aから点Fまでの点が一直線上にあるとし，貯水量がこのまま一定の割合で減少する。」と仮定して考え，「5月31日から経過した日数」と「貯水量」の関係を一次関数とみなすことで，それらの変化や対応の様子について考察する活動を取り入れることが考えられる。

③　成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 領域別に見ると「図形」「資料の活用」は，昨年度と比較して上昇した。
	課題	◆ 知識（A問題），活用（B問題）ともに全国を下回っている。 ◆「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」のすべての領域で，全国に達していない。特に，「資料の活用」は，全国を大きく下回り，昨年度に引き続き課題として挙げられる。

数と式	◇ 分数の乗法の計算【A１(1)】，実生活の場面においてある数量が正の数と負の数で表されることを理解しているかをみる設問【A１(4)】，問題場面における考察の対象を明確に捉える設問【B２(1)】については，相当数(正答率80%以上)の生徒ができていた。 ◆ 等式を目的に応じて変形する設問【A２(4)】，数量の関係を一元一次方程式で表す設問【A３(2)】については全国を大きく下回り，課題である。
図　形	◆ 扇形の弧の長さを求める設問【A４(3)】，直方体において与えられた辺に平行な面をかく設問【A５(1)】，円柱の体積を求める設問【A５(4)】の正答率は，全国を大きく下回り，課題として挙げられる。
関　数	◇ 与えられた比例の式について，x の値に対応する y の値を求める設問の正答率は，全国を下回るが，相当数の生徒(82.4%)ができている【A１０(1)】。 ◆ 長方形の縦の長さと面積の関係を，「…は…の関数である」という形で表現する設問の正答率は，全国を大きく下回る(千葉 16.9%，全国 20.6%)が，全国的にも正答率が低く，課題として挙げられる【A９】。 ◆ 比例のグラフから式を求める設問の正答率は，全国を大きく下回った【A１０(2)】。昨年度は反比例のグラフから式を求める設問の正答率が，全国を大きく下回っており，課題として挙げられていたことから，引き続き，グラフから x と y の関係を式で表すことができるように指導する必要がある。 ◆ 反比例の表から比例定数を求める設問の正答率は，全国を大きく下回る。また，無解答率も高い(千葉25.4%)【A１０(3)】。比例，反比例の比例定数の意味を理解できるように指導することが大切である。
資料の活用	◆ 範囲の意味・相対度数の求め方の設問【A１４(1)(2)】では，範囲の意味を理解しているかを問う設問，与えられた度数分布表について，ある階級の相対度数を求める設問の正答率は，ともに全国を大きく下回った。資料の傾向を読み取る活動を取り入れて，相対度数の必要性と意味について理解できるように指導することが大切である。 ◆ 資料から必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる設問の正答率は，全国を大きく下回り，課題として挙げられる【B５(1)】。
その他	◆ 生徒質問紙では，【８２】「数学の授業の内容はよくわかりますか」（千葉65.7%，全国69.4%），【８６】「数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」（千葉 69.2%，全国 72.4%）という質問事項で，肯定的回答の割合が全国を下回った。数学を学ぶ意義や必要性を理解させたり，実生活における問題の解決に数学を活用できるようにしたり，日々の授業を見直すような取組を行う必要がある。

数学

TYPE Ⅰ・Ⅲ

B[5](3)

「全校生徒の体力向上のために，1日あたりの運動時間の目安を提案しよう」

～目的に応じて資料の傾向を整理して比較し，提案したいことの根拠を明らかにする～

提案したいことがある場合，客観的な根拠を明らかにしておくことが大切です。そのために情報を適切に読み取ったり，視点を変えてまとめ直したりして，複数の資料を正しく比較できるようにすることが大切です。しかし，与えられた情報に基づいて資料の特徴を比較して説明することに課題がみられました。そこで，本アイディア例では，目的に応じて相対度数を求めて2つの資料を比較し，「1日あたり1時間以上運動することが望ましい」ということの根拠を明らかにして提案できるようにする指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

B[5] 情報の適切な選択と判断（運動時間の調査）

B[5](3) 正答率 **18.0**％

「420分未満より420分以上の女子の方が，合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を，グラフの特徴を基に説明する。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕
D 資料の活用 (1) イ

授業アイディア例

体育委員会では，全校生徒の体力向上のために，「1日あたり1時間以上運動することが望ましい」ことを提案したいと考えています。

〈1時間目〉「1日あたりの運動時間が1時間未満の人と1時間以上の人で，体力テストの結果に違いがあるかを調べるための工夫の仕方を考えよう。」

1．2つの資料について相対度数で比較する必要があることを確認する。

教師：全校生徒の体力テストの結果について，1日あたりの運動時間が1時間未満の人と1時間以上の人で分けて整理すると，右のようになります。

階級（点）	1時間未満 度数（人）	1時間以上 度数（人）
以上 未満		
10 ～ 20	3	0
20 ～ 30	18	3
30 ～ 40	54	18
40 ～ 50	63	57
50 ～ 60	33	99
60 ～ 70	9	69
70 ～ 80	0	9
合計	180	255

それぞれの合計人数が違うから，度数をそのまま比べることはできないと思うよ。

合計人数が違う場合は，相対度数を使えばいいと思います。

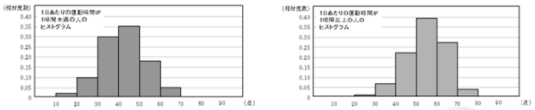
そうですね。では，各階級の相対度数を求めて，1日あたりの運動時間が1時間未満の人と1時間以上の人ではどのような違いがありそうか，調べてみましょう。

相対度数を求めると，右のようになりました。

階級（点）	1時間未満 度数（人）	1時間未満 相対度数	1時間以上 度数（人）	1時間以上 相対度数
以上 未満				
10 ～ 20	3	0.02	0	0.00
20 ～ 30	18	0.10	3	0.01
30 ～ 40	54	0.30	18	0.07
40 ～ 50	63	0.35	57	0.22
50 ～ 60	33	0.18	99	0.39
60 ～ 70	9	0.05	69	0.27
70 ～ 80	0	0.00	9	0.04
合計	180	1.00	255	1.00

2．ヒストグラムで2つの資料の傾向を比較する。

作った度数分布表から傾向をみやすくするためにヒストグラムをつくると，次のようになりました。



2つのヒストグラムの特徴を比較すると，どのようなことがいえるでしょうか。 ポイント

山の形は，ほとんど同じだね。

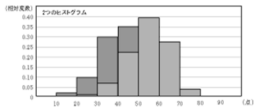
横軸の目盛りを見ると，ちょっと違うよ。

同じような傾向ということかな。

位置がずれているのかな。

重ねてみれば山の位置のずれがわかりやすくなりそうだね。

ヒストグラムを重ねてみよう。



あれ？重ねたことで隠れてしまう部分があってわかりにくいね。

それなら度数分布多角形にしてみたらどうかな。

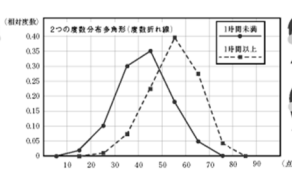
〈2時間目〉「1日あたり1時間以上運動することが望ましいことの根拠を示し，提案しよう。」

3．資料の傾向を捉えて運動時間の目安を判断し，その根拠を説明する。

2つの度数分布多角形を重ねると，次のようになります。この度数分布多角形から，「1日あたり1時間以上運動することが望ましい」ことがいえるでしょうか。 ポイント

いえるよ。だって，1時間以上の方が右にあるから。

右にあるって，どういうことかな。



山の高いところで比べると，1時間以上の方の得点が10点高いよ。

1時間以上の方が右にすれているので，「1日あたり1時間以上運動することが望ましい」といえそうだね。

ということは，望ましいことの理由は「度数分布多角形が同じような形をしていて，1時間未満よりも1時間以上の方が右側にある。」という説明でいいかな。

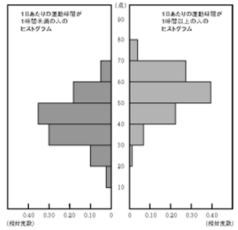
同じような形をしている2つの度数分布多角形を重ねたものをみると，分布の位置がすれていることがわかり，運動時間の目安を説明する際の根拠となりますね。

4．客観的な根拠に基づいて，わかりやすく提案する。

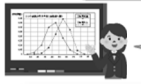
ヒストグラムが重なって比較することが難しいときの表し方として，度数分布多角形の他にも表し方の工夫が考えられますか。

僕は，2つのヒストグラムを右のように並べてみました。こうすることでヒストグラムのままでも分布を比較することができると思います。

この表し方でも，得点が高い方にすれていることがわかるね。



そのような表し方の工夫もあるのですね。みなさんが体育委員だとして，資料の特徴を基に，「1日あたり1時間以上運動することが望ましい」ことについて提案してみましょう。 ポイント



私が体育委員だとして，提案してみます。「1日あたりの運動時間が1時間未満の人と1時間以上の人の体力テストの結果を比べてみました。この2つの度数分布多角形をみてください。これらを比較すると…」

本授業アイディア例 活用のポイント！

- 資料の大きさが異なる場合，度数で単純に比べるのではなく，相対度数を用いる必要があることを確認する場面を設定することが大切である。
- 資料の傾向を判断することができるようにするために，度数分布多角形を用いて2つの資料の分布の特徴を捉える場面を設定することが大切である。
- ヒストグラム，度数分布多角形，幹葉図（幹葉表示），箱ひげ図などの表し方を取り上げ，資料の傾向について話し合う場面を設定することも考えられる。

参照▶「平成29年度 報告書 中学校 数学」P.140～P.146，「平成29年度 解説資料 中学校 数学」P.121～P.127

Ⅱ　結果の詳細

２　質問紙調査

全国学力・学習状況調査結果チャート（６,７ページ参照）における各領域について，それぞれに該当する質問事項の中で顕著な特徴の見られるものを取り上げ分析した。さらに，「家庭学習の充実に向けて」「部活動（中学校）の状況について」「放課後の過ごし方について」「主体的・対話的で深い学びの充実に向けて」「外国に関する興味・関心について」「自己肯定感に関する状況について」「指導改善サイクルの確立を目指して」に関わる質問事項については，７２ページ以降に詳述した。主に平成２９年度調査結果を中心に，質問事項によって経年変化や回答結果と正答率の関連及び散布図を活用した。

※以下の「肯定的回答」とは，「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」，「よく行った，どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。
※文中の，「同程度」は全国との差が 1.0 ポイントの範囲内，「やや高い，やや低い」は全国との差が 1.0～5.0 ポイントの範囲内，「高い，低い」は全国との差が 5.1～10.0 ポイントの範囲内，「著しく高い，著しく低い」は全国との差が 10.1 ポイント以上であることを表している。
※表中の，「全国との差」欄の，□は全国を下回ることを示しており，△は全国との差 5.1 ポイント以上，▼は全国との差 5.1 ポイント以下であることを示している。
※「散布図」は，各都道府県の肯定的回答の割合について，児童・小学校を横軸に，生徒・中学校を縦軸に対応させ，○印で示したものである。（■は千葉県，▲は全国平均を示している。）

（１）児童生徒質問紙調査

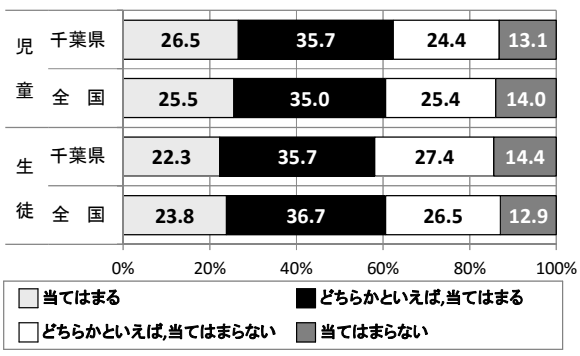
①　学習に対する関心・意欲・態度

ア　国語への関心等

質問番号		質問事項	児童（肯定的回答）		生徒（肯定的回答）	
児童	生徒		千葉（%）	全国との差	千葉（%）	全国との差
69	71	国語の勉強は好きですか	62.2	1.7	58.0	−2.5
70	72	国語の勉強は大切だと思いますか	90.2	−1.0	87.0	−1.8
71	73	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	−0.7	70.9	−4.0
72	74	読書は好きですか	74.6	0.3	73.6	3.7
73	75	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	87.2	−0.7	80.9	−2.4
74	76	国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか	66.8	−1.2	59.4	−3.3
75	77	国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.6	−0.8	53.0	−2.6
76	78	国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	72.8	−2.0	63.5	−2.4

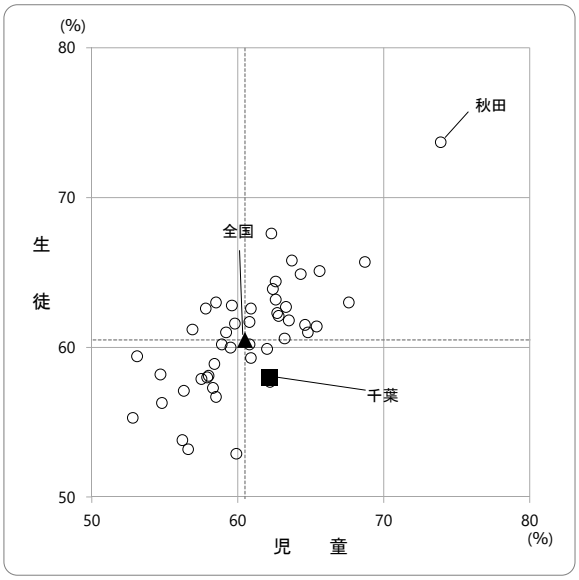
児 69 / 生 71　国語の勉強は好きですか

【平成２９年度調査結果】



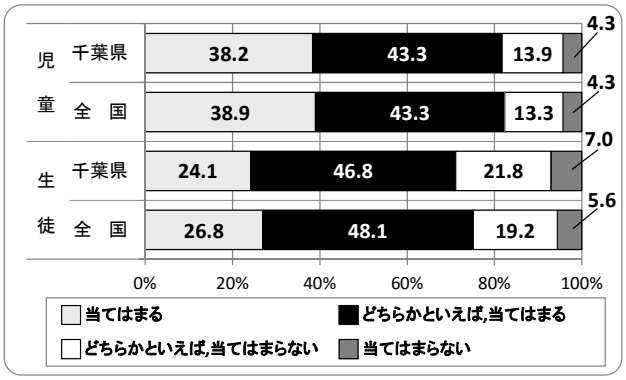
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒はやや低い。児童の国語への関心の高さは，継続して全国を上回っている。

【散布図】

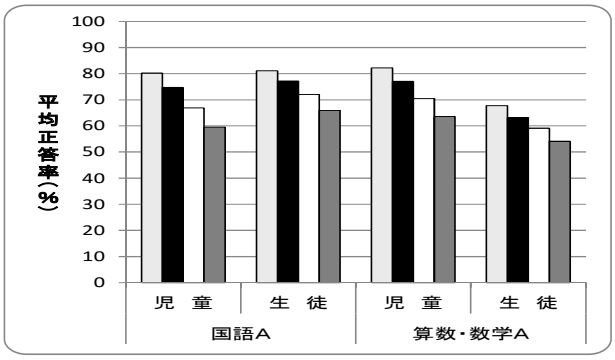


児 71 / 生 73　国語の授業の内容はよく分かりますか

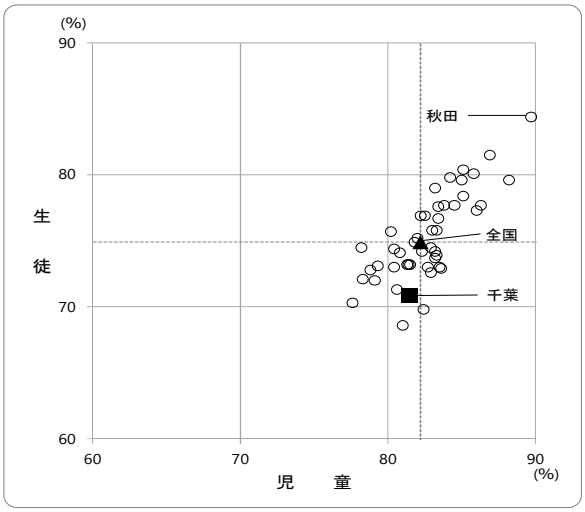
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



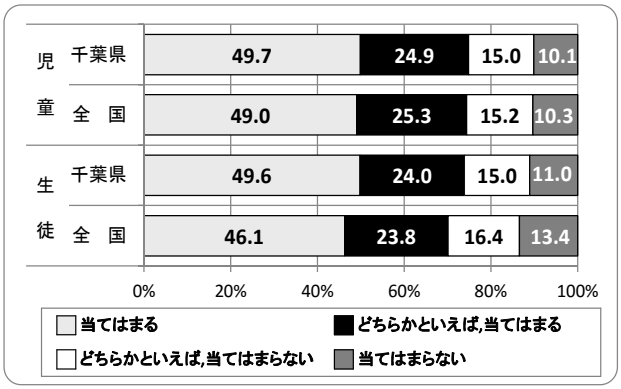
【散布図】



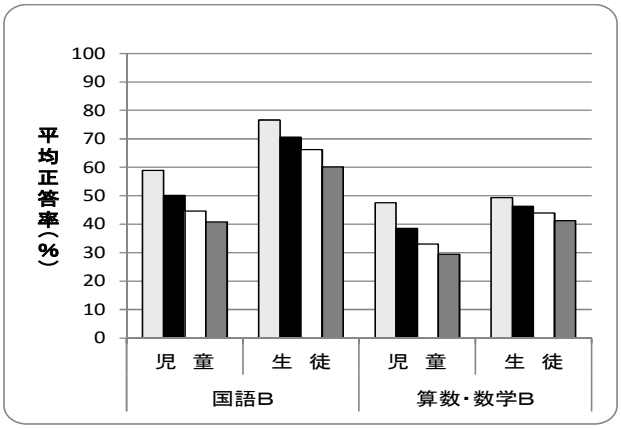
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや低い。「よく分かる」と回答した児童生徒ほど正答率が高く，児童にその傾向がより強く見られる。

児 72 / 生 74　読書は好きですか

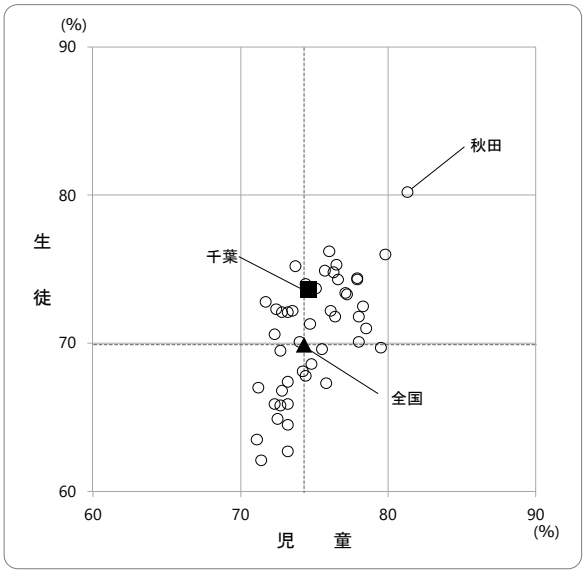
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



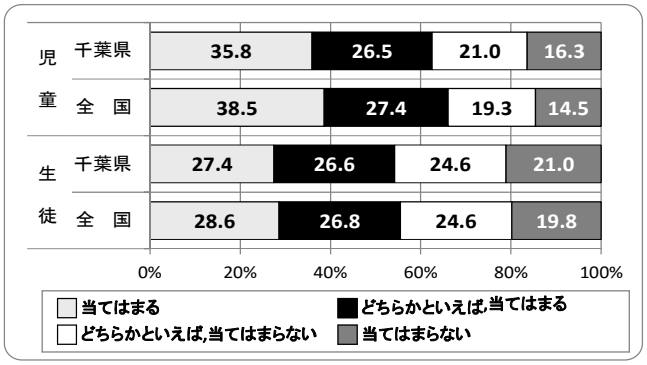
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや高い傾向が続いている。読書が好きな児童生徒ほど，正答率が高い傾向が見られる。

イ　算数・数学への関心等

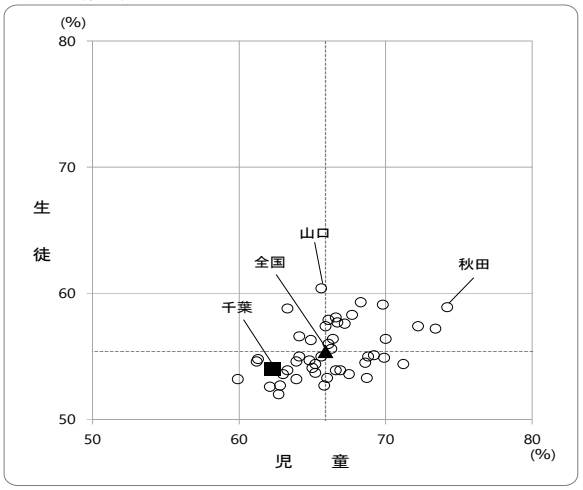
質問番号 児童	質問番号 生徒	質問事項	児童(肯定的回答) 千葉(%)	児童(肯定的回答) 全国との差	生徒(肯定的回答) 千葉(%)	生徒(肯定的回答) 全国との差
78	80	算数・数学の勉強は好きですか	62.3	−3.6	54.0	−1.4
79	81	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	90.2	−1.8	78.5	−2.6
80	82	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	77.8	−2.8	65.7	−3.7
81	83	算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか（小）／数学ができるようになりたいと思いますか（中）	72.8	−2.9	89.9	−1.3
82	84	算数・数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか	78.4	−2.7	71.2	−2.3
83	85	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.4	−0.7	44.7	−0.6
84	86	算数・数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	87.6	−1.5	69.2	−3.2
85	87	算数・数学の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.2	−1.2	70.1	−1.1
86	88	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	81.5	−1.1	70.2	−1.9
87	89	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.8	−2.2	80.5	−0.8

児 78 / 生 80　算数・数学の勉強は好きですか

【平成２９年度調査結果】



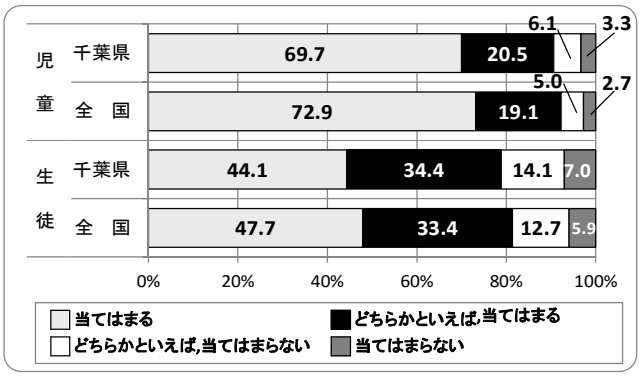
【散布図】



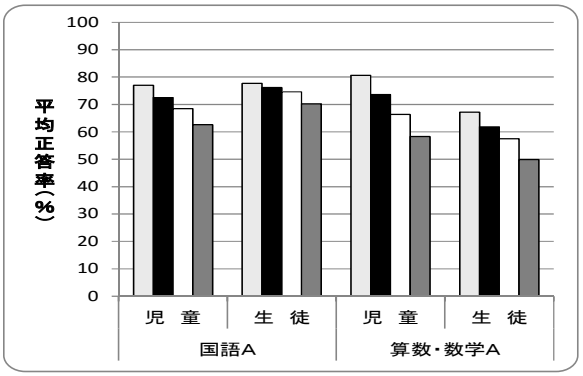
肯定的回答の割合は,児童生徒ともに全国と比べてやや低い。

児 79 / 生 81　算数・数学の勉強は大切だと思いますか

【平成２９年度調査結果】



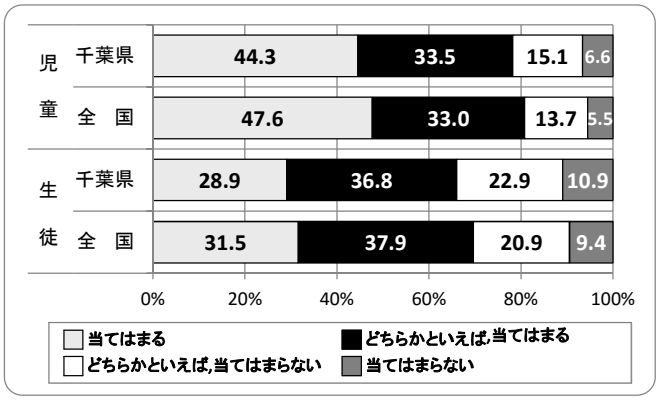
【回答結果と正答率の関連】



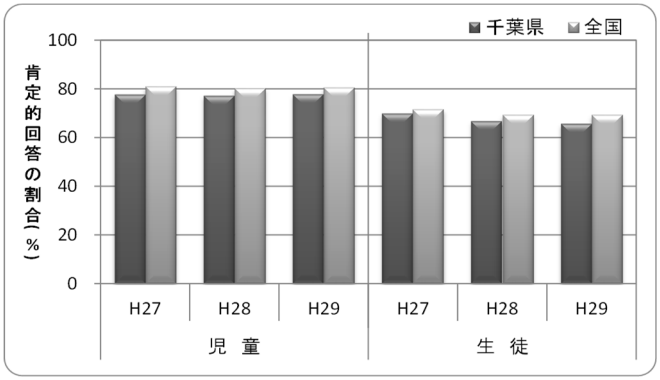
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。算数・数学の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

児 80 生 82	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

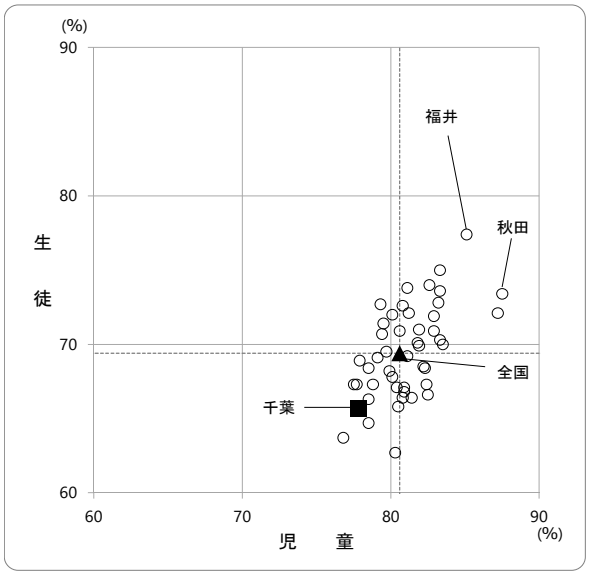
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



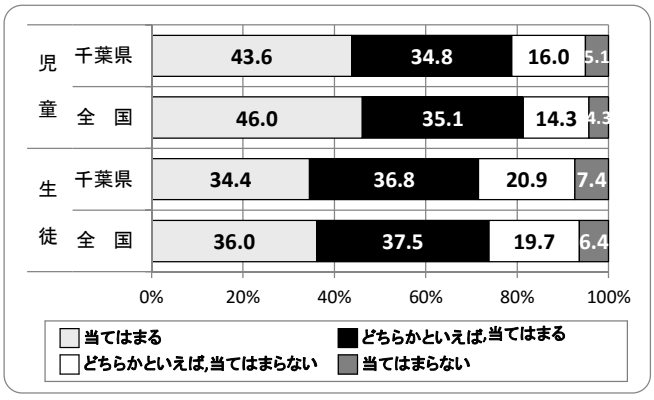
【散布図】



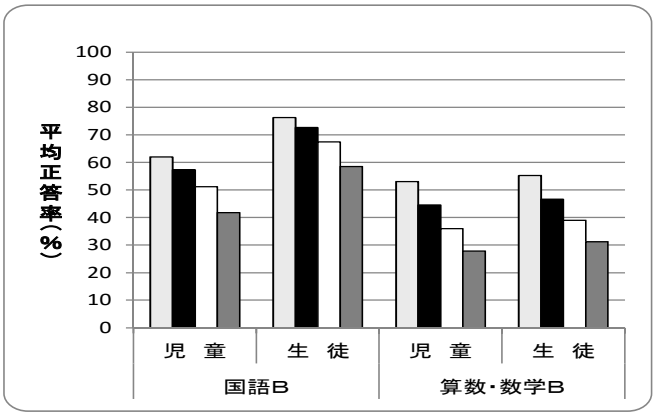
肯定的回答の割合について，児童は70%を超えているが，全国の中では下位に位置している。生徒は全国と比べてやや低い傾向が続いている。

児 82 生 84	算数・数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか

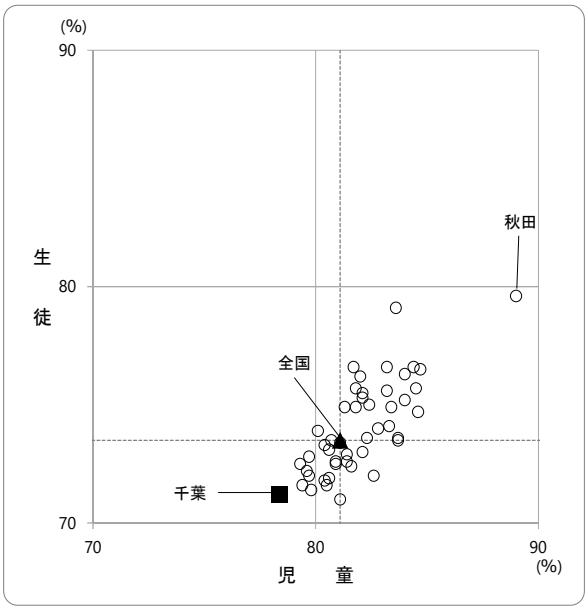
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



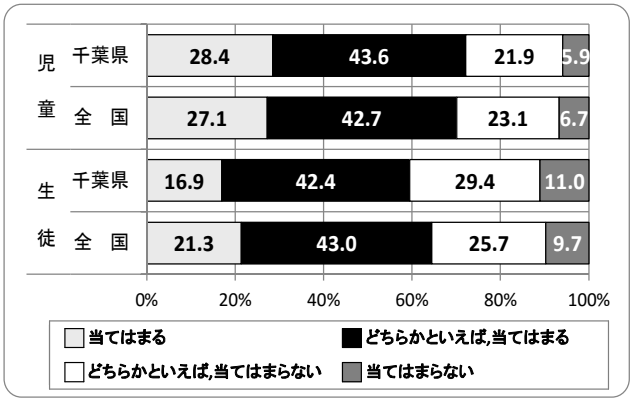
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低く，全国の中では下位に位置している。「Ｂ問題」の記述式では，肯定的回答をしている児童生徒ほど，正答率が高い傾向が見られる。

ウ　総合的な学習の時間への関心等

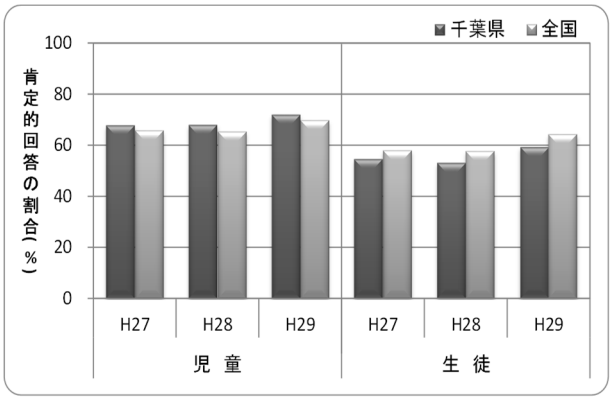
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
54	56	「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	72.0	2.2	59.3	-5.0

児 54 生 56	「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

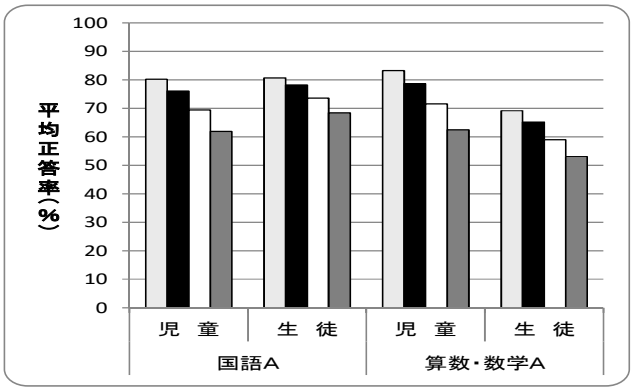
【平成２９年度調査結果】

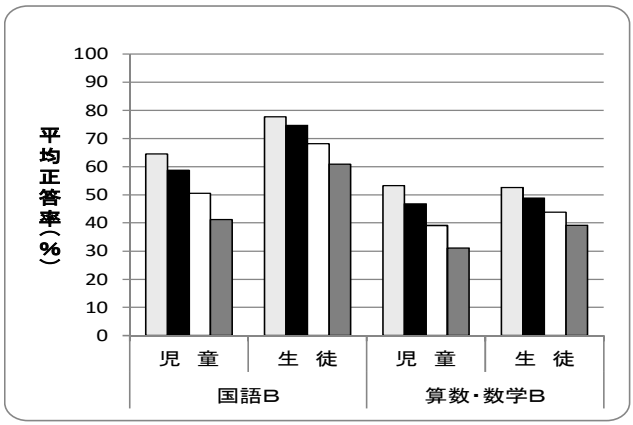


【経年変化】

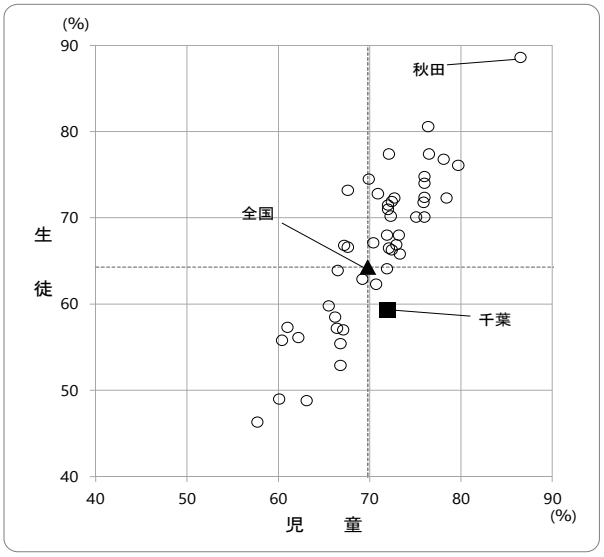


【回答結果と正答率の関連】





【散布図】



肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒は全国と比べて低い。肯定的回答をしている児童生徒ほど「Ａ問題」「Ｂ問題」ともに，正答率が高い傾向が見られる。

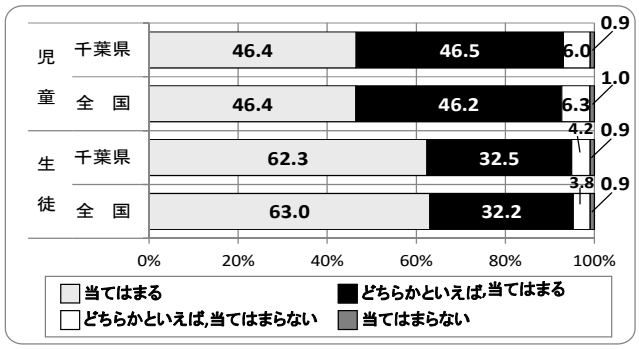
② 規範意識・自尊感情

ア 規範意識

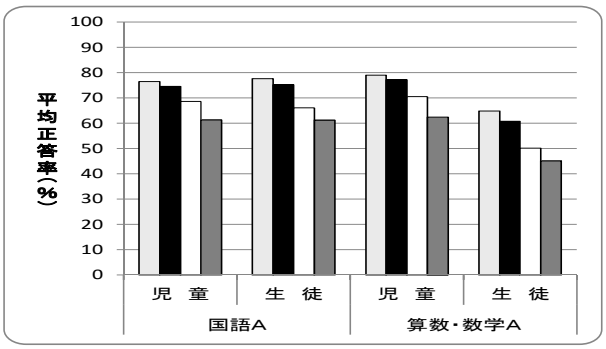
質問番号		質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
49	51	学校のきまり・規則を守っていますか	92.9	0.3	94.8	−0.4
50	52	友達との約束を守っている	96.8	−0.4	97.0	−0.4
51	53	人が困っているときは，進んで助けている	85.4	0.1	84.6	0.2
52	54	いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	−0.4	91.7	−1.1
53	55	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.4	−0.1	90.7	−1.2

児 49 / 生 51　学校のきまり・規則を守っていますか

【平成２９年度調査結果】



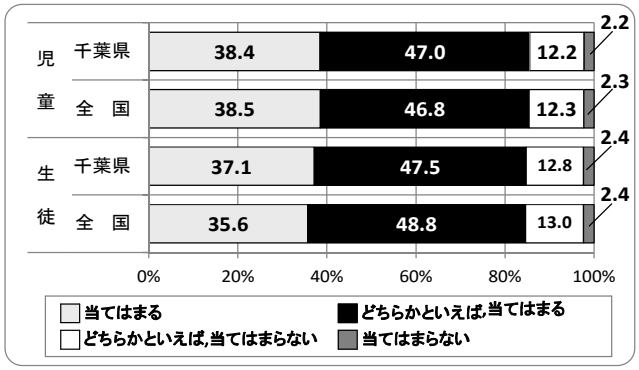
【回答結果と正答率の関連】



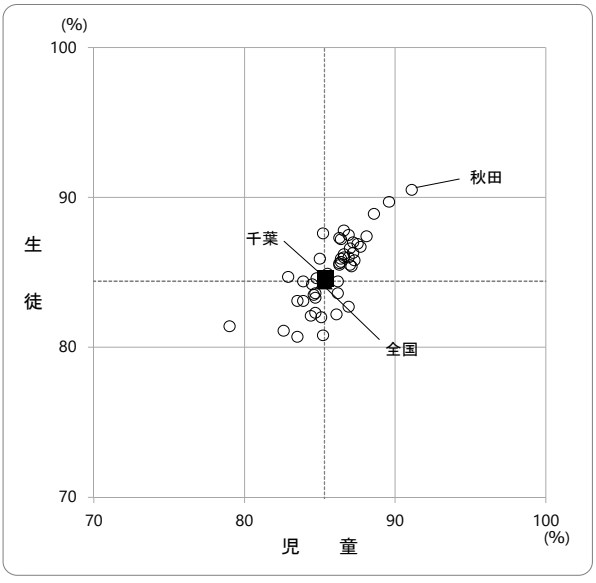
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。きまり・規則を守っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

児 51 / 生 53　人が困っているときは，進んで助けている

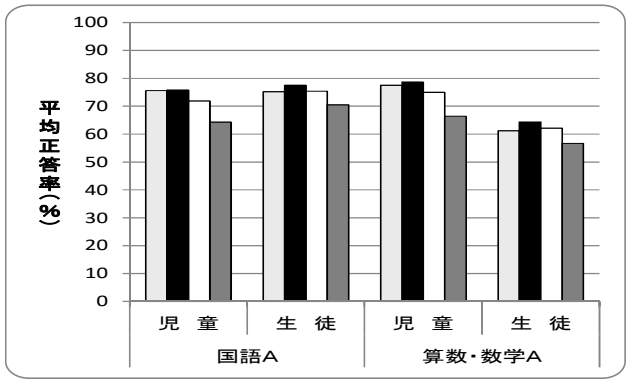
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



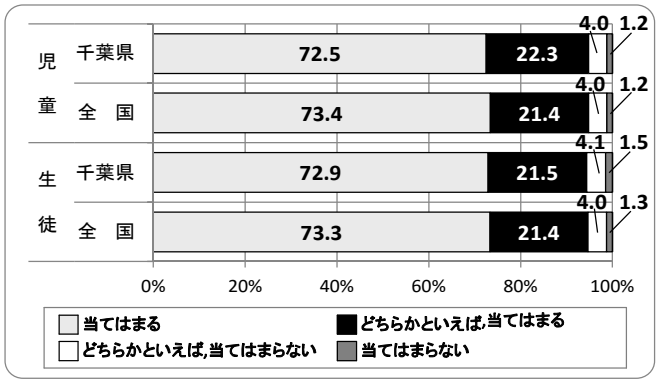
肯定的回答の割合は,児童生徒ともに80%を超えており,全国と比べて同程度である。

イ　自尊感情

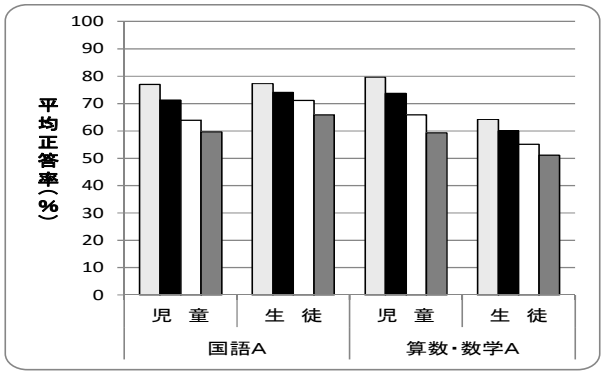
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
4	4	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか	94.8	0.0	94.4	-0.3
5	5	難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか	76.3	-1.1	71.1	0.1
6	6	自分には，よいところがあると思いますか	77.0	-0.9	68.0	-2.7
10	10	将来の夢や目標を持っていますか	86.5	0.6	70.0	-0.5

4　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか

【平成２９年度調査結果】



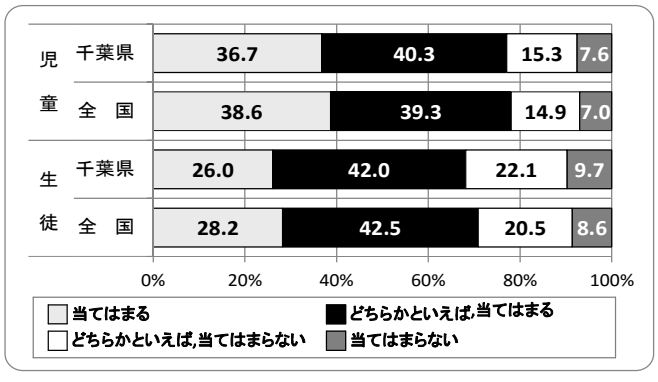
【回答結果と正答率の関連】



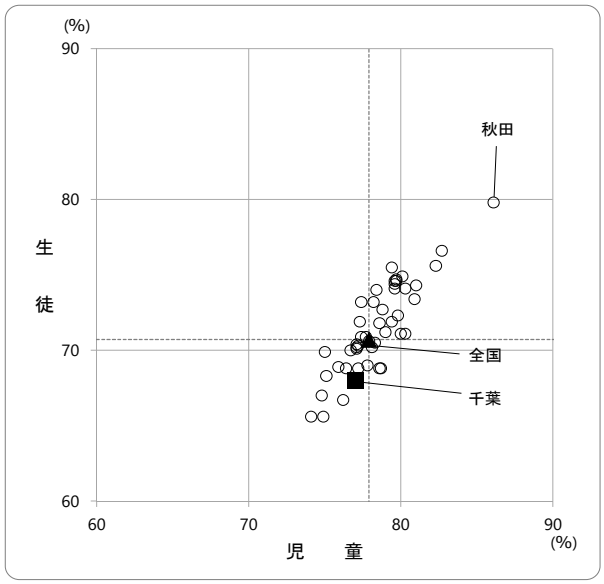
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

6　自分には，よいところがあると思いますか

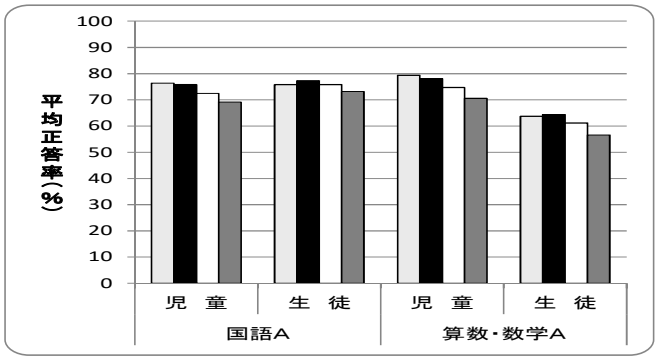
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度で,生徒はやや低い。自分のよさを認識している児童ほど正答率が高い傾向が見られる。

③　学習の基盤となる活動・習慣

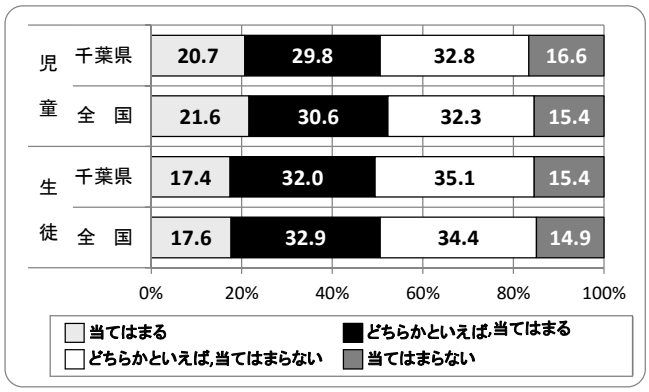
ア　言語活動・読解力

質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
7	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.5	−1.7	49.4	−1.1
8	8	友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.0	−0.3	94.2	−0.4
9	9	友達と話し合うとき，友達の考えを受け止めて，自分の考えを持つことができますか	85.0	−0.5	88.1	−0.3
11	11	授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	82.7	−0.1	69.7	−1.2
36	38	学級では，学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	48.8	−1.5	39.8	−0.7
56	58	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	82.6	−2.1	82.6	−1.8
57	59	授業では，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	82.8	−1.7	79.8	−2.0
58	60	授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	73.8	−1.3	69.2	−2.1
59	61	授業で，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか	77.0	−1.1	72.0	−1.5
60	62	授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章，話しの組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	64.7	−0.2	55.9	−2.0
64	66	道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	77.7	−0.8	75.4	−0.6
66	68	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	38.6	−1.7	37.6	0.3
67	69	学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか	45.6	−0.6	36.7	−0.3
68	70	学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか	67.6	−0.6	63.0	−1.8

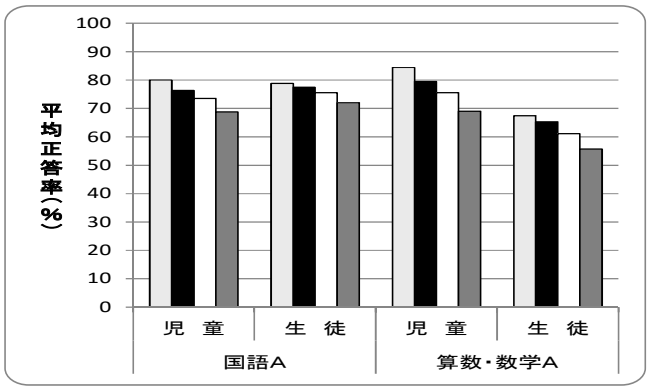
※66(児) 68(生)，67(児) 69(生) の「肯定的回答の割合」とは，「どちらかといえばそう思わない」，「そう思わない」と回答した割合の合計である。

7　友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

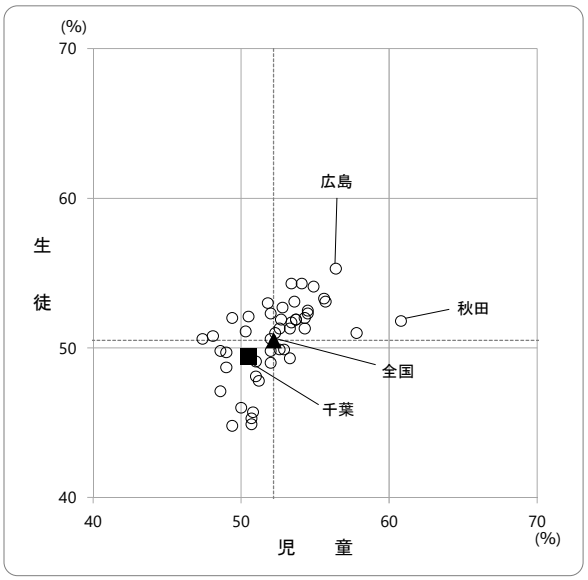
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



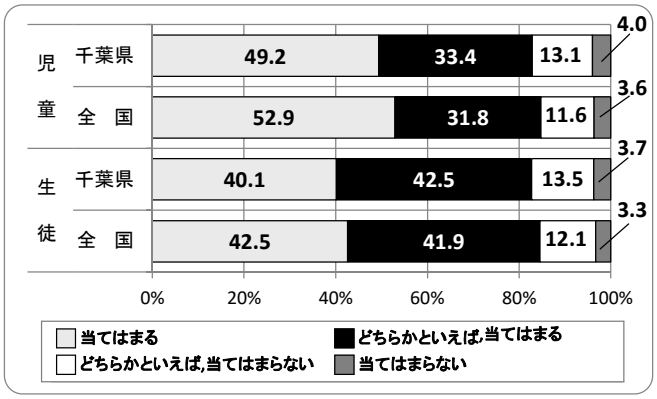
【散布図】



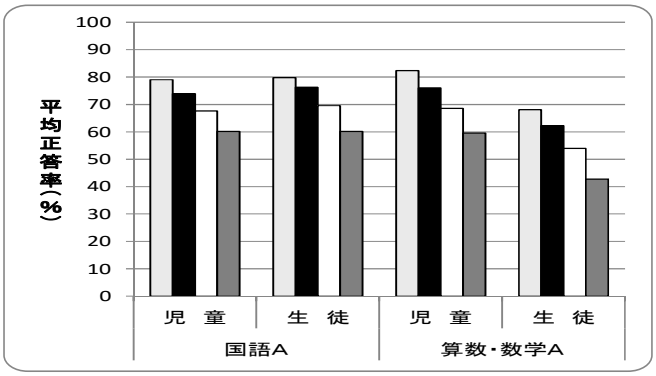
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。発表することを得意だと感じている児童生徒ほど正答率が高く，児童にその傾向がより強く見られる。

児 56 生 58	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

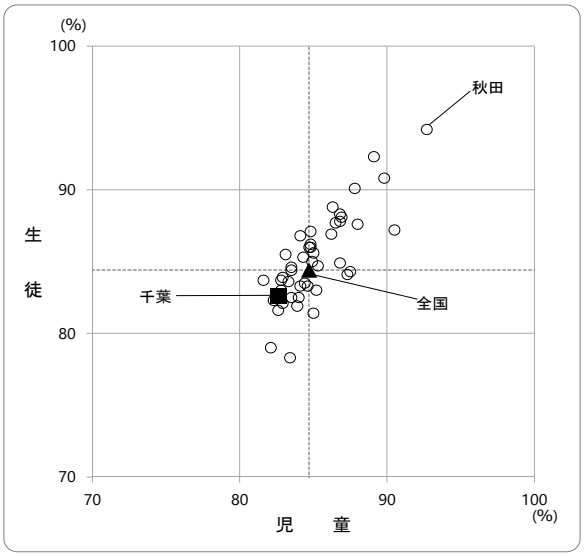
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



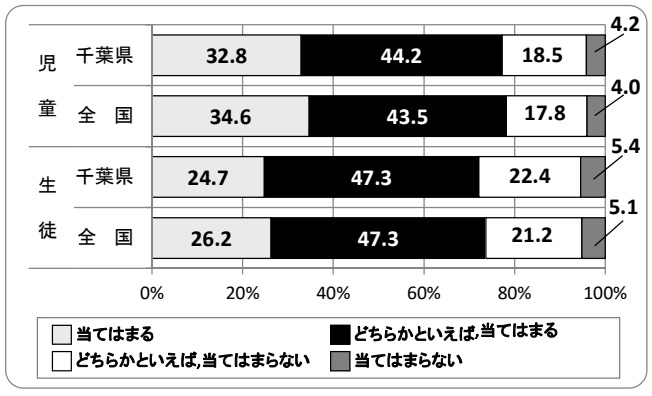
【散布図】



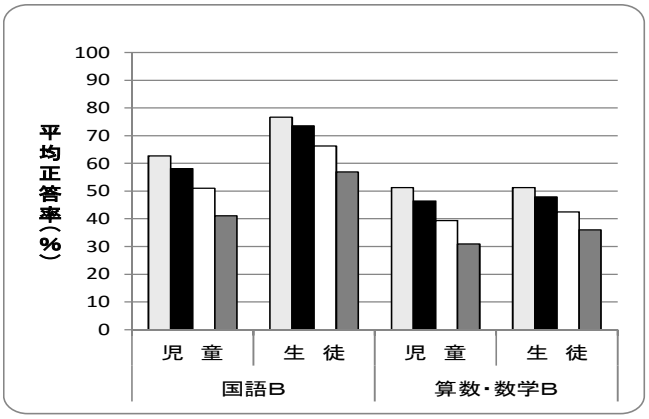
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。自分の考えを発表する機会が与えられていたと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

児 59 生 61	授業で，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動では，話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか

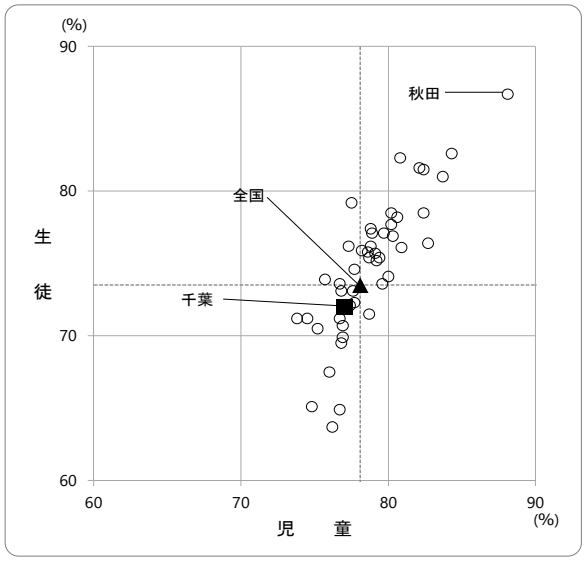
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



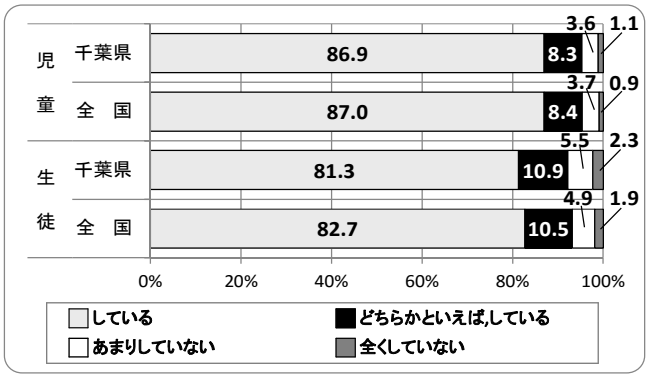
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思う児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

イ　生活習慣

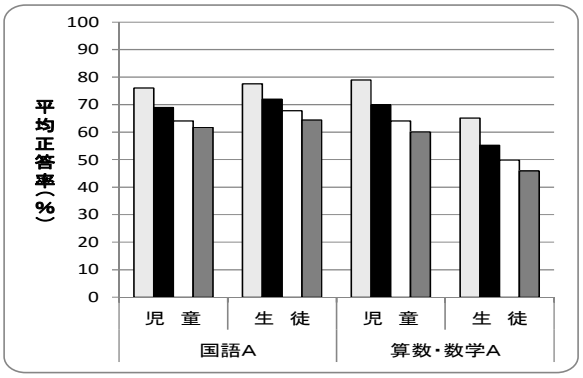
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
児童	生徒		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
1	1	朝食を毎日食べていますか	95.2	-0.2		92.2	-1.0	
2	2	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか	79.7	-0.1		74.3	-1.3	
3	3	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか	90.9	-0.3		92.3	-0.1	

1　朝食を毎日食べていますか

【平成２９年度調査結果】

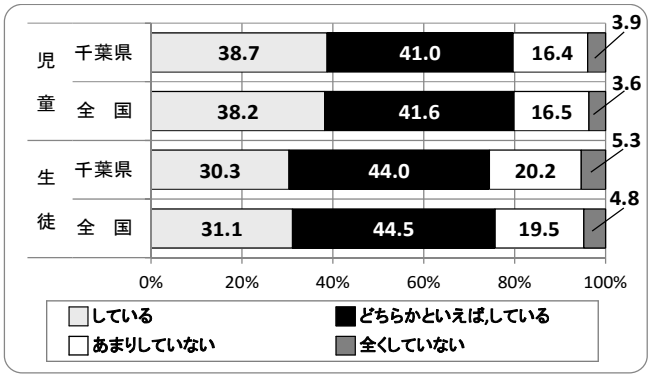


【回答結果と正答率の関連】

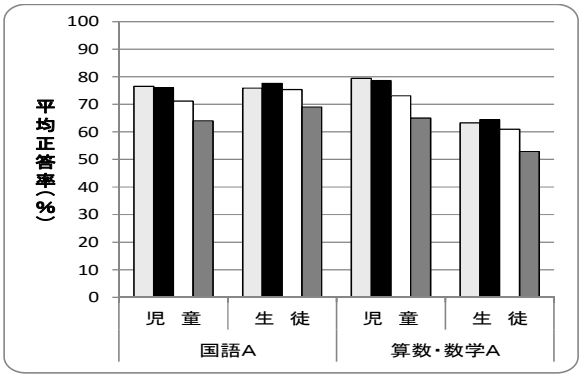


2　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか

【平成２９年度調査結果】

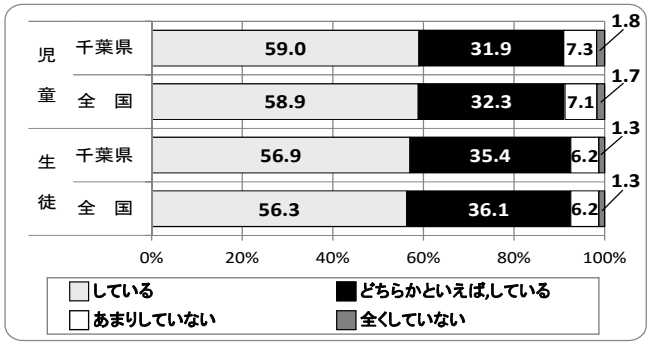


【回答結果と正答率の関連】

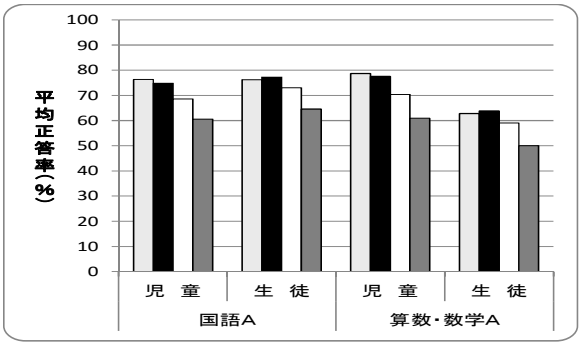


3　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



朝食を毎日食べている割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。毎日，同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや低い。毎日，同じくらいの時刻に起きていると回答した児童生徒の割合は，全国と同程度である。

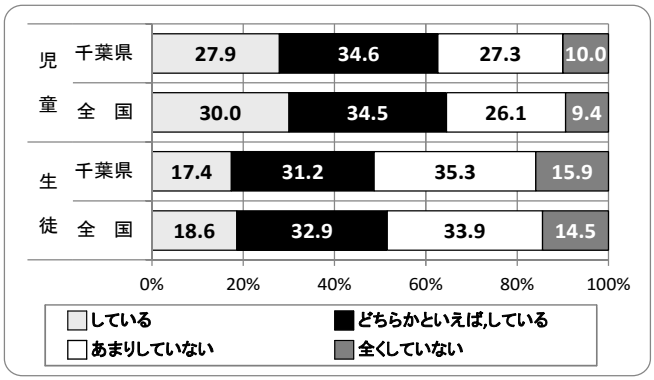
全ての質問において，肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高く，特に「朝食を毎日食べていますか」という質問ではその傾向が顕著である。

ウ　学習習慣

質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
児童	生徒		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
29	31	家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか	62.5	-2.0		48.6	-2.9	
30	32	家で，学校の宿題をしていますか	96.4	-0.5		85.1	-4.4	
31	33	家で，学校の授業の予習をしていますか	40.6	-0.4		33.1	1.4	
32	34	家で，学校の授業の復習をしていますか	50.1	-3.7		48.7	-1.8	

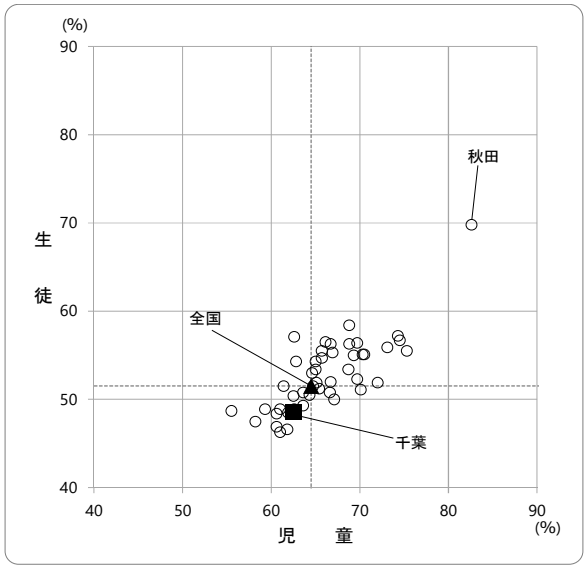
児 29 / 生 31　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

【平成２９年度調査結果】



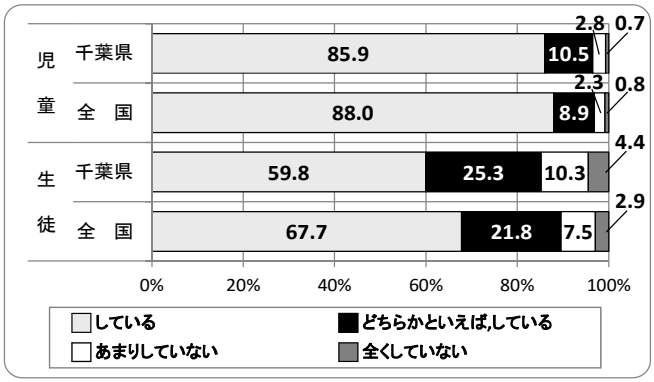
家で計画を立てて勉強をしている割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低く，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

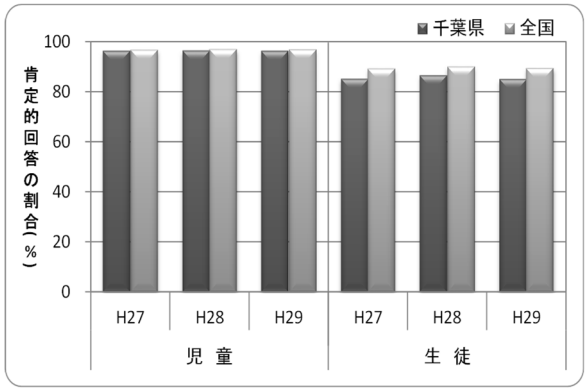


児 30 / 生 32　家で，学校の宿題をしていますか

【平成２９年度調査結果】



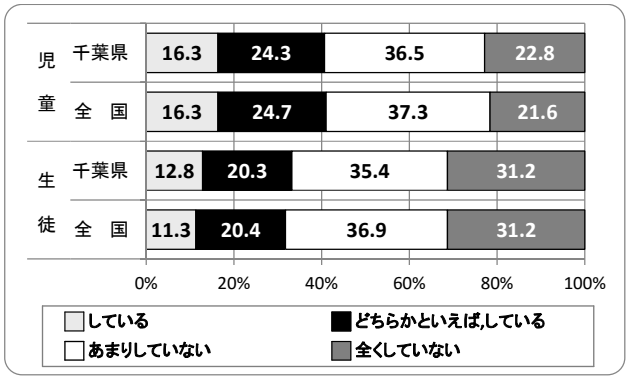
【経年変化】



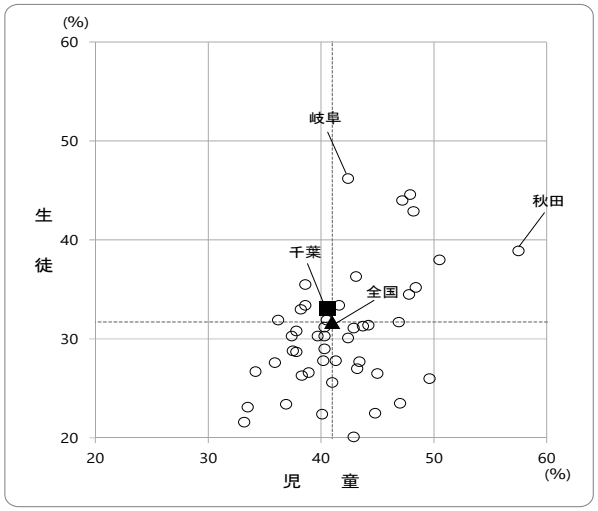
家で学校の宿題をしている児童の割合は，全国と比べて同程度で，生徒はやや低い。しかし，経年変化を見ると，生徒は少しずつではあるが，改善が見られる。

児 31 / 生 33　家で，学校の授業の予習をしていますか

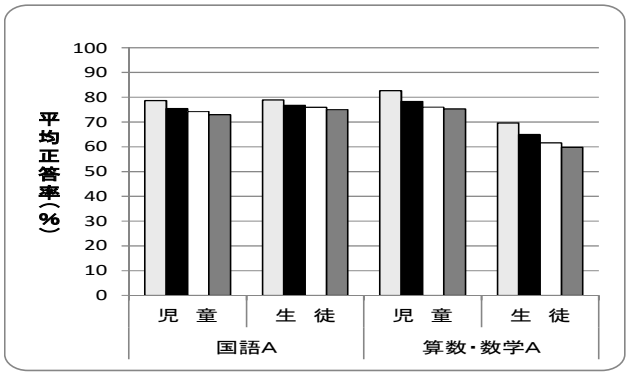
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



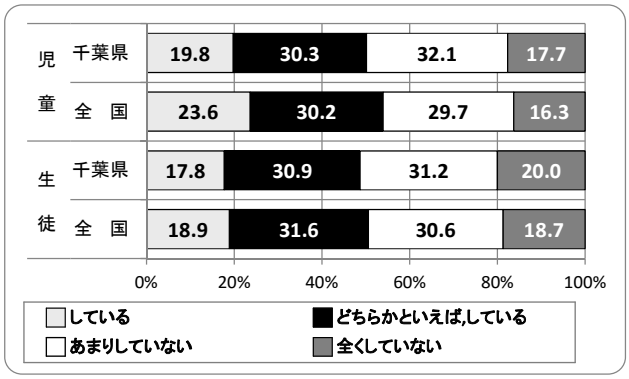
【回答結果と正答率の関連】



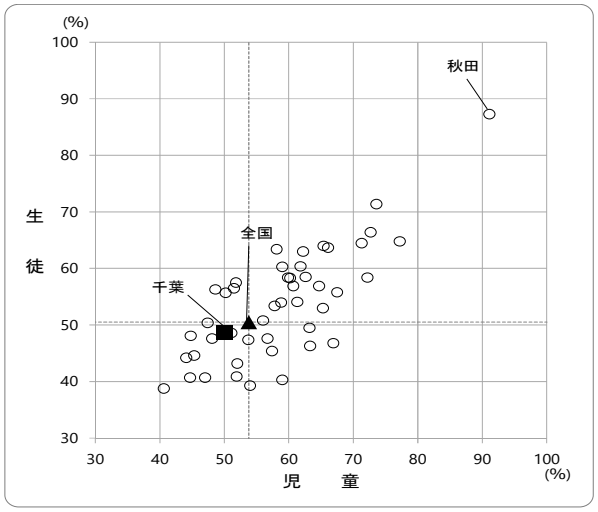
家で授業の予習をしている割合は，児童は全国と比べて同程度で，生徒はやや高い。しかし，肯定的回答をした児童生徒は 50%にも達していない。予習をしている児童生徒ほど，算数・数学で正答率が高く，その傾向が顕著である。

児 32 / 生 34　家で，学校の授業の復習をしていますか

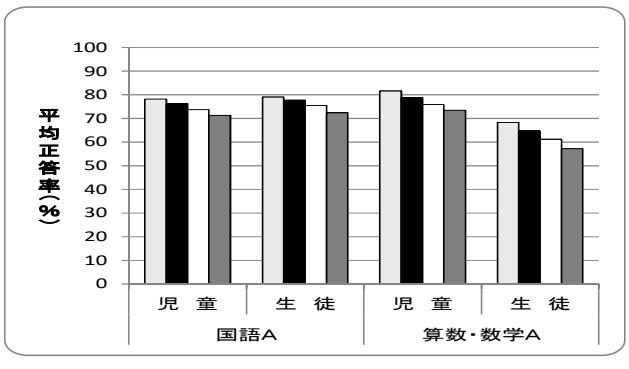
【平成２９度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



家で授業の復習をしている割合は，児童生徒ともに全国と比べて低い。また，復習をしている児童生徒ほど，算数・数学で正答率が高く，その傾向が顕著である。

（２） 学校質問紙調査

① 教科指導

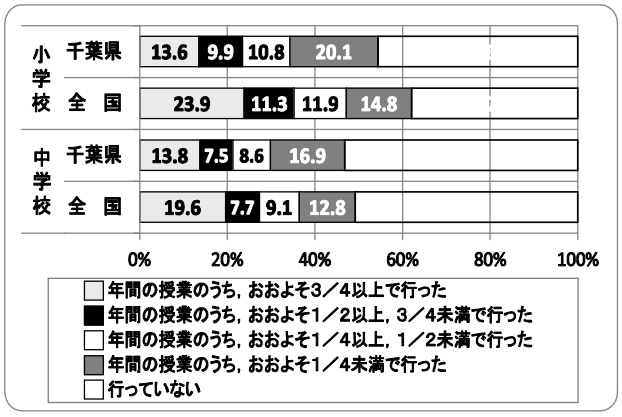
ア 個に応じた指導

質問番号		質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
60	60	算数・数学の授業において,前年度に，習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い,習得できるようにしましたか	23.5	-11.7	▼	21.3	-6.0	▼
61	61	算数・数学の授業において,前年度に，習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い,発展的な内容を扱いましたか	14.1	-11.7	▼	16.4	-5.5	▼
62	62	算数・数学の授業において，前年度に，ティームティーチングによる指導を行いましたか	36.6	2.2		47.2	12.5	△

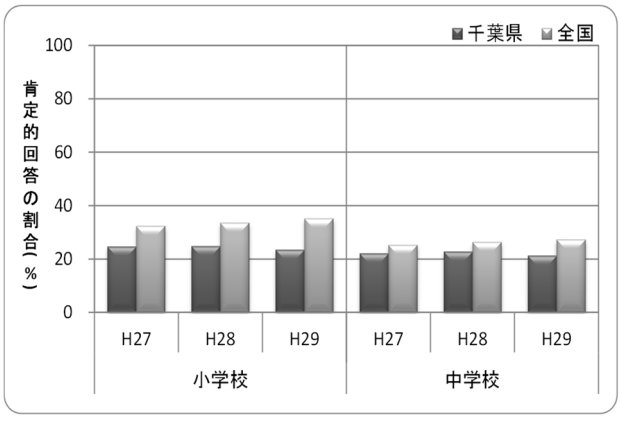
※60～62の「肯定的回答の割合」とは,年間の授業のうちおおよそ,「3/4以上」,「1/2～3/4」で行ったと回答した割合の合計である。

60	算数・数学の授業において，前年度に，習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い，習得できるようにしましたか

【平成２９年度調査結果】

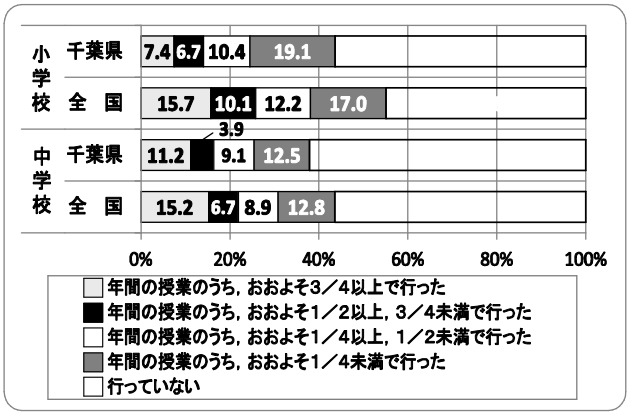


【経年変化】

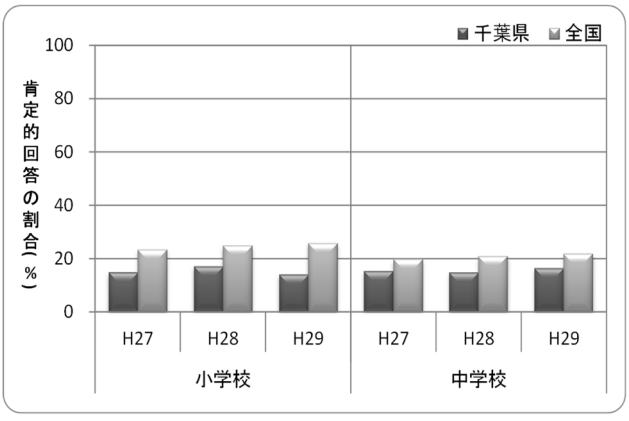


61	算数・数学の授業において,前年度に,習熟の早いグループに対して少人数指導を行い,発展的な内容を扱いましたか

【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



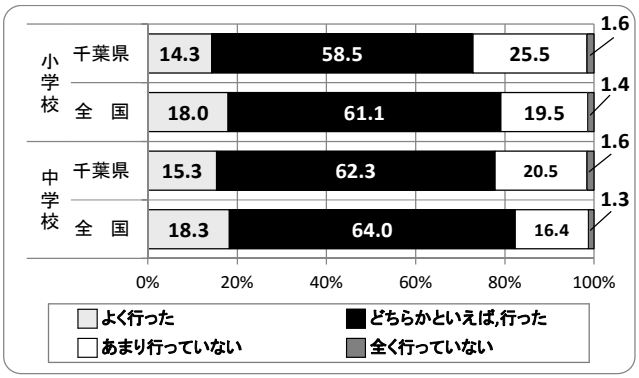
算数・数学の授業における習熟度別の少人数指導について,「前年度に年間の授業のうち,おおよそ 1/2 以上で行った」割合は，小中学校ともに全国より低く，中学校よりも小学校の方が全国との差が大きい。小中学校ともに，習熟の早いグループに対する少人数指導を行った割合よりも，習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った割合の方が高い。また，ティームティーチングによる指導について,算数・数学では,小学校は全国と比べてやや高く，中学校は著しく高い。

イ　国語科の指導法

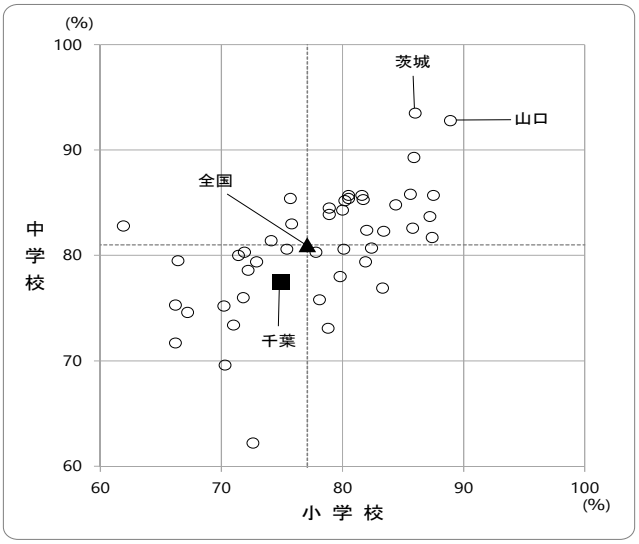
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
64	64	国語の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	72.8	−6.3	▼	77.6	−4.7	
65	65	国語の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	51.5	−1.2		67.0	−0.4	
66	66	国語の指導として，前年度までに，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	90.4	−1.8		87.3	−0.2	
67	67	国語の指導として，前年度までに，書く習慣を付ける授業を行いましたか	89.5	−3.9		95.1	−0.6	
68	68	国語の指導として，前年度までに，様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	88.2	−0.7		90.9	0.3	
69	69	国語の指導として，前年度までに，漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	97.9	−0.2		99.0	0.6	
53	53	国語の授業において，コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	38.9	−6.0	▼	21.1	−4.2	

64　国語の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】

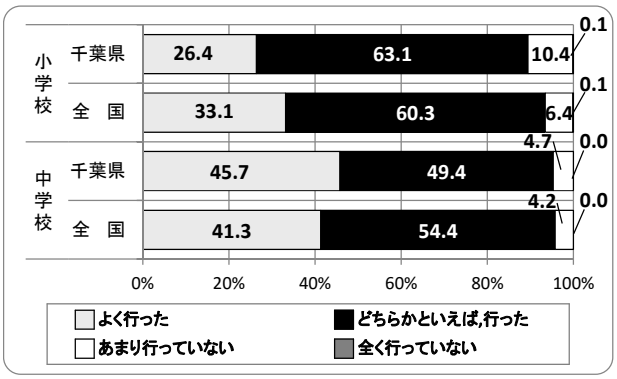


【散布図】

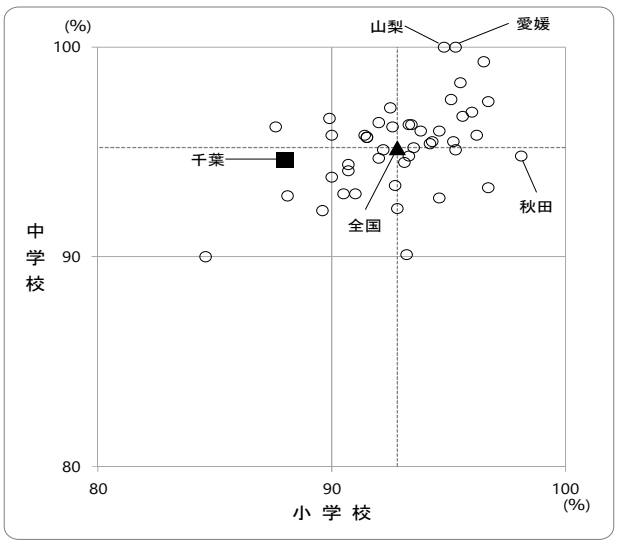


67　国語の指導として，前年度までに，書く習慣を付ける授業を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



国語の指導として補充的な学習の指導を行った割合は，全国と比べて小学校は低く，中学校はやや低い。

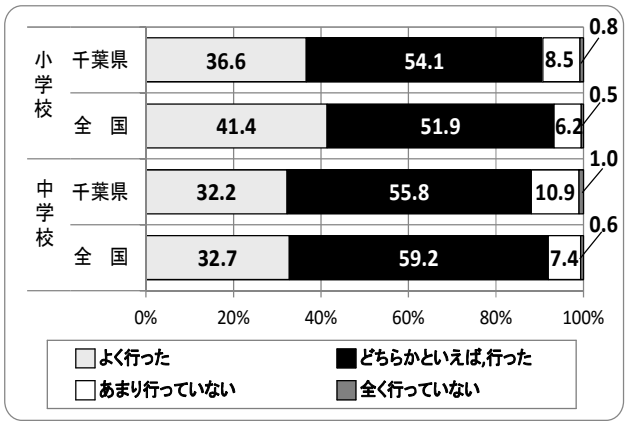
書く習慣を付ける授業を行った割合は，小学校では全国と比べて低く，全国の中でも下位に位置している。中学校と比べても，「よく行った」と回答した割合は，19.3 ポイント低い。また，発展的な学習の指導を行った割合は，中学校は小学校よりも 15.5 ポイント高く，差がひらいている。小中学校ともに，発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

ウ　算数・数学科の指導法

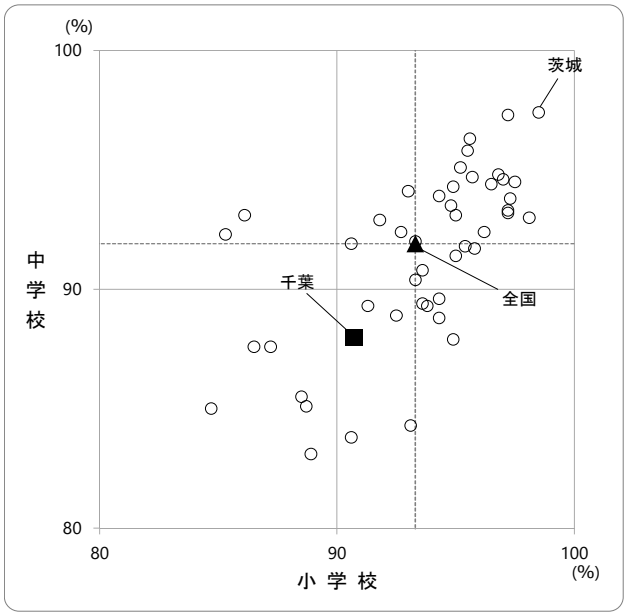
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
70	70	算数・数学の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	90.7	−2.6		88.0	−3.9	
71	71	算数・数学の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	62.1	−4.8		66.4	−4.8	
72	72	算数・数学の指導として，前年度までに，実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	69.5	−5.7	▼	70.1	−0.8	
73	73	算数・数学の指導として，前年度までに，計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	98.1	0.6		95.4	−1.1	
74		調査対象である第６学年の児童に対する算数の授業では前年度までに，教科担任制を実施していましたか	5.2	−3.8				
54	54	算数･数学の授業において，コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	47.2	−8.2	▼	29.0	−9.8	▼

70	算数・数学の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】

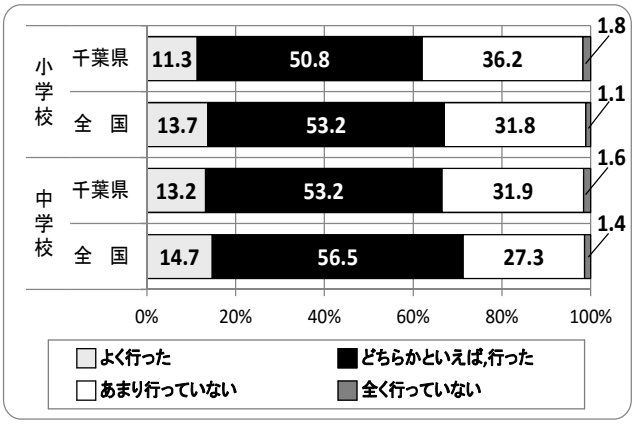


【散布図】

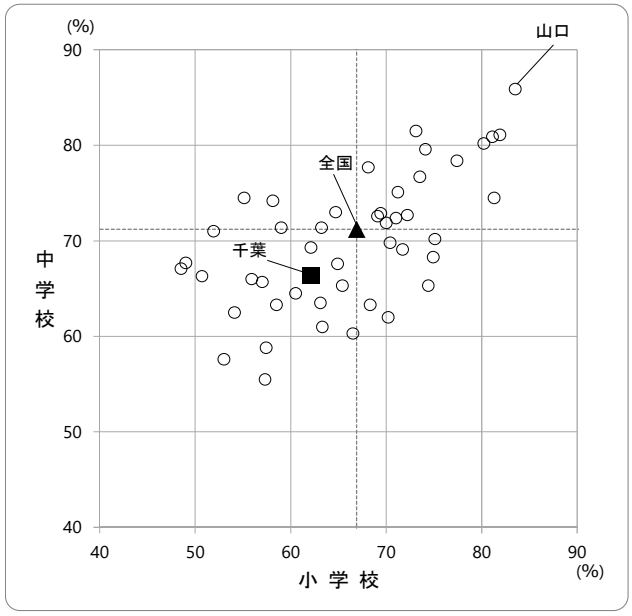


71	算数・数学の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



補充的な学習の指導を行った割合は，全国と比べて，小中学校ともにやや低く，全国の中でも下位に位置している。発展的な学習の指導を行った割合は，小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに，発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

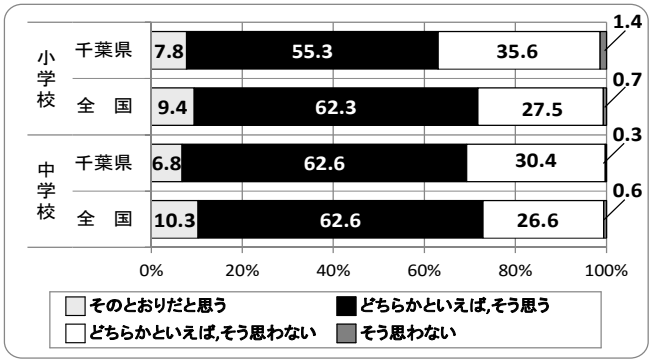
② 学力向上

ア 児童生徒の状況

質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
12	12	児童生徒は，熱意をもって勉強していると思いますか	91.0	−3.2		89.1	−2.6	
13	13	児童生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか	86.7	−4.0		94.6	0.0	
14	14	児童生徒は礼儀正しいと思いますか	87.5	−2.0		92.7	−1.0	
15	15	児童生徒は,学級やグループでの話合いなどの活動で,自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	70.6	−6.9	▼	75.3	−0.6	
16	16	児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	79.7	−7.0	▼	86.7	−2.6	
17	17	児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか	63.1	−8.6	▼	69.4	−3.5	
18	18	児童生徒は，自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	87.5	−4.3		87.8	−0.3	
19	19	児童生徒は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていると思いますか	59.3	−3.7		59.2	−2.0	

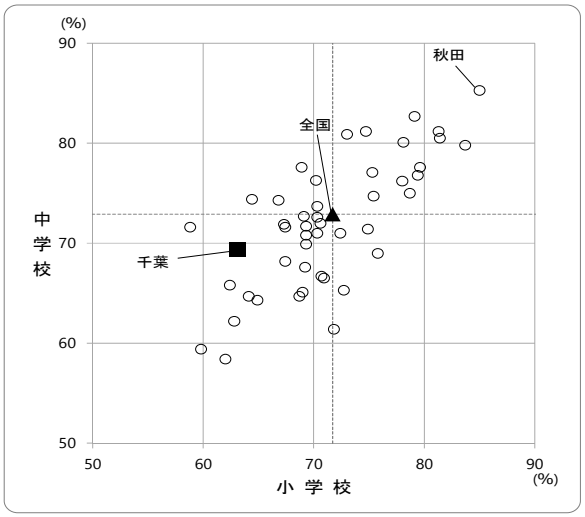
17 児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

【平成２９年度調査結果】



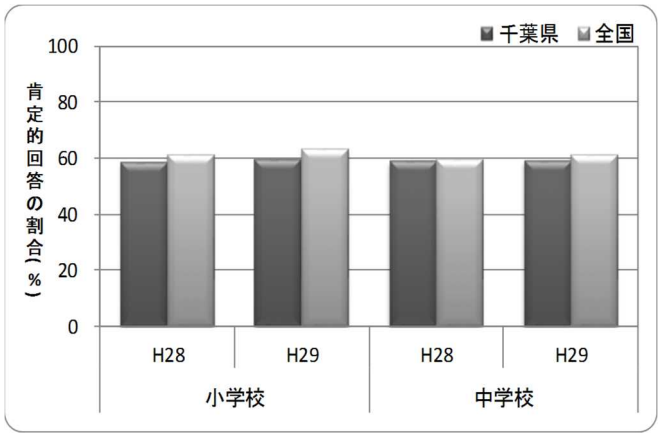
肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，中学校もやや低い。小学校は，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】



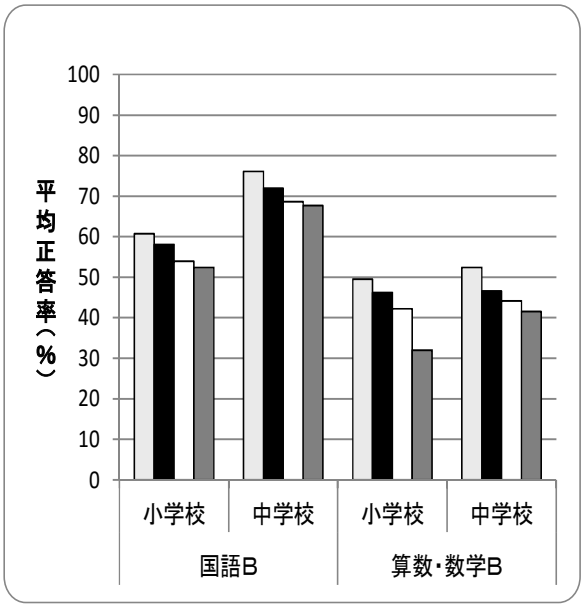
19 児童生徒は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていると思いますか

【経年変化】



肯定的回答の割合は，小中学校ともに，全国と比べてやや低い。肯定的な回答をした学校の児童生徒ほど，正答率が高い。

【回答結果と正答率の関連】



イ　学力向上に向けた取組・指導方法

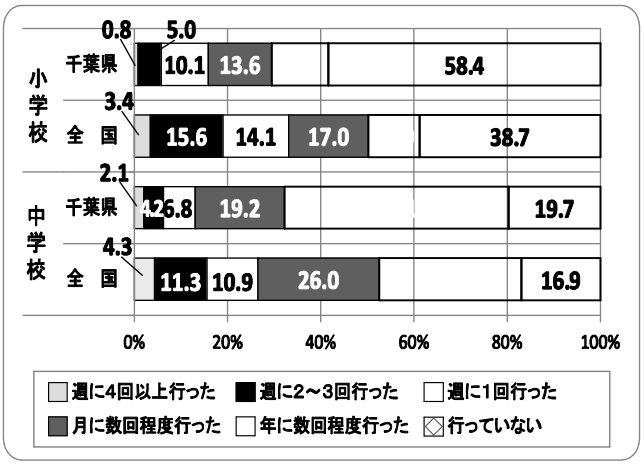
質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
22	22	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	98.2	0.0		91.0	0.1	
23	23	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	41.7	-19.4	▼	80.4	-2.6	
24	24	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	4.6	-5.4	▼	8.3	-8.4	▼
25	25	前年度に，長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	44.6	-19.6	▼	76.9	-3.9	
32	32	習得･活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.1	-1.4		86.7	-2.9	
33	33	前年度までに，授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	99.5	0.5		98.2	-0.1	
34	34	前年度までに，授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	94.5	-0.9		94.1	-0.2	
35	35	前年度までに，各教科等の指導のねらいを明確にした上で，言語活動を適切に位置付けましたか	91.3	-2.0		86.7	-3.8	
36	36	前年度までに，様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	94.1	-1.4		93.3	-0.6	
37	37	前年度までに，発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	97.7	-0.6		96.9	-0.1	
38	38	前年度までに，授業で扱うノートに,学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	99.4	2.0		95.6	4.4	
39	39	前年度までに，学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	97.9	0.5		94.6	0.0	
40	40	前年度までに，総合的な学習の時間において，課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	84.9	-0.4		79.0	-4.7	
41	41	前年度までに，児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し,その解決に向けて話し合い,まとめ,表現するなどの学習活動を取り入れましたか	83.1	0.8		76.1	1.0	
42	42	前年度までに，本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	94.2	1.6		85.2	1.7	
43	43	前年度までに，資料を使って発表ができるよう指導しましたか	92.8	1.6		80.0	-5.5	▼
44	44	前年度までに，自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	92.2	-2.5		89.9	-2.2	
45	45	前年度までに，将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	69.7	-6.0	▼	96.9	-0.6	
46	46	前年度までに，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	89.8	-1.8		85.4	-1.6	
47	47	前年度までに,道徳の時間において，児童〔生徒〕自らが考え，話し合う指導をしましたか	89.7	-0.9		89.1	-0.7	
48	48	前年度までに,学習規律(私語をしない,話をしている人の方を向いて聞く,聞き手に向かって話をする,授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.0	-0.7		97.9	-0.1	
49	49	各教科等で身につけたことを，様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	81.9	-1.4		71.9	-3.3	
50	50	前年度までに,教科や総合的な学習の時間,あるいは朝や帰りの会などにおいて,地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	77.6	-0.9		67.5	-4.5	
51	51	前年度までに，学校生活の中で，児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け，児童〔生徒〕に伝えるなど積極的に評価しましたか	97.4	0.0		93.7	-1.8	
52	52	前年度までに，コンピュータ等の情報通信技術を活用して，子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見･解決型の学習指導を行いましたか	75.4	3.8		62.6	-1.2	

※22の「肯定的回答」とは,「週に1回」,「月に数回」,「学期に数回」,「年に数回」行ったと回答した割合の合計である。
※23～25の「肯定的回答」とは,「行った」と回答した割合の合計である。

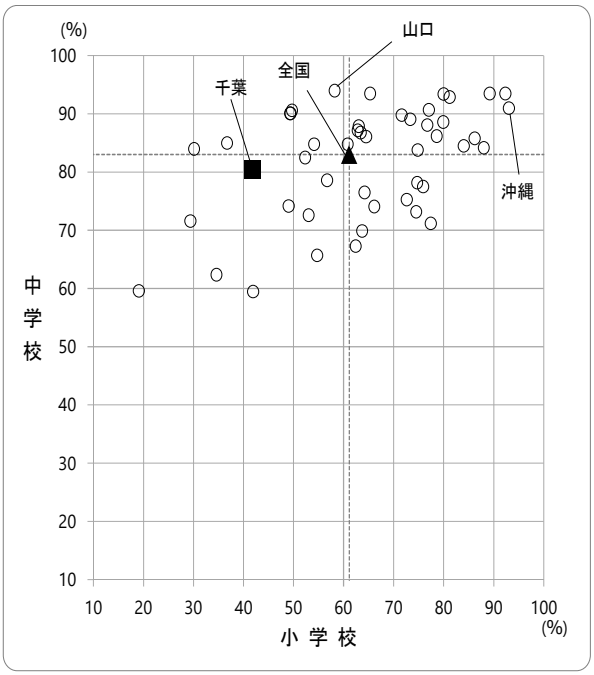
「授業で扱うノートに，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導する」の肯定的回答の割合は，小中学校ともに95%を超えている。「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をする」の肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，全国の中でも下位に位置している。

23	前年度までに，学力向上や学習の定着等を目的とし，放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

【平成２９年度調査結果】



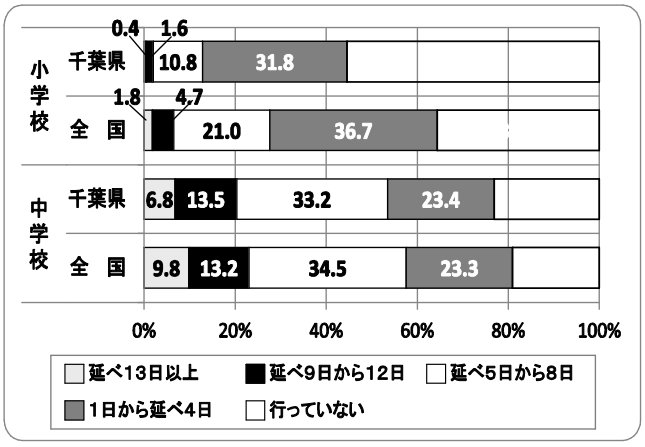
【散布図】



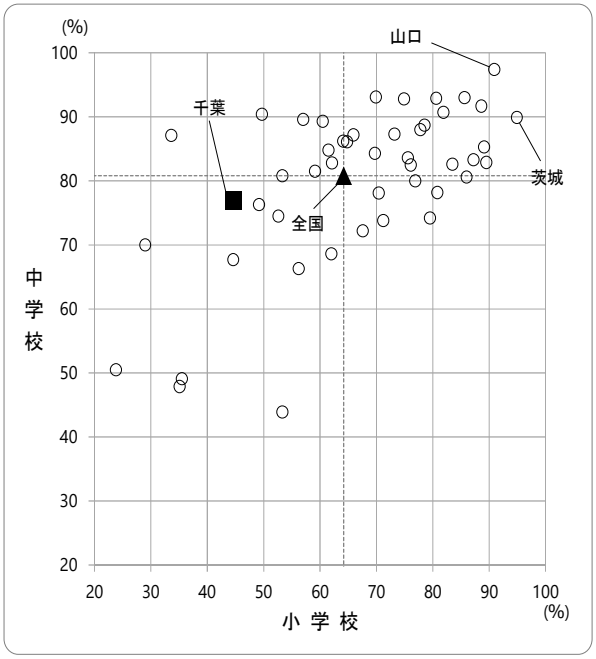
肯定的回答の割合は，全国と比べて，小学校は 41.7%と著しく低く，全国の中でも下位に位置している。中学校は，80%を超えている。

25	前年度に，長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



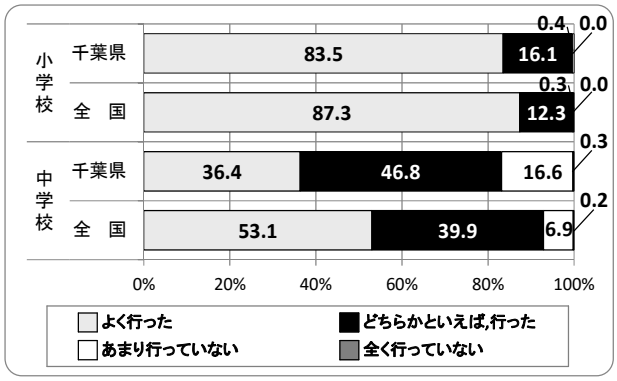
肯定的回答の割合は，小学校は 44.6%と全国と比べ著しく低く，全国の中でも下位に位置している。中学校は，全国と比べてやや低い。

ウ　家庭学習

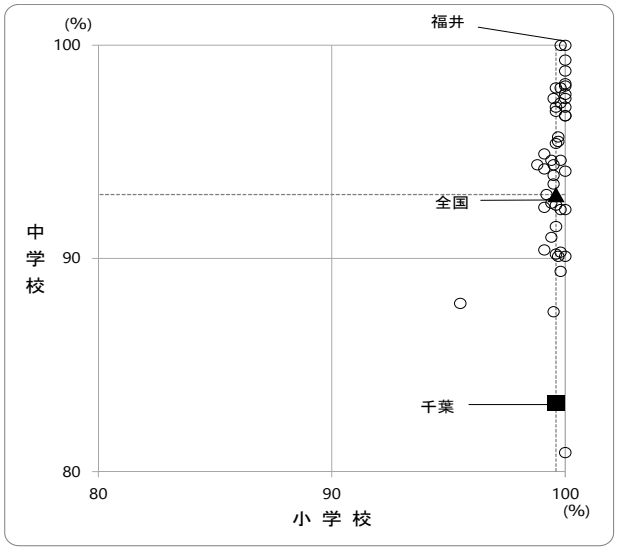
質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
90	88	前年度までに，国語の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	99.6	0.0		83.2	-9.8	▼
91	89	前年度までに，国語の指導として，児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について，評価・指導しましたか	97.7	-0.7		89.6	-5.3	▼
92	90	前年度までに，算数・数学の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	99.7	0.1		88.3	-6.4	▼
93	91	前年度までに,算数・数学の指導として,児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について,評価・指導しましたか	97.9	-0.7		89.7	-5.4	▼
94	92	前年度までに，保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）	96.3	-0.7		84.7	-2.9	
95	93	前年度までに，家庭学習の課題の与え方について，校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	83.8	-5.8	▼	74.0	-8.2	▼
96	94	前年度までに，家庭学習の取組として，調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）	75.7	-7.4	▼	57.9	-11.9	▼
97	95	前年度までに,家庭学習の取組として,児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）	89.0	-3.2		82.1	-6.2	▼

小 90 中 88	前年度に，国語の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【平成２９年度調査結果】

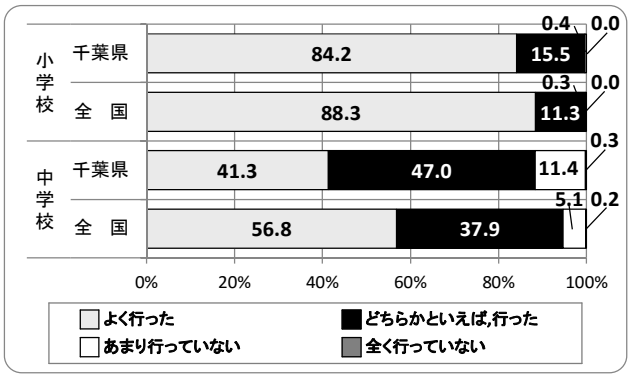


【散布図】

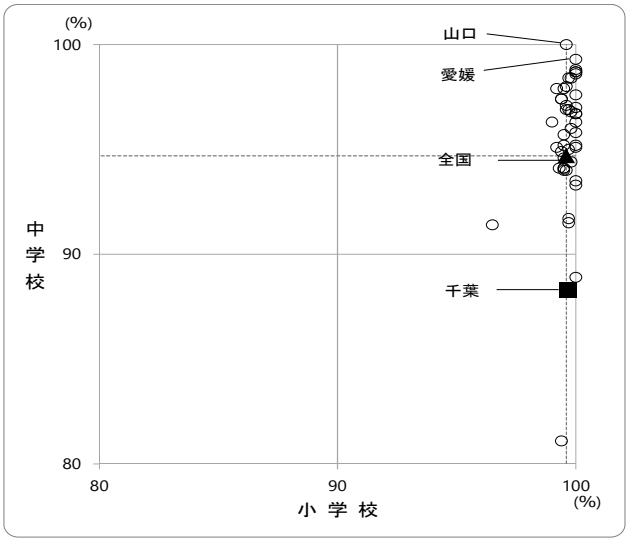


小 92 中 90	前年度までに，算数・数学の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



肯定的回答の割合は，全国と比べ小学校は同程度で,中学校は低い。また，中学校は「課題（宿題）を与える」では，全国との差が，国語が 9.8 ポイント,数学が 6.4 ポイントであり，全国の中でも下位に位置している。

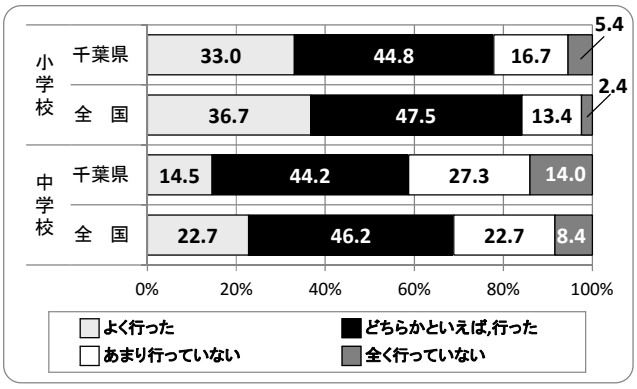
③　学校経営

ア　地域の人材・施設の活用

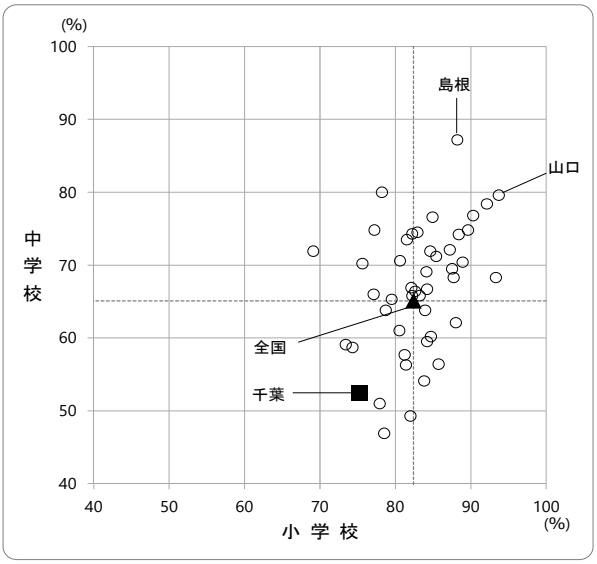
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
80	79	前年度までに，地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	77.8	−6.4	▼	58.7	−10.2	▼
81	80	前年度までに，ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	52.2	2.3		27.8	−3.6	▼
82	81	前年度までに，博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか	56.4	8.2	△	17.1	−6.0	▼
83	82	前年度までに，地域や社会をよくするために何をすべきか考えさせるような授業を行いましたか（新規）	71.9	−3.7		52.8	−15.2	▼
84	83	前年度までに，授業や課外授業で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会を設定しましたか（新規）	80.0	−5.9	▼	66.8	−11.6	▼
86	84	職場見学や職場体験活動を行っていますか	68.0	22.6	△	97.9	−1.0	
87	85	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	99.1	0.5		98.9	1.4	
88	86	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより，保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	93.1	4.4		85.2	7.8	△
89	87	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は，学校の教育水準の向上に効果がありましたか	97.8	0.5		94.8	1.1	

小 80/中 79　前年度までに，地域人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



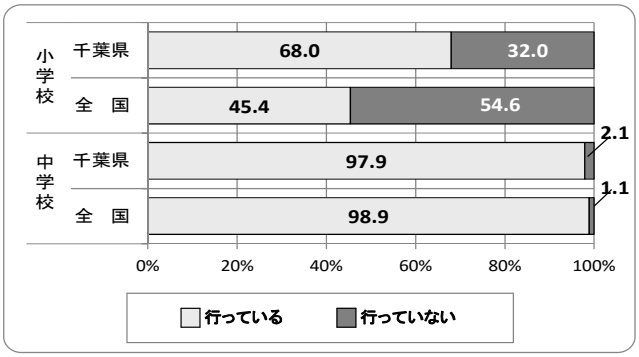
【散布図】



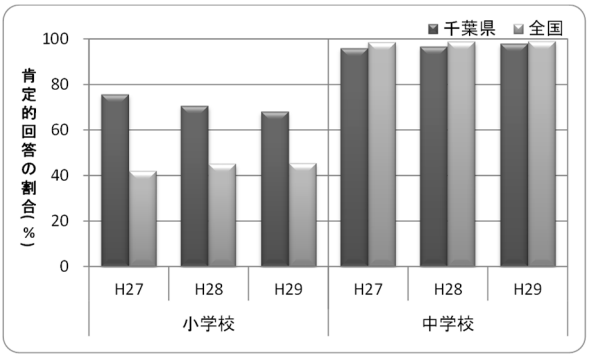
肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく低い。小中学校ともに，全国の中でも下位に位置している。

小 86/中 84　職場見学や職場体験活動を行っていますか

【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて著しく高く，全国を大きく上回る状況が続いている。中学校は全国と同程度である。

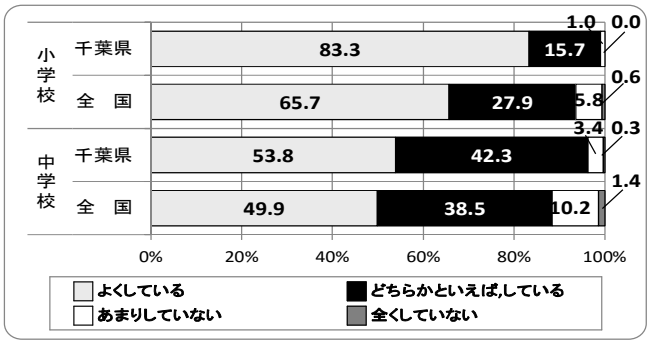
イ　教員研修・教職員の取組

質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	全国との差	
26	26	指導計画について，知識･技能の活用に重点を置いて作成していますか	90.0	−1.3		90.9	−1.1	
27	27	指導計画について，言語活動に重点を置いて作成していますか	93.2	−0.7		90.1	−0.9	
28	28	指導計画の作成に当たっては，各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	86.7	0.0		77.2	−1.1	
29	29	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について，各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	83.3	−2.5		70.9	−6.6	
30	30	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか	88.4	−3.1		83.6	−4.2	
31	31	指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	90.5	−2.1		65.2	−9.4	▼
98	96	校長のリーダーシップのもと，研修リーダー等を校内に設け，校内研修の実施計画を整備するなど，組織的，継続的な研修を行っていますか	99.4	0.2		94.8	−3.2	
99	97	学校でテーマを決め，講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	99.0	5.4	△	96.1	7.7	△
100	98	模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っていますか	95.1	−0.5		87.0	−3.0	▼
101	99	教員が，他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	96.1	−1.2		93.0	−2.0	
102		（小学校において）個々の教員が，自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	88.1	2.6				
	100	（中学校において）教員は，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか				81.5	0.0	
103	101	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	73.5	−2.5		56.9	−11.7	▼
104	102	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	65.4	−5.8	▼	31.7	−18.5	▼
105	103	教職員は，校内外の研修や研究会に参加し，その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	95.4	−1.0		90.2	−2.4	
106	104	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては，教職員同士が協力し合っていますか	96.1	0.3		95.6	1.8	
107	105	学校全体の言語活動の実施状況や課題について，全教職員の間で話し合ったり，検討したりしていますか	85.6	−5.5	▼	77.7	−4.8	
108	106	言語活動について，国語科だけではなく，各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動を通じて，学校全体として取り組んでいますか	90.3	−2.0		85.5	−3.3	
109	107	学校全体の学力傾向や課題について，全教職員の間で共有していますか	98.6	−0.2		97.9	−0.5	
110	108	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し，学校として組織的に取り組んでいますか	98.3	0.3		96.8	0.2	
111	109	校長は，校内の授業をどの程度見て回っていますか	96.8	2.3		89.4	5.9	△

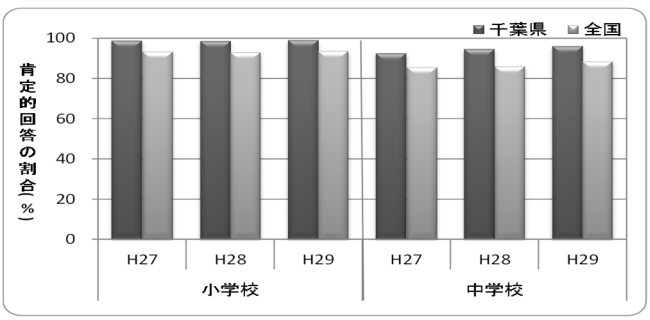
※104(小)，102(中)の「肯定的回答の割合」とは，「年間7回以上実施した」と回答した割合である。
※111(小)，109(中)の「肯定的回答の割合」とは，「ほぼ毎日」，「週に2～3日程度」と回答した割合の合計である。

小99 中97	学校でテーマを決め，講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

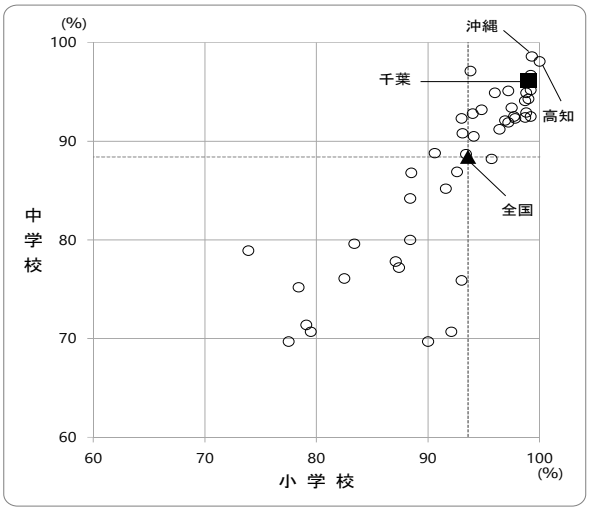
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



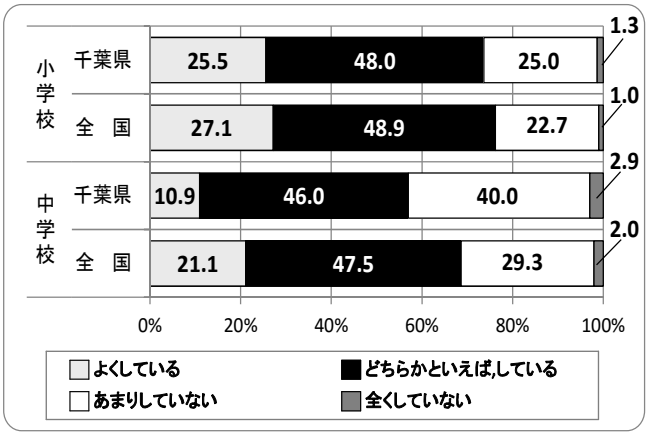
【散布図】



肯定的回答の割合は，小中学校ともに全国と比べて高く，全国を上回る状況が続いている。小中学校ともに，全国の中でも上位に位置している。

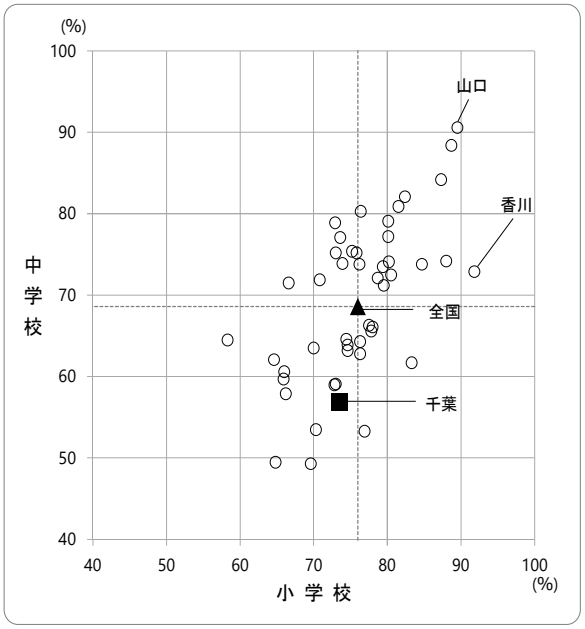
小 103 中 101	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

【平成２９年度調査結果】



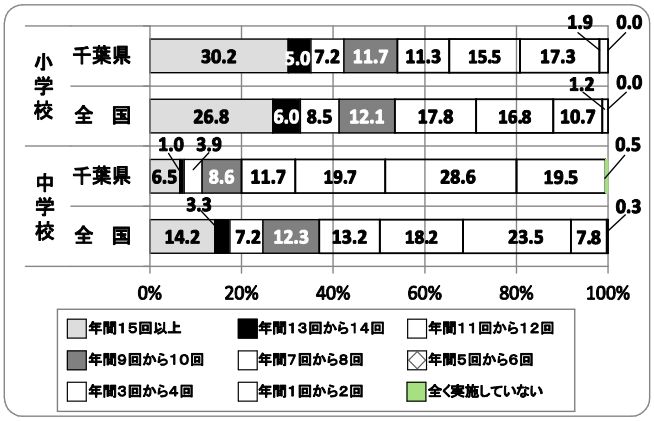
肯定的回答の割合は，全国と比べて，小学校はやや低い。特に中学校は，「よくしている」と回答した学校が，10.9％であり，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

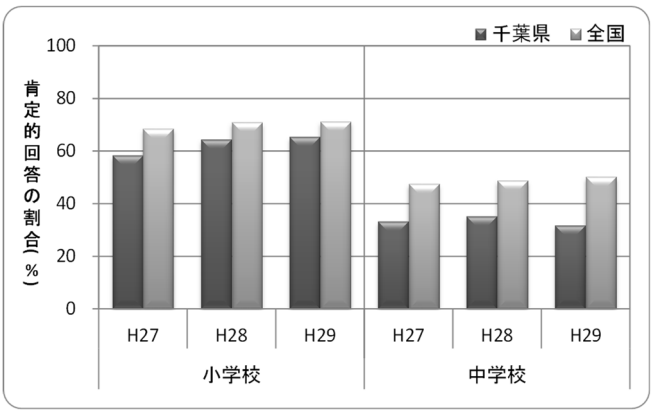


小104 中102	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

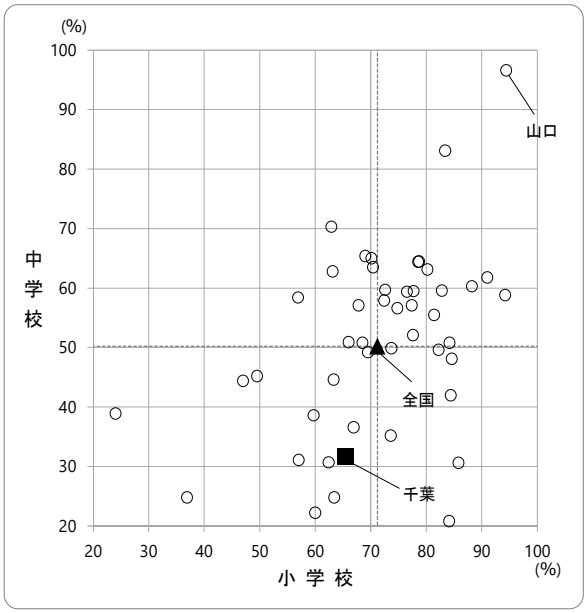
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



肯定的回答の割合（年間７回以上実施したと回答した割合）は，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく低い状況が続いている。また，全国の中でも下位に位置している。

家庭学習の充実に向けて

全国学力・学習状況調査結果チャート（６，７ページ参照）に見られるとおり，児童生徒質問紙における「学習習慣」の領域と学校質問紙における「家庭学習」の領域については，小中学校ともに全国を下回っている。数年間の推移を見ると，改善傾向が見られる項目もあるが，継続した課題であることから，調査結果に基づいて検証し，児童生徒の学習習慣の確立や，家庭学習を充実させるための学校の取組について，一層の改善を図っていく必要がある。

（１）児童生徒質問紙調査から（平成２９年度調査結果については，６０，６１ページ参照）

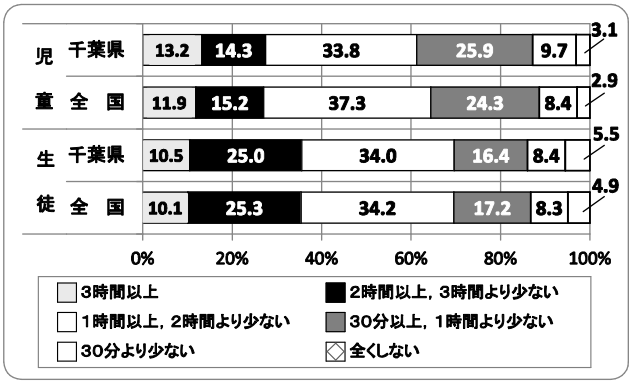
家庭における学習習慣の定着が不十分であることがわかる。児童生徒ともに，宿題をする割合は高いが，計画的な勉強や予習・復習をする割合は低く，学習態度が受動的であることがうかがえる。宿題とともに予習・復習のバランスのとれた，自主的・計画的な学習態度を育成する必要がある。

学習時間は全国に比べて少ない状況である。長時間勉強する児童生徒の割合は全国と比べてやや上回るが，ほとんどしない割合もやや上回る。また，携帯電話等を長時間利用する児童生徒が多く，学習時間の確保に影響を及ぼしていることが考えられる。

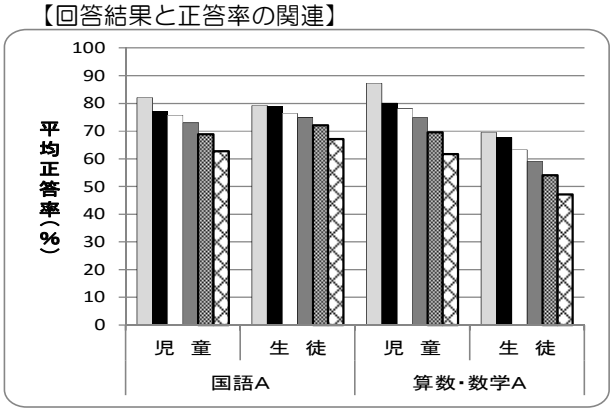
◆学習時間について

15	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

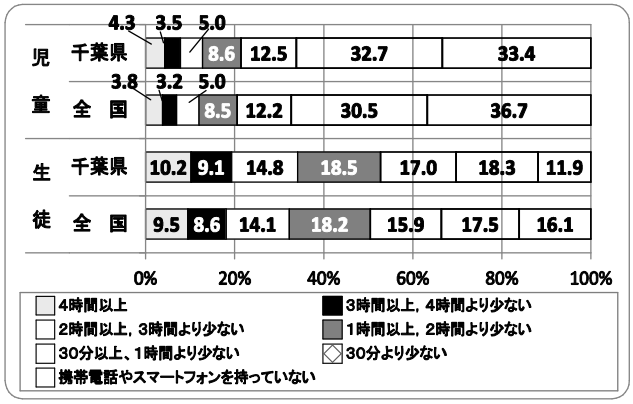


学校の授業時間以外の学習時間が，「1 時間以上，２時間より少ない」と「全くしない」割合で比較してみると，児童生徒ともに平均正答率で 10 ポイント以上のひらきがある。

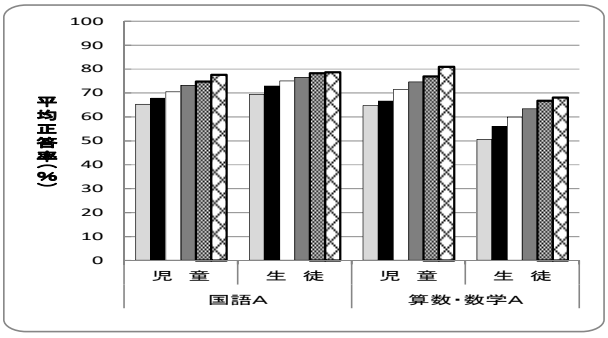
◆生活習慣について

14	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



※「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合を除いて作成している。

「１時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する」割合は，児童生徒ともに全国よりやや高く，全国の中でも上位に位置している。携帯電話等を使用する時間が長い児童生徒ほど，正答率が低い傾向にある。

（２）学校質問紙調査から

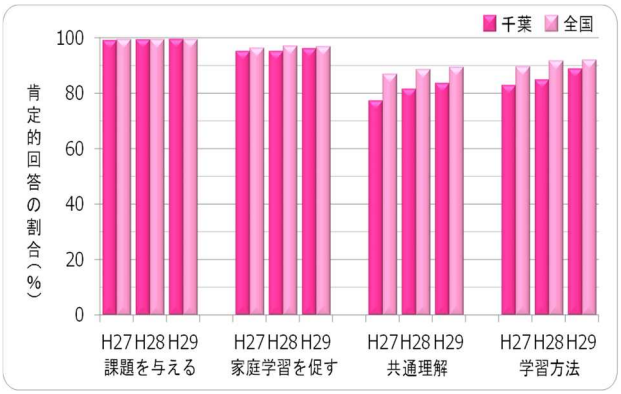
◆家庭学習に関わる学校の取組について

「宿題の与え方における教職員の共通理解」が全国を下回る状況が続いていることから，宿題については学級や教科担任に任されている現状が推測され，学校全体としての基本方針に基づいた校内体制を整えることが喫緊の課題と言える。

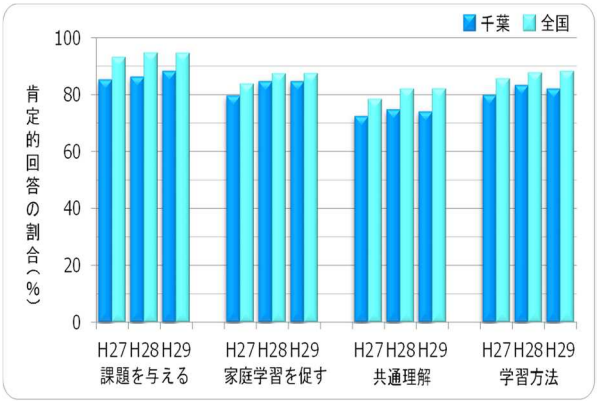
児童生徒の自主的な学習態度を育成するという観点から，働きかけの内容を工夫しながらそれを継続することが重要である。また，「学習の仕方」を身に付けることは，能動的に学習を進める上での大切な条件である。児童生徒に「家庭での学習方法を具体的に教える」ことは，それに直結する重要なことがらであり，学校としての積極的な取組が必要である。

小 92, 94, 95, 97 中 90, 92, 93, 95	前年度までに，次のような取組を行いましたか

【小学校　経年変化】



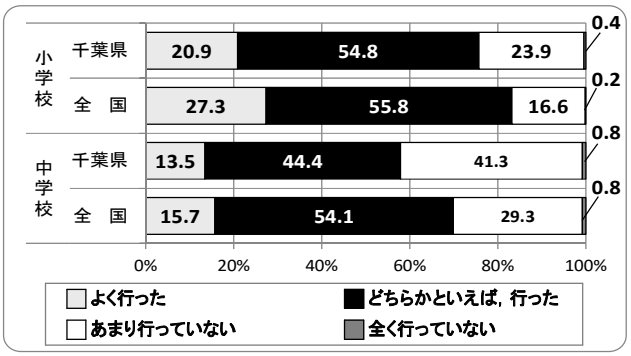
【中学校　経年変化】



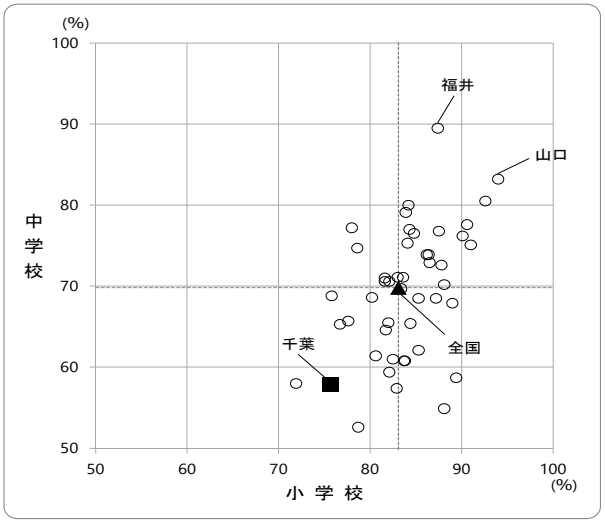
課題を与える：算数・数学の家庭学習の課題（宿題）を与える
共通理解：家庭学習の課題の与え方について，校内の教職員で共通理解を図る
家庭学習を促す：保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行う
学習方法：家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教える

小 96 中 94	前年度までに，家庭学習の取組として，調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）

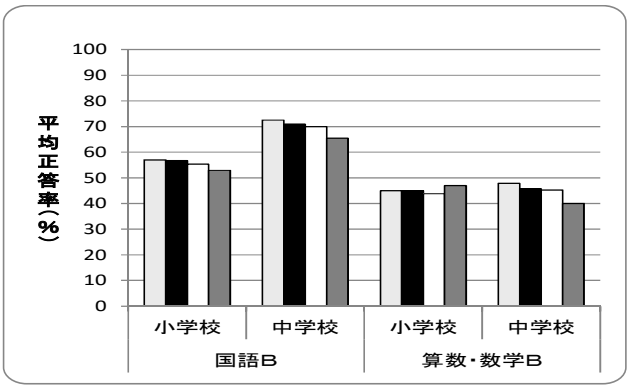
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



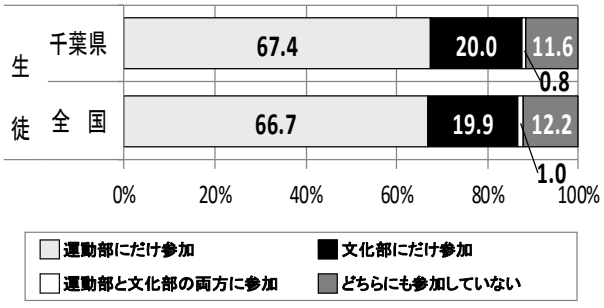
肯定的回答の割合は，全国と比べて小学校は低く，中学校は著しく低い。特に，小学校は全国の中でも下位に位置している。また，肯定的回答をした学校の生徒ほど「B問題」での正答率が高い傾向が見られる。

部活動（中学校）の状況について

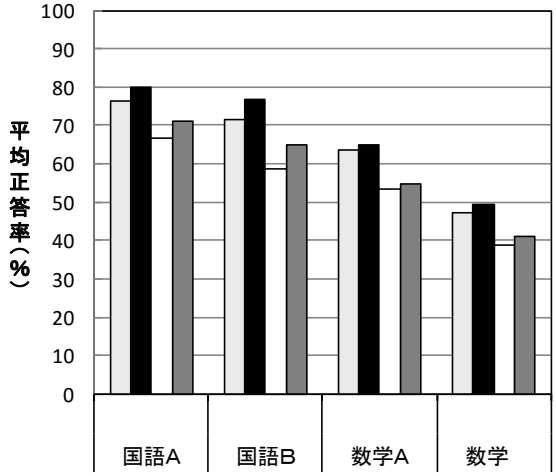
今年度，中学校部活動の状況に関する質問が実施された。部活動への参加状況は，全国と同様の傾向がみられる。回答結果と正答率の関連を見ると，部活動に参加している生徒は，参加していない生徒に比べて正答率が高い傾向がみられる。活動時間別に正答率を比較すると，１日当たり，２時間以上３時間より少ない時間活動している生徒の正答率が最も高い。全国では，１日当たり，１時間以上２時間より少ない時間活動をしている生徒の正答率が最も高い状況にある。

20　学校の部活動に参加していますか

【平成２９年度調査結果】



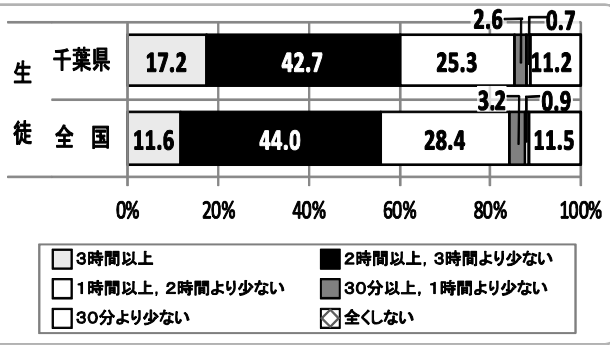
【回答結果と正答率の関連】



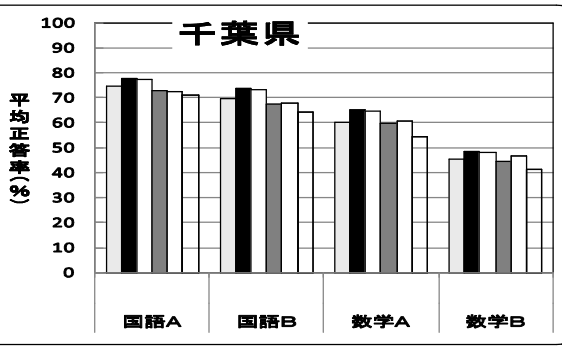
部活動への参加状況は全国と同程度であり，約 88%以上の生徒が参加している。運動部もしくは文化部に参加している生徒の正答率が高い傾向がある。

21　普段（月～金曜日）１日当たりどれくらいの時間部活動をしますか

【平成２９年度調査結果】

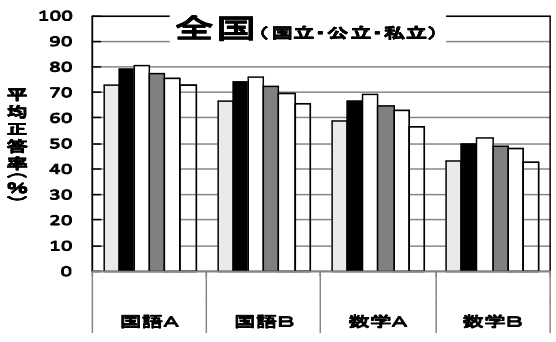


【回答結果と正答率の関連】



普段の活動時間については，３時間以上活動している割合が全国に比べて高い。２時間以上活動している割合はやや高い。回答結果と正答率の関連を見ると，２時間以上３時間より少ない時間活動している生徒が最も正答率が高い。

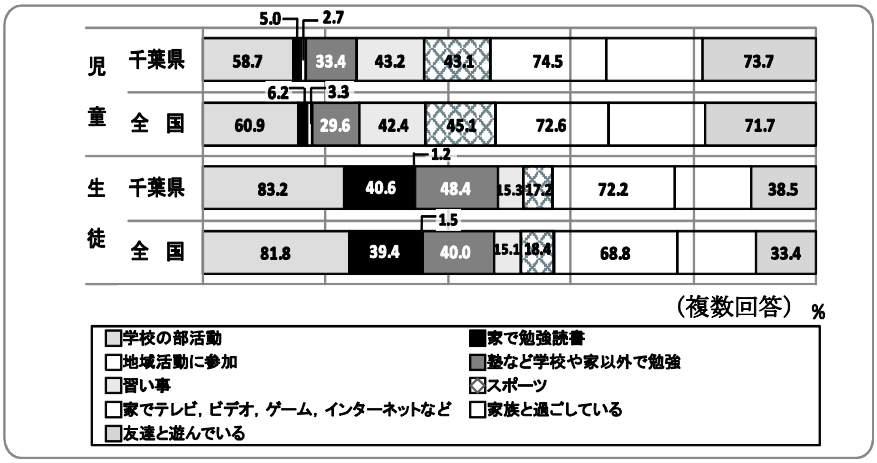
また，全国で３時間以上活動している生徒と全くしない生徒の正答率を比べると，数学Ａは全くしない生徒がやや低いが，国語Ａ・Ｂおよび数学Ｂは同程度である。



放課後の過ごし方について

児 21 生 23	放課後に何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】

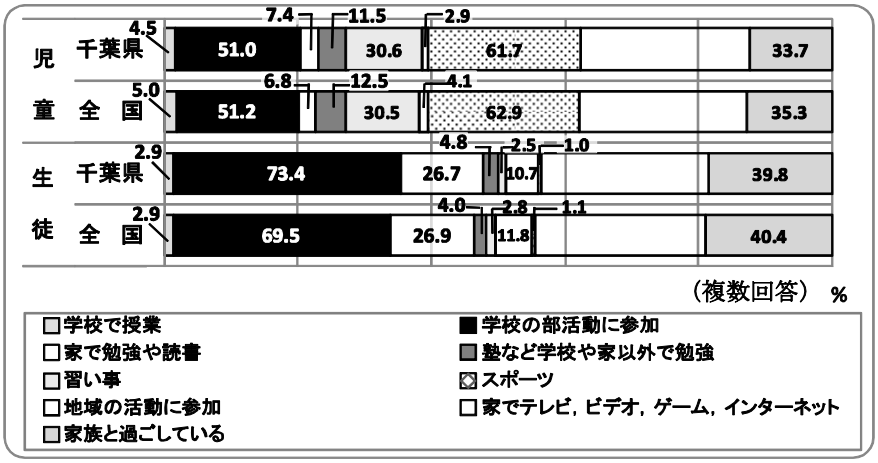


児童は，「家でテレビ等」，「友達と遊んでいる」の割合が高い。全国に比べて「部活動に参加」の割合がやや低い。

生徒は,「学校の部活動」の割合が最も高く,児童に比べて「学校の部活動」,「家で勉強読書」,「塾など学校や家以外で勉強」の割合が高い。

児 22 生 24	土曜日の午前は，何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】

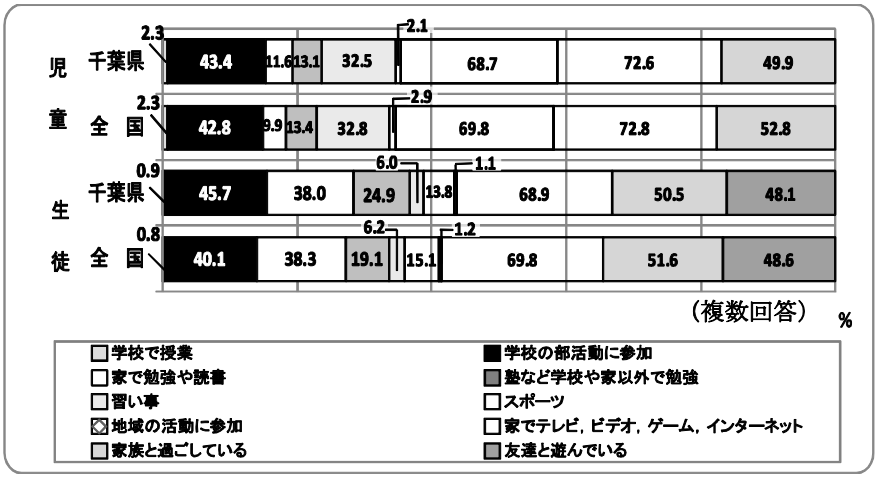


児童は「学校の部活動に参加」,「地域の活動に参加」,「家でテレビ等」の割合が高く，全国と比べて「家族と過ごしている」がやや低い。

生徒は,「部活動に参加」の割合が最も高く,全国と比べてやや高い。そのほかは，全国と同程度である。

児 23 生 25	土曜日の午後は，何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】



児童生徒ともに，「家でテレビ等」の割合が高い。また,児童は「地域の活動に参加」の割合が高い。児童は，全国と比べて「家で勉強」,「学校の部活動に参加」の割合がやや高い。

生徒は「学校の部活動に参加」「塾など学校や家以外で勉強」の割合が高い。児童生徒とも「家族と過ごしている」がやや低い。

主体的・対話的で深い学びの充実に向けて

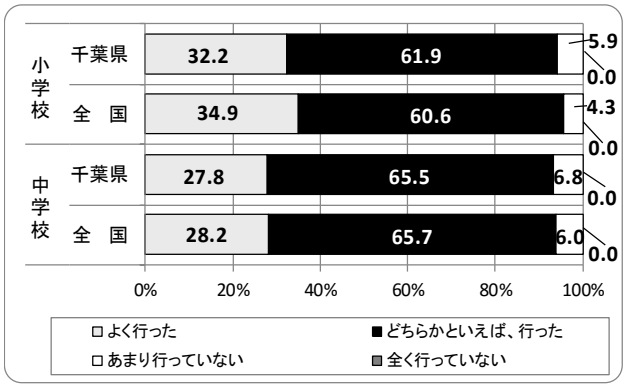
全国では，学習過程を見通した指導方法の改善・工夫に関して肯定的な回答をした学校の割合が約９割に達している。また，「自ら考え，自分から取り組んだ」，「話し合う活動によく取り組んだ」と回答している児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られた。本県において，この傾向は全国と同様であるが，ほとんどの項目で肯定的な回答している割合が全国に比べてやや低い状況である。

主体的・対話的で深い学びを充実させるために，育てたい資質・能力を明確にし，授業の質の向上を図るとともに，基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には，その確実な習得を図っていくことが必要である。

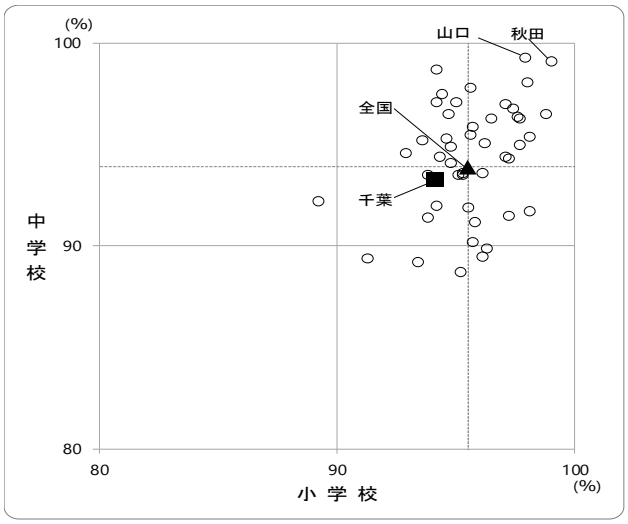
学校質問紙調査から

36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

【平成２９年度調査結果】



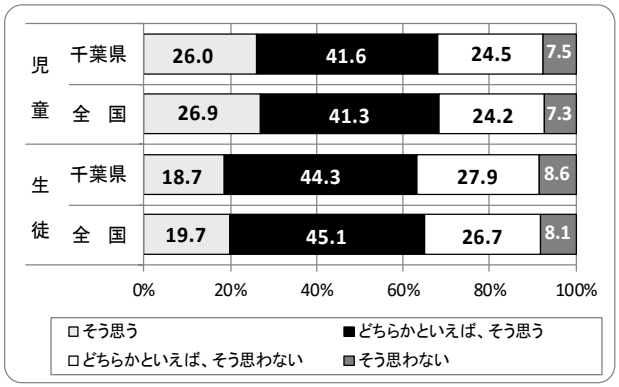
【散布図】



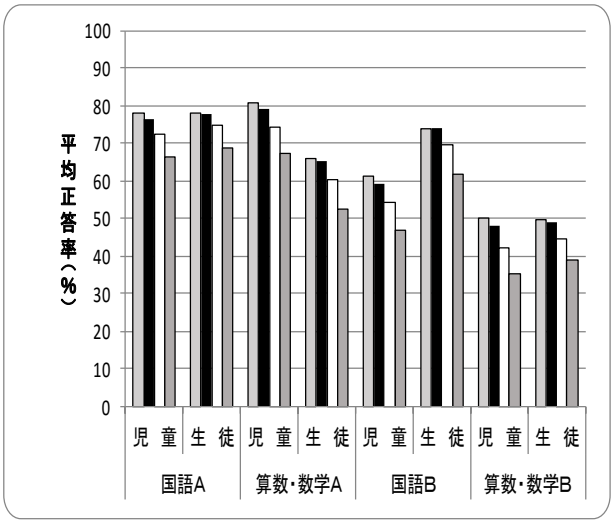
児童生徒質問紙調査から

児 68 生 70	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

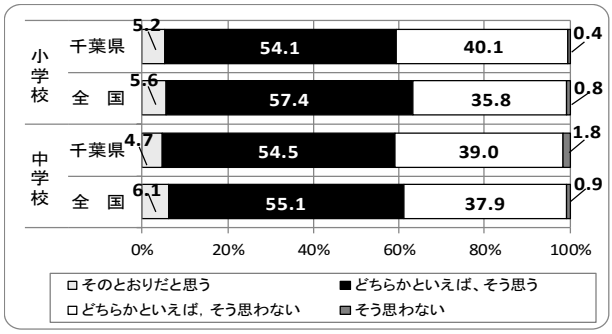


「思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」について，肯定的な回答をした学校の割合は，小中学校ともに約９割を超えているが，全国に比べて小学校でやや低く，中学校は同程度である。

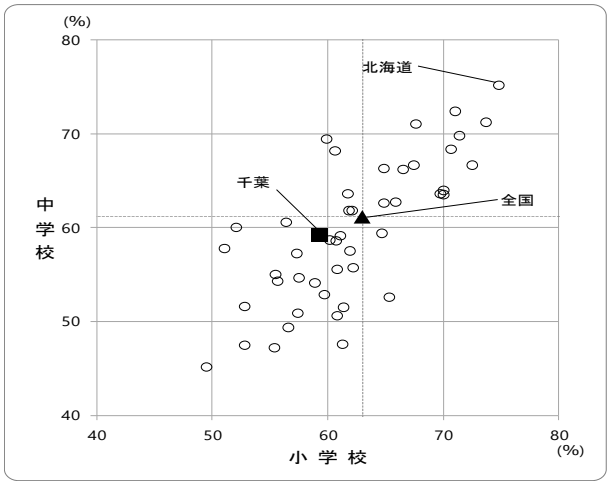
「自分の考えを深めたり，広げたりすることができているか」について，肯定的な回答をした学校の割合は，児童生徒ともに約７割を超えているが，全国に比べて小学校は同程度，中学校はやや低い。

19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか

【平成２９年度調査結果】

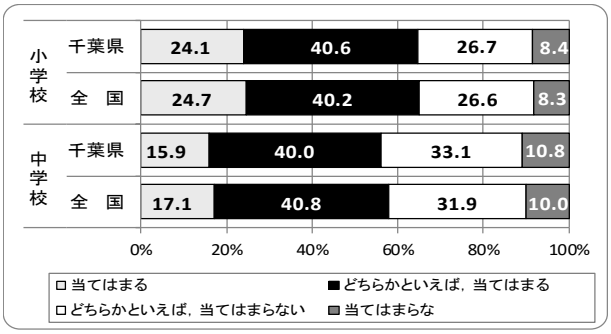


【散布図】

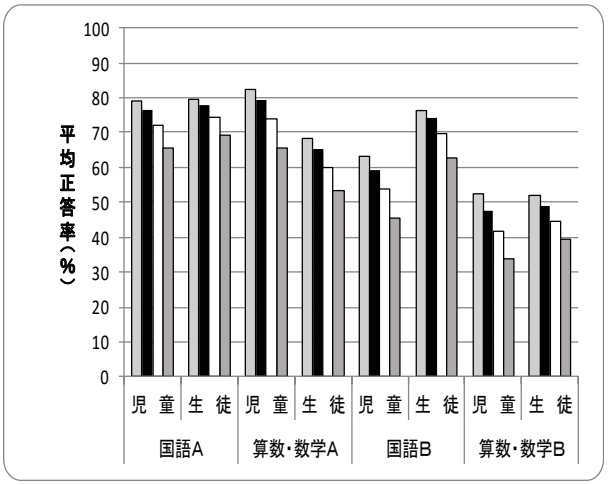


児 60 生 62	授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



上記２項目について，肯定的な回答をした学校・児童生徒の割合は，全国に比べて小学校でやや低く，児童は同程度，中学校および生徒は，やや低い状況である。

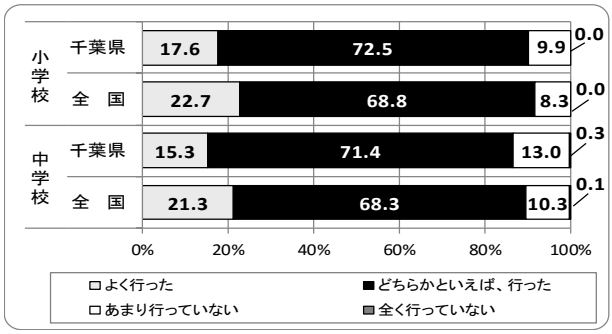
本県の小学校ー児童においては，学校の肯定的な回答より，児童の肯定的な回答の割合が高く，中学ー生徒においては，学校の肯定的な回答より，生徒の肯定的な回答の割合がやや低い。

肯定的な回答をしている児童生徒ほど，正答率が高い傾向がある。

学校質問紙調査から

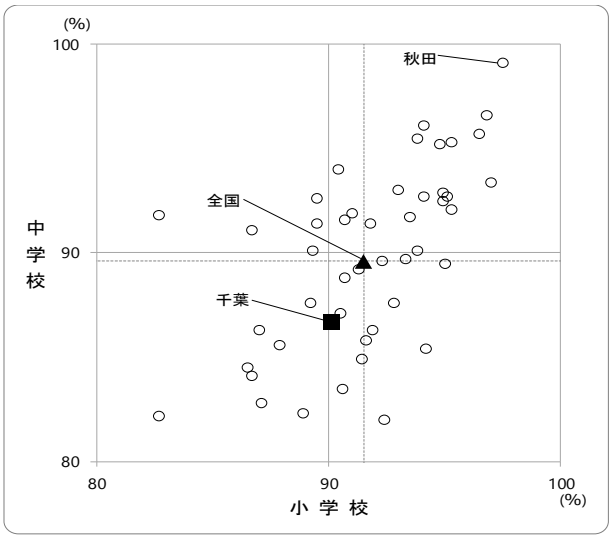
32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答をした学校の割合は，小中学校ともに8.5割を超えているものの，「よく行った」と回答している学校は，全国に比べて低い。また，中学校においては「全く行っていない」の回答もある。

【散布図】



外国に関する興味・関心について

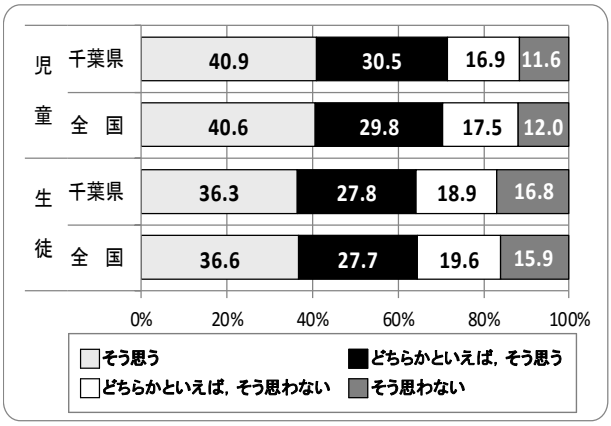
今年度，新たに「外国に対する興味・関心」に関わる質問項目が設けられた。外国への興味・関心に関して，肯定的な回答をしている児童生徒の割合に比べ，将来，外国との関わりを持つことに肯定的な回答をしている児童生徒の割合は，かなり低い状況がみられる。

「教育立県ちばプラン」を掲げ，グローバル人材の育成を期している本県において，今後もグローバル化が進む時代に鑑み，児童生徒の外国への興味関心の伸長を図るとともに，国際的な貢献をも視野に入れた将来への展望を持たせることが求められる。

児童生徒質問紙調査から

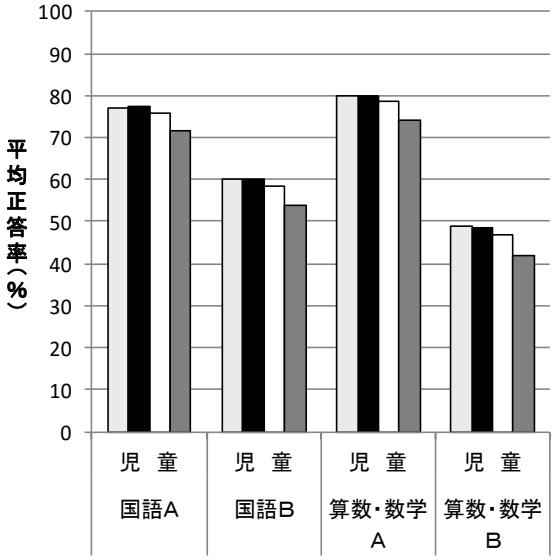
児 47 / 生 49　外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

【平成２９年度調査結果】



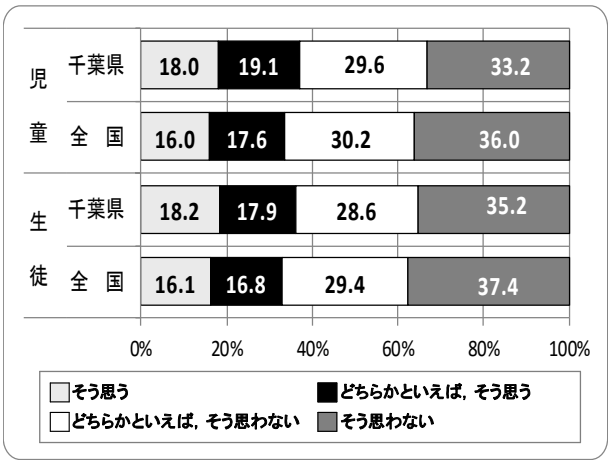
肯定的な回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてほぼ同程度である。肯定的な回答をしている児童ほど，知識・活用ともに正答率が高い傾向がある。

【回答結果と正答率の関連】



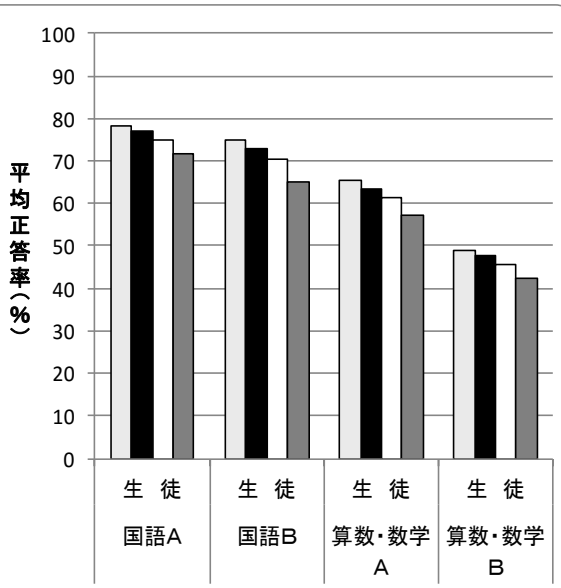
児 48 / 生 50　将来，外国へ留学したり，国際的な仕事に就いてみたりしたいと思いますか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや高い。肯定的な回答をしている生徒ほど，正答率が高い傾向がある。

【回答結果と正答率の関連】



自己肯定感に関する状況について

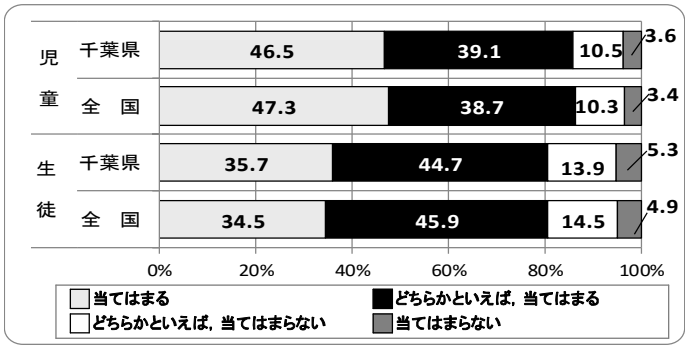
急速な社会の変化の中で，持続可能な社会の創り手となることができるよう，児童生徒一人一人の自己肯定感を育むことなどが求められ，次期学習指導要領にも明記された。今回の調査において，よいところを「認められている－認めている」の視点で見ると，全国では，児童生徒質問紙において，肯定的な回答が約7.5～９割であるのに対し，学校質問紙においてはすべて約９割を超えている状況であり，児童生徒の実感と学校のとらえ方には差がみられる。

本県では，学校質問紙の肯定的な回答の割合が，児童生徒質問紙を大きく上回っている。

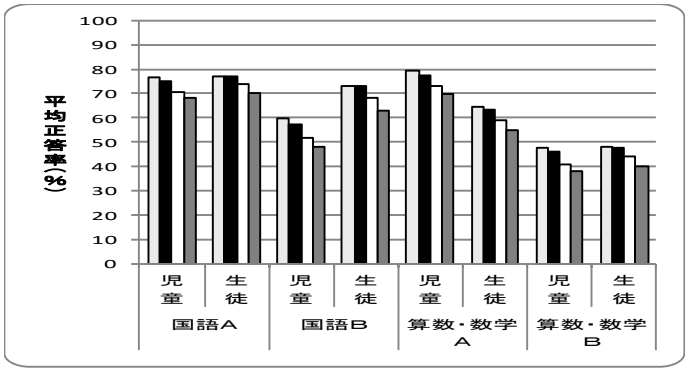
児童生徒質問紙調査から

児 38 生 40	先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

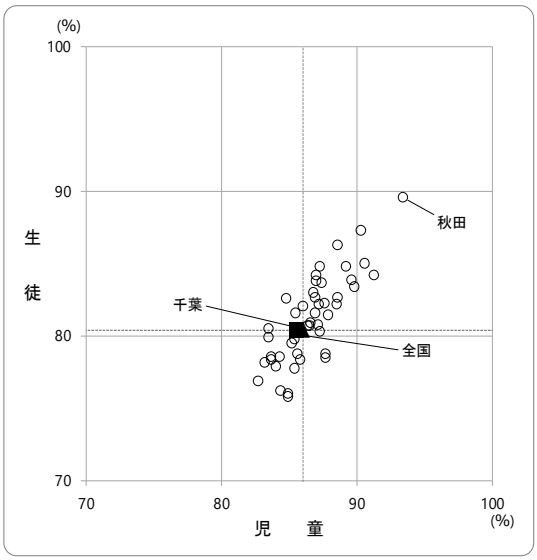
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】

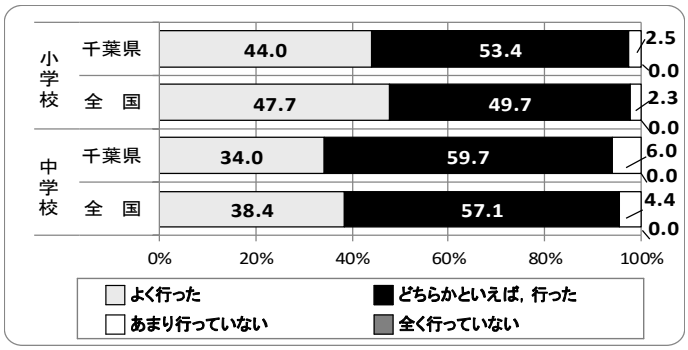


肯定的回答の割合は，全国と比べて同程度である。肯定的回答をしている児童生徒ほど，知識・活用ともに正答率が高い傾向がある。

学校質問紙調査から

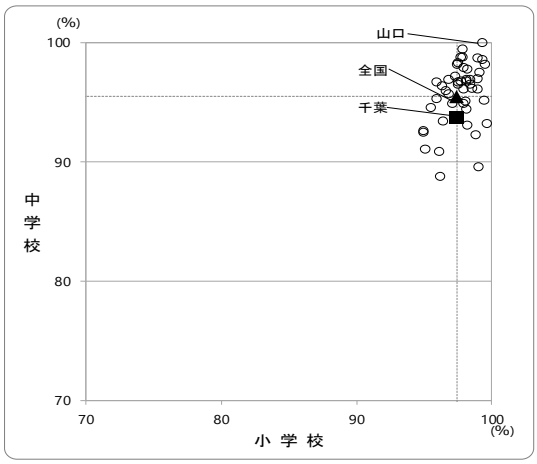
51	学校生活の中で，児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け，児童〔生徒〕に伝えるなど積極的に評価しましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的回答の割合は９割を超えている。全国と比べて小学校で同程度，中学校でやや低い。

【散布図】



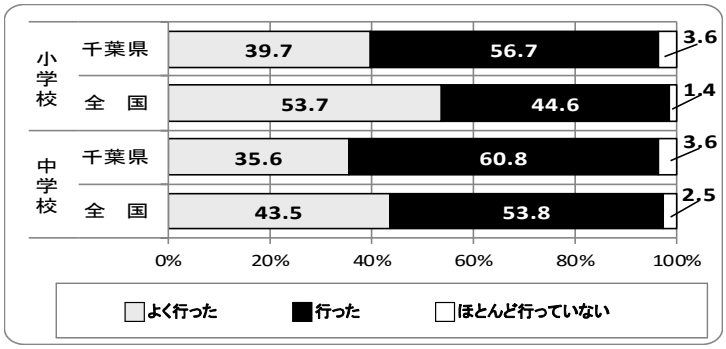
指導改善サイクルの確立を目指して

全国学力・学習状況調査の結果の活用に関しては，改善傾向にある。しかし，全国の状況とはまだ開きがある。調査結果を有効に活用するためには，各学校において調査結果を分析し，自校の成果と課題を明らかにし，課題を教員間で共有し，指導改善の方向性を明確にし，学校のみならず家庭や地域とも連携を図ることで指導改善サイクルを確立していくことが必要である。

質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
55	55	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し，学校全体で成果や課題を共有しましたか	96.4	−1.9		96.4	−0.9	
56	56	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について，調査対象学年・教科だけでなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	92.1	−4.5		90.4	−4.0	
57	57	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について，保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載，保護者会等での説明を含みます）	74.1	−16.7	▼	76.1	−10.7	▼
58	58	前年度の全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	75.3	−14.6	▼	74.8	−8.6	▼
59	59	全国学力・学習状況調査を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し，具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	87.1	−6.4	▼	76.3	−13.8	▼

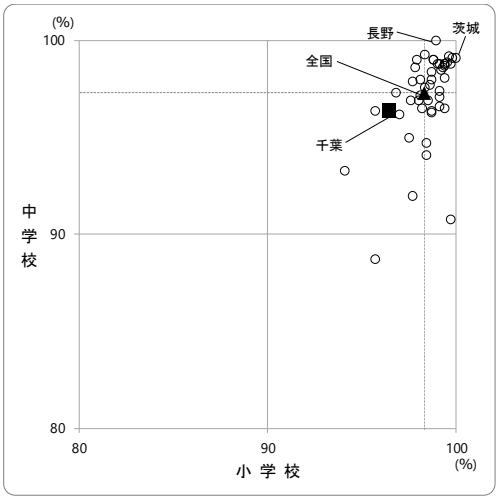
55　全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し，学校全体で成果や課題を共有しましたか

【平成２９年度調査結果】



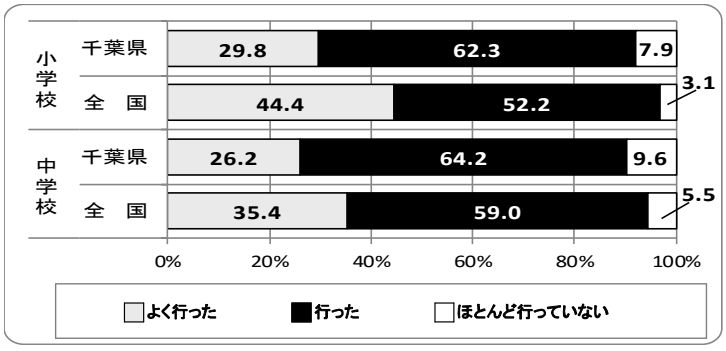
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに９割を超えているが，全国に比べてやや低い。「よく行った」との回答の割合は，小学校で著しく低く，中学校で低い。

【散布図】



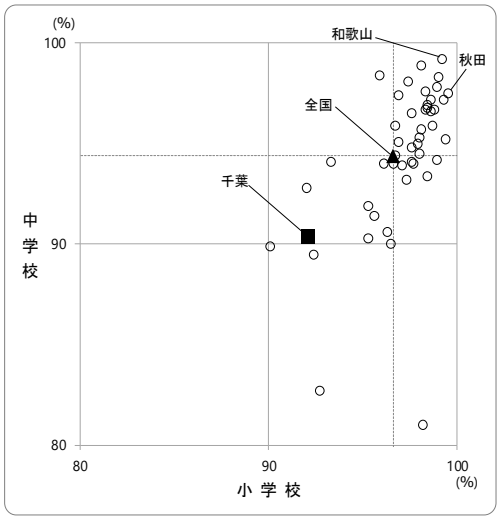
56　全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について，調査対象学年・教科だけではなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【平成２９年度調査結果】



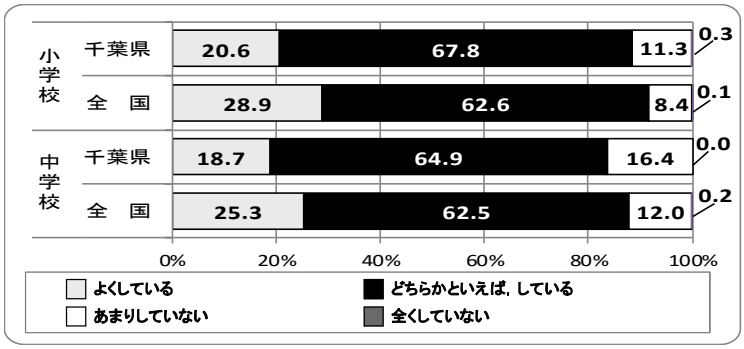
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに９割を超え，かつ昨年度よりも向上しているが，全国に比べて小中学校ともに授業改善への活用が図られている割合がやや低い。

【散布図】



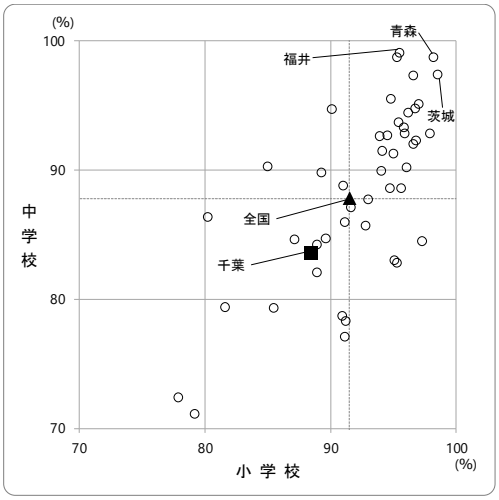
30	児童・生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか

【平成２９年度調査結果】



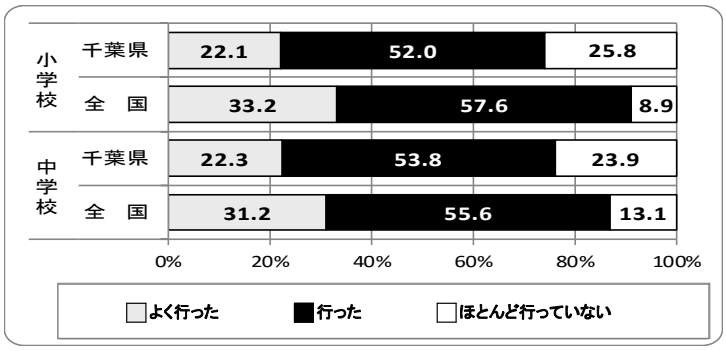
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに８割以上であり，全国と比べて小中学校ともにやや低い。「よくしている」の回答は，小中学校ともに低い状況である。

【散布図】



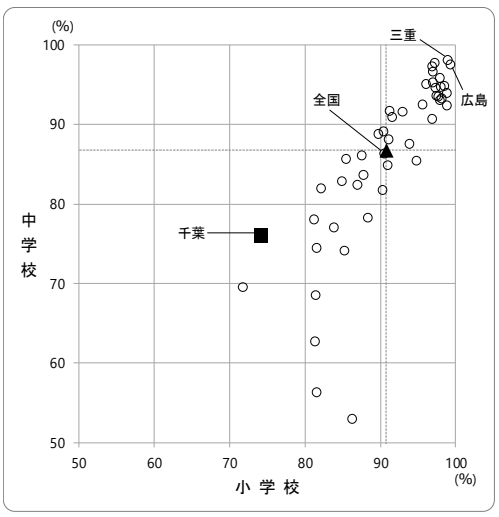
57	全国学力・学習状況調査の自校の結果について，保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



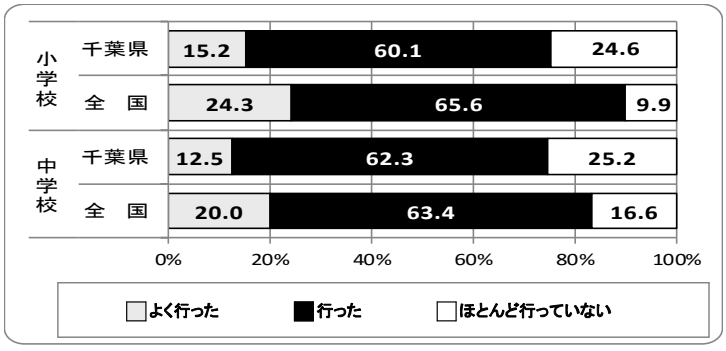
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに全国に比べて著しく低い。約 2.5 割の小中学校がほとんど行っていない状況である。

【散布図】



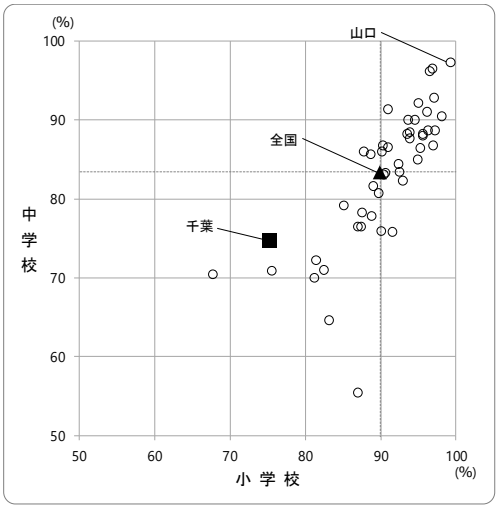
58	全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答は，全国に比べて小学校は著しく低く，中学校は低い。約 2.5 割の小中学校がほとんど行っていない状況であり全国に比べて著しく低い。

【散布図】



Ⅲ　改善策

平成２９年度全国学力・学習状況調査の結果に見られる本県の課題の改善に向けて，千葉県教育委員会は，ちばっ子「学力向上」総合プラン（ファイブ・アクション）の各事業内容を点検するとともに，重点的に取り組むべきことについて，市町村教育委員会と連携して，各学校の指導改善を支援していきます。

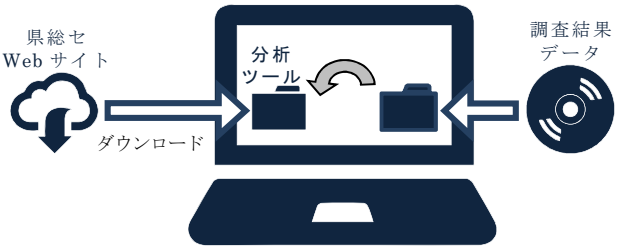
また，支援の一環として，次の１～５を示します。

１　分析ツール	結果分析のためのデータ処理作業を簡便化し，分析結果を見やすいグラフに可視化するソフトを，千葉県総合教育センターのＷｅｂサイトで提供しています。 ８５ページ参照
２　みんなで，それぞれの立場で指導改善	指導改善に当たり，教育委員会及び学校が取り組む内容を例示します。 ８６ページ参照
３　指導改善サイクル確立のための情報	学校が指導改善サイクルを運営する際に必要な業務内容及び手順等を例示します。 ８７ページ参照 チェックシートは９８ページ参照
４　地域別の傾向	千葉県教育庁教育事務所ごとの分析結果を掲載します。 ８８～９７ページ参照
５　学力向上に役立つ情報（Ⅳ資料　２）	ちばっ子「学力向上」総合プランをはじめとする千葉県教育委員会の取組や，文部科学省・国立教育政策研究所の全国学力・学習状況調査関連の資料等についての情報を，まとめて分かりやすく掲載します。 １０１～１０３ページ参照

１　分析ツール

市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援するため，千葉県総合教育センターでは，分析ツールを提供しています。

分析ツールとは



分析ツールは，文部科学省から配付された調査結果データを自動計算するソフトです。主に以下のことをすることができます。

〇教科・質問紙分析ツール

教科（国語，算数･数学）や質問紙（学校質問紙，児童生徒質問紙）について，チャート図で調査結果の全体概要を把握することができます。また，課題がみられる項目や成果を確認することができます。さらに過去の調査結果を同時に読み込ませることにより，経年変化の分析や，指導改善の成果を確認することができます。

〇誤答分析ツール

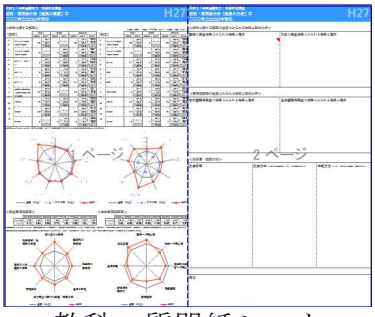
教科（国語，算数･数学）に関する調査で，課題がみられた項目や設問について，解答類型ごとの反応率を分析することができます。児童生徒の学習のつまずきを確認することができます。

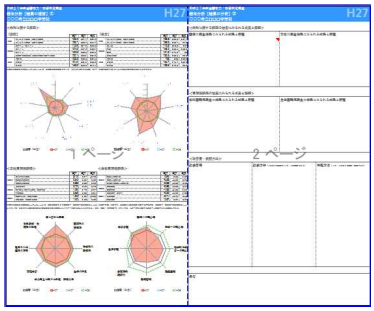
〇クロス集計ツール

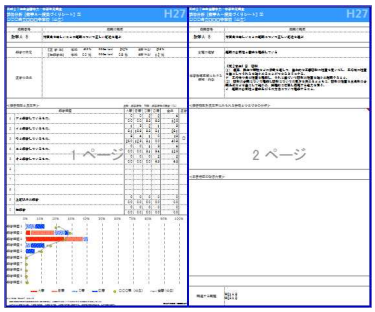
児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について，調査に関する調査結果との相関を分析することができます。児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力の関係を確認することができます。

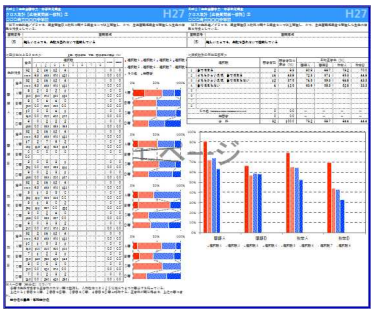
簡易な操作*で「教科･質問紙シート」,「経年分析シート」,「誤答分析シート」,「クロス集計シート」を作成することができます。各シートには数値やグラフが自動で表示されますので，成果と課題を視覚的に把握することができます。

＊マニュアルも同時にダウンロードできます。


教科・質問紙シート


経年分析シート


誤答分析シート


クロス集計シート

分析ツールの入手方法（千葉県総合教育センターのＷｅｂサイトからダウンロードしてください）

※ダウンロードに必要なパスワードは，
県指導課学力向上室長発の文書
（平成２９年９月４日付　事務連絡）

２　みんなで，それぞれの立場で指導改善

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善を進めるに当たり，千葉県教育委員会が取り組む内容を示すとともに，市町村教育委員会及び学校が取り組む内容を例示しました。各市町村及び各学校の実態に合わせて指導改善を進めてください。

千葉県教育委員会	○本県の結果を分析し，成果と課題を明確にし，県民に公開するとともに，教育施策の検証・改善を図る。 ○「分析ツール」を提供し，各市町村教育委員会及び各学校の結果分析及び指導改善を支援する。 ○「指導改善サイクルの例」「学力向上に役立つ情報」を提供し，各学校の指導改善を支援する。
市町村教育委員会	○自市町村の結果分析，教育施策の検証・改善及び学校への支援等を行う組織を整える。 ○市町村の結果を分析し，成果と課題を明確にするとともに，教育施策の検証・改善を図る。 ○管内の学校の結果分析及び指導改善を支援する。
学校	**体制づくり** ○結果分析及び指導改善策の立案を行う校内組織を整える。 ○市町村教育委員会と連携し，必要な支援を受ける。 **企画・調整** ○本調査を活用した指導改善サイクルを策定し，年間行事予定に組み込む。 ○本調査に関する資料や学力向上に役立つ情報を管理・収集し，校内での情報共有を図る。 **分析** ○県作成の「分析ツール」等を用いて自校の結果データを分析し，成果と課題を明確にする。 ○各教科で誤答分析シートを作成し，指導改善の具体策を策定する。 ○調査対象以外の学年や教科においても，分析結果を共通理解した上で，それぞれ指導改善の具体策を策定する。 **指導改善** ○分析結果に基づき策定された指導改善策を実行・検証する。 ○授業研究を伴う校内研修の充実を図る。 ○他学年・他教科と連携し，学校全体で課題を共有する。 **情報公開** ○成果と課題，指導改善策について，家庭・地域に情報提供を行い，連携を深める。

３　指導改善サイクルの例

各学校において全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルを運営していくためには，全職員が一体となり，家庭・地域と連携して，組織的・計画的に取り組む必要があります。次の例及び留意点を参考にして，各学校の実態に合わせて指導改善サイクルを確立してください。

（例）

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">国・県の動き</th><th colspan="3">校内の動き</th></tr>
<tr><th>業務</th><th colspan="2">指導改善のあり方</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>国：調査実施（問題・正答例・解説資料）</td><td>指導計画作成，指導改善サイクルの策定，授業開始
調査内容の把握</td><td rowspan="10">研究授業（随時）</td><td rowspan="3">調査内容及び解説資料を反映させる</td></tr>
<tr><td>５月</td><td>国：集計支援ツール</td><td>解説資料の研究
研修（指導改善策の検討）</td></tr>
<tr><td>６月</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>７月</td><td>国：サンプルデータ</td><td>分析準備
研修（結果データの見方）</td></tr>
<tr><td>８月</td><td>国：結果（データＣＤ・報告書・個票）</td></tr>
<tr><td>９月</td><td>国：授業アイディア例
県：分析ツール</td><td>結果公表
結果分析
研修（分析結果の報告，授業アイディア例の研究）
指導改善策の策定</td><td>分析結果及び授業アイディア例を反映させる</td></tr>
<tr><td>10月</td><td>県：リーフレット</td><td>指導改善策の公表</td><td></td></tr>
<tr><td>11月</td><td>県：学力向上交流会
国：次年度調査の準備開始</td><td rowspan="3">研修（指導改善状況の確認）</td><td rowspan="3">指導改善による成果を評価する</td></tr>
<tr><td>12月</td><td>県：報告書</td></tr>
<tr><td>１月</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>２月</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>３月</td><td>指導改善サイクルの総括
次年度の指導体制づくり</td><td></td></tr>
</table>

（留意点）

○全国学力・学習状況調査に係る情報管理，結果分析，指導改善策の策定・評価等を行う校内組織を整える。
○学校全体で取り組む。
○年間を通じて，継続的，段階的に指導改善を行う。
○国・県・市町村から届く資料等に対応し，速やかに分析・立案等を行う。
○県作成の分析ツールを活用する。
○国立教育政策研究所，県教育委員会，県総合教育センター等のＷｅｂサイトにある学力向上に役立つ情報（１０１～１０３ページ参照）を活用する。
○校内・校外研修を活用する。
○指導改善の成果を評価する時期・方法を具体化する。
○調査の分析結果について，近隣の小中学校と成果と課題を共有する。
○家庭・地域への情報公開を積極的に行う。
○指導改善サイクルを可視化し，共有する。

４　地域別の傾向【葛南】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「活用（Ｂ問題）」は良好である。「書くこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ２二「手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する」［５・６年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６年，伝３・４年］(P15)

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９六２「行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する」［１年］(p88)

小学校・算数

「知識（Ａ問題）」は前年度と同程度であり，「量と測定」の領域が前年度より上昇している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ９(2)「二次元表の合計欄に入る数を書く」［４年］(P35)

中学校・数学

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「関数」の領域が前年度より低下している。

数学Ａ14(2)「6 月 1 日から 30 日までの記録を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める」［１年］(P45)

数学Ａ14(1)「反復横とびの記録の範囲を求める」［１年］(P88)

数学Ａ９「長方形の縦の長さと面積の関係を，「…は…の関数である」という形で表現する」［１年］

課題が見られた設問の例

小学校算数【Ａ１(2)】［５年］

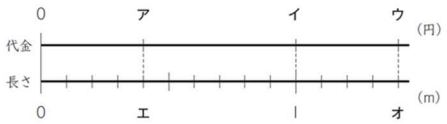
１ｍあたりの値段が 60 円のリボンを何ｍか買います。

そのときの代金の求め方を考えます。

(2) リボンを 0.4 ｍ買います。このときの代金を□円として，リボンの長さと代金の関係を下の図に表します。

「１ｍあたりの値段の 60」，「買う長さの 0.4」，「0.4 ｍ分の代金の□」のそれぞれの場所は，下の図のどこになりますか。

ア から **オ** までの中から，あてはまるものを１つずつ選んで，その記号を書きましょう。



中学校数学【Ａ１４(1)】［１年］

14 次の(1)，(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の**記録**は，ある中学校の生徒７人が反復横とびを 20 秒間行ったときの結果を，回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

40	46	47	48	53	53	56

（単位：回）

反復横とびの**記録**の範囲を求めなさい。

中学校国語【Ａ９六１・２】［１年］

六　書写の時間に「和」という字を次のように行書で書きました。これを見て，あとの問いに答えなさい。

1　楷書と比較したときの行書の説明として最も適切なものを，次の**1**から**4**までの中から一つ選びなさい。

1　楷書とは異なり，毛筆で書くことができる書体。
2　楷書とは異なり，筆脈を意識せずに書くことができる書体。
3　楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。

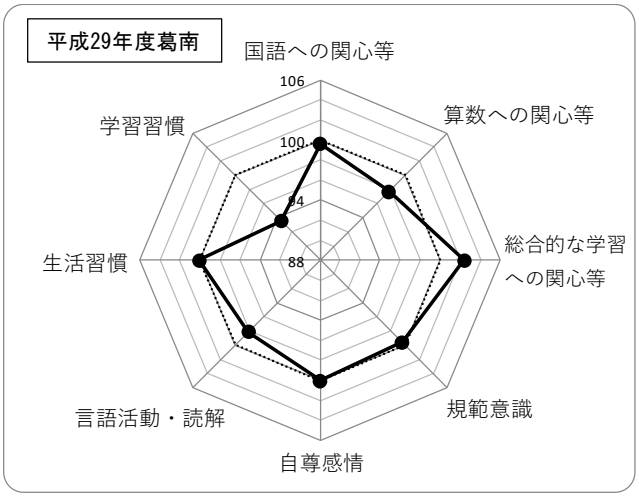
2　「和」の◯で囲まれた部分のアとイの特徴の組み合わせとして最も適切なものを，次の**1**から**4**までの中から一つ選びなさい。

1　(ア) 筆順の変化　(イ) 点画の連続
2　(ア) 点画の省略　(イ) 直線的
3　(ア) 点画の省略　(イ) 点画の連続
4　(ア) 筆順の変化　(イ) 直線的

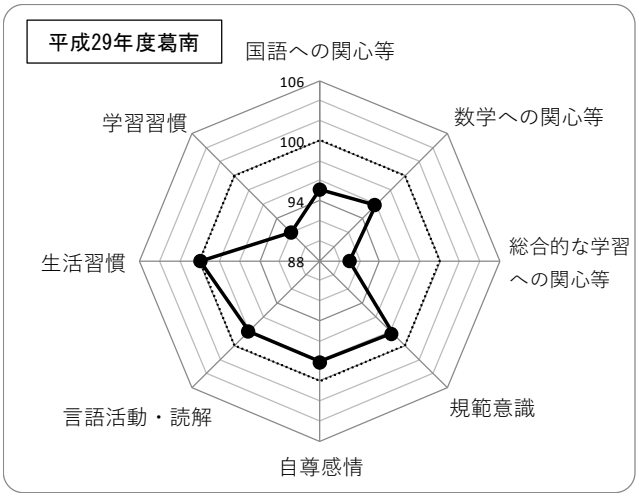
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

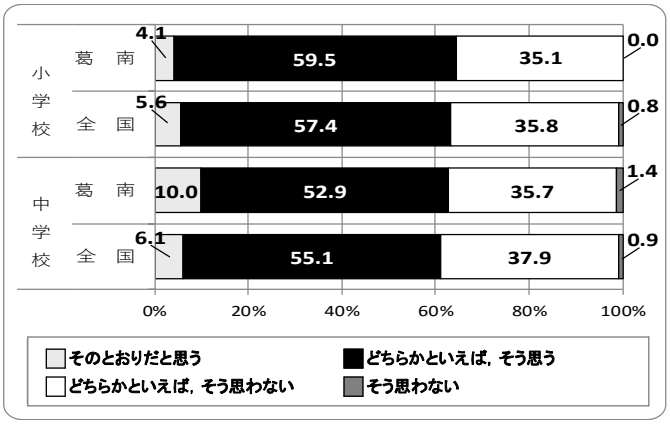


「国語への関心等」「総合的な学習への関心等」について，児童は全国と比べて高い傾向だが，生徒は低い傾向にある。児童生徒ともに「学習習慣」の【児童 29・生徒 31】「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」が，全国と比べて低い傾向にある。

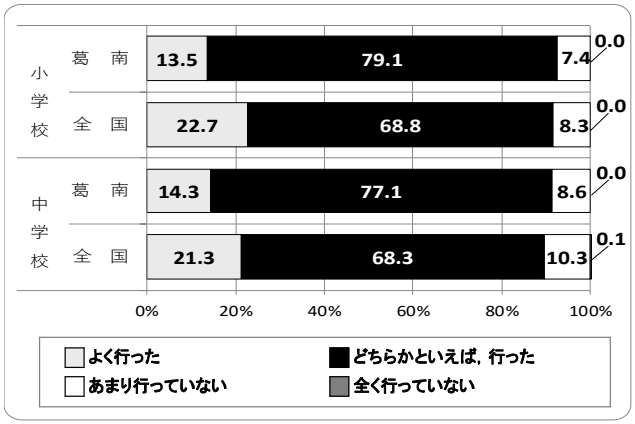
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

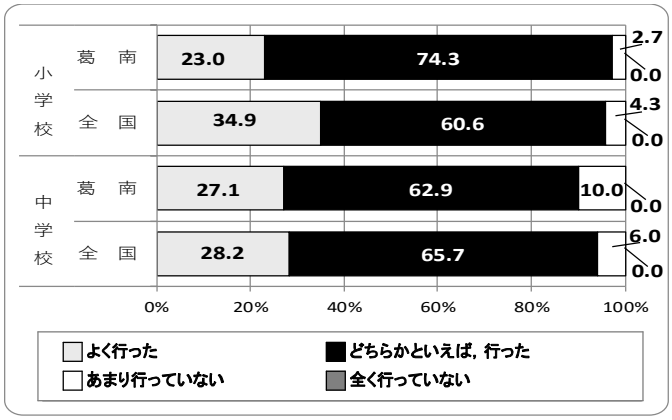
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と同程度であり，中学校は全国と比べてやや高い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや高いが，「よく行った」の回答が低い状況にある。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや高いが，「よく行った」の回答が低い状況にある。中学校は全国と比べてやや低い。

4　地域別の傾向【東葛飾】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「書くこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ２二「手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する」［５・６年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６，伝３・４年］(P15)

国語Ａ７(2)「漢字を書く（４年生のきぼう者）」［５・６年］

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９五「話合いの記録として適切な言葉を考える」［１年］(P25)

小学校・算数

「図形」の領域は前年度と同程度であり，「数量関係」が前年度より低下している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ９(2)「二次元表の合計欄に入る数を書く」［４年］(P35)

算数Ｂ３(2)「仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める」［量５年，関４年］(P90)

中学校・数学

「図形」の領域は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ10(2)「与えられた比例のグラフから，x と y の関係を y＝ax の式で表すことができる」［１年］(P44)

数学Ａ14(2)「６月１日から 30 日までの記録を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める」［１年］(P45)

数学Ｂ５(1)「１週間の総運動時間が 420 分のとき，含まれる階級の度数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

小学校算数【B3(2)】［量５年，関４年］

3

かずやさんたちは，ゴムの力で動く車を作りました。

下の図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ，車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと，車が進みます。車の先頭が，図の㋐の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合と，㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合に，どれだけ車が進むのかを調べます。

次に，車の先頭が㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の，車が進んだきょりを５回調べ，**表2**のようにまとめました。**表2**をもとに，きょりの平均を考えます。

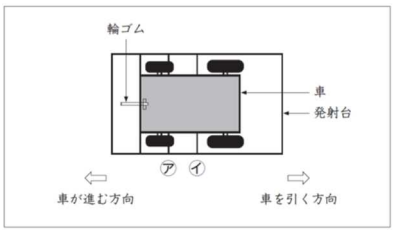


表2　㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきょり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

かずやさんは，平均を求める計算を簡単にするために，7 m をこえた部分に着目し，次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。
(52 + 31 + 54 + 20 + 43) ÷ 5 = 40
7 m に，求めた平均の 40 cm をたします。
車が進んだきょりの平均は，7 m 40 cm です。

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは，次のように考えました。

はるな

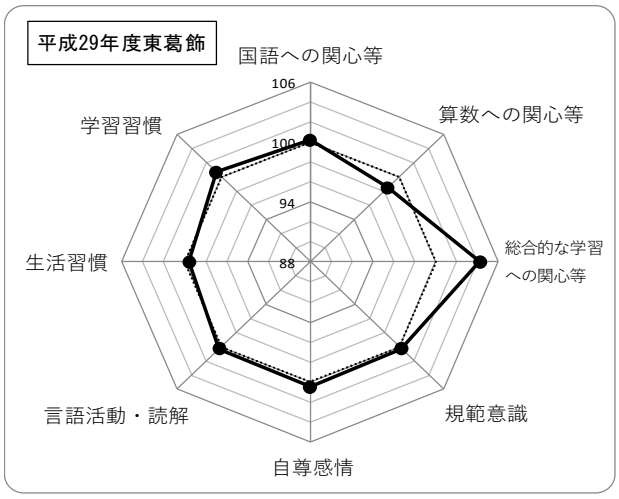
7 m のかわりに，7 m 20 cm をこえた部分に着目しても，平均を求めることができます。

(2)　7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を，言葉や式を使って書きましょう。

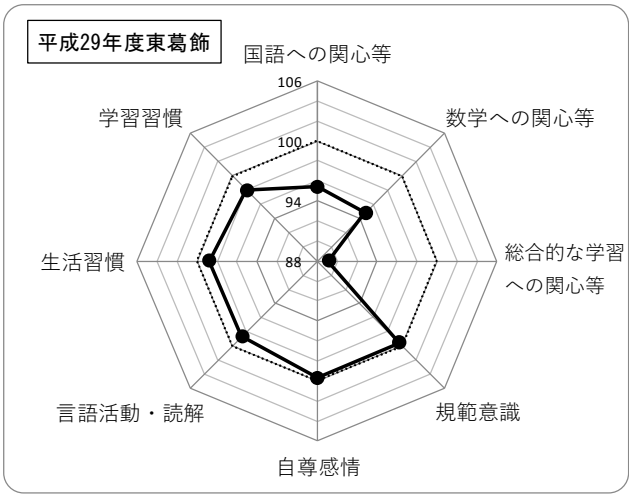
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

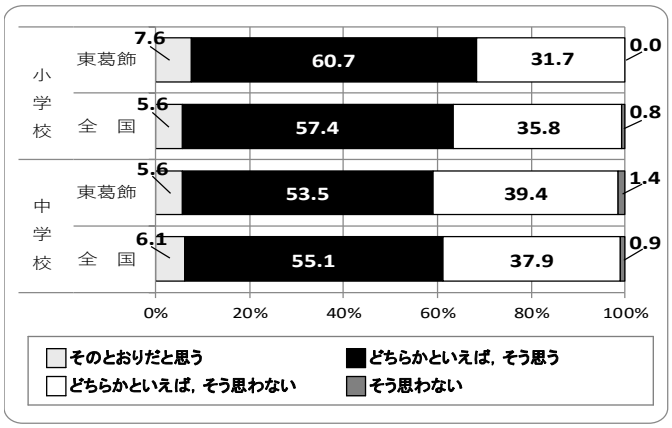


「国語への関心等」「総合的な学習への関心等」について，児童は全国と比べて高い傾向だが，生徒は低い傾向にある。児童生徒ともに「規範意識」「自尊感情」が，全国と比べて高い傾向にある。

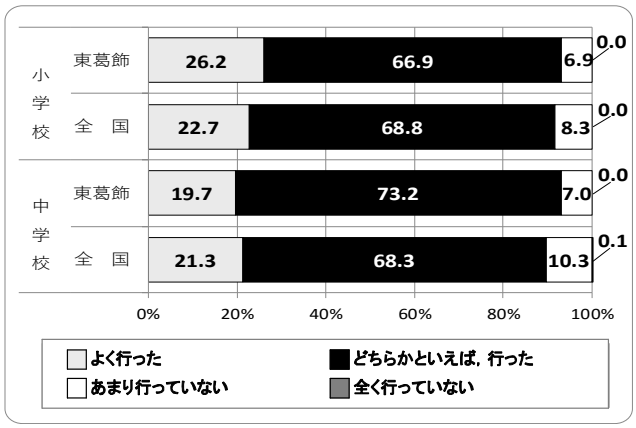
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

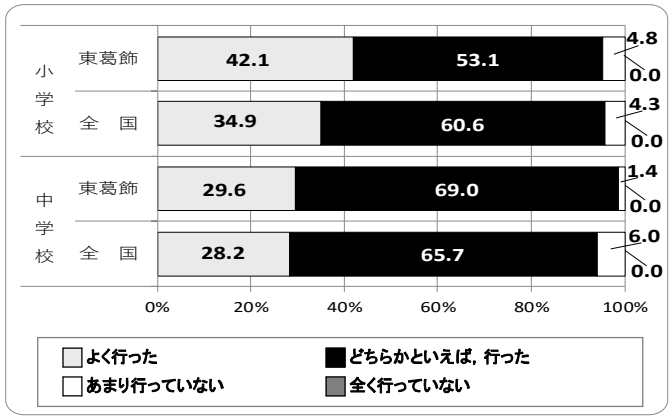
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて高く，中学校はやや低い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや高い。小学校は「よく行った」の回答が高い状況にある。

【３６】の項目では，中学校は全国と比べてやや高い。小中学校ともに「よく行った」の回答が高い状況にある。

４　地域別の傾向【北総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「聞くこと・話すこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６年，伝３・４年］(P15)

国語Ｂ２三「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の［　イ　］に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く」［５・６年］

中学校・国語

「読むこと」の領域は前年度と同程度であり，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ９一１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９五「話合いの記録として適切な言葉を考える」［１年］(P25)

小学校・算数

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「量と測定」の領域が前年度より低下している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ｂ２(1)「小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の，料金の差の求め方と答えを書く」［２・３年］(P92)

算数Ｂ３(2)「仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める」［量５年・関４年］(P90)

中学校・数学

「活用（Ｂ問題）」は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ５(1)「直方体において，与えられた辺に平行な面を書く」［１年］(P92)

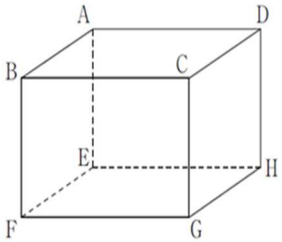
数学Ａ10(2)「与えられた比例のグラフから，ｘとｙの関係をｙ＝ａｘの式で表すことができる」［１年］(P44)

数学Ａ14(2)「6 月 1 日から 30 日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

中学校数学【Ａ５(1)】［１年］

（1）次の図の直方体には，辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの直方体の面を１つ選んで書きなさい。



小学校算数【Ｂ２(1)】［２・３年］

ゆりえさんたちは，交流会に来てくれた地域の方 20 人に，お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

１通送るのにかかる料金は，封筒の大きさと重さによって，次のように決まっています。

１通送るのにかかる料金

封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25ｇ以内	82 円
	50ｇ以内	92 円
大きい封筒	50ｇ以内	120 円
	100ｇ以内	140 円
	150ｇ以内	205 円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると，１通の重さは 27ｇになりました。また，大きい封筒に入れると，１通の重さは 36ｇになりました。ゆりえさんたちは，料金をできるだけ安くするために，小さい封筒に入れて送ることにしました。

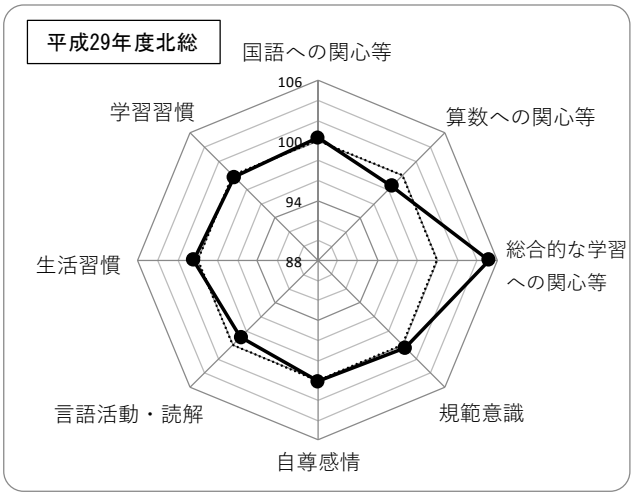
(1) 手紙と記念品を封筒に入れて，20 通送るときの料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は，大きい封筒に入れて送る場合と比べて，何円安くなりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また，答えも書きましょう。

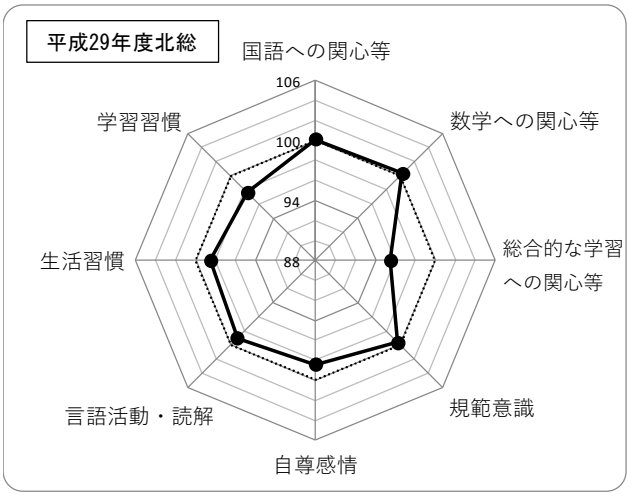
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

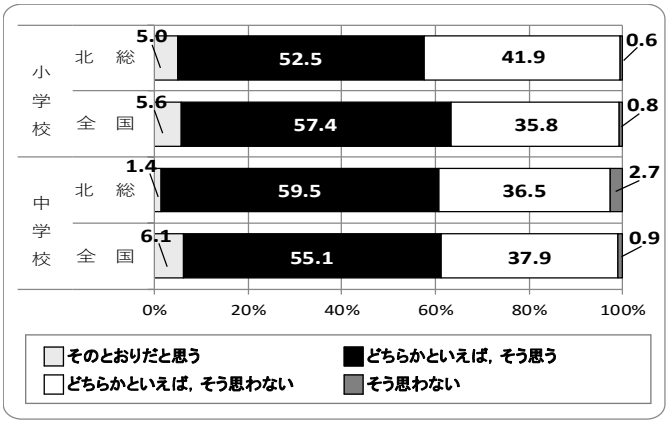


児童生徒ともに「国語への関心等」「規範意識」が，全国と比べて高い傾向にある。「総合的な学習への関心等」については，児童は全国と比べて高い傾向にあるものの生徒は低い傾向にある。

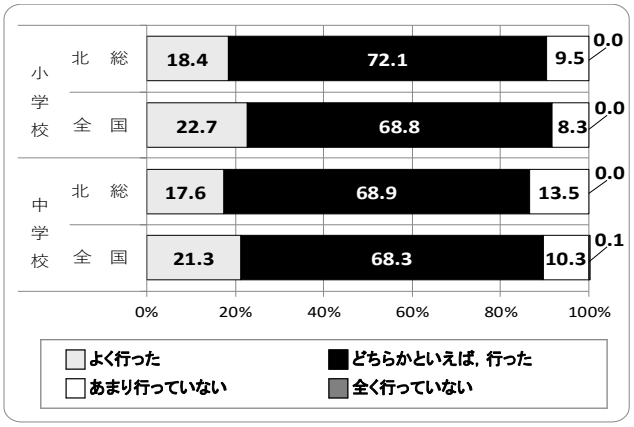
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

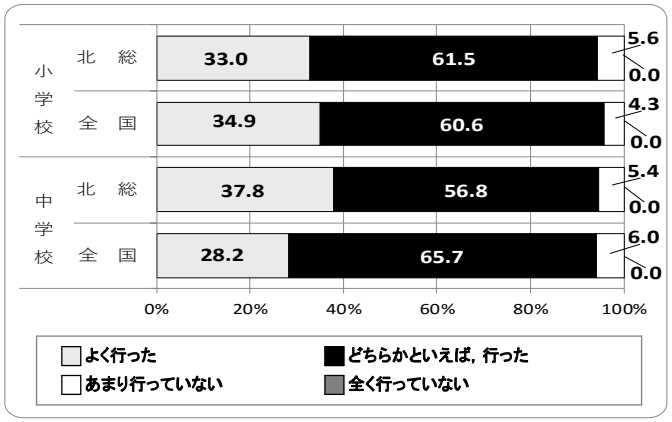
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて低く，中学校は全国と同程度である。

【３２】の項目では，小学校は全国と同程度であり，中学校は全国と比べてやや低い。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや低い。中学校は「よく行った」の回答が高い状況にある。

４　地域別の傾向【東上総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ａ３「学校新聞を書くために，「時の記念日」についての【資料】から，小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する」［３・４年］(P94)

国語Ａ７(1)「漢字を書く（参加たいしょう）」［５・６年］

中学校・国語

「書くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９一１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ｂ１三「比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く」［１年］(P25)

小学校・算数

「量と測定」の領域は前年度より上昇しており，「数と計算」の領域が前年度より低下している。

算数Ａ１(2)「買ったリボンの長さと，１ｍ当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ」［５年］(P88)

算数Ａ２(2)「１０．３＋４を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

中学校・数学

すべての各領域が前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ３(2)「具体的な場面で，一元一次方程式をつくることができる」［１年］(P94)

数学Ａ５(4)「円柱の体積を求める」［１年］(P44)

数学Ａ10(3)「反比例の表から比例定数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

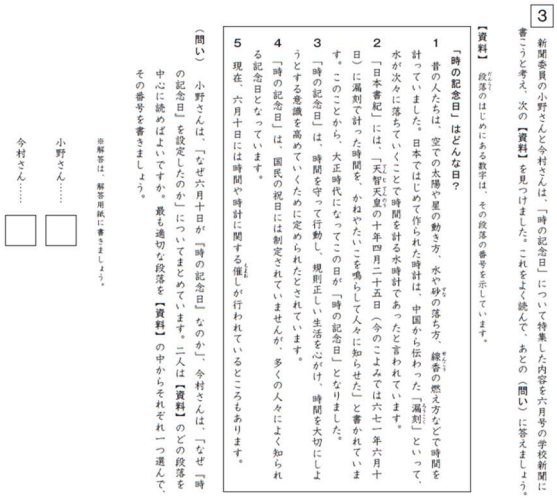
中学校数学【Ａ３(1)・(2)・(4)】［１・２年］

（１）一次方程式 $4x = 7x + 15$ を解きなさい。

（２）折り紙を何人かの生徒に配るのに，１人に６枚ずつ配ると 16 枚余ります。また，１人に８枚ずつ配ると４枚たりません。
　生徒の人数を求めるために，生徒の人数を x 人として，方程式をつくりなさい。ただし，つくった方程式を解く必要はありません。

（４）連立方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \\ \dfrac{x}{6} + \dfrac{y}{3} = 1 \end{cases}$ を解きなさい。

小学校国語【Ａ３】［３・４年］



3　新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの〔問い〕に答えましょう。

【資料】

「時の記念日」はどんな日？

1　昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。

2　「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。

3　「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。

4　「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。

5　現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

〔問い〕　小野さんは、「なぜ六月十日が「時の記念日」なのか」、今村さんは、「なぜ「時の記念日」を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

小野さん……□

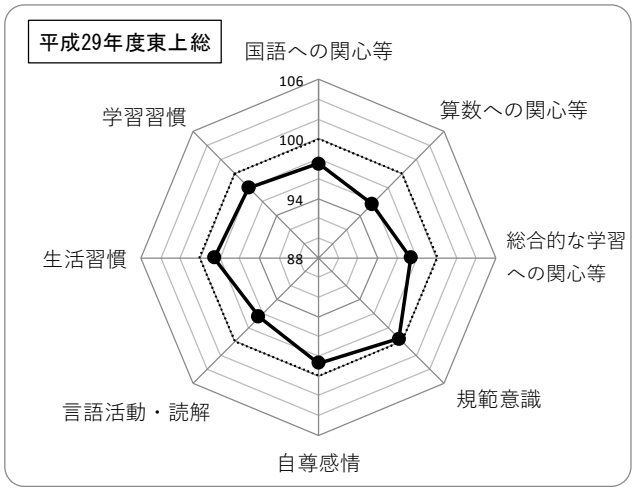
今村さん……□

※解答は、解答用紙に書きましょう。

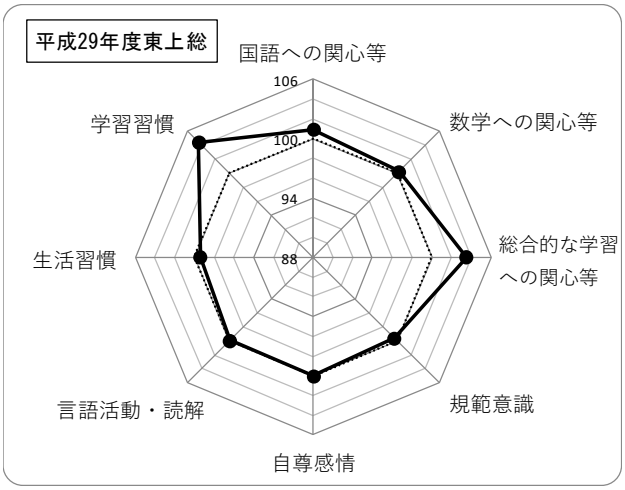
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

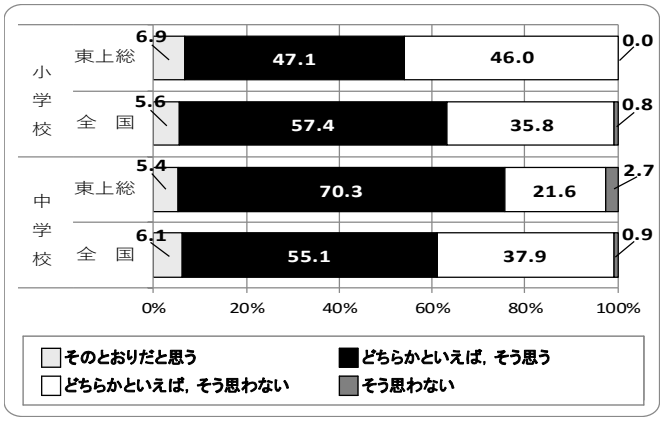


「国語への関心等」「算数・数学への関心等」「総合的な学習への関心等」「言語活動・読解力」「学習習慣」について，児童は全国と比べて低い傾向だが，生徒は高い傾向にある。

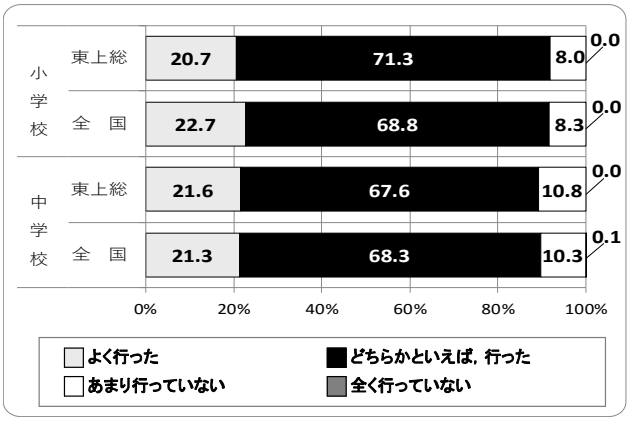
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

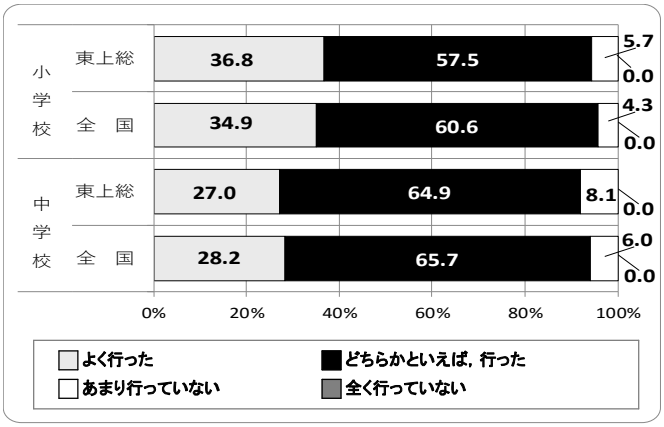
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく高い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べて同程度である。

【３６】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや低い。

４　地域別の傾向【南房総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「話すこと・聞くこと」の領域が低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ｂ１三「折り紙のみりょくについて，スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く」［５・６年］

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は定着してきているが，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ９一１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９三イ「適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは，急がば回れといわれるように，かえって慎重に議論を進めるべきだ）」［１年］(P24)

小学校・算数

「活用（Ｂ問題）」に課題が見られるが，「記述式」の問題形式が前年度より上昇している。

算数Ａ２(2)「１０．３＋４を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ５「示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ」［５年］(P34)

算数Ｂ１(3)「２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く」［４・５年］(P35)

中学校・数学

「活用（Ｂ問題）」は前年度より上昇していが，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ２(4)「等式 x＋４y＝１ を y について解く」［２年］(P96)

数学Ａ４(3)「半径が５cm，中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める」［１年］

数学Ｂ４(1)「２つの角の大きさが等しいことを，三角形の合同を利用して証明する」［２年］(P96)

課題が見られた設問の例

小学校算数【A６】［５年］

点Ｏを中心とする円を使って，図１のような正五角形をかきます。
図１の点Ａ，点Ｂ，点Ｃ，点Ｄ，点Ｅは正五角形の頂点（ちょうてん）です。

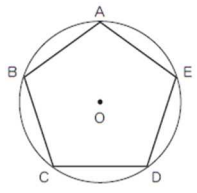


図１

まず，図２のように半径をかき，円周と交わった点を点Ａとします。
次に，図３のように半径をかいて点Ｂの位置を決めます。このとき，角㋐の大きさは何度にすればよいですか。答えを書きましょう。

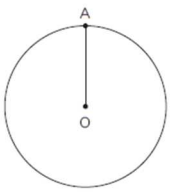


図２

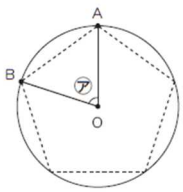
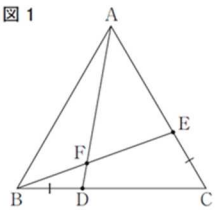


図３

中学校数学【B４(1)】［２年］

4　下の図１のように，正三角形ＡＢＣの辺ＢＣ，ＣＡ上にＢＤ＝ＣＥとなる点Ｄ，Ｅをそれぞれとります。また，線分ＡＤと線分ＢＥの交点をＦとします。ただし，点Ｄは点Ｂ，Ｃと，点Ｅは点Ｃ，Ａと重ならないものとします。

図１

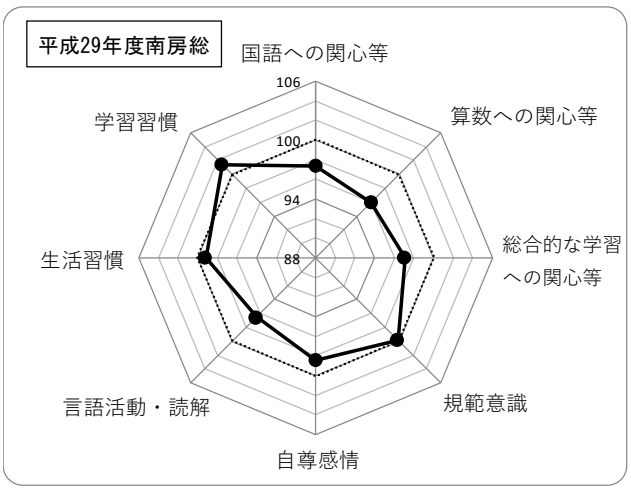


（１）図１において△ＡＢＤ≡△ＢＣＥを示し，それをもとにして，∠ＢＡＤ＝∠ＣＢＥであることが証明できます。∠ＢＡＤ＝∠ＣＢＥとなることの証明を完成しなさい。

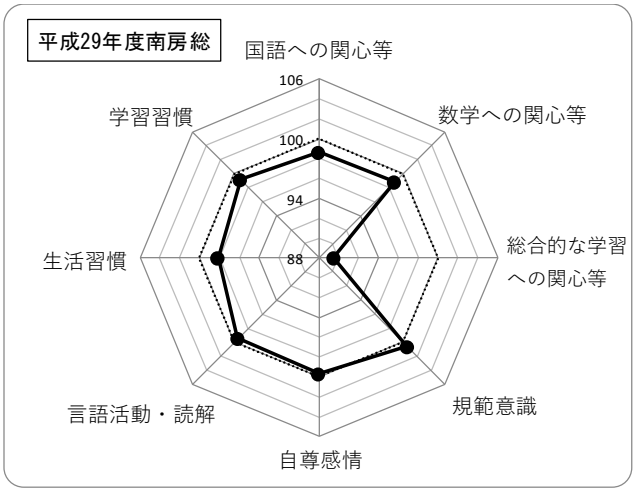
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

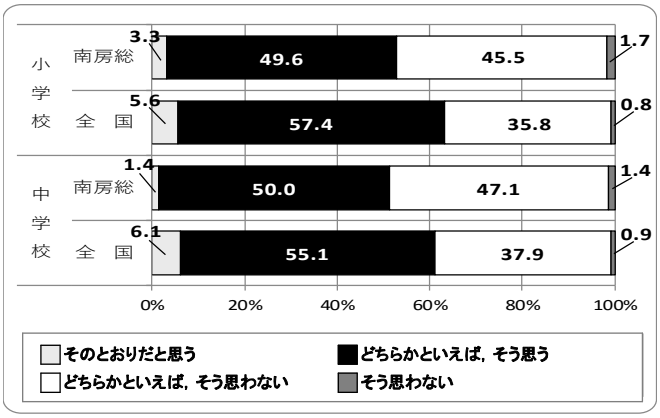


児童生徒ともに「国語への関心等」「算数・数学への関心等」「総合的な学習への関心等」が，全国と比べて低い傾向にある。児童の「言語活動・読解力」については，【６６】「４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しい」と感じている児童が多い。

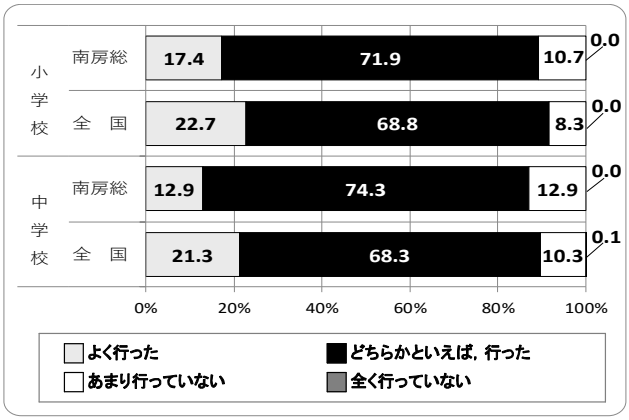
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

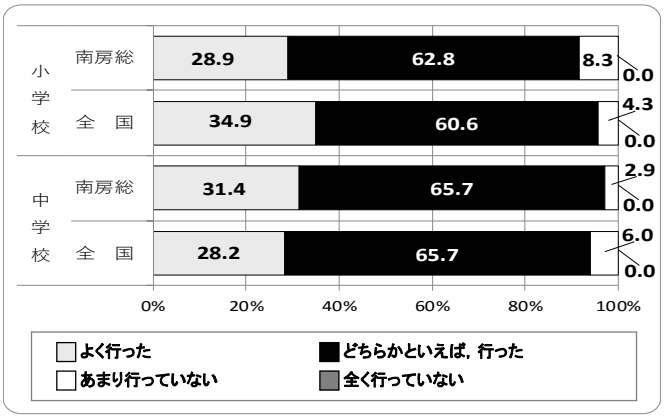
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて著しく低く，中学校は低い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに「よく行った」の回答が低い状況にある。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや低いが，中学校はやや高い。

○全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルの運営状況を確認するためのチェックシートを例示します。各学校の実態に合わせて活用してください。

☑	チェック項目	実施日 等
調査実施前		
□	年間指導計画の作成に当たり，前年度までの調査内容や分析結果を参考にした	
□	指導改善サイクルを策定し，年間行事予定に組み込み，役割分担を確認した	
調査実施後		
□	全職員で調査内容を把握した	
□	調査関連資料をまとめて管理し，職員がいつでも閲覧できるようにした	
□	関係職員が**問題**を研究し，指導改善について協議した	
□	関係職員が**「解説資料」**を研究し，指導改善について協議した	
□	**問題**及び**「解説資料」**の研究に基づいた指導改善のための校内研修を行った	
結果公表後の分析		
□	**「報告書」**を研究し，課題や指導改善のポイントを把握した	
□	結果分析を行い，成果と課題を明らかにした	
□	教科区分ごとの平均正答率を全国並びに県平均と比較した ※	
□	学習指導要領の領域及び問題形式ごとの平均正答率を分析した ※	
□	設問ごとの正答率を分析した ※	
□	平均正答率の経年変化を分析した ※	
□	児童生徒質問紙及び学校質問紙の回答状況を全国及び県平均と比較した※	
□	質問項目ごとの回答状況について分析した ※	
□	質問紙の回答状況の経年変化を分析した ※	
□	教科と質問紙の相関について分析した ※	
□	分析結果を共有した	
□	学年で共有した	
□	教科部会で共有した	
□	学校全体で共有した	
指導改善		
□	**「授業アイディア例」**の研究を行った	
□	**分析ツール**を活用し，指導改善の具体策を立てた ※ （教科・質問紙シート，経年分析シート，誤答分析シート，クロス集計シート）	
□	分析結果に基づき指導改善策を策定し，共有した	
□	学年で共有した	
□	教科部会で共有した	
□	学校全体で共有した	
□	授業研究を伴う校内研修の充実を図った	
□	指導改善による成果の評価を行った	
□	成果と課題，指導改善策について，家庭・地域に情報提供を行った	

※　分析ツール（８５ページ参照）で検討資料の作成ができます。

Ⅳ　資料

１　調査の実施状況

（１）調査実施日　平成２９年４月１８日（火）

（２）調査対象

①　国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア　小学校調査　：　小学校第６学年，義務教育学校前期課程第６学年，
特別支援学校小学部第６学年

イ　中学校調査　：　中学校第３学年，義務教育学校後期課程第３学年，
中等教育学校第３学年，特別支援学校第３学年

②　特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち，調査の対象となる教科について，以下に該当する児童生徒は，調査の対象としないことを原則とする。

ア　下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ　知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

（３）千葉県の状況

公立小学校 796 校の約 5 万人・公立中学校 385 校の約 4 万 8 千人，合計 1,181 校の約 9 万 8 千人（特別支援学校を含む）の児童生徒が調査に参加

（４）調査内容

①　児童生徒に対する調査

ア　教科（国語，算数・数学）に関する調査

（ア）小学校調査は，国語・算数とし，中学校調査は，国語・数学とする。

○国語Ａ，算数Ａ・数学Ａ　：　主として「知識」に関する問題（「Ａ」問題）

○国語Ｂ，算数Ｂ・数学Ｂ　：　主として「活用」に関する問題（「Ｂ」問題）

（イ）出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，以下のとおりとする。

○主として「知識」に関する問題は，身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題

○主として「活用」に関する問題は，知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題

イ　質問紙調査（児童生徒質問紙調査）

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

②　学校に対する質問紙調査（学校質問紙調査）

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

（５）調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　学力向上に役立つ情報

平成 29 年度全国学力・学習状況調査解説資料 	調査実施後，教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力・学習状況や課題等を把握し，指導の改善・充実に取り組めるよう作成。 ▶５月に教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校国語，小学校算数，中学校国語，中学校数学	Ｗｅｂサイト 国立教育政策研究所 →トピックス 全国学力・学習状況調査 →平成２９年度調査 →調査問題・正答例・解説資料
平成 29 年度全国学力・学習状況調査報告書 	児童生徒の学力・学習状況を総合的に分析・評価するため，各教科等の平均正答率だけでなく，個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を分析している。 ▶文部科学省による調査結果の公表時に教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校国語，小学校算数，中学校国語，中学校数学，質問紙調査	Ｗｅｂサイト 国立教育政策研究所 →トピックス 全国学力・学習状況調査 →平成２９年度調査 →報告書・調査結果資料
授業アイディア例 	調査結果を踏まえて，学校が授業の改善・充実を図る際の参考となるよう，授業のアイディアの一例を示すものとして作成。授業や研修会等で活用できる。 ▶教育委員会及び学校に配付。 ▶小学校（国語・算数），中学校（国語・数学）	Ｗｅｂサイト 国立教育政策研究所 →トピックス 全国学力・学習状況調査 →平成２９年度調査 →全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 説明資料等 →授業アイディア例
平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について（速報版リーフレット） 	千葉県の児童生徒の調査結果をまとめ，１０月に速報版としてリーフレットを学校に配付。１１月を中心に県内８会場で実施される「学力向上交流会」でも配布。 （さらに詳細に分析したのが本報告書）	Ｗｅｂサイト 千葉県総合教育センター →全国学力・学習状況調査 →平成２９年度調査
分析ツール 	市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析を支援するためのデータ処理ソフト。「結果の概要」「結果の推移」「誤答分析」「教科・質問紙クロス集計」の各種シートを作成できる。	Ｗｅｂサイト 千葉県総合教育センター →全国学力・学習状況調査 →平成２９年度調査

学びの突破口ガイド 	国語，算数，理科について，児童がつまずきやすい内容を中心に，効果的な指導方法等をまとめた指導用冊子。つまずきやすい学習上の課題に対し，解決の糸口を与え，学習内容を確実に定着させるためにワークシートとして活用できる児童用の冊子（高学年版・中学年版・低学年版）とともに小学校に配付。	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン →学びの突破口ガイド
ちばっ子チャレンジ 100 **（児童）** 	全国学力・学習状況調査（小学校の国語・算数・理科）を参考にして作成した，基礎・基本となる問題や思考力を高める問題。授業，朝自習，家庭学習資料として幅広く活用できる。 ▶小学校１～６年	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン →ちばっ子チャレンジ100
「ちばのやる気」学習ガイド **（生徒）** 	学習内容への見通しを持たせ，学習意欲を高めさせる教材。習熟の程度に応じて取り組むことができる。 ▶中学校各学年版を学校に配付。 ▶本ガイド準拠の評価問題をＷｅｂサイトで配信。	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン →「ちばのやる気」学習ガイド
「家庭学習のすすめ」サイト 	学習習慣の定着や家庭学習への理解の促進を図るために，保護者向けリーフレットや，児童生徒向け学習プリント，手引きモデル例を配信。 ▶児童，保護者及び小中学校教員向け。	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢」チャレンジサポートプラン →家庭学習のすすめ
「思考し，表現する力」を高める実践モデルプログラム 	児童生徒が意欲的に取り組み，思考力・判断力・表現力を高める授業づくりのために開発されたモデルプログラム。「見出す」「調べる」「深める」「まとめあげる」の４つのプロセスで構成される指導事例（小・中学校の各教科・領域）も掲載されている。	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →「思考し，表現する力」を高める実践モデルプログラム
学力向上交流会 	協力校（小・中学校）と県立高等学校において授業公開を実施したり，ちばっ子「学力向上」総合プランをテーマに意見交換会を行ったり，「魅力ある授業づくりの達人」などの優れた授業実践や研究推進校における成果などを伝えたり，協議したりする場。１１月を中心に実施。	Ｗｅｂサイト 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.3 子どもいきいき「授業力アップ」プラン →学力向上交流会

「学力・学習状況」検証事業 	児童・生徒の学力向上を目的として，全国学力・学習状況調査の結果等をもとに，協力校が自校の学力・学習状況調査の把握及び分析を行い，課題解決に向けた取組を行う。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.4「評価改善」アクティブプラン →「学力・学習状況」検証事業
ちば「授業練磨の公開日」 	１１月の「学力向上月間」を中心に、県内全ての公立学校で授業公開を実施することで、教員が他校の優れた授業を見合う機会とし，授業力の向上を図る。教員は異校種を含めた授業を参観することで，授業改善など力量向上を図ることができる。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.3 子どもいきいき「授業力アップ」プラン →ちば「授業練磨の公開日」
確かな学びの早道「読書」事業 	学校図書館の活用による児童生徒の学習意欲の向上を目指して，実践協力校による学校図書館を有効に活用した学習の事例を「実践記録集」としてまとめ，県内各校に提供するなど，読書活動の一層の推進を図っている。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.1 興味ワクワク「読書体験学習」チャレンジプラン →確かな学びの早道「読書」事業
学習サポーター派遣事業 	児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図るため，小・中学校に退職教員等を派遣し，放課後の補習等による学習支援，少人数指導や習熟度別指導などの授業支援等を行う。県下 180 校に１名ずつ派遣している。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.2「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン →学習サポーター派遣事業
「お兄さん，お姉さんと学ぼう」事業 	小・中学生にとって身近な「お兄さん，お姉さん」である高校生が，近隣の小・中学校等に出向き，学習支援や課外活動の援助を行う。楽しく学ぶ機会，いつもと一味違う体験的な学習を通して，学ぶ意欲の向上を図る。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県教育委員会 →学校教育 →学力向上 →Act.1 興味ワクワク「読書体験学習」チャレンジプラン →「お兄さん，お姉さんと学ぼう」事業
授業づくりガイドブック（改訂版） 	「授業企画」「授業展開力」「実態把握力」「授業改善力」の４つの力を伸ばすためには，何をどのようにすればよいのか，具体的にわかりやすく示している。これらの力を総合的に向上させることで児童生徒の確かな学力の定着を図る。	**Ｗｅｂサイト** 千葉県総合教育センター →カリキュラムサポート室 →ガイドブック等ダウンロード

Ⅴ　児童生徒質問紙調査
学校質問紙調査
回答結果集計データ

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
（1）小	朝食を毎日食べていますか	小学校	千葉	86.9	8.3	3.6	1.1							0.0	0.0	95.2	-0.2	1. している 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	87.0	8.4	3.7	0.9							0.0	0.0	95.4		
（1）中		中学校	千葉	81.3	10.9	5.5	2.3							0.0	0.0	92.2	-1.0	
			全国	82.7	10.5	4.9	1.9							0.0	0.0	93.2		
（2）小	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか	小学校	千葉	38.7	41.0	16.4	3.9							0.0	0.0	79.7	-0.1	1. している 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	38.2	41.6	16.5	3.6							0.0	0.0	79.8		
（2）中		中学校	千葉	30.3	44.0	20.2	5.3							0.0	0.1	74.3	-1.3	
			全国	31.1	44.5	19.5	4.8							0.0	0.1	75.6		
（3）小	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか	小学校	千葉	59.0	31.9	7.3	1.8							0.0	0.0	90.9	-0.3	1. している 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	58.9	32.3	7.1	1.7							0.0	0.0	91.2		
（3）中		中学校	千葉	56.9	35.4	6.2	1.3							0.0	0.2	92.3	-0.1	
			全国	56.3	36.1	6.2	1.3							0.0	0.1	92.4		
（4）小	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか	小学校	千葉	72.5	22.3	4.0	1.2							0.0	0.0	94.8	0.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	73.4	21.4	4.0	1.2							0.0	0.0	94.8		
（4）中		中学校	千葉	72.9	21.5	4.1	1.5							0.0	0.1	94.4	-0.3	
			全国	73.3	21.4	4.0	1.3							0.0	0.0	94.7		
（5）小	難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか	小学校	千葉	25.6	50.7	20.3	3.3							0.0	0.0	76.3	-1.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	26.7	50.7	19.5	3.0							0.0	0.0	77.4		
（5）中		中学校	千葉	20.4	50.7	24.9	3.9							0.0	0.1	71.1	0.1	
			全国	19.9	51.1	25.1	3.8							0.0	0.1	71.0		
（6）小	自分には，よいところがあると思いますか	小学校	千葉	36.7	40.3	15.3	7.6							0.0	0.1	77.0	-0.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	38.6	39.3	14.9	7.0							0.0	0.0	77.9		
（6）中		中学校	千葉	26.0	42.0	22.1	9.7							0.0	0.2	68.0	-2.7	
			全国	28.2	42.5	20.5	8.6							0.0	0.2	70.7		
（7）小	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	小学校	千葉	20.7	29.8	32.8	16.6							0.0	0.0	50.5	-1.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	21.6	30.6	32.3	15.4							0.0	0.0	52.2		
（7）中		中学校	千葉	17.4	32.0	35.1	15.4							0.0	0.1	49.4	-1.1	
			全国	17.6	32.9	34.4	14.9							0.0	0.1	50.5		
（8）小	友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	小学校	千葉	59.3	34.7	5.1	0.8							0.0	0.0	94.0	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	60.1	34.2	5.0	0.8							0.0	0.0	94.3		
（8）中		中学校	千葉	58.6	35.6	5.0	0.8							0.0	0.1	94.2	-0.4	
			全国	59.7	34.9	4.6	0.7							0.0	0.1	94.6		
（9）小	友達と話し合うとき，友達の考えを受け止めて，自分の考えを持つことができますか	小学校	千葉	41.7	43.3	12.8	2.2							0.0	0.0	85.0	-0.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	42.5	43.0	12.3	2.1							0.0	0.0	85.5		
（9）中		中学校	千葉	42.6	45.5	10.4	1.4							0.0	0.1	88.1	-0.3	
			全国	43.0	45.4	10.1	1.4							0.0	0.1	88.4		
(10)小	将来の夢や目標を持っていますか	小学校	千葉	70.4	16.1	8.0	5.5							0.0	0.0	86.5	0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	70.0	15.9	8.1	5.9							0.0	0.0	85.9		
(10)中		中学校	千葉	44.2	25.8	18.7	11.1							0.0	0.2	70.0	-0.5	
			全国	45.3	25.2	18.3	11.0							0.0	0.1	70.5		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(11)小	授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	小学校	千葉	38.0	44.7	13.9	3.2							0.1	0.2	82.7	-0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	38.2	44.6	14.0	3.0							0.1	0.1	82.8		
(11)中		中学校	千葉	22.3	47.4	25.0	5.0							0.0	0.3	69.7	-1.2	
			全国	22.5	48.4	24.2	4.6							0.0	0.3	70.9		
(12)小	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・ＤＶＤを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）	小学校	千葉	17.9	16.6	22.2	26.0	15.0	2.2					0.0	0.1			1. ４時間以上 2. ３時間以上，４時間より少ない 3. ２時間以上，３時間より少ない 4. １時間以上，２時間より少ない 5. １時間より少ない 6. 全くしない
			全国	16.6	16.1	23.0	27.3	14.8	2.1					0.1	0.0			
(12)中		中学校	千葉	12.4	12.9	23.1	30.3	18.8	2.5					0.0	0.1			
			全国	12.0	13.3	23.8	30.1	18.3	2.4					0.0	0.0			
(13)小	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	小学校	千葉	10.7	8.9	13.5	23.9	29.1	13.8					0.1	0.0			1. ４時間以上 2. ３時間以上，４時間より少ない 3. ２時間以上，３時間より少ない 4. １時間以上，２時間より少ない 5. １時間より少ない 6. 全くしない
			全国	9.3	8.3	13.5	24.4	30.4	14.0					0.1	0.0			
(13)中		中学校	千葉	12.2	10.3	16.1	20.8	23.9	16.5					0.0	0.1			
			全国	11.4	10.0	16.2	21.4	24.3	16.6					0.0	0.1			
(14)小	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	小学校	千葉	4.3	3.5	5.0	8.6	12.5	32.7	33.4				0.1	0.0			1. ４時間以上 2. ３時間以上，４時間より少ない 3. ２時間以上，３時間より少ない 4. １時間以上，２時間より少ない 5. ３０分以上，１時間より少ない 6. ３０分より少ない 7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない
			全国	3.8	3.2	5.0	8.5	12.2	30.5	36.7				0.1	0.0			
(14)中		中学校	千葉	10.2	9.1	14.8	18.5	17.0	18.3	11.9				0.2	0.1			
			全国	9.5	8.6	14.1	18.2	15.9	17.5	16.1				0.2	0.1			
(15)小	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）	小学校	千葉	13.2	14.3	33.8	25.9	9.7	3.1					0.0	0.1	61.3	-3.1	1. ３時間以上 2. ２時間以上，３時間より少ない 3. １時間以上，２時間より少ない 4. ３０分以上，１時間より少ない 5. ３０分より少ない 6. 全くしない
			全国	11.9	15.2	37.3	24.3	8.4	2.9					0.1	0.0	64.4		
(15)中		中学校	千葉	10.5	25.0	34.0	16.4	8.4	5.5					0.0	0.1	69.5	-0.1	
			全国	10.1	25.3	34.2	17.2	8.3	4.9					0.0	0.1	69.6		
(16)小	土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）	小学校	千葉	9.0	5.1	12.0	30.9	34.0	8.9					0.0	0.1	57.0	-0.3	1. ４時間以上 2. ３時間以上，４時間より少ない 3. ２時間以上，３時間より少ない 4. １時間以上，２時間より少ない 5. １時間より少ない 6. 全くしない
			全国	7.1	5.1	12.4	32.7	32.9	9.7					0.1	0.1	57.3		
(16)中		中学校	千葉	6.9	12.8	22.5	26.4	20.3	10.9					0.0	0.1	68.6	-0.8	
			全国	5.7	12.1	24.0	27.6	20.4	10.0					0.0	0.1	69.4		
(17)小	学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか	小学校	千葉	48.7	26.7	7.5	9.9	6.9						0.1	0.2			1. 学習塾に通っていない 2. 学校の勉強より進んだ内容や，難しい内容を勉強している 3. 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している 4. 上記２，３の両方の内容を勉強している 5. 上記２，３の内容のどちらともいえない
			全国	53.7	23.5	6.9	8.6	6.8						0.2	0.1			
(17)中		中学校	千葉	31.2	25.1	8.1	31.4	4.0						0.0	0.1			
			全国	38.5	20.3	8.7	28.3	4.1						0.0	0.1			
(18)小	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）	小学校	千葉	7.9	10.7	20.1	25.8	15.3	20.1					0.0	0.1	38.7	2.2	1. ２時間以上 2. １時間以上，２時間より少ない 3. ３０分以上，１時間より少ない 4. １０分以上，３０分より少ない 5. １０分より少ない 6. 全くしない
			全国	6.9	9.9	19.7	26.8	16.1	20.5					0.1	0.1	36.5		
(18)中		中学校	千葉	6.3	8.8	16.3	24.5	12.5	31.5					0.0	0.1	31.4	2.2	
			全国	5.7	8.3	15.2	22.2	12.8	35.6					0.0	0.1	29.2		
(19)小	昼休みや放課後，学校が休みの日に，本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	小学校	千葉	2.2	10.4	22.4	29.6	35.1						0.2	0.2	35.0	-3.6	1. だいたい週に４回以上行く 2. 週に１～３回程度行く 3. 月に１～３回程度行く 4. 年に数回程度行く 5. ほとんど，または，全く行かない
			全国	3.0	12.6	23.0	28.6	32.4						0.2	0.1	38.6		
(19)中		中学校	千葉	1.7	4.9	9.9	22.2	61.1						0.0	0.1	16.5	-2.9	
			全国	2.2	5.9	11.3	22.5	58.0						0.0	0.1	19.4		
	学校の部活動に参加していますか	小学校	千葉															1. 運動部にだけ参加している 2. 文化部にだけ参加している 3. 運動部と文化部の両方に参加している 4. 運動部，文化部のどちらにも参加していない
			全国															
(20)中		中学校	千葉	67.4	20.0	0.8	11.6							0.0	0.2			
			全国	66.7	19.9	1.0	12.2							0.0	0.1			

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(21)中	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，部活動をしますか	小学校	千葉															1. ３時間以上 2. ２時間以上，３時間より少ない 3. １時間以上，２時間より少ない 4. ３０分以上，１時間より少ない 5. ３０分より少ない 6. 全くしない
			全国															
		中学校	千葉	17.2	42.7	25.3	2.6	0.7	11.2					0.1	0.2			
			全国	11.6	44.0	28.4	3.2	0.9	11.5					0.1	0.2			
(20)小 (22)中	普段（月～金曜日），家を出発してから学校に着くまでに，どのくらいの時間がかかりますか	小学校	千葉	0.5	2.4	10.5	37.1	49.0						0.1	0.5			1. １時間以上 2. ４５分以上，１時間より少ない 3. ３０分以上，４５分より少ない 4. １５分以上，３０分より少ない 5. １５分より少ない
			全国	0.6	3.4	13.2	37.4	44.7						0.1	0.5			
		中学校	千葉	0.7	1.7	8.7	43.3	45.2						0.0	0.3			
			全国	0.9	2.4	10.7	44.5	41.2						0.0	0.3			
(21)小 (23)中	放課後に何をして過ごすことがおおいですか	小学校	千葉	58.7	5.0	2.7	33.4	43.2	43.1	74.5	62.2	73.7		－	0.4			1. 学校の部活動に参加している 2. 家で勉強読書をしている 3. 地域活動に参加している 4. 塾など学校や家以外で勉強している 5. 習い事をしている 6. スポーツをしている 7. 家でテレビ，ビデオ，ゲーム，インターネットなどをしている 8. 家族と過ごしている 9. 友達と遊んでいる
			全国	60.9	6.2	3.3	29.6	42.4	45.1	72.6	61.7	71.7		－	0.3			
		中学校	千葉	83.2	40.6	1.2	48.4	15.3	17.2	72.2	44.7	38.5		－	0.2			
			全国	81.8	39.4	1.5	40.0	15.1	18.4	68.8	44.2	33.4		－	0.2			
(22)小 (24)中	土曜日の午前は，何をして過ごすことが多いですか	小学校	千葉	4.5	51.0	7.4	11.5	30.6	2.9	61.7	68.9	33.7		－	1.0			1. 学校で授業を受けている 2. 学校の部活動に参加している 3. 家で勉強や読書をしている 4. 塾など学校や家以外で勉強している 5. 習い事をしている 6. スポーツをしている 7. 地域の活動に参加している 8. 家でテレビ，ビデオ，ゲーム，インターネット 9. 家族と過ごしている 10. 友達と遊んでいる
			全国	5.0	51.2	6.8	12.5	30.5	4.1	62.9	69.6	35.3		－	0.8			
		中学校	千葉	2.9	73.4	26.7	4.8	2.5	10.7	1.0	54.0	39.8	26.6	－	0.8			
			全国	2.9	69.5	26.9	4.0	2.8	11.8	1.1	54.6	40.4	25.6	－	0.8			
(23)小 (25)中	土曜日の午後は，何をして過ごすことが多いですか	小学校	千葉	2.3	43.4	11.6	13.1	32.5	2.1	68.7	72.6	49.9		－	0.7			1. 学校で授業を受けている 2. 学校の部活動に参加している 3. 家で勉強や読書をしている 4. 塾など学校や家以外で勉強している 5. 習い事をしている 6. スポーツをしている 7. 地域の活動に参加している 8. 家でテレビ，ビデオ，ゲーム，インターネット 9. 家族と過ごしている 10. 友達と遊んでいる
			全国	2.3	42.8	9.9	13.4	32.8	2.9	69.8	72.8	52.8		－	0.6			
		中学校	千葉	0.9	45.7	38.0	24.9	6.0	13.8	1.1	68.9	50.5	48.1	－	0.3			
			全国	0.8	40.1	38.3	19.1	6.2	15.1	1.2	69.8	51.6	48.6	－	0.3			
(24)小 (26)中	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	小学校	千葉	51.1	27.5	16.3	5.0							0.1	0.1	78.6	0.5	1. している 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	50.6	27.5	16.6	5.1							0.1	0.1	78.1		
		中学校	千葉	43.9	29.9	19.1	7.0							0.0	0.1	73.8	-0.5	
			全国	44.0	30.3	19.1	6.5							0.0	0.0	74.3		
(25)小 (27)中	携帯電話やスマートフォンの使い方について，家の人と約束したことを守っていますか	小学校	千葉	34.0	17.6	2.0	0.5	10.6	35.0					0.1	0.1	51.6	2.9	1. きちんと守っている 2. だいたい守っている 3. あまり守っていない 4. 守っていない 5. 携帯電話やスマートフォンは持っているが，約束はない 6. 携帯電話やスマートフォンは持っていない
			全国	30.9	17.8	2.5	0.7	10.2	37.8					0.1	0.1	48.7		
		中学校	千葉	22.4	33.5	7.6	2.1	19.9	14.4					0.1	0.1	55.9	5.3	
			全国	19.9	30.7	7.5	2.0	19.8	19.9					0.0	0.1	50.6		
(26)小 (28)中	テレビを見る時間やゲームする時間などのルールを家の人と決めていますか	小学校	千葉	33.8	23.4	24.7	17.8							0.1	0.1	57.2	-1.1	1. している 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	35.3	23.0	24.1	17.4							0.1	0.1	58.3		
		中学校	千葉	14.4	18.9	30.3	36.3							0.0	0.1	33.3	-0.7	
			全国	14.8	19.2	29.8	36.2							0.0	0.1	34.0		
(27)小 (29)中	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	小学校	千葉	15.0	35.2	29.8	19.9							0.1	0.1	50.2	-0.2	1. よく話す 2. 時々話す 3. あまり話さない 4. 全く話さない
			全国	15.1	35.3	30.1	19.3							0.1	0.1	50.4		
		中学校	千葉	17.0	42.3	26.7	13.8							0.0	0.2	59.3	-1.4	
			全国	17.0	43.7	26.4	12.8							0.0	0.1	60.7		
(28)小 (30)中	家の人（兄弟姉妹を除く）は，授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	小学校	千葉	82.8	13.4	2.7	0.7							0.1	0.2	96.2	0.1	1. よく来る 2. 時々来る 3. あまり来ない 4. 全く来ない
			全国	81.5	14.6	2.9	0.7							0.1	0.2	96.1		
		中学校	千葉	57.0	29.6	9.7	3.2							0.0	0.5	86.6	2.5	
			全国	52.4	31.7	11.6	3.8							0.0	0.5	84.1		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(29)小	家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか	小学校	千葉	27.9	34.6	27.3	10.0							0.1	0.1	62.5	-2.0	1.している 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	30.0	34.5	26.1	9.4							0.1	0.0	64.5		
(31)中		中学校	千葉	17.4	31.2	35.3	15.9							0.0	0.1	48.6	-2.9	
			全国	18.6	32.9	33.9	14.5							0.0	0.1	51.5		
(30)小	家で，学校の宿題をしていますか	小学校	千葉	85.9	10.5	2.8	0.7							0.0	0.1	96.4	-0.5	1.している 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	88.0	8.9	2.3	0.8							0.0	0.0	96.9		
(32)中		中学校	千葉	59.8	25.3	10.3	4.4							0.0	0.1	85.1	-4.4	
			全国	67.7	21.8	7.5	2.9							0.0	0.1	89.5		
(31)小	家で，学校の授業の予習をしていますか	小学校	千葉	16.3	24.3	36.5	22.8							0.0	0.1	40.6	-0.4	1.している 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	16.3	24.7	37.3	21.6							0.0	0.1	41.0		
(33)中		中学校	千葉	12.8	20.3	35.4	31.2							0.0	0.2	33.1	1.4	
			全国	11.3	20.4	36.9	31.2							0.0	0.1	31.7		
(32)小	家で，学校の授業の復習をしていますか	小学校	千葉	19.8	30.3	32.1	17.7							0.0	0.1	50.1	-3.7	1.している 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	23.6	30.2	29.7	16.3							0.1	0.1	53.8		
(34)中		中学校	千葉	17.8	30.9	31.2	20.0							0.0	0.2	48.7	-1.8	
			全国	18.9	31.6	30.6	18.7							0.0	0.2	50.5		
(33)小	学校に行くのは楽しいと思いますか	小学校	千葉	55.1	31.1	9.3	4.4							0.0	0.1	86.2	-0.1	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	55.4	30.9	9.2	4.3							0.0	0.0	86.3		
(35)中		中学校	千葉	47.1	32.6	12.8	7.5							0.0	0.1	79.7	-1.2	
			全国	47.3	33.6	12.2	6.9							0.0	0.1	80.9		
(34)小	友達に会うのは楽しいと思いますか	小学校	千葉	82.1	13.9	2.8	1.0							0.0	0.1	96.0	-0.4	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	83.5	12.9	2.6	1.0							0.0	0.0	96.4		
(36)中		中学校	千葉	73.4	20.4	4.2	1.9							0.0	0.1	93.8	-0.8	
			全国	75.5	19.1	3.6	1.7							0.0	0.1	94.6		
(35)小	好きな授業がありますか	小学校	千葉	76.9	15.5	4.6	2.8							0.0	0.1	92.4	-0.6	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	78.4	14.6	4.3	2.6							0.0	0.0	93.0		
(37)中		中学校	千葉	49.4	26.5	14.2	9.7							0.0	0.1	75.9	-3.3	
			全国	53.5	25.7	12.5	8.1							0.0	0.1	79.2		
(36)小	学級会などの話し合いの活動で，自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり，折り合いをつけたりして話し合い，意見をまとめていますか	小学校	千葉	13.0	35.8	36.5	14.6							0.0	0.1	48.8	-1.5	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	13.9	36.4	35.9	13.6							0.0	0.1	50.3		
(38)中		中学校	千葉	10.5	29.3	37.9	22.2							0.0	0.1	39.8	-0.7	
			全国	10.5	30.0	37.4	21.9							0.0	0.1	40.5		
(37)小	学級みんなで協力して何かをやり遂げ，うれしかったことがありますか	小学校	千葉	58.1	28.5	9.7	3.7							0.0	0.1	86.6	-1.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	60.8	27.0	8.8	3.3							0.0	0.1	87.8		
(39)中		中学校	千葉	59.7	25.3	9.4	5.4							0.0	0.2	85.0	-1.0	
			全国	61.0	25.0	9.0	4.9							0.0	0.1	86.0		
(38)小	先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小学校	千葉	46.5	39.1	10.5	3.6							0.1	0.3	85.6	-0.4	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	47.3	38.7	10.3	3.4							0.1	0.2	86.0		
(40)中		中学校	千葉	35.7	44.7	13.9	5.3							0.0	0.3	80.4	0.0	
			全国	34.5	45.9	14.5	4.9							0.0	0.2	80.4		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(39)小	先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれますか	小学校	千葉	49.2	34.8	11.1	4.5							0.1	0.2	84.0	-1.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	50.5	34.6	10.3	4.3							0.1	0.2	85.1		
(41)中		中学校	千葉	26.2	44.5	21.1	7.9							0.0	0.3	70.7	-4.8	
			全国	30.1	45.4	18.0	6.2							0.0	0.3	75.5		
(40)小	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小学校	千葉	25.5	28.1	22.7	23.5							0.0	0.1	53.6	-9.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	35.0	27.6	19.0	18.4							0.0	0.1	62.6		
(42)中		中学校	千葉	12.3	23.0	28.2	36.3							0.0	0.1	35.3	-6.8	
			全国	16.9	25.2	26.9	30.9							0.0	0.1	42.1		
(41)小	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	小学校	千葉	29.6	34.6	22.7	13.0							0.0	0.1	64.2	0.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	28.6	35.3	23.6	12.5							0.0	0.1	63.9		
(43)中		中学校	千葉	21.0	36.3	26.3	16.2							0.0	0.1	57.3	-1.9	
			全国	22.5	36.7	25.9	14.8							0.0	0.1	59.2		
(42)小	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小学校	千葉	14.8	27.6	35.4	22.2							0.0	0.1	42.4	0.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	14.8	27.5	35.7	21.9							0.0	0.1	42.3		
(44)中		中学校	千葉	9.0	22.1	39.2	29.6							0.0	0.1	31.1	-2.3	
			全国	9.8	23.6	38.9	27.6							0.0	0.1	33.4		
(43)小	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	小学校	千葉	32.4	27.2	38.4								1.9	0.1	32.4	-3.0	1.参加したことがある 2.参加したことがない 3.分からない
			全国	35.4	23.9	38.9								1.7	0.1	35.4		
(45)中		中学校	千葉	42.2	26.7	30.8								0.0	0.2	42.2	-7.5	
			全国	49.7	20.9	29.2								0.0	0.2	49.7		
(44)小	地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがありますか	小学校	千葉	17.4	22.8	26.9	32.8							0.0	0.1	40.2	-0.9	1.よくある 2.時々ある 3.あまりない 4.全くない
			全国	17.9	23.2	27.2	31.7							0.0	0.1	41.1		
(46)中		中学校	千葉	7.7	14.4	23.5	54.2							0.0	0.1	22.1	-1.5	
			全国	8.2	15.4	25.4	50.9							0.0	0.1	23.6		
(45)小	新聞を読んでいますか	小学校	千葉	7.4	13.3	18.2	60.9							0.0	0.1	20.7	-0.3	1.ほぼ毎日読んでいる 2.週に１～３回程度読んでいる 3.月に１～３回程度読んでいる 4.ほとんど，または，全く読まない
			全国	7.8	13.2	19.2	59.6							0.0	0.1	21.0		
(47)中		中学校	千葉	4.2	9.2	14.8	71.6							0.1	0.2	13.4	-1.5	
			全国	5.3	9.6	15.5	69.5							0.0	0.1	14.9		
(46)小	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	小学校	千葉	59.8	27.2	7.6	5.2							0.0	0.1	87.0	2.4	1.よく見る 2.時々見る 3.あまり見ない 4.ほとんど，または，全く見ない
			全国	54.5	30.1	9.4	6.0							0.0	0.1	84.6		
(48)中		中学校	千葉	53.0	34.4	8.3	4.0							0.0	0.3	87.4	0.7	
			全国	51.8	34.9	8.6	4.4							0.0	0.2	86.7		
(47)小	外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	小学校	千葉	40.9	30.5	16.9	11.6							0.0	0.1	71.4	1.0	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	40.6	29.8	17.5	12.0							0.0	0.1	70.4		
(49)中		中学校	千葉	36.3	27.8	18.9	16.8							0.0	0.2	64.1	-0.2	
			全国	36.6	27.7	19.6	15.9							0.0	0.1	64.3		
(48)小	将来，外国へ留学したり，国際的な仕事に就いてみたりしたいと思いますか	小学校	千葉	18.0	19.1	29.6	33.2							0.0	0.1	37.1	3.5	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	16.0	17.6	30.2	36.0							0.0	0.1	33.6		
(50)中		中学校	千葉	18.2	17.9	28.6	35.2							0.0	0.2	36.1	3.2	
			全国	16.1	16.8	29.4	37.4							0.0	0.2	32.9		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　2段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(49)小	学校のきまり（規則）を守っていますか	小学校	千葉	46.4	46.5	6.0	0.9							0.0	0.1	92.9	0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	46.4	46.2	6.3	1.0							0.0	0.1	92.6		
(51)中		中学校	千葉	62.3	32.5	4.2	0.9							0.0	0.1	94.8	-0.4	
			全国	63.0	32.2	3.8	0.9							0.0	0.1	95.2		
(50)小	友達との約束を守っていますか	小学校	千葉	67.6	29.2	2.4	0.8							0.0	0.1	96.8	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	69.4	27.8	2.1	0.6							0.0	0.1	97.2		
(52)中		中学校	千葉	68.2	28.8	2.1	0.7							0.0	0.1	97.0	-0.4	
			全国	69.4	28.0	1.9	0.6							0.0	0.1	97.4		
(51)小	人が困っているときは，進んで助けていますか	小学校	千葉	38.4	47.0	12.2	2.2							0.0	0.1	85.4	0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	38.5	46.8	12.3	2.3							0.0	0.1	85.3		
(53)中		中学校	千葉	37.1	47.5	12.8	2.4							0.0	0.2	84.6	0.2	
			全国	35.6	48.8	13.0	2.4							0.0	0.1	84.4		
(52)小	いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小学校	千葉	79.3	16.4	3.1	1.1							0.0	0.1	95.7	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	81.2	14.9	2.7	1.1							0.0	0.1	96.1		
(54)中		中学校	千葉	70.0	21.7	5.7	2.4							0.0	0.2	91.7	-1.1	
			全国	73.3	19.5	4.9	2.2							0.0	0.2	92.8		
(53)小	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小学校	千葉	67.3	25.1	5.1	2.2							0.1	0.2	92.4	-0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	68.0	24.5	5.1	2.2							0.1	0.1	92.5		
(55)中		中学校	千葉	64.1	26.6	6.0	3.0							0.0	0.3	90.7	-1.2	
			全国	66.1	25.8	5.3	2.5							0.0	0.2	91.9		
(54)小	「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小学校	千葉	28.4	43.6	21.9	5.9							0.0	0.1	72.0	2.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	27.1	42.7	23.1	6.7							0.1	0.2	69.8		
(56)中		中学校	千葉	16.9	42.4	29.4	11.0							0.0	0.2	59.3	-5.0	
			全国	21.3	43.0	25.7	9.7							0.0	0.3	64.3		
(55)小	授業では，先生から示される課題や，学級やグループの中で，自分たちで立てた課題に対して，自ら考え，自分から取り組んでいたと思いますか	小学校	千葉	28.3	48.7	19.0	3.8							0.0	0.1	77.0	-0.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	30.5	47.4	18.3	3.8							0.0	0.1	77.9		
(57)中		中学校	千葉	25.8	48.0	20.8	5.1							0.0	0.2	73.8	-1.1	
			全国	26.8	48.1	20.1	4.9							0.0	0.1	74.9		
(56)小	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	小学校	千葉	49.2	33.4	13.1	4.0							0.0	0.1	82.6	-2.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	52.9	31.8	11.6	3.6							0.0	0.1	84.7		
(58)中		中学校	千葉	40.1	42.5	13.5	3.7							0.0	0.2	82.6	-1.8	
			全国	42.5	41.9	12.1	3.3							0.0	0.1	84.4		
(57)小	授業では，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	小学校	千葉	42.9	39.9	13.9	3.1							0.0	0.1	82.8	-1.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	46.9	37.6	12.5	2.8							0.0	0.1	84.5		
(59)中		中学校	千葉	34.8	45.0	16.4	3.6							0.0	0.2	79.8	-2.0	
			全国	38.9	42.9	14.8	3.2							0.0	0.2	81.8		
(58)小	授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	小学校	千葉	27.0	46.8	21.1	4.9							0.0	0.2	73.8	-1.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	29.5	45.6	20.1	4.7							0.0	0.1	75.1		
(60)中		中学校	千葉	21.7	47.5	24.5	6.1							0.0	0.3	69.2	-2.1	
			全国	23.7	47.6	22.8	5.7							0.0	0.2	71.3		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(59)小	授業で，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動では，話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか	小学校	千葉	32.8	44.2	18.5	4.2							0.0	0.2	77.0	-1.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	34.6	43.5	17.8	4.0							0.0	0.1	78.1		
(61)中		中学校	千葉	24.7	47.3	22.4	5.4							0.0	0.2	72.0	-1.5	
			全国	26.2	47.3	21.2	5.1							0.0	0.2	73.5		
(60)小	授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	小学校	千葉	24.1	40.6	26.7	8.4							0.0	0.2	64.7	-0.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	24.7	40.2	26.6	8.3							0.0	0.1	64.9		
(62)中		中学校	千葉	15.9	40.0	33.1	10.8							0.0	0.3	55.9	-2.0	
			全国	17.1	40.8	31.9	10.0							0.0	0.2	57.9		
(61)小	授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	小学校	千葉	50.0	35.0	11.6	3.2							0.0	0.2	85.0	-3.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	58.6	29.6	9.1	2.5							0.0	0.1	88.2		
(63)中		中学校	千葉	49.2	37.2	10.5	2.9							0.0	0.3	86.4	-1.4	
			全国	53.1	34.7	9.4	2.5							0.0	0.2	87.8		
(62)小	授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	小学校	千葉	35.9	37.3	20.2	6.4							0.1	0.2	73.2	-3.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	40.3	35.9	18.3	5.3							0.0	0.1	76.2		
(64)中		中学校	千葉	21.3	41.3	29.5	7.6							0.0	0.2	62.6	-3.5	
			全国	25.3	40.8	26.7	7.0							0.0	0.2	66.1		
(63)小	授業で扱うノートには，学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	小学校	千葉	65.1	21.3	9.1	4.3							0.1	0.2	86.4	-2.3	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	68.9	19.8	7.8	3.3							0.1	0.1	88.7		
(65)中		中学校	千葉	52.0	32.3	11.5	3.9							0.0	0.3	84.3	4.0	
			全国	47.6	32.7	14.3	5.2							0.0	0.2	80.3		
(64)小	道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	小学校	千葉	35.6	42.1	17.4	4.7							0.0	0.3	77.7	-0.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	37.2	41.3	16.7	4.6							0.0	0.2	78.5		
(66)中		中学校	千葉	32.4	43.0	18.4	5.8							0.0	0.4	75.4	-0.6	
			全国	33.2	42.8	18.1	5.7							0.0	0.3	76.0		
(65)小	授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	小学校	千葉	30.1	35.9	24.2	9.3							0.1	0.3	66.0	-4.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば，当てはまる 3.どちらかといえば，当てはまらない 4.当てはまらない
			全国	34.5	35.7	21.6	7.8							0.1	0.3	70.2		
(67)中		中学校	千葉	15.0	31.4	35.6	17.4							0.0	0.6	46.4	-7.3	
			全国	19.4	34.3	31.9	13.9							0.0	0.6	53.7		
(66)小	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	小学校	千葉	34.3	26.8	21.6	17.0							0.1	0.2	38.6	-1.7	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	32.9	26.6	22.9	17.4							0.1	0.1	40.3		
(68)中		中学校	千葉	34.9	27.2	21.4	16.2							0.0	0.2	37.6	0.3	
			全国	35.6	26.9	21.4	15.9							0.0	0.2	37.3		
(67)小	学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小学校	千葉	23.8	30.4	26.1	19.5							0.0	0.2	45.6	-0.6	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	23.4	30.3	26.7	19.5							0.1	0.1	46.2		
(69)中		中学校	千葉	30.9	32.1	23.7	13.0							0.0	0.3	36.7	-0.3	
			全国	30.4	32.4	24.1	12.9							0.0	0.2	37.0		
(68)小	学級の友達と〔生徒〕の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか	小学校	千葉	26.0	41.6	24.5	7.5							0.0	0.3	67.6	-0.6	1.そう思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	26.9	41.3	24.2	7.3							0.1	0.2	68.2		
(70)中		中学校	千葉	18.7	44.3	27.9	8.6							0.0	0.5	63.0	-1.8	
			全国	19.7	45.1	26.7	8.1							0.0	0.4	64.8		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　2段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(69)小	国語の勉強は好きですか	小学校	千葉	26.5	35.7	24.4	13.1							0.0	0.2	62.2	1.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	25.5	35.0	25.4	14.0							0.0	0.2	60.5		
(71)中		中学校	千葉	22.3	35.7	27.4	14.4							0.0	0.2	58.0	-2.5	
			全国	23.8	36.7	26.5	12.9							0.0	0.2	60.5		
(70)小	国語の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉	63.0	27.2	6.5	3.0							0.0	0.3	90.2	-1.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	65.7	25.5	5.9	2.8							0.0	0.2	91.2		
(72)中		中学校	千葉	53.0	34.0	8.7	4.0							0.0	0.3	87.0	-1.8	
			全国	56.1	32.7	7.6	3.3							0.0	0.2	88.8		
(71)小	国語の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉	38.2	43.3	13.9	4.3							0.0	0.3	81.5	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	38.9	43.3	13.3	4.3							0.0	0.2	82.2		
(73)中		中学校	千葉	24.1	46.8	21.8	7.0							0.0	0.3	70.9	-4.0	
			全国	26.8	48.1	19.2	5.6							0.0	0.2	74.9		
(72)小	読書は好きですか	小学校	千葉	49.7	24.9	15.0	10.1							0.0	0.2	74.6	0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	49.0	25.3	15.2	10.3							0.0	0.2	74.3		
(74)中		中学校	千葉	49.6	24.0	15.0	11.0							0.1	0.3	73.6	3.7	
			全国	46.1	23.8	16.4	13.4							0.1	0.2	69.9		
(73)小	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉	53.6	33.6	9.2	3.3							0.0	0.3	87.2	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	55.7	32.2	8.7	3.1							0.0	0.2	87.9		
(75)中		中学校	千葉	41.2	39.7	13.9	4.8							0.1	0.3	80.9	-2.4	
			全国	44.7	38.6	12.3	4.1							0.0	0.2	83.3		
(74)小	国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか	小学校	千葉	24.8	42.0	25.9	6.9							0.0	0.3	66.8	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	26.1	41.9	25.1	6.7							0.0	0.2	68.0		
(76)中		中学校	千葉	17.3	42.1	31.2	9.0							0.0	0.3	59.4	-3.3	
			全国	19.4	43.3	28.9	8.1							0.0	0.2	62.7		
(75)小	国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	小学校	千葉	20.3	42.3	28.8	8.2							0.0	0.3	62.6	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	21.2	42.2	28.1	8.2							0.0	0.2	63.4		
(77)中		中学校	千葉	14.1	38.9	35.9	10.7							0.0	0.4	53.0	-2.6	
			全国	15.3	40.3	34.2	9.8							0.0	0.3	55.6		
(76)小	国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	小学校	千葉	31.3	41.5	21.1	5.7							0.1	0.3	72.8	-2.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	33.1	41.7	19.6	5.3							0.1	0.2	74.8		
(78)中		中学校	千葉	21.7	41.8	27.9	8.1							0.0	0.5	63.5	-2.4	
			全国	22.7	43.2	26.2	7.5							0.0	0.4	65.9		
(77)小	解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか	小学校	千葉	74.9	22.1	2.0								0.3	0.6	74.9	-2.3	1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2. 書く問題で解答しなかったり，解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3. 書く問題は全く解答しなかった
			全国	77.2	20.1	1.9								0.4	0.5	77.2		
(79)中	解答を文章で書く問題がありましたが，それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	中学校	千葉	69.0	26.0	4.0								0.0	0.9	69.0	-3.3	
			全国	72.3	23.6	3.3								0.0	0.8	72.3		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(78)小	算数（数学）の勉強は好きですか	小学校	千葉	35.8	26.5	21.0	16.3							0.0	0.4	62.3	-3.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	38.5	27.4	19.3	14.5							0.0	0.2	65.9		
(80)中		中学校	千葉	27.4	26.6	24.6	21.0							0.0	0.3	54.0	-1.4	
			全国	28.6	26.8	24.6	19.8							0.0	0.2	55.4		
(79)小	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉	69.7	20.5	6.1	3.3							0.0	0.4	90.2	-1.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	72.9	19.1	5.0	2.7							0.0	0.2	92.0		
(81)中		中学校	千葉	44.1	34.4	14.1	7.0							0.0	0.4	78.5	-2.6	
			全国	47.7	33.4	12.7	5.9							0.0	0.3	81.1		
(80)小	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉	44.3	33.5	15.1	6.6							0.1	0.4	77.8	-2.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	47.6	33.0	13.7	5.5							0.0	0.2	80.6		
(82)中		中学校	千葉	28.9	36.8	22.9	10.9							0.0	0.4	65.7	-3.7	
			全国	31.5	37.9	20.9	9.4							0.0	0.3	69.4		
(81)小	算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか	小学校	千葉	47.5	25.3	16.6	10.2							0.0	0.4	72.8	-2.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	50.3	25.4	15.5	8.6							0.0	0.2	75.7		
(83)中	数学ができるようになりたいと思いますか	中学校	千葉	71.2	18.7	5.4	4.2							0.0	0.4	89.9	-1.3	
			全国	73.7	17.5	4.9	3.6							0.0	0.3	91.2		
(82)小	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか	小学校	千葉	43.6	34.8	16.0	5.1							0.0	0.4	78.4	-2.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	46.0	35.1	14.3	4.3							0.0	0.2	81.1		
(84)中		中学校	千葉	34.4	36.8	20.9	7.4							0.0	0.4	71.2	-2.3	
			全国	36.0	37.5	19.7	6.4							0.0	0.3	73.5		
(83)小	算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小学校	千葉	34.7	33.7	21.9	9.2							0.0	0.4	68.4	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	35.6	33.5	21.8	8.8							0.0	0.3	69.1		
(85)中		中学校	千葉	16.1	28.6	35.5	19.2							0.0	0.5	44.7	-0.6	
			全国	16.5	28.8	35.5	18.9							0.0	0.3	45.3		
(84)小	算数（数学）の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉	64.2	23.4	8.2	3.7							0.1	0.4	87.6	-1.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	66.7	22.4	7.5	3.2							0.1	0.3	89.1		
(86)中		中学校	千葉	34.0	35.2	20.2	10.0							0.0	0.5	69.2	-3.2	
			全国	37.7	34.7	18.6	8.7							0.0	0.3	72.4		
(85)小	算数（数学）の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小学校	千葉	48.3	31.9	14.1	5.3							0.0	0.4	80.2	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	49.2	32.2	13.5	4.8							0.0	0.3	81.4		
(87)中		中学校	千葉	36.6	33.5	20.7	8.6							0.0	0.5	70.1	-1.1	
			全国	37.3	33.9	20.5	7.9							0.0	0.4	71.2		
(86)小	算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか	小学校	千葉	47.2	34.3	13.9	4.2							0.0	0.4	81.5	-1.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	48.2	34.4	13.2	3.9							0.0	0.3	82.6		
(88)中		中学校	千葉	33.4	36.8	21.3	7.9							0.0	0.5	70.2	-1.9	
			全国	34.0	38.1	20.5	7.0							0.0	0.4	72.1		
(87)小	算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	小学校	千葉	53.7	30.1	11.8	3.8							0.1	0.5	83.8	-2.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば，当てはまる 3. どちらかといえば，当てはまらない 4. 当てはまらない
			全国	57.0	29.0	10.4	3.2							0.1	0.3	86.0		
(89)中		中学校	千葉	46.5	34.0	13.6	5.3							0.0	0.6	80.5	-0.8	
			全国	47.0	34.3	13.0	5.3							0.0	0.4	81.3		

回答結果集計　［児童・生徒質問紙］

千葉県ー児童・生徒（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	小学校数	生徒数	中学校数
千葉県（公立）	49,578	796	48,436	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　1段目：千葉県(公立)の児童数の割合(%)　２段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(88) 小	言葉や数，式を使って，わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について，どのように解答しましたか	小学校	千葉	66.9	29.4	2.5								0.4	0.8	66.9	-3.0	1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2. 書く問題で解答しなかったり，解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3. 書く問題は全く解答しなかった
			全国	69.9	27.1	2.1								0.4	0.6	69.9		
(90) 中	解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	中学校	千葉	50.5	41.5	6.5								0.0	1.5	50.5	-4.9	
			全国	55.4	37.9	5.3								0.0	1.4	55.4		
(89) 小	調査問題の解答時間は十分でしたか （国語Ａ）	小学校	千葉	53.7	33.1	10.4	2.2							0.0	0.6	86.8	0.2	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
			全国	53.2	33.4	10.7	2.2							0.1	0.4	86.6		
(91) 中		中学校	千葉	62.2	31.0	4.9	1.3							0.0	0.6	93.2	-0.8	
			全国	64.5	29.5	4.4	1.2							0.0	0.4	94.0		
(90) 小	調査問題の解答時間は十分でしたか （国語Ｂ）	小学校	千葉	33.1	32.2	27.7	6.3							0.0	0.6	65.3	-0.8	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
			全国	32.6	33.5	27.4	6.1							0.1	0.4	66.1		
(92) 中		中学校	千葉	50.9	35.4	11.1	2.0							0.0	0.6	86.3	0.0	
			全国	50.6	35.7	11.2	2.1							0.0	0.5	86.3		
(91) 小	調査問題の解答時間は十分でしたか （算数Ａ・数学Ａ）	小学校	千葉	54.0	31.8	10.6	2.9							0.1	0.6	85.8	-1.3	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
			全国	55.0	32.1	9.8	2.6							0.1	0.4	87.1		
(93) 中		中学校	千葉	55.6	32.0	9.4	2.4							0.0	0.6	87.6	-1.9	
			全国	58.8	30.7	8.1	1.9							0.0	0.5	89.5		
(92) 小	調査問題の解答時間は十分でしたか （算数Ｂ・数学Ｂ）	小学校	千葉	30.3	24.9	31.5	12.6							0.1	0.6	55.2	2.7	1. 時間が余った 2. ちょうどよかった 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった
			全国	27.7	24.8	33.0	14.0							0.1	0.4	52.5		
(94) 中		中学校	千葉	46.1	31.3	17.5	4.6							0.0	0.6	77.4	0.7	
			全国	44.9	31.8	18.2	4.7							0.0	0.5	76.7		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
（1）小	調査対象日現在の学校の全学年の児童数，生徒数	小学校	千葉	3.5	9.0	24.4	29.8	26.1	7.2				0.0			1. ４９人以下 2. ５０人以上，９９人以下 3. １００人以上，２４９人以下 4. ２５０人以上，４９９人以下 5. ５００人以上，７９９人以下 6. ８００人以上
			全国	11.5	11.4	22.7	30.7	19.1	4.6				0.0			
（1）中		中学校	千葉	3.6	5.2	21.8	38.7	25.2	5.5				0.0			
			全国	11.7	8.4	22.7	35.7	18.5	3.0				0.0			
（2）小	調査対象日現在の第６学年の児童数，第３学年の生徒数（特別支援学級の児童数，生徒数を除く）	小学校	千葉	6.0	21.2	9.0	30.0	22.0	9.9	1.4	0.3	0.1	0.0			1. １０人以下 2. １１人以上，３０人以下 3. ３１人以上，４０人以下 4. ４１人以上，８０人以下 5. ８１人以上，１２０人以下 6. １２１人以上，１６０人以下 7. １６１人以上，２００人以下 8. ２０１人以上，２４０人以下 9. ２４１人以上
			全国	14.8	22.3	8.5	30.9	17.0	5.3	0.9	0.1	0.0	0.1			
（2）中		中学校	千葉	1.6	6.2	3.9	16.6	20.8	17.9	12.5	10.1	10.4	0.0			
			全国	7.9	11.1	4.4	17.7	18.6	16.4	11.4	7.3	5.2	0.0			
（3）小	平成２８年５月１日現在の第５学年の児童数，第２学年の生徒数（特別支援学級の児童数，生徒数を除く）	小学校	千葉	6.4	20.4	8.9	30.4	21.9	10.2	1.3	0.1	0.3	0.3			1. １０人以下 2. １１人以上，３０人以下 3. ３１人以上，４０人以下 4. ４１人以上，８０人以下 5. ８１人以上，１２０人以下 6. １２１人以上，１６０人以下 7. １６１人以上，２００人以下 8. ２０１人以上，２４０人以下 9. ２４１人以上
			全国	14.4	21.9	8.6	30.4	17.3	5.5	1.0	0.1	0.2	0.6			
（3）中		中学校	千葉	2.1	7.0	4.2	16.1	21.6	16.6	12.7	10.4	9.4	0.0			
			全国	8.4	10.7	4.7	17.9	18.8	16.0	11.3	7.0	5.2	0.0			
（4）小	調査対象日現在の学校の全学年の学級数（特別支援学級を除く）	小学校	千葉	3.1	37.9	27.6	21.1	8.0	2.1				0.0			1. ５学級以下 2. ６学級以上，１１学級以下 3. １２学級以上，１７学級以下 4. １８学級以上，２３学級以下 5. ２４学級以上，２９学級以下 6. ３０学級以上
			全国	10.9	38.4	28.6	15.2	4.8	2.1				0.1			
（4）中		中学校	千葉	0.3	11.9	17.4	21.3	16.6	12.2	10.1	5.5	4.7	0.0			1. ２学級以下 2. ３学級以上，５学級以下 3. ６学級以上，８学級以下 4. ９学級以上，１１学級以下 5. １２学級以上，１４学級以下 6. １５学級以上，１７学級以下 7. １８学級以上，２０学級以下 8. ２１学級以上，２３学級以下 9. ２４学級以上
			全国	2.5	22.8	17.6	18.6	16.1	10.9	6.2	3.1	2.2	0.0			
（5）小	調査対象日現在の第６学年，第３学年の学級数（特別支援学級を除く）	小学校	千葉	32.4	30.5	22.0	11.8	2.3	0.4	0.3	0.1	0.3	0.0			1. １学級　2. ２学級 3. ３学級　4. ４学級 5. ５学級　6. ６学級 7. ７学級　8. ８学級以上 9. 複式学級
			全国	39.9	30.4	17.8	6.4	1.4	0.2	0.0	0.1	3.8	0.1			
（5）中		中学校	千葉	9.4	16.6	19.7	19.7	10.9	11.2	7.3	5.2	0.0	0.0			
			全国	21.2	17.2	18.3	16.7	11.9	7.7	3.7	2.9	0.3	0.0			
（6）小	平成２８年５月１日現在の第５学年，第２学年の学級数（特別支援学級を除く）	小学校	千葉	31.3	31.2	22.1	11.2	2.8	0.5	0.1	0.0	0.5	0.4			1. １学級　2. ２学級 3. ３学級　4. ４学級 5. ５学級　6. ６学級 7. ７学級　8. ８学級以上 9. 複式学級
			全国	39.4	29.9	17.8	6.4	1.5	0.2	0.0	0.2	4.0	0.6			
（6）中		中学校	千葉	10.6	15.3	20.8	17.7	10.6	12.2	7.5	5.2	0.0	0.0			
			全国	21.4	17.4	18.0	16.5	11.7	7.7	3.8	2.7	0.8	0.0			
（7）小	調査対象日現在の学校の全教員数（副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師等）は，何人ですか	小学校	千葉	0.0	4.4	25.4	16.7	19.1	15.1	9.9	5.0	4.4	0.0			1. ４人以下 2. ５人以上，９人以下 3. １０人以上，１４人以下 4. １５人以上，１９人以下 5. ２０人以上，２４人以下 6. ２５人以上，２９人以下 7. ３０人以上，３４人以下 8. ３５人以上，３９人以下 9. ３９人以上
			全国	1.0	12.3	24.3	15.4	17.9	13.0	8.4	4.2	3.6	0.0			
（7）中		中学校	千葉	0.0	0.5	11.7	15.3	21.3	20.0	10.6	10.6	9.9	0.0			
			全国	0.3	6.5	17.2	15.6	17.6	16.0	11.2	7.3	8.2	0.0			
（8）小	経験年数が５年未満の教員は何人ですか	小学校	千葉	45.0	37.2	15.1	2.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0			1. ４人以下 2. ５人以上，９人以下 3. １０人以上，１４人以下 4. １５人以上，１９人以下 5. ２０人以上，２４人以下 6. ２５人以上，２９人以下 7. ３０人以上，３４人以下 8. ３５人以上，３９人以下 9. ４０人以上
			全国	58.5	31.8	8.2	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
（8）中		中学校	千葉	28.1	50.6	18.7	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
			全国	52.9	34.3	10.2	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(9)小	経験年数が５年以上１０年未満の教員は何人ですか	小学校	千葉	64.4	31.7	3.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			1. ４人以下 2. ５人以上，９人以下 3. １０人以上，１４人以下 4. １５人以上，１９人以下 5. ２０人以上，２４人以下 6. ２５人以上，２９人以下 7. ３０人以上，３４人以下 8. ３５人以上，３９人以下 9. ４０人以上
			全国	75.1	21.5	3.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
(9)中		中学校	千葉	56.6	35.6	7.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
			全国	65.5	28.1	5.5	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
(10)小	経験年数が１０年以上２０年未満の教員は何人ですか	小学校	千葉	62.3	33.5	4.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			1. ４人以下 2. ５人以上，９人以下 3. １０人以上，１４人以下 4. １５人以上，１９人以下 5. ２０人以上，２４人以下 6. ２５人以上，２９人以下 7. ３０人以上，３４人以下 8. ３５人以上，３９人以下 9. ４０人以上
			全国	67.3	28.0	4.3	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
(10)中		中学校	千葉	63.9	31.4	3.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0			
			全国	62.8	31.1	5.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0			
(11)小	経験年数が２０年以上の教員は何人ですか	小学校	千葉	16.6	58.9	20.0	4.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0			1. ４人以下 2. ５人以上，９人以下 3. １０人以上，１４人以下 4. １５人以上，１９人以下 5. ２０人以上，２４人以下 6. ２５人以上，２９人以下 7. ３０人以上，３４人以下 8. ３５人以上，３９人以下 9. ４０人以上
			全国	18.9	49.1	21.1	7.6	2.3	0.8	0.1	0.1	0.0	0.0			
(11)中		中学校	千葉	4.7	38.7	39.0	15.3	1.3	0.5	0.0	0.3	0.3	0.0			
			全国	10.3	39.8	30.7	12.9	4.3	1.4	0.4	0.2	0.1	0.0			
(12)小	児童〔生徒〕は熱意をもって勉強していますか	小学校	千葉	21.0	70.0	8.9	0.1						0.0	91.0	-3.2	1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	26.5	67.7	5.7	0.1						0.0	94.2		
(12)中		中学校	千葉	21.3	67.8	10.6	0.3						0.0	89.1	-2.6	
			全国	24.2	67.5	8.2	0.2						0.0	91.7		
(13)小	児童〔生徒〕は授業中の私語が少なく，落ち着いていますか	小学校	千葉	30.7	56.0	12.4	0.9						0.0	86.7	-4.0	1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	39.3	51.4	8.7	0.5						0.1	90.7		
(13)中		中学校	千葉	53.0	41.6	5.5	0.0						0.0	94.6	0.0	
			全国	53.0	41.6	5.0	0.4						0.0	94.6		
(14)小	児童〔生徒〕は礼儀正しいですか	小学校	千葉	25.6	61.9	11.7	0.8						0.0	87.5	-2.0	1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	30.1	59.4	10.1	0.3						0.1	89.5		
(14)中		中学校	千葉	43.1	49.6	7.0	0.3						0.0	92.7	-1.0	
			全国	43.6	50.1	6.1	0.2						0.0	93.7		
(15)小	児童〔生徒〕は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか	小学校	千葉	8.7	61.9	28.1	1.1						0.1	70.6	-6.9	1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	12.0	65.5	21.9	0.4						0.1	77.5		
(15)中		中学校	千葉	10.1	65.2	24.2	0.5						0.0	75.3	-0.6	
			全国	11.8	64.1	23.5	0.5						0.0	75.9		
(16)小	児童〔生徒〕は，学級やグループでの話合いなどの活動で，相手の考えを最後まで聞くことができていますか	小学校	千葉	19.0	60.7	19.6	0.6						0.1	79.7	-7.0	1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	23.3	63.4	12.8	0.4						0.1	86.7		
(16)中		中学校	千葉	22.3	64.4	13.2	0.0						0.0	86.7	-2.6	
			全国	25.5	63.8	10.4	0.2						0.0	89.3		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(17)小	児童〔生徒〕は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていますか	小学校	千葉	7.8	55.3	35.6	1.4						0.0	63.1	-8.6	1.そのとおりだと思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	9.4	62.3	27.5	0.7						0.2	71.7		
(17)中		中学校	千葉	6.8	62.6	30.4	0.3						0.0	69.4	-3.5	
			全国	10.3	62.6	26.6	0.6						0.0	72.9		
(18)小	児童〔生徒〕は，自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていますか	小学校	千葉	18.3	69.2	12.2	0.1						0.1	87.5	-4.3	1.そのとおりだと思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	21.9	69.9	7.9	0.1						0.1	91.8		
(18)中		中学校	千葉	16.1	71.7	12.2	0.0						0.0	87.8	-0.3	
			全国	17.6	70.5	11.7	0.2						0.0	88.1		
(19)小	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか	小学校	千葉	5.2	54.1	40.1	0.4						0.3	59.3	-3.7	1.そのとおりだと思う 2.どちらかといえば，そう思う 3.どちらかといえば，そう思わない 4.そう思わない
			全国	5.6	57.4	35.8	0.8						0.3	63.0		
(19)中		中学校	千葉	4.7	54.5	39.0	1.8						0.0	59.2	-2.0	
			全国	6.1	55.1	37.9	0.9						0.0	61.2		
(20)小	調査対象学年の児童・生徒のうち，就学援助を受けている児童・生徒の割合	小学校	千葉	18.1	22.4	32.0	16.1	6.3	3.1	1.1	0.6	0.3	0.0			1.在籍していない 2.２．５%未満 3.３．５%以上，１０%未満 4.１０%以上１５%未満 5.１５%以上，２０%未満 6.２０%以上，２５%未満 7.２５%以上，３０%未満 8.３０%以上，５０%未満 9.５０%以上
			全国	17.2	9.6	19.7	18.4	12.0	8.1	5.5	7.0	2.4	0.0			
(20)中		中学校	千葉	7.3	15.3	35.8	27.3	8.3	3.4	1.0	0.8	0.3	0.5			
			全国	8.6	7.7	18.6	21.0	16.0	10.6	6.9	8.3	2.1	0.1			
(21)小	調査対象学年の児童・生徒のうち，日本語指導が必要な児童・生徒の人数	小学校	千葉	81.8	12.6	3.0	1.3	0.4	0.6	0.4			0.0			1.在籍していない 2.１人　3.２人 4.３人　5.４人 6.５～７人 7.８人以上
			全国	89.2	6.7	1.9	0.8	0.4	0.6	0.4			0.0			
(21)中		中学校	千葉	77.4	13.0	7.0	1.8	0.0	0.5	0.3			0.0			
			全国	84.8	9.4	2.7	1.2	0.5	0.6	0.8			0.0			
(22)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	小学校	千葉	15.1	31.9	37.3	13.9	1.5					0.3	98.2	0.0	1.週に１回程度，または，それ以上行った 2.月に数回程度行った 3.学期に数回程度行った 4.年に数回程度行った 5.行っていない
			全国	10.5	32.1	41.3	14.3	1.6					0.1	98.2		
(22)中		中学校	千葉	1.3	11.2	39.0	39.5	9.1					0.0	91.0	0.1	
			全国	1.4	10.0	38.2	41.3	9.1					0.0	90.9		
(23)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度に学力向上や学習の定着等を目的として，放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小学校	千葉	0.8	5.0	10.1	13.6	12.2	58.4				0.0	41.7	-19.4	1.週に４回以上行った 2.週に２～３回行った 3.週に１回行った 4.月に数回程度行った 5.年に数回程度行った 6.行っていない
			全国	3.4	15.6	14.1	17.0	11.0	38.7				0.2	61.1		
(23)中		中学校	千葉	2.1	4.2	6.8	19.2	48.1	19.7				0.0	80.4	-2.6	
			全国	4.3	11.3	10.9	26.0	30.5	16.9				0.0	83.0		
(24)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度に学力向上や学習の定着等を目的として，土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	小学校	千葉	0.1	3.8	0.4	0.3	95.4					0.1	4.6	-5.4	1.基本的に毎週行った 2.月に数回程度行った 3.学期に数回程度行った 4.年に数回程度行った 5.行っていない
			全国	0.5	2.4	3.4	3.7	89.8					0.1	10.0		
(24)中		中学校	千葉	0.3	3.6	2.1	2.3	91.7					0.0	8.3	-8.4	
			全国	1.1	3.5	5.4	6.7	83.2					0.1	16.7		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(25)小	長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(夏休みや冬休み，春休みなどの長期休業日のうち，補充的な学習サポートを実施した日数の累計について，当てはまる番号を選んでください)	小学校	千葉	0.4	1.6	10.8	31.8	55.4					0.0	44.6	-19.6	1.延べ１３日以上 2.延べ９日から１２日 3.延べ５日から８日 4.１日から延べ４日 5.行っていない
			全国	1.8	4.7	21.0	36.7	35.5					0.2	64.2		
(25)中		中学校	千葉	6.8	13.5	33.2	23.4	23.1					0.0	76.9	-3.9	
			全国	9.8	13.2	34.5	23.3	19.0					0.1	80.8		
(26)小	指導計画について，知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	小学校	千葉	16.8	73.2	9.9	0.0						0.0	90.0	-1.3	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	19.0	72.3	8.6	0.1						0.0	91.3		
(26)中		中学校	千葉	18.7	72.2	8.8	0.3						0.0	90.9	-1.1	
			全国	19.4	72.6	8.0	0.0						0.0	92.0		
(27)小	指導計画について，言語活動に重点を置いて作成していますか	小学校	千葉	29.6	63.6	6.7	0.1						0.0	93.2	-0.7	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	30.6	63.3	6.0	0.1						0.1	93.9		
(27)中		中学校	千葉	26.2	63.9	9.9	0.0						0.0	90.1	-0.9	
			全国	24.7	66.3	8.9	0.1						0.0	91.0		
(28)小	指導計画作成に当たっては，各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していますか	小学校	千葉	19.2	67.5	13.2	0.1						0.0	86.7	0.0	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 5.全くしていない
			全国	20.2	66.5	13.1	0.1						0.1	86.7		
(28)中		中学校	千葉	15.1	62.1	22.3	0.5						0.0	77.2	-1.1	
			全国	16.0	62.3	21.1	0.5						0.0	78.3		
(29)小	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について，各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	小学校	千葉	21.6	61.7	16.1	0.6						0.0	83.3	-2.5	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 6.全くしていない
			全国	24.9	60.9	13.9	0.2						0.0	85.8		
(29)中		中学校	千葉	23.9	47.0	28.3	0.8						0.0	70.9	-6.6	
			全国	21.2	56.3	21.6	0.9						0.0	77.5		
(30)小	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか	小学校	千葉	20.6	67.8	11.3	0.3						0.0	88.4	-3.1	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	28.9	62.6	8.4	0.1						0.0	91.5		
(30)中		中学校	千葉	18.7	64.9	16.4	0.0						0.0	83.6	-4.2	
			全国	25.3	62.5	12.0	0.2						0.0	87.8		
(31)小	指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小学校	千葉	25.6	64.9	9.2	0.3						0.0	90.5	-2.1	1.よくしている 2.どちらかといえば，している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	34.7	57.9	7.3	0.2						0.1	92.6		
(31)中		中学校	千葉	11.4	53.8	33.8	1.0						0.0	65.2	-9.4	
			全国	17.7	56.9	24.6	0.8						0.0	74.6		
(32)小	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小学校	千葉	17.6	72.5	9.9	0.0						0.0	90.1	-1.4	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	22.7	68.8	8.3	0.0						0.1	91.5		
(32)中		中学校	千葉	15.3	71.4	13.0	0.3						0.0	86.7	-2.9	
			全国	21.3	68.3	10.3	0.1						0.0	89.6		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(33)小	授業で目標(めあて・ねらい)を児童〔生徒〕に示す活動を計画的に取り入れましたか	小学校	千葉	67.7	31.8	0.4	0.0						0.1	99.5	0.5	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	74.2	24.8	0.8	0.0						0.1	99.0		
(33)中		中学校	千葉	64.4	33.8	1.8	0.0						0.0	98.2	-0.1	
			全国	65.4	32.9	1.7	0.0						0.0	98.3		
(34)小	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	小学校	千葉	43.7	50.8	5.4	0.1						0.0	94.5	-0.9	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	52.5	42.9	4.5	0.0						0.1	95.4		
(34)中		中学校	千葉	33.8	60.3	6.0	0.0						0.0	94.1	-0.2	
			全国	43.2	51.1	5.7	0.0						0.0	94.3		
(35)小	各教科等の指導のねらいを明確にした上で，言語活動を適切に位置付けましたか	小学校	千葉	24.5	66.8	8.7	0.0						0.0	91.3	-2.0	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	30.0	63.3	6.6	0.0						0.2	93.3		
(35)中		中学校	千葉	27.5	59.2	13.2	0.0						0.0	86.7	-3.8	
			全国	25.8	64.7	9.5	0.1						0.0	90.5		
(36)小	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小学校	千葉	32.2	61.9	5.9	0.0						0.0	94.1	-1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	34.9	60.6	4.3	0.0						0.1	95.5		
(36)中		中学校	千葉	27.8	65.5	6.8	0.0						0.0	93.3	-0.6	
			全国	28.2	65.7	6.0	0.0						0.0	93.9		
(37)小	児童〔生徒〕の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	小学校	千葉	47.7	50.0	2.3	0.0						0.0	97.7	-0.6	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	51.2	47.1	1.6	0.0						0.1	98.3		
(37)中		中学校	千葉	40.3	56.6	3.1	0.0						0.0	96.9	-0.1	
			全国	38.9	58.1	2.9	0.0						0.0	97.0		
(38)小	授業で扱うノートに，学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	小学校	千葉	74.1	25.3	0.5	0.1						0.0	99.4	2.0	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	69.0	28.4	2.4	0.0						0.1	97.4		
(38)中		中学校	千葉	49.9	45.7	4.4	0.0						0.0	95.6	4.4	
			全国	44.0	47.2	8.6	0.1						0.1	91.2		
(39)小	学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	小学校	千葉	55.9	42.0	1.9	0.0						0.3	97.9	0.5	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	57.1	40.3	2.5	0.1						0.1	97.4		
(39)中		中学校	千葉	39.5	55.1	5.5	0.0						0.0	94.6	0.0	
			全国	45.1	49.5	5.1	0.2						0.1	94.6		
(40)小	総合的な学習の時間において，課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	小学校	千葉	25.1	59.8	14.8	0.3						0.0	84.9	-0.4	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	26.7	58.6	14.4	0.1						0.3	85.3		
(40)中		中学校	千葉	27.3	51.7	20.3	0.8						0.0	79.0	-4.7	
			全国	29.9	53.8	16.0	0.2						0.2	83.7		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(41)小	授業において，児童［生徒］自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小学校	千葉	22.4	60.7	16.7	0.3						0.0	83.1	0.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	22.4	59.9	17.4	0.2						0.1	82.3		
(41)中		中学校	千葉	16.4	59.7	23.6	0.3						0.0	76.1	1.0	
			全国	18.8	56.3	24.3	0.5						0.1	75.1		
(42)小	児童〔生徒〕に対して，本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	小学校	千葉	40.1	54.1	5.8	0.0						0.0	94.2	1.6	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	31.3	61.3	7.3	0.0						0.1	92.6		
(42)中		中学校	千葉	24.4	60.8	14.8	0.0						0.0	85.2	1.7	
			全国	21.5	62.0	16.2	0.3						0.0	83.5		
(43)小	児童〔生徒〕に対して，資料を使って発表ができるよう指導しましたか	小学校	千葉	39.3	53.5	7.2	0.0						0.0	92.8	1.6	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	29.6	61.6	8.7	0.0						0.1	91.2		
(43)中		中学校	千葉	21.3	58.7	20.0	0.0						0.0	80.0	-5.5	
			全国	22.1	63.4	14.3	0.2						0.0	85.5		
(44)小	児童〔生徒〕が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	小学校	千葉	32.7	59.5	7.8	0.0						0.0	92.2	-2.5	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	31.2	63.5	5.2	0.0						0.1	94.7		
(44)中		中学校	千葉	26.8	63.1	10.1	0.0						0.0	89.9	-2.2	
			全国	25.6	66.5	7.9	0.0						0.1	92.1		
(45)小	児童〔生徒〕に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小学校	千葉	19.6	50.1	28.9	1.3						0.1	69.7	-6.0	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	19.3	56.4	23.5	0.7						0.1	75.7		
(45)中		中学校	千葉	41.8	55.1	3.1	0.0						0.0	96.9	-0.6	
			全国	45.3	52.2	2.4	0.0						0.0	97.5		
(46)小	児童〔生徒〕に対して，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小学校	千葉	31.5	58.3	9.7	0.5						0.0	89.8	-1.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	36.0	55.6	8.2	0.2						0.1	91.6		
(46)中		中学校	千葉	34.5	50.9	14.5	0.0						0.0	85.4	-1.6	
			全国	31.2	55.8	12.7	0.2						0.1	87.0		
(47)小	道徳の時間において，児童〔生徒〕自らが考え，話し合う指導をしましたか	小学校	千葉	28.5	61.2	10.3	0.0						0.0	89.7	-0.9	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	30.9	59.7	9.1	0.1						0.3	90.6		
(47)中		中学校	千葉	30.1	59.0	10.4	0.5						0.0	89.1	-0.7	
			全国	30.3	59.5	9.9	0.1						0.2	89.8		
(48)小	学習規律(私語をしない，話をしている人の方を向いて聞く，聞き手に向かって話をする，授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	小学校	千葉	56.7	39.3	3.6	0.4						0.0	96.0	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	60.9	35.8	3.1	0.1						0.2	96.7		
(48)中		中学校	千葉	67.8	30.1	2.1	0.0						0.0	97.9	-0.1	
			全国	68.3	29.7	1.9	0.1						0.0	98.0		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(49)小	各教科等で身につけたことを，様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小学校	千葉	14.7	67.2	18.0	0.0						0.1	81.9	-1.4	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	16.0	67.3	16.3	0.1						0.2	83.3		
(49)中		中学校	千葉	11.4	60.5	27.8	0.3						0.0	71.9	-3.3	
			全国	11.8	63.4	24.6	0.2						0.1	75.2		
(50)小	教科や総合的な学習の時間，あるいは朝や帰りの会などにおいて，地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	小学校	千葉	21.4	56.2	22.1	0.4						0.0	77.6	-0.9	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	20.4	58.1	20.8	0.3						0.4	78.5		
(50)中		中学校	千葉	10.4	57.1	31.9	0.5						0.0	67.5	-4.5	
			全国	14.9	57.1	27.1	0.7						0.2	72.0		
(51)小	学校生活の中で，児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け，児童〔生徒〕に伝えるなど積極的に評価しましたか	小学校	千葉	44.0	53.4	2.5	0.0						0.1	97.4	0.0	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	47.7	49.7	2.3	0.0						0.2	97.4		
(51)中		中学校	千葉	34.0	59.7	6.0	0.0						0.3	93.7	-1.8	
			全国	38.4	57.1	4.4	0.0						0.1	95.5		
(52)小	コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む），電子黒板，実物投影機，プロジェクター，インターネットなどを指す）を活用して，子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	小学校	千葉	21.9	53.5	23.9	0.8						0.0	75.4	3.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	18.9	52.7	27.0	1.3						0.1	71.6		
(52)中		中学校	千葉	13.8	48.8	35.8	1.6						0.0	62.6	-1.2	
			全国	14.2	49.6	34.5	1.7						0.1	63.8		
(53)小	国語の授業において，コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む），電子黒板，実物投影機，プロジェクター，インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小学校	千葉	7.4	31.5	48.0	13.1						0.0	38.9	-6.0	1. 週１回以上 2. 月１回以上 3. 学期に１回以上 4. ほとんど，または，全く行っていない
			全国	17.4	27.5	40.6	14.4						0.1	44.9		
(53)中		中学校	千葉	3.4	17.7	43.4	35.6						0.0	21.1	-4.2	
			全国	8.7	16.6	39.3	35.4						0.1	25.3		
(54)小	算数〔数学〕の授業において，コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む），電子黒板，実物投影機，プロジェクター，インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小学校	千葉	18.6	28.6	35.8	17.0						0.0	47.2	-8.2	1. 週１回以上 2. 月１回以上 3. 学期に１回以上 4. ほとんど，または，全く行っていない
			全国	29.0	26.4	28.9	15.7						0.1	55.4		
(54)中		中学校	千葉	10.6	18.4	35.1	35.8						0.0	29.0	-9.8	
			全国	18.0	20.8	32.7	28.5						0.1	38.8		
(55)小	平成２８年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し，学校全体で成果や課題を共有しましたか	小学校	千葉	39.7	56.7	3.6							0.0	96.4	-1.9	1. よく行った 2. 行った 3. ほとんど行っていない
			全国	53.7	44.6	1.4							0.3	98.3		
(55)中		中学校	千葉	35.6	60.8	3.6							0.0	96.4	-0.9	
			全国	43.5	53.8	2.5							0.1	97.3		
(56)小	平成２８年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について，調査対象学年・教科だけではなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小学校	千葉	29.8	62.3	7.9							0.0	92.1	-4.5	1. よく行った 2. 行った 3. ほとんど行っていない
			全国	44.4	52.2	3.1							0.3	96.6		
(56)中		中学校	千葉	26.2	64.2	9.6							0.0	90.4	-4.0	
			全国	35.4	59.0	5.5							0.1	94.4		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(57)小	平成２８年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について，保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載，保護者会等での説明を含みます)	小学校	千葉	22.1	52.0	25.8							0.1	74.1	-16.7	1. よく行った 2. 行った 3. ほとんど行っていない
			全国	33.2	57.6	8.9							0.3	90.8		
(57)中		中学校	千葉	22.3	53.8	23.9							0.0	76.1	-10.7	
			全国	31.2	55.6	13.1							0.2	86.8		
(58)小	平成２８年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	小学校	千葉	15.2	60.1	24.6							0.1	75.3	-14.6	1. よく行った 2. 行った 3. ほとんど行っていない
			全国	24.3	65.6	9.9							0.2	89.9		
(58)中		中学校	千葉	12.5	62.3	25.2							0.0	74.8	-8.6	
			全国	20.0	63.4	16.6							0.1	83.4		
(59)小	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し，具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小学校	千葉	18.1	69.0	8.8	4.0						0.1	87.1	-6.4	1. よく行っている 2. どちらかといえば，行っている 3. ほとんど行っていない 4. 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
			全国	34.4	59.1	3.7	2.6						0.2	93.5		
(59)中		中学校	千葉	14.0	62.3	17.1	6.5						0.0	76.3	-13.8	
			全国	27.6	62.5	7.2	2.6						0.1	90.1		
(60)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として，前年度に，習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い，習得できるようにしましたか	小学校	千葉	13.6	9.9	10.8	20.1	45.6					0.0	23.5	-11.7	1. 年間の授業のうち，おおよそ３/４以上で行った 2. 年間の授業のうち，おおよそ１/２以上，３/４未満で行った 3. 年間の授業のうち，おおよそ１/４以上，１/２未満で行った 4. 年間の授業のうち，おおよそ１/４未満で行った 5. 行っていない
			全国	23.9	11.3	11.9	14.8	37.9					0.2	35.2		
(60)中		中学校	千葉	13.8	7.5	8.6	16.9	53.2					0.0	21.3	-6.0	
			全国	19.6	7.7	9.1	12.8	50.7					0.1	27.3		
(61)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として，前年度に，習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い，発展的な内容を扱いましたか	小学校	千葉	7.4	6.7	10.4	19.1	56.3					0.1	14.1	-11.7	1. 年間の授業のうち，おおよそ３/４以上で行った 2. 年間の授業のうち，おおよそ１/２以上，３/４未満で行った 3. 年間の授業のうち，おおよそ１/４以上，１/２未満で行った 4. 年間の授業のうち，おおよそ１/４未満で行った 5. 行っていない
			全国	15.7	10.1	12.2	17.0	44.8					0.3	25.8		
(61)中		中学校	千葉	11.2	5.2	9.1	12.5	62.1					0.0	16.4	-5.5	
			全国	15.2	6.7	8.9	12.8	56.4					0.1	21.9		
(62)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として，算数〔数学〕の授業において，前年度に，ティームティーチングによる指導を行いましたか	小学校	千葉	23.0	13.6	16.3	18.0	29.1					0.0	36.6	2.2	1. 年間の授業のうち，おおよそ３/４以上で行った 2. 年間の授業のうち，おおよそ１/２以上，３/４未満で行った 3. 年間の授業のうち，おおよそ１/４以上，１/２未満で行った 4. 年間の授業のうち，おおよそ１/４未満で行った 5. 行っていない
			全国	23.3	11.1	13.2	18.6	33.5					0.3	34.4		
(62)中		中学校	千葉	34.0	13.2	11.4	8.8	32.5					0.0	47.2	12.5	
			全国	24.2	10.5	12.2	12.0	41.1					0.1	34.7		
(63)小	算数〔数学〕の授業において，前年度の第５学年〔第２学年〕で，年間を通じておおよそ何人の集団で指導しましたか	小学校	千葉	2.3	3.1	9.5	14.6	9.8	12.4	10.1	4.4		33.8			
			全国	5.2	6.8	13.3	18.5	11.2	9.4	5.6	2.9		27.2			
(63)中		中学校	千葉	34.0	1.6	5.7	15.8	5.7	7.8	17.9	11.4		0.0			
			全国	31.1	3.1	7.4	18.1	8.1	10.4	12.6	9.2		0.0			
(64)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉	14.3	58.5	25.5	1.6						0.0	72.8	-6.3	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	18.0	61.1	19.5	1.4						0.1	79.1		
(64)中		中学校	千葉	15.3	62.3	20.5	1.6						0.3	77.6	-4.7	
			全国	18.3	64.0	16.4	1.3						0.1	82.3		
(65)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉	6.9	44.6	46.0	2.5						0.0	51.5	-1.2	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	6.1	46.6	45.0	2.2						0.1	52.7		
(65)中		中学校	千葉	13.0	54.0	31.4	1.3						0.3	67.0	-0.4	
			全国	10.5	56.9	31.0	1.4						0.1	67.4		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(66)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小学校	千葉	21.4	69.0	9.7	0.0						0.0	90.4	-1.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	24.5	67.7	7.6	0.1						0.1	92.2		
(66)中		中学校	千葉	26.8	60.5	12.5	0.0						0.3	87.3	-0.2	
			全国	24.3	63.2	12.4	0.1						0.1	87.5		
(67)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，書く習慣を付ける授業を行いましたか	小学校	千葉	26.4	63.1	10.4	0.1						0.0	89.5	-3.9	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	33.1	60.3	6.4	0.1						0.1	93.4		
(67)中		中学校	千葉	45.7	49.4	4.7	0.0						0.3	95.1	-0.6	
			全国	41.3	54.4	4.2	0.0						0.1	95.7		
(68)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小学校	千葉	23.5	64.7	11.4	0.3						0.1	88.2	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	24.0	64.9	10.9	0.1						0.1	88.9		
(68)中		中学校	千葉	32.7	58.2	8.8	0.0						0.3	90.9	0.3	
			全国	28.3	62.3	9.3	0.1						0.1	90.6		
(69)小	調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として，前年度までに，漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	小学校	千葉	50.4	47.5	2.1	0.0						0.0	97.9	-0.2	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	52.9	45.2	1.7	0.0						0.2	98.1		
(69)中		中学校	千葉	63.9	35.1	0.8	0.0						0.3	99.0	0.6	
			全国	60.2	38.2	1.5	0.1						0.1	98.4		
(70)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数［数学］の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉	36.6	54.1	8.5	0.8						0.0	90.7	-2.6	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	41.4	51.9	6.2	0.5						0.1	93.3		
(70)中		中学校	千葉	32.2	55.8	10.9	1.0						0.0	88.0	-3.9	
			全国	32.7	59.2	7.4	0.6						0.0	91.9		
(71)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数［数学］の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	小学校	千葉	11.3	50.8	36.2	1.8						0.0	62.1	-4.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	13.7	53.2	31.8	1.1						0.1	66.9		
(71)中		中学校	千葉	13.2	53.2	31.9	1.6						0.0	66.4	-4.8	
			全国	14.7	56.5	27.3	1.4						0.0	71.2		
(72)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数［数学］の指導として，前年度までに，実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小学校	千葉	9.8	59.7	30.3	0.3						0.0	69.5	-5.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	11.5	63.7	24.3	0.3						0.1	75.2		
(72)中		中学校	千葉	10.6	59.5	28.8	1.0						0.0	70.1	-0.8	
			全国	10.6	60.3	28.3	0.7						0.0	70.9		
(73)小	調査対象学年の児童・生徒に対する算数［数学］の指導として，前年度までに，計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小学校	千葉	60.7	37.4	1.6	0.1						0.1	98.1	0.6	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	58.8	38.7	2.3	0.0						0.2	97.5		
(73)中		中学校	千葉	56.4	39.0	4.4	0.3						0.0	95.4	-1.1	
			全国	54.2	42.3	3.3	0.1						0.1	96.5		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(74)小	調査対象である第６学年の児童に対する算数の授業では，前年度までに，教科担任制を実施していましたか	小学校	千葉	5.2	94.6								0.3			1.実施していた 2.実施していなかった
			全国	9.0	90.8								0.2			
		中学校	千葉													
			全国													
(75)小	学校の教員は，特別支援教育について理解し，前年度までに，調査対象である第６学年の児童〔第３学年の生徒〕に対する授業の中で，児童〔生徒〕の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方，教材の工夫など）を行いましたか	小学校	千葉	29.9	59.8	9.0	1.3						0.0	89.7	-1.6	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	35.2	56.1	7.5	0.9						0.3	91.3		
(74)中		中学校	千葉	31.9	53.2	12.7	2.1						0.0	85.1	-5.8	
			全国	36.9	54.0	8.1	0.9						0.1	90.9		
(76)小	前年度までに，近隣等の中学校〔小学校〕と教育目標を共有する取組を行いましたか	小学校	千葉	11.8	34.3	35.4	18.5						0.0	46.1	-12.0	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	22.0	36.1	29.4	12.3						0.1	58.1		
(75)中		中学校	千葉	15.3	34.8	34.5	15.3						0.0	50.1	-13.3	
			全国	28.8	34.6	25.6	11.0						0.0	63.4		
(77)小	前年度までに，近隣等の中学校〔小学校〕と，授業研究を行うなど，合同して研修を行いましたか	小学校	千葉	13.8	32.5	30.4	23.2						0.0	46.3	-19.3	1.よく行っている 2.どちらかといえば，行っている 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	24.9	40.7	23.7	10.5						0.1	65.6		
(76)中		中学校	千葉	20.0	40.3	26.5	13.2						0.0	60.3	-14.5	
			全国	34.9	39.9	17.1	8.1						0.0	74.8		
(78)小	前年度までに，近隣等の中学校〔小学校〕と，教科の教育課程の接続や，教科に関する共通の目標設定など，教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小学校	千葉	9.2	31.8	38.3	20.7						0.0	41.0	-10.3	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	15.2	36.1	36.0	12.6						0.1	51.3		
(77)中		中学校	千葉	11.9	33.8	39.2	15.1						0.0	45.7	-12.5	
			全国	20.7	37.5	32.0	9.8						0.0	58.2		
(79)小	前年度までに，平成２８年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について，近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	小学校	千葉	7.5	27.4	40.2	24.9						0.0	34.9	-18.1	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	15.9	37.1	33.0	13.7						0.2	53.0		
(78)中		中学校	千葉	9.1	25.5	42.9	22.6						0.0	34.6	-22.2	
			全国	19.8	37.0	30.2	12.8						0.1	56.8		
(80)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，地域の人材を外部講師として招聘(へい)した授業を行いましたか	小学校	千葉	33.0	44.8	16.7	5.4						0.0	77.8	-6.4	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	36.7	47.5	13.4	2.4						0.1	84.2		
(79)中		中学校	千葉	14.5	44.2	27.3	14.0						0.0	58.7	-10.2	
			全国	22.7	46.2	22.7	8.4						0.1	68.9		
(81)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小学校	千葉	19.3	32.9	25.3	22.5						0.0	52.2	2.3	1.よく行った 2.どちらかといえば，行った 3.あまり行っていない 4.全く行っていない
			全国	18.5	31.4	27.9	22.2						0.1	49.9		
(80)中		中学校	千葉	8.6	19.2	32.2	40.0						0.0	27.8	-3.6	
			全国	10.4	21.0	29.0	39.5						0.1	31.4		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(82)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか	小学校	千葉	11.6	44.8	34.7	8.8						0.1	56.4	8.2	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	9.0	39.2	40.5	11.2						0.1	48.2		
(81)中		中学校	千葉	1.8	15.3	45.5	37.4						0.0	17.1	-6.0	
			全国	2.9	20.2	45.9	30.9						0.0	23.1		
(83)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，地域や社会をよくするために何をすべきか考えさせるような授業を行いましたか	小学校	千葉	14.4	57.5	26.1	1.8						0.1	71.9	-3.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	16.9	58.7	23.2	1.1						0.2	75.6		
(82)中		中学校	千葉	9.4	43.4	42.1	5.2						0.0	52.8	-15.2	
			全国	15.3	52.7	28.8	3.2						0.1	68.0		
(84)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会を設定しましたか	小学校	千葉	25.6	54.4	18.1	1.9						0.0	80.0	-5.9	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	34.4	51.5	12.9	1.1						0.1	85.9		
(83)中		中学校	千葉	14.3	52.5	28.6	4.7						0.0	66.8	-11.6	
			全国	27.6	50.8	18.8	2.7						0.1	78.4		
(85)小	【小学校のみ】 調査対象である第６学年の児童に対して，第５学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか（複数回実施した場合は，最も長期のものについてお答えください。）	小学校	千葉	0.1	0.6	41.7	55.8	1.8					0.0	98.2	4.0	1. ４泊５日以上の自然の中での集団宿泊活動を行った 2. ３泊４日以上の自然の中での集団宿泊活動を行った 3. ２泊３日以上の自然の中での集団宿泊活動を行った 4. １泊２日以上の自然の中での集団宿泊活動を行った 5. 自然の中での集団宿泊活動は行っていない
			全国	4.5	4.3	30.0	55.4	5.8					0.1	94.2		
		中学校	千葉													
			全国													
(86)小	あなたの学校では，職場見学や職場体験活動を行っていますか	小学校	千葉	68.0	32.0								0.0	68.0	22.6	1. 行っている 2. 行っていない
			全国	45.4	54.6								0.1	45.4		
(84)中		中学校	千葉	97.9	2.1								0.0	97.9	-1.0	
			全国	98.9	1.1								0.0	98.9		
(87)小	あなたの学校では，ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動(学校の美化，登下校の見守り，学校行事の支援など)にボランティアとして参加してくれますか	小学校	千葉	75.4	23.7	0.9	0.0						0.0	99.1	0.5	1. よく参加してくれる 2. 参加してくれる 3. あまり参加してくれない 4. 全く参加してくれない
			全国	72.9	25.7	1.2	0.1						0.1	98.6		
(85)中		中学校	千葉	67.5	31.4	0.8	0.3						0.0	98.9	1.4	
			全国	60.6	36.9	2.3	0.2						0.0	97.5		
(88)小	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより，保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	小学校	千葉	54.8	38.3	2.0	4.9						0.0	93.1	4.4	1. よく参加してくれる 2. 参加してくれる 3. あまり参加してくれない 4. 全く参加してくれない
			全国	51.0	37.7	2.5	8.8						0.1	88.7		
(86)中		中学校	千葉	38.2	47.0	3.6	11.2						0.0	85.2	7.8	
			全国	34.3	43.1	5.1	17.5						0.0	77.4		
(89)小	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は，学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小学校	千葉	59.2	38.6	2.0	0.1						0.1	97.8	0.5	1. そう思う 2. どちらかといえば，そう思う 3. どちらかといえば，そう思わない 4. そう思わない
			全国	57.9	39.4	1.9	0.4						0.3	97.3		
(87)中		中学校	千葉	46.0	48.8	4.2	1.0						0.0	94.8	1.1	
			全国	44.2	49.5	3.9	1.8						0.5	93.7		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県/全国	選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(90)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，国語の指導として，家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	小学校	千葉	83.5	16.1	0.4	0.0						0.0	99.6	0.0	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	87.3	12.3	0.3	0.0						0.1	99.6		
(88)中		中学校	千葉	36.4	46.8	16.6	0.3						0.0	83.2	-9.8	
			全国	53.1	39.9	6.9	0.2						0.0	93.0		
(91)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，国語の指導として，前年度までに，児童〔生徒〕に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除きます。)についての評価・指導しましたか	小学校	千葉	66.0	31.7	2.4	0.0						0.0	97.7	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	69.8	28.6	1.4	0.0						0.1	98.4		
(89)中		中学校	千葉	47.3	42.3	10.1	0.3						0.0	89.6	-5.3	
			全国	52.9	42.0	4.9	0.2						0.0	94.9		
(92)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，算数［数学］の指導として，家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	小学校	千葉	84.2	15.5	0.4	0.0						0.0	99.7	0.1	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	88.3	11.3	0.3	0.0						0.1	99.6		
(90)中		中学校	千葉	41.3	47.0	11.4	0.3						0.0	88.3	-6.4	
			全国	56.8	37.9	5.1	0.2						0.0	94.7		
(93)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，算数［数学］の指導として，児童〔生徒〕に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除きます。)についての評価・指導しましたか	小学校	千葉	67.2	30.7	2.1	0.0						0.0	97.9	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	71.1	27.5	1.3	0.0						0.1	98.6		
(91)中		中学校	千葉	45.5	44.2	9.9	0.5						0.0	89.7	-5.4	
			全国	53.7	41.4	4.7	0.2						0.0	95.1		
(94)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，保護者に対して児童〔生徒〕の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）	小学校	千葉	50.4	45.9	3.8	0.0						0.0	96.3	-0.7	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	55.4	41.6	2.8	0.0						0.1	97.0		
(92)中		中学校	千葉	33.5	51.2	14.3	1.0						0.0	84.7	-2.9	
			全国	35.0	52.6	11.8	0.6						0.1	87.6		
(95)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，家庭学習の課題の与え方について，校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	小学校	千葉	37.6	46.2	15.6	0.6						0.0	83.8	-5.8	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	45.6	44.0	10.0	0.3						0.1	89.6		
(93)中		中学校	千葉	30.6	43.4	24.4	1.6						0.0	74.0	-8.2	
			全国	33.6	48.6	17.1	0.7						0.0	82.2		
(96)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，家庭学習の取組として，調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）	小学校	千葉	20.9	54.8	23.9	0.4						0.1	75.7	-7.4	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	27.3	55.8	16.6	0.2						0.1	83.1		
(94)中		中学校	千葉	13.5	44.4	41.3	0.8						0.0	57.9	-11.9	
			全国	15.7	54.1	29.3	0.8						0.0	69.8		
(97)小	調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，家庭学習の取組として，児童〔生徒〕に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか（国語／算数・数学共通）	小学校	千葉	35.1	53.9	10.8	0.3						0.0	89.0	-3.2	1. よく行った 2. どちらかといえば，行った 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
			全国	41.2	51.0	7.5	0.1						0.2	92.2		
(95)中		中学校	千葉	25.7	56.4	17.7	0.3						0.0	82.1	-6.2	
			全国	30.6	57.7	11.4	0.2						0.0	88.3		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(98)小	校長のリーダーシップのもと，研修リーダー等を校内に設け，校内研修の実施計画を整備するなど，組織的，継続的な研修を行っていますか	小学校	千葉	77.9	21.5	0.6	0.0						0.0	99.4	0.2	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	73.8	25.4	0.8	0.0						0.1	99.2		
(96)中		中学校	千葉	60.5	34.3	4.9	0.0						0.3	94.8	-3.2	
			全国	62.6	35.4	2.0	0.1						0.0	98.0		
(99)小	学校でテーマを決め，講師を招聘(へい)するなどの校内研修を行っていますか	小学校	千葉	83.3	15.7	1.0	0.0						0.0	99.0	5.4	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	65.7	27.9	5.8	0.6						0.1	93.6		
(97)中		中学校	千葉	53.8	42.3	3.4	0.3						0.3	96.1	7.7	
			全国	49.9	38.5	10.2	1.4						0.0	88.4		
(100)小	模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っていますか	小学校	千葉	63.9	31.2	4.8	0.0						0.1	95.1	-0.5	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	63.4	32.2	4.1	0.1						0.1	95.6		
(98)中		中学校	千葉	35.3	51.7	12.5	0.3						0.3	87.0	-3.0	
			全国	46.9	43.1	9.6	0.4						0.0	90.0		
(101)小	教員が，他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	小学校	千葉	55.0	41.1	3.9	0.0						0.0	96.1	-1.2	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	58.3	39.0	2.6	0.0						0.1	97.3		
(99)中		中学校	千葉	39.0	54.0	6.2	0.5						0.3	93.0	-2.0	
			全国	48.1	46.9	5.0	0.1						0.0	95.0		
(102)小	（小学校において）個々の教員が，自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	小学校	千葉	42.1	46.0	11.6	0.4						0.0	88.1	2.6	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	36.7	48.8	14.1	0.4						0.1	85.5		
		中学校	千葉													
			全国													
	（中学校において）教員は，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	小学校	千葉													1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国													
(100)中		中学校	千葉	28.8	52.7	17.9	0.3						0.3	81.5	0.0	
			全国	30.2	51.3	18.0	0.5						0.0	81.5		
(103)小	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小学校	千葉	25.5	48.0	25.0	1.3						0.3	73.5	-2.5	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	27.1	48.9	22.7	1.0						0.2	76.0		
(101)中		中学校	千葉	10.9	46.0	40.0	2.9						0.3	56.9	-11.7	
			全国	21.1	47.5	29.3	2.0						0.0	68.6		
(104)小	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	小学校	千葉	30.2	5.0	7.2	11.7	11.3	15.5	17.3	1.9	0.0	0.0	65.4	-5.8	1. 年間１５回以上 2. 年間１３回から１４回 3. 年間１１回から１２回 4. 年間９回から１０回 5. 年間７回から８回 6. 年間５回から６回 7. 年間３回から４回 8. 年間１回から２回 9. 全く実施していない
			全国	26.8	6.0	8.5	12.1	17.8	16.8	10.7	1.2	0.0	0.1	71.2		
(102)中		中学校	千葉	6.5	1.0	3.9	8.6	11.7	19.7	28.6	19.5	0.5	0.0	31.7	-18.5	
			全国	14.2	3.3	7.2	12.3	13.2	18.2	23.5	7.8	0.3	0.0	50.2		

回答結果集計　［学校質問紙］

千葉県－学校（公立）

・以下の集計値は，４月１８日に実施した調査の結果を集計した値である。

	小学校数	中学校数
千葉県（公立）	796	385

※【その他】とは，『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。　　各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)　2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種		選択肢 1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他無回答	肯定的	全国との差	選択肢　凡例
(105)小	教職員は，校内外の研修や研究会に参加し，その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小学校	千葉	40.5	54.9	4.3	0.3						0.1	95.4	-1.0	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	38.5	57.9	3.6	0.0						0.0	96.4		
(103)中		中学校	千葉	24.7	65.5	9.9	0.0						0.0	90.2	-2.4	
			全国	28.1	64.5	7.4	0.0						0.0	92.6		
(106)小	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては，教職員同士が協力し合っていますか	小学校	千葉	38.6	57.5	3.5	0.1						0.3	96.1	0.3	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	41.6	54.2	4.1	0.0						0.1	95.8		
(104)中		中学校	千葉	34.3	61.3	4.4	0.0						0.0	95.6	1.8	
			全国	34.6	59.2	6.2	0.0						0.0	93.8		
(107)小	学校全体の言語活動の実施状況や課題について，全教職員の間で話し合ったり，検討したりしていますか	小学校	千葉	33.3	52.3	13.9	0.4						0.1	85.6	-5.5	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	37.7	53.4	8.8	0.1						0.1	91.1		
(105)中		中学校	千葉	16.4	61.3	21.8	0.5						0.0	77.7	-4.8	
			全国	24.9	57.6	17.2	0.2						0.0	82.5		
(108)小	【小学校】 言語活動について，国語科だけではなく，各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動を通じて，学校全体として取り組んでいますか 【中学校】 言語活動について，国語科だけではなく，各教科，道徳，総合的な学習の時間及び特別活動を通じて，学校全体として取り組んでいますか	小学校	千葉	30.9	59.4	9.3	0.3						0.1	90.3	-2.0	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	37.1	55.2	7.4	0.1						0.2	92.3		
(106)中		中学校	千葉	27.3	58.2	14.3	0.3						0.0	85.5	-3.3	
			全国	32.5	56.3	11.0	0.1						0.0	88.8		
(109)小	学校全体の学力傾向や課題について，全教職員の間で共有していますか	小学校	千葉	54.9	43.7	1.0	0.1						0.3	98.6	-0.2	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	62.5	36.3	1.1	0.0						0.1	98.8		
(107)中		中学校	千葉	50.4	47.5	2.1	0.0						0.0	97.9	-0.5	
			全国	56.5	41.9	1.6	0.0						0.0	98.4		
(110)小	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し，学校として組織的に取り組んでいますか	小学校	千葉	53.5	44.8	1.3	0.1						0.3	98.3	0.3	1. よくしている 2. どちらかといえば，している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	58.1	39.9	1.8	0.0						0.1	98.0		
(108)中		中学校	千葉	41.0	55.8	3.1	0.0						0.0	96.8	0.2	
			全国	49.6	47.0	3.3	0.0						0.0	96.6		
(111)小	あなた(校長)は，校内の授業をどの程度見て回っていますか	小学校	千葉	77.8	19.0	3.0	0.1						0.1	96.8	2.3	1. ほぼ毎日 2. 週に２～３日程度 3. 月に数日程度 4. ほとんど行っていない
			全国	68.0	26.5	5.1	0.1						0.2	94.5		
(109)中		中学校	千葉	54.3	35.1	10.1	0.5						0.0	89.4	5.9	
			全国	44.9	38.6	16.0	0.5						0.0	83.5		

研究報告　　第４２９号

平成２９年１２月１５日

編集発行者　　千葉県総合教育センター所長

安藤　久彦

発行所　　千葉県総合教育センター

〒261-0014　千葉市美浜区若葉２丁目１３番

TEL　０４３（２７６）１１６６
FAX　０４３（２７２）５１２８